

ソリッドステートメモリーカムコーダー
PXW-Z200/HXR-NX800

ヘルプガイドのおすすめページ

基本操作手順

カメラの基本的な撮影手順です。

推奨メモリーカードについて

本機で使用できるメモリーカードの情報です。

サポート情報

PXW-Z200/HXR-NX800 : サポート情報

カメラ本体の基本情報やアクセサリーの情報、困ったときのQ&Aなどを説明しています。

Monitor & Control ヘルプガイド

Monitor & Control は、1台のカメラと接続して、カメラのリモートコントロール、およびカメラのクリップの表示・操作を行うアプリケーションです。

はじめにお読みください

[ヘルプガイドの使いかた](#)

[使用上のご注意](#)

各部の名称

[システム構成例](#)

[左側面/前面部](#)

[右側面部](#)

[背面部/端子部/カードスロット部](#)

[上面部/ハンドル部](#)

[底面部](#)

[マイクホルダーの取り外し](#)

[アクセサリースューの取り付け](#)

[タッチパネルの使いかた](#)

[画面表示](#)

[ステータス画面](#)

準備する

[電源の準備](#)

[バッテリーパックを使う](#)

[ACアダプターを使う](#)

[電源を入れる/切る](#)

基本的な設定をする

[日付/時刻](#)

[アクセシビリティ機能の概要](#)

[基本動作の設定](#)

[撮影モード](#)

[記録フォーマット](#)

機器を取り付ける

[マイク（別売）を取り付ける](#)

[LCDフード（付属）を取り付ける](#)

[レンズフード（付属）を取り付ける](#)

[大型アイカップを取り付ける](#)

LCDモニターを調節する

[LCDモニターの角度を調節する](#)

[LCDモニターの明るさを調節する](#)

[LCDモニターの画面表示を拡大する](#)

ビューファインダーを調節する

[ビューファインダーの角度を調節する](#)

[ビューファインダーの明るさを調節する](#)

[LCDモニター/ビューファインダーの表示を切り替える](#)

メモリーカードを使う

[メモリーカードについて](#)

[推奨メモリーカードについて](#)

[メモリーカードを入れる](#)

[メモリーカードを取り出す](#)

[メモリーカードを初期化する](#)

[残りの記録可能時間を確認する](#)

撮影する

基本操作手順

ズームを調節する

[ズームレバーでズームする](#)

[ズームの種類を選ぶ](#)

[ハンドルズームレバーでズームする](#)

[ズームリングでズームする](#)

フォーカスを調節する

[フォーカスを手動調節する](#)

[タッチ操作でフォーカスを合わせる](#)

[一時的に自動でフォーカスを合わせる](#)

[拡大表示をしてフォーカスを合わせる](#)

[フォーカスを自動調節する](#)

[オートフォーカスの対象領域/位置を設定する](#)

[フォーカスエリアをすばやく変更する](#)

[フォーカスエリア枠をタッチ操作で移動する](#)

[オートフォーカスの動作の調節をする](#)

[手動でフォーカス対象を変更する](#)

[一時的に手動でフォーカスを合わせる](#)

[人物を検出して追尾する](#)

[被写体を指定して追尾する](#)

[リアルタイムトラッキングAFを開始する](#)

[リアルタイムトラッキングAFを終了する](#)

[撮影時のご注意](#)

明るさを調節する

[アイリスを調節する](#)

[ゲインを調節する](#)

[シャッターを調節する](#)

[光量を調節する](#)

ホワイトバランスを調節する

- [ホワイトバランスを自動で調節する](#)
- [ホワイトバランスを手動で調節する](#)

手ブレ補正を設定する

- [手ブレ補正を使う](#)

音声を設定する

- [収録する音声を設定する](#)
- [音声入力機器を選ぶ](#)
- [録音レベルを自動調節する](#)
- [録音レベルを手動調節する](#)
- [オーディオ入力端子を増設する](#)

撮影機能を活用する

- [ダイレクトメニュー](#)
- [アサインボタン](#)
- [スロー&クイックモーション](#)
- [オートフレーミング](#)
- [メモリーカードAとメモリーカードBの両方に記録する](#)
- [映像信号モニター](#)
- [ガンマ表示アシスト機能](#)
- [クリップフラグ](#)

プロキシ記録をする

- [プロキシ記録](#)
- [プロキシクリップを分割記録し、転送する](#)

好みのルックで撮影する

- [ルックを選ぶ](#)
- [好みの基本ルックをインポートする](#)
- [ルックをカスタマイズする](#)
- [ルックを保存する](#)
- [基本ルックを削除する](#)

[暗い場所で撮影する](#)

ネットワークにつなぐ

[ネットワーク機能でできること](#)

Monitor & Controlを使う

- └ [「Monitor & Control」と接続する](#)

インターネットに接続する

- └ [無線LANでインターネットに接続する](#)
- └ [USBテザリングでインターネットに接続する](#)
- └ [有線LANでインターネットに接続する](#)

Creators' App for enterpriseを使う

- └ [「C3 Portal」へファイルを転送する](#)

ファイルを転送する

[ファイルを転送するための準備をする](#)

[クリップを選んで転送する](#)

[クリップを自動転送する](#)

[セキュアなFTP転送を行うには](#)

[ストリーミングする](#)

再生する

[サムネイル画面の構成](#)

[クリップを再生する](#)

[クリップを操作する](#)

設定を変更する

[メニュー一覧](#)

[フルメニューの操作方法](#)

[文字列を入力する](#)

[メニューをロックする](#)

[メニューのロックを解除する](#)

[画面を音声で読み上げる](#)

[画面を拡大表示する](#)

フルメニューから設定する

- └ [\[User\] メニュー](#)
- └ [\[Edit User Menu\] メニュー](#)

- [\[Shooting\] メニュー](#)
- [\[Project\] メニュー](#)
- [\[Paint/Look\] メニュー](#)
- [\[TC/Media\] メニュー](#)
- [\[Monitoring\] メニュー](#)
- [\[Audio\] メニュー](#)
- [\[Thumbnail\] メニュー](#)
- [\[Technical\] メニュー](#)
- [\[Network\] メニュー](#)
- [\[Maintenance\] メニュー](#)
- [\[ISO/Gain\] メニューの設定値と初期設定値](#)
- [\[AGC Limit\] の設定値と初期設定値](#)
- [\[Video Format\] / \[Quality\] / \[Bit Rate\] の設定値](#)
- [撮影モードごとの画質に関する設定状態の保存について](#)
- [設定内容をファイルに保存する](#)

外部機器を使う

モニターや記録装置を使う

- [外部モニター/レコーダーを接続するための準備をする](#)
- [SDI出力の外部機器と接続する \(PXW-Z200のみ\)](#)
- [HDMI出力の外部機器と接続する](#)
- [タイムコードを外部機器と合わせる \(PXW-Z200のみ\)](#)

リモートコントローラーを使う

- [モバイル機器やLANCリモコンを使う](#)
- [Bluetoothリモコンを使う](#)

コンピューターを使う

- [コンピューターでクリップを管理/編集する](#)

出力フォーマット

[SDI/HDMI出力端子の出力フォーマット \(PXW-Z200のみ\)](#)

[HDMI出力端子の出力フォーマット](#)

付録

[トラブル時の対処](#)

[エラー/警告表示](#)

[ファイルに保存される項目](#)

[ブロックダイアグラム](#)

[ライセンスについて](#)

[保証書とアフターサービス](#)

[仕様](#)

ソリッドステートメモリーカムコーダー
PXW-Z200/HXR-NX800

ヘルプガイドの使いかた

このヘルプガイドは、PXW-Z200およびHXR-NX800の機能や使いかたなどを説明している「Web取扱説明書」です。PXW-Z200にはSDI OUT端子およびTC IN/OUT端子が搭載されています。それ以外の機能や操作はPXW-Z200とHXR-NX800で共通です。異なる機能の説明やタイトルには対応する機種名を記載しています。ヘルプガイドで知りたい情報を探して、本機をご活用ください。

TP1001669951

5-060-574-01(2) Copyright 2024 Sony Corporation

ソリッドステートメモリーカムコーダー
PXW-Z200/HXR-NX800

使用上のご注意

結露について

本機を寒いところから急に暖かいところに持ち込んだときなど、機器表面や内部に水滴がつくことがあります。これを結露といいます。結露が起きたときは電源を切り、結露がなくなるまで放置し、結露がなくなってからご使用ください。結露時のご使用は機器の故障の原因となる場合があります。

LCDパネルについて

本機のLCD（液晶）パネルは有効画素99.99%以上の非常に精密度の高い技術で作られていますが、画面上に黒い点が現れたり（画素欠け）、常時点灯している輝点（赤、青、緑など）や減点がある場合があります。また、LCD（液晶）パネルの特性上、長期間ご使用の間に画素欠けが生じることもあります。これらの現象は故障ではありませんので、ご了承の上本機をお使いください。なお、これらの点が記録されることはありません。

有機ELパネルについて

- 本機のビューファインダーに使われている有機ELパネルは有効画素99.99%以上の非常に精密度の高い技術で作られていますが、画面上に黒い点が現れたり（画素欠け）、常時点灯している輝点（赤、青、緑など）や減点がある場合があります。また、有機ELパネルの特性上、長期間ご使用の間に画素欠けが生じることもあります。これらの現象は故障ではありませんので、ご了承の上本機をお使いください。なお、これらの点が記録されることはありません。
- 一般に、有機ELパネルはその特性上、焼き付き、輝度低下などが発生することがあります。これらは故障ではありませんので、ご了承の上本機をお使いください。ファインダー内で視線を動かした場合などに原色が見えることがありますが、故障ではありません。また、原色が実際にメモリーカードに記録されることはありません。

タッチパネル利用上のご注意

本製品のLCDモニターはタッチパネルになっており、指で直接触れて操作を行えます。

タッチパネルは指で軽く触れるように設計されています。指で強く押ししたり、先の尖ったもの（爪/ボールペン/ピンなど）を押し付けたりしないでください。

次の場合はタッチパネルに触れても動作しないことがあります。また、誤動作の原因となりますのでご注意ください。

- 爪の先での操作
- 異物を操作面に乗せたままでの操作
- 保護シートやシールなどを貼った状態での操作
- ディスプレイに水滴が付着または結露している状態での操作
- 濡れた指または汗で湿った指での操作

本機搭載のCMOSイメージセンサーの現象

ご注意

- 撮影画面に出る下記の現象は、イメージセンサー特有の現象で、故障ではありません。

白点

イメージセンサーは非常に精密な技術で作られていますが、宇宙線などの影響により、まれに画面上に微小な白点が発生する場合があります。

これはイメージセンサーの原理に起因するもので故障ではありません。

また、下記の場合、白点が見えやすくなります。

- 高温の環境で使用するとき
- ゲイン（感度）を上げたとき

フリッカー

蛍光灯、ナトリウム灯、水銀灯、LEDによる照明下で撮影すると、画面が明滅したり、色に変化したように見えることがあります。

有寿命部品について

- ファン、バッテリーは有寿命部品として定期的な交換が必要です。
常温でのご使用の場合、5年を目安に交換してください。ただし、交換時期は目安であり、部品の寿命を保証するものではありません。交換の際はお買い上げ店にご相談ください。
- ACアダプターと電解コンデンサの寿命は約5年です。（常温で1日に8時間、1カ月で25日間、通常に使用すると想定した場合）したがって、使用時間が上記より長い場合は、その分寿命は短くなります。
- 機器に搭載されているバッテリー端子（バッテリーパックやACアダプターとの接点部分）は消耗品です。
振動や衝撃によって端子が変形したり、曲がったり、あるいは長期の屋外での使用などによって表面が腐食したりすると、本体に電源が供給されなくなります。
長期間機器を使用していただくために、定期点検を実施することをお願いします。点検につきましては、ソニーのサービス担当者または営業担当者にご相談ください。

内蔵の充電式電池について

本機は日時や各種の設定を電源の入/切と関係なく保持するために、充電式電池を内蔵しています。内蔵の充電式電池は、本機の電源の入/切に関わらず、ACアダプターでコンセントにつながっているか、充電されたバッテリーを本機に装着した状態で24時間経過すれば充電されます。ACアダプターで電源につながらない、またはバッテリーを入れないままで2か月近くまったく使わないと完全に放電してしまいます。充電してから使ってください。ただし、充電式電池が充電されていない場合でも、使用時の日時を記録する必要がなければ本機を使えます。

使用場所・保管場所について

水平な場所、空調のある場所に保管してください。
次のような場所での使用・保管は避けてください。

- 極端に寒い所、暑い所（使用温度は0℃～40℃）。真夏、窓を閉め切った自動車内は50℃を越えることがあります。
- 湿気・ほこりの多い所。
- 雨が当たる所
- 激しく振動する所
- 強い磁気を発生するものの近く
- 強力な電波を発生するテレビやラジオの送信所の近く
- 直射日光が長時間当たる場所や暖房器具の近く

レーザービームについてのご注意

レーザービームはCMOSイメージセンサーに損傷を与えることがあります。レーザービームを使用した撮影環境では、CMOSイメージセンサー表面にレーザービームが照射されないように充分注意してください。特に医療用などの強力なレーザー光の場合は、反射光や散乱光でも損傷を与えることがあります。

医療機器に近づけない

本製品（付属品を含む）は磁石を使用しているため、ペースメーカー、水頭症治療用圧可変式シャントなどの医療機器に影響を与える恐れがあります。本製品をこれらの医療機器をご使用の方に近づけないでください。これらの医療機器を使用されている場合、本製品のご使用前に担当医師にご相談ください。

携帯電話などによる電波障害を防止するために

携帯電話などを本機の近くで使用すると、誤動作を引き起こしたり、映像、音声などに影響を与えることがあります。本機の近くでは、携帯電話などの電源はできるだけ切ってください。

セキュリティに関するご注意

- 通信を行う機器でセキュリティ対策を行わなかった結果、または、通信仕様上の、やむを得ない事情により、データ漏洩等、セキュリティ上の問題が発生した場合、弊社ではそれによって生じたあらゆる損害に対する責任を負いかねます。
- 使用環境によってはネットワーク上の意図せぬ第三者から製品にアクセスされる可能性があります。本機をネットワークに接続する際には、セキュアなネットワークであることをご確認の上ご使用ください。
- 利用者が気付かないうちに、電波が届くところから意図せぬ第三者に通信内容を盗み見られてしまうおそれがあります。無線LAN通信やBluetooth通信を利用する際は、通信内容を保護するために、適切なセキュリティ対策をしてください。
- 本製品のネットワークへの接続には、ルーターやファイアウォールなどの保護機能を通して接続をしてください。このような接続をしない場合、セキュリティ上の問題が生じる可能性があります。

記録機能についてのご注意

- 必ず事前に記録テストを行い、正常に記録されていることを確認してください。本機や記録メディア、外部ストレージなどを使用中、万一これらの不具合により記録されなかった場合の記録内容の補償については、ご容赦ください。

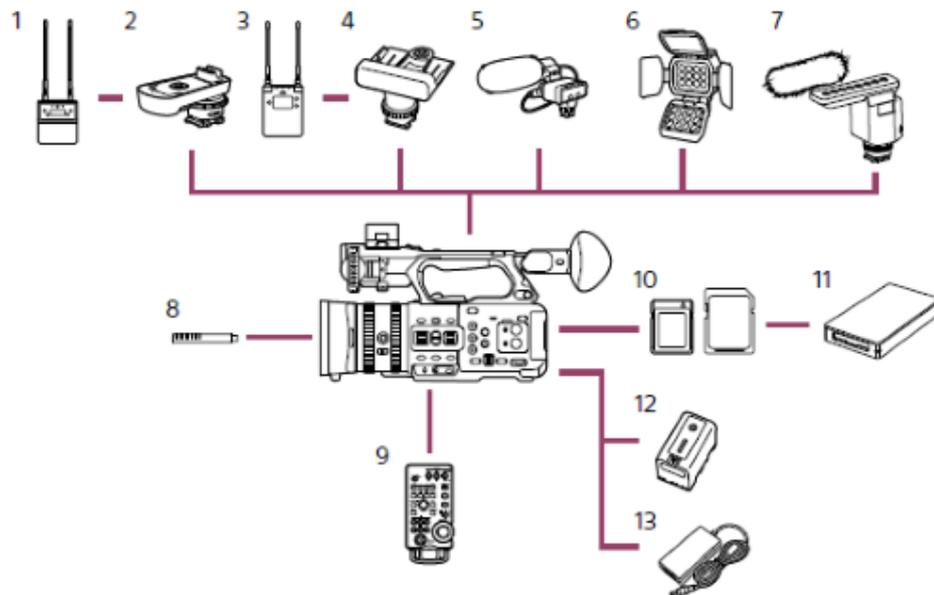
- お使いになる前に、必ず動作確認を行ってください。故障その他に伴う営業上の機会損失等は保証期間中および保証期間経過後にかかわらず、補償はいたしかねますのでご了承ください。
- 本製品を使用したことによるお客様、または第三者からのいかなる請求についても、当社は一切の責任を負いかねます。
- 本機内、記録メディア、外部のストレージ等に記録されたデータの損失、修復、複製の責任を負いかねます。
- 諸事情による本製品に関連するサービスの停止、中断について、一切の責任を負いかねます。

TP1001669952

5-060-574-01(2) Copyright 2024 Sony Corporation

ソリッドステートメモリーカムコーダー
PXW-Z200/HXR-NX800

システム構成例

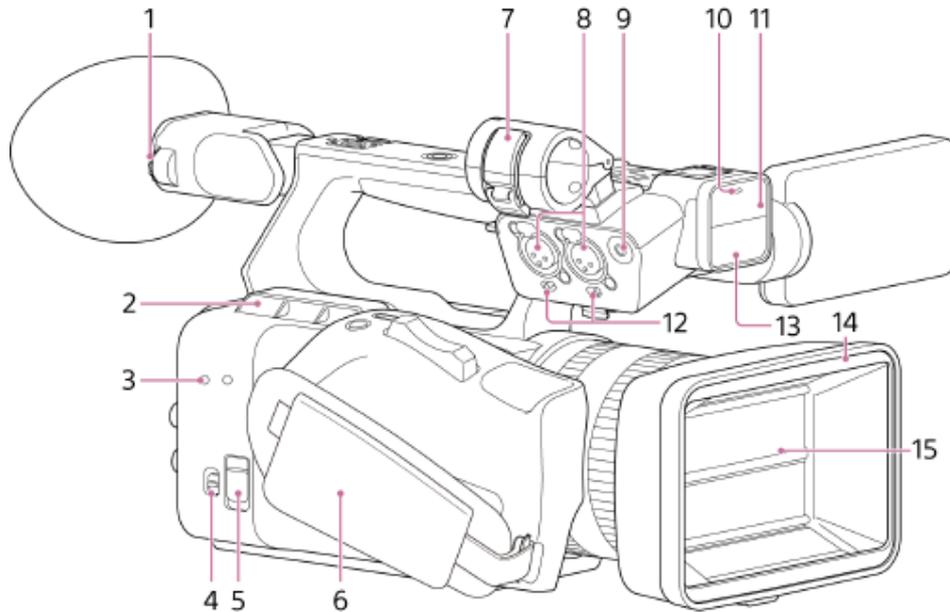


1. ワイヤレスマイクロホンパッケージ UWP-D21/UWP-D22
2. マルチインターフェースシューアダプター SMAD-P5
3. ワイヤレスマイクロホンレシーバー URX-P03D
4. マルチインターフェースシューアダプター SMAD-P3D
5. XLRアダプターキット XLR-K2M/XLR-K3M
6. ビデオライト HVL-LBPC
7. ショットガンマイクロホン ECM-B1M
8. マイクロホン ECM-VG1/ECM-MS2
9. リモートコントロールユニット RM-30BP
10. CFexpress Type Aメモリーカード/SDXCメモリーカード
11. CFexpress Type Aカードリーダー/SDカードリーダー
12. バッテリーパック BP-U35/BP-U70/BP-U100
13. ACアダプター (付属)

TP1001669953

ソリッドステートメモリーカムコーダー
PXW-Z200/HXR-NX800

左側面/前面部



1. 視度調整ダイヤル

つまみを回してビューファインダーを見やすく調整します。

2. 排気口

ご注意

- 排気口をふさがないでください。
- 排気口付近は高温になるためご注意ください。

3. アクセサリー取り付け用ネジ穴

ネジ穴のサイズはM3です。8 mm以下のネジをご使用ください。

4. TC IN/OUTスイッチ

TC IN/OUT端子の入力/出力を切り替えるスイッチです。PXW-Z200のみ装備されています。

5. REMOTE端子

汎用のLANC端子アクセサリを接続する端子です。

6. グリップベルト

7. マイクホルダー

8. INPUT 1/INPUT 2 (オーディオ入力) 端子

オーディオ入力用端子です。INPUT 1/INPUT 2端子に接続する機器に合わせて、INPUT 1/INPUT 2スイッチを設定します。

9. INPUT 3端子

φ3.5 mmステレオミニジャック (3極) のマイクを接続する端子です。

10. 記録/タリールンプ (フロント)

記録が始まると点灯します。記録メディアやバッテリー残量が少なくなると点滅します。

11. NIGHTSHOT用IRライト

12. INPUT 1/INPUT 2スイッチ (LINE/MIC/MIC+48V)

INPUT 1/INPUT 2端子に接続した音声機器に応じて切り替えます。

LINE : 外部音声機器 (ミキサーなど)
MIC : ダイナミックマイクや電池内蔵のマイク
MIC+48V: +48V電源 (ファンタム電源) 対応のマイク

13. ハンドル内蔵マイク
14. レンズフード
15. レンズフードシャッター

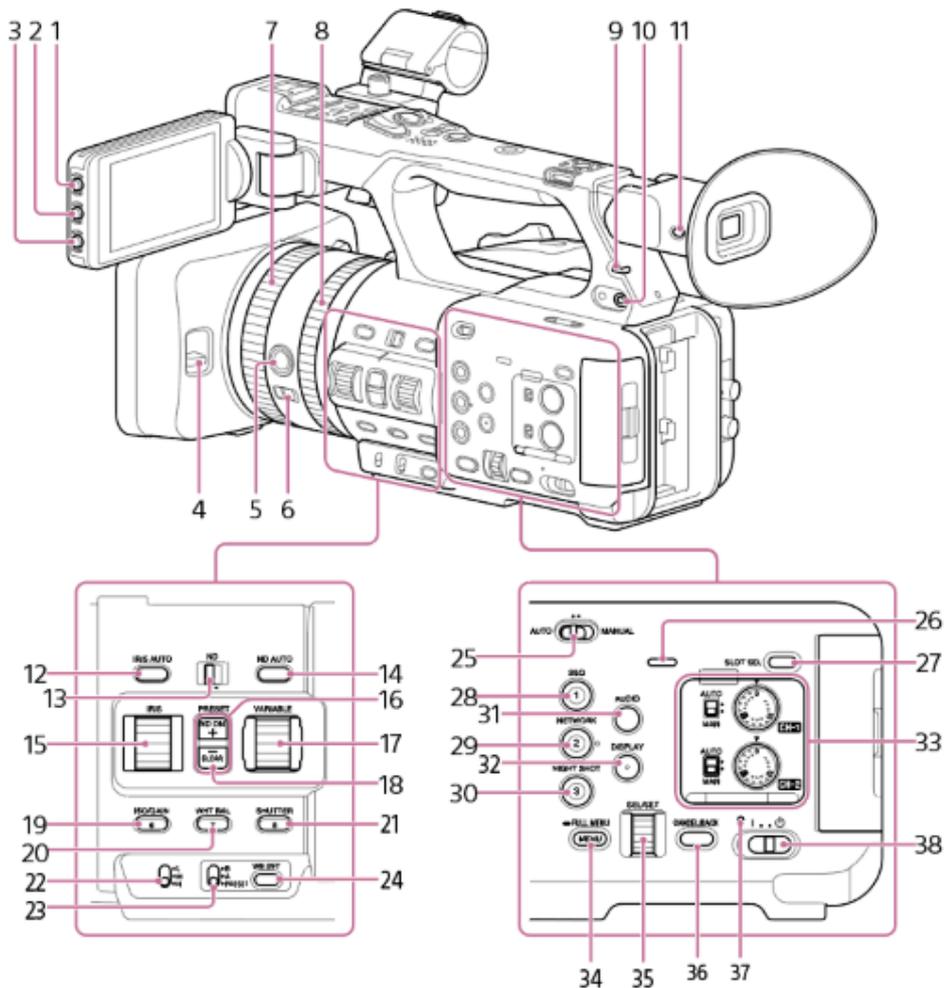
関連項目

- [ビューファインダーの角度を調節する](#)
- [タイムコードを外部機器と合わせる \(PXW-Z200のみ\)](#)
- [モバイル機器やLANCリモコンを使う](#)
- [マイクホルダーの取り外し](#)
- [収録する音声を設定する](#)
- [基本操作手順](#)
- [暗い場所で撮影する](#)
- [レンズフード \(付属\) を取り付ける](#)

TP1001669954

ソリッドステートメモリーカムコーダー
PXW-Z200/HXR-NX800

右側面部



1. PEAKINGボタン

ピーキングの設定を行います。

2. ZEBRAボタン

ゼブラパターン設定を行います。

3. ASSIGN (アサインナブル) 11ボタン

4. レンズフードシャッター開閉スイッチ

5. FOCUS PUSH AUTOボタン

マニュアルフォーカスモード時：ボタンを押している間だけオートフォーカスモードになります。
オートフォーカスモード時：ボタンを押している間だけマニュアルフォーカスモードになります。

6. FOCUSスイッチ

オートフォーカスモードとマニュアルフォーカスモードを切り替えるスイッチです。

7. フォーカスリング

8. ズームリング

9. 記録/タリーランプ (リア)

記録が始まると点灯します。

10. ヘッドホン端子

11. VF/LCD切り替えボタン

表示画面をビューファインダー/LCDモニターのいずれかに切り替えます。

12. IRIS AUTOボタン

アイリス調節モードを切り替えます。

13. NDスイッチ

NDフィルターの調節モードを切り替えます。左側がプリセットモード、右側がバリエーションモードです。

14. ND AUTOボタン

NDオートモードを設定します。NDバリエーションモード時のみ設定できます。

15. IRISダイヤル

IRISマニュアルモード時にアイリス値を調節します。

16. ND FILTER POSITION上下ボタン

17. ND VARIABLEダイヤル

NDマニュアルモード時にNDフィルターの濃度を調節します。

18. ND CLEARランプ

NDフィルターポジションがCLEARのときに点灯します。

19. ISO/GAIN / ASSIGN (アサインナブル) 6ボタン

20. WHT BAL/ASSIGN (アサインナブル) 7ボタン

21. SHUTTER/ASSIGN (アサインナブル) 8ボタン

22. ISO/GAINスイッチ

映像アンプのゲイン値を切り替えます。スイッチの各ポジションに対応するゲイン値は、[Camera] ステータス、またはフルメニューで設定します。

23. WHT BAL (ホワイトバランスメモリー切り替え) スイッチ

ホワイトバランスの調節モードを切り替えます。

24. WB SETボタン

WHT BALスイッチがAまたはBになっている場合にWB SETボタンを押すと、オートホワイトバランスを実行し、ホワイトバランスデータを内蔵メモリーに保存します。

25. AUTO/MANUALスイッチ

FULL AUTOモードとMANUAL撮影モードを切り替えます。

26. 本体内蔵スピーカー

27. SLOT SELECTボタン

メモリーカードが2枚装着されているときに、SLOT SELECTボタンを押してメモリーカードを切り替えます。

28. S&Q/ASSIGN (アサインナブル) 1ボタン

スロー&クイックモーションの設定をします。

29. NETWORK/ASSIGN (アサインナブル) 2ボタン

30. NIGHTSHOT/ASSIGN (アサインナブル) 3ボタン

31. AUDIOボタン

[Audio] ステータスが表示されます。

32. DISPLAYボタン

本機の状態や設定の表示/非表示を切り替えます。

33. オーディオ調節スイッチ

- AUTO/MANスイッチ
CH-1/CH-2の録音レベルをオートモードまたはマニュアルモードに切り替えます。
- AUDIO LEVEL (CH1/CH2) ダイヤル
マニュアルモード時にCH-1/CH-2の録音レベルを手動調節します。

34. MENUボタン

短く押すと、ステータス画面が表示されます。長押しすると、フルメニュー画面が表示されます。

35. マルチファンクションダイヤル

LCDモニター/ビューファインダーに映像が表示されているときに押すと、ダイレクトメニューが表示されます。
また、LCDモニター/ビューファインダーに各種メニューが表示されているときに回すと、カーソルが上下に移動して、メニュー項目や設定値を選択できます。押すと選択している項目を確定します。
メニューを表示していないときは、アサインブルダイヤルとして機能します。

36. CANCEL/BACKボタン

押すと一つ前の階層に戻ります。設定を変更する場合は、確定前の設定値がキャンセルされます。

37. 電源ランプ

38. 電源スイッチ

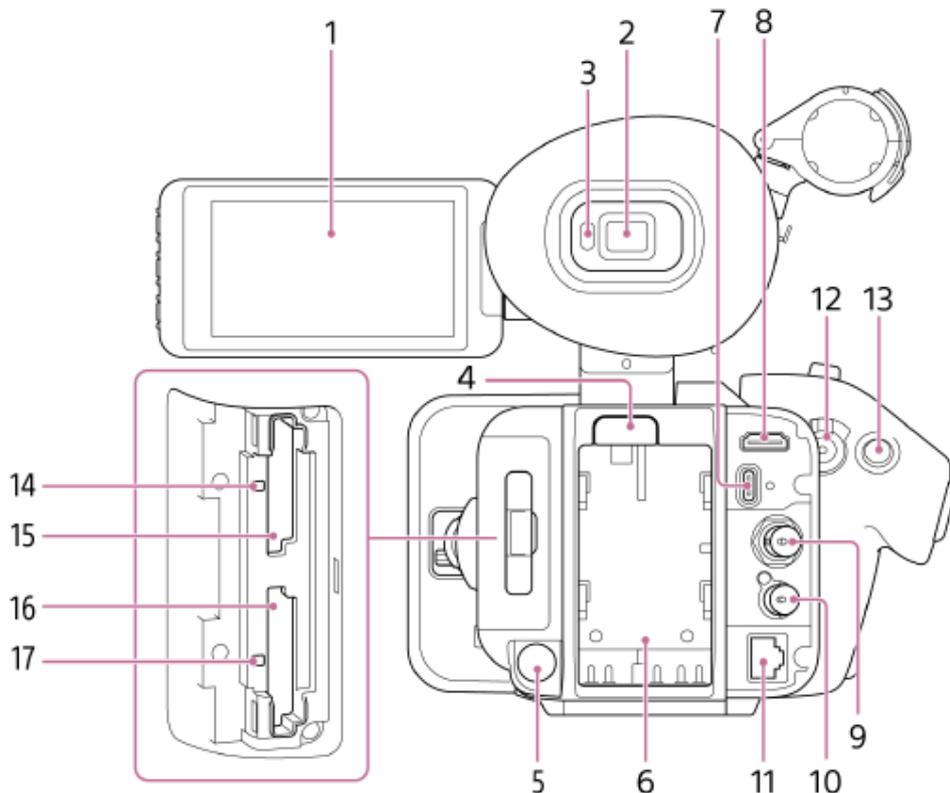
関連項目

- [アサインブルボタン](#)
- [レンズフード（付属）を取り付ける](#)
- [一時的に自動でフォーカスを合わせる](#)
- [フォーカスを手動調節する](#)
- [フォーカスを自動調節する](#)
- [ズームリングでズームする](#)
- [基本操作手順](#)
- [LCDモニター/ビューファインダーの表示を切り替える](#)
- [アイリスを調節する](#)
- [光量を調節する](#)
- [ゲインを調節する](#)
- [ホワイトバランスを手動で調節する](#)
- [シャッターを調節する](#)
- [メモリーカードを入れる](#)
- [スロー&クイックモーション](#)
- [ネットワーク機能でできること](#)
- [無線LANでインターネットに接続する](#)
- [有線LANでインターネットに接続する](#)
- [暗い場所で撮影する](#)
- [収録する音声を設定する](#)
- [画面表示](#)
- [録音レベルを手動調節する](#)
- [ステータス画面](#)
- [メニュー一覧](#)
- [ダイレクトメニュー](#)
- [電源を入れる/切る](#)

TP1001669955

ソリッドステートメモリーカムコーダー
PXW-Z200/HXR-NX800

背面部/端子部/カードスロット部



1. LCDモニター/タッチパネル

2. ビューファインダー

3. 接眼センサー

ビューファインダーへの接眼/非接眼を検知し、LCDモニターとビューファインダーの画面表示を制御します。

4. BATT RELEASE (バッテリー取り出し) ボタン

バッテリーを取り出すときにボタンを押します。

5. DC IN (DC電源入力) 端子

標準DCジャックです。

6. バッテリー取り付け部

7. USB-C™端子

USB Type-C用端子です。USB-C端子右側のネジ穴は、Type-Cケーブル固定用のネジ穴です。

8. HDMI出力端子

HDMI信号を出力する端子です。

9. SDI OUT端子 (BNC型)

SDI信号を出力する端子です。PXW-Z200のみ装備されています。

10. TC IN/OUT端子 (BNC型)

タイムコードの入力/出力用端子です。PXW-Z200のみ装備されています。

TC IN/OUTスイッチの設定によって、以下の用途に使用します。

IN：本機のタイムコードを外部ロックさせるとき、基準となるタイムコード信号を入力する端子となります。

OUT：外部機器のタイムコードを、本機のタイムコードでロックさせるとき、本機のタイムコード信号を出力する端子となります。

11. LAN端子

有線LAN用端子です。

12. 録画START/STOPボタン/HOLDスイッチ（グリップ）

録画START/STOPボタンを押すとランプが点灯し記録が開始されます。もう一度押すとランプが消灯し記録が停止します。HOLDスイッチをHOLD側にしておくと、録画START/STOPボタンが押せなくなります。

13. マルチセレクター

オートフォーカス操作やメニュー操作時等に使用し、8方向にカーソルを移動したり、押すと値の選択や決定ができます。

14. アクセスランプA

15. CFexpress Type A/SDカードスロット（A）

16. CFexpress Type A/SDカードスロット（B）

17. アクセスランプB

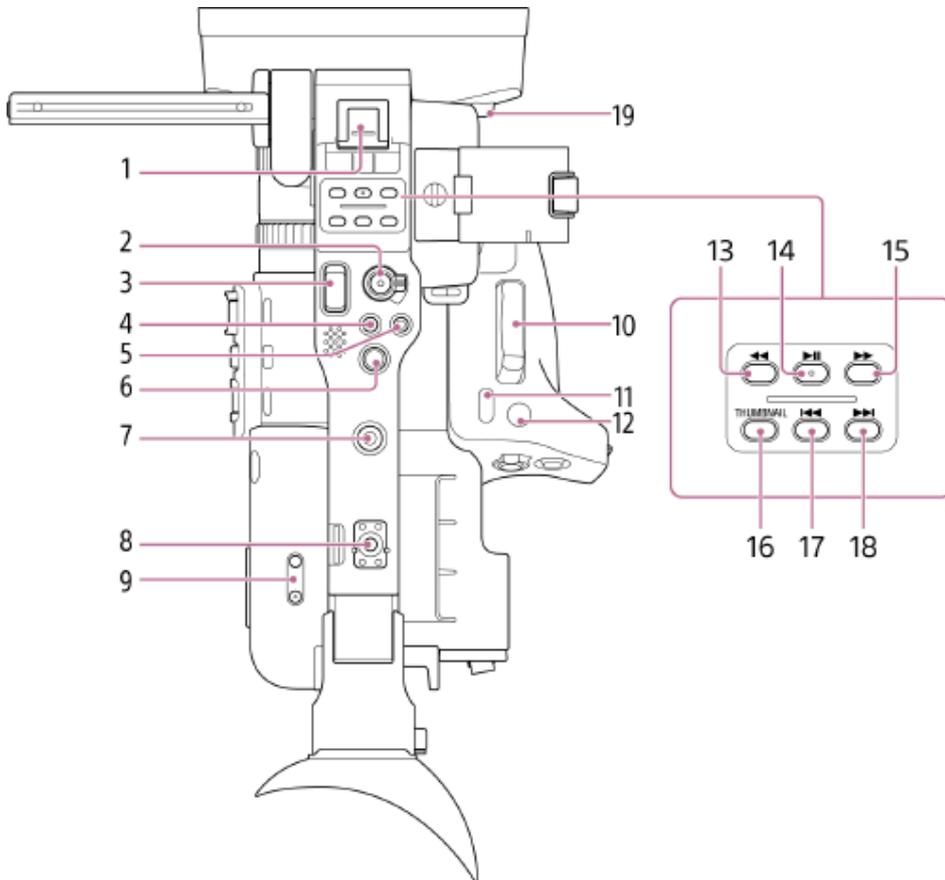
関連項目

- [LCDモニターの角度を調節する](#)
- [タッチパネルの使いかた](#)
- [大型アイカップを取り付ける](#)
- [ビューファインダーの角度を調節する](#)
- [ビューファインダーの明るさを調節する](#)
- [LCDモニター/ビューファインダーの表示を切り替える](#)
- [画面表示](#)
- [バッテリーパックを使う](#)
- [ACアダプターを使う](#)
- [「C3 Portal」へファイルを転送する](#)
- [コンピューターでクリップを管理/編集する](#)
- [HDMI出力の外部機器と接続する](#)
- [SDI/HDMI出力端子の出力フォーマット（PXW-Z200のみ）](#)
- [HDMI出力端子の出力フォーマット](#)
- [SDI出力の外部機器と接続する（PXW-Z200のみ）](#)
- [タイムコードを外部機器と合わせる（PXW-Z200のみ）](#)
- [有線LANでインターネットに接続する](#)
- [基本操作手順](#)
- [メモリーカードAとメモリーカードBの両方に記録する](#)
- [メモリーカードを入れる](#)

TP1001669956

ソリッドステートメモリーカムコーダー
PXW-Z200/HXR-NX800

上面部/ハンドル部



1. マルチインターフェースシュー



マルチインターフェースシュー対応アクセサリについて、詳しくは販売店にお問い合わせください。

2. 録画START/STOPボタン/HOLDスイッチ (ハンドル)

録画START/STOPボタンを押すとランプが点灯し記録が開始されます。もう一度押すとランプが消灯し記録が停止します。HOLDスイッチをHOLD側にしておくと、録画START/STOPボタンが押せなくなります。

3. ハンドルズームレバー

広角または望遠のどちらかに動かします。軽く動かすとゆっくり、さらに動かすと速くズームします。

4. ASSIGN (アサインابل) 9ボタン

5. ASSIGN (アサインابل) 10ボタン

6. マルチセレクター

オートフォーカス操作やメニュー操作時等に使用し、8方向にカーソルを移動したり、押すと値の選択や決定ができます。

7. アクセサリー取り付け用ネジ穴

ネジ穴1/4インチ、1/4-20UNCのネジ（長さ6 mm以下）に対応しています。

ご注意

- 6 mmより長いネジを使用すると、外装部品が破損するおそれがあります。

8. アクセサリーシュー取り付け部/アクセサリ取り付け用ネジ穴

1/4インチのネジに対応しています。

9. ボリュームボタン

ヘッドホン/内蔵スピーカーの音量を調節します。

10. ズームレバー (グリップ)

広角または望遠のどちらかに動かします。軽く動かすとゆっくり、さらに動かすと速くズームします。

11. DIRECT MENU/ASSIGN (アサインابل) 5ボタン

12. FOCUS MAG/ASSIGN (アサインابل) 4ボタン

13. F REVボタン

逆方向に高速再生します。もう一度押すとさらに高速になります (3段階まで)。

14. PLAY/PAUSEボタン

再生を一時停止します。もう一度押すと再生に戻ります。

15. F FWDボタン

順方向に高速再生します。もう一度押すとさらに高速になります (3段階まで)。

16. THUMBNAILボタン

撮像状態または再生状態でボタンを押すと、サムネイル画面が表示されます。もう一度押すと撮像状態に戻ります。

17. PREVボタン

クリップの先頭画にジャンプします。先頭画にいた場合、再生位置の逆方向にクリップジャンプします。PREVボタンを押した状態でF REVボタンを押すと、記録メディア内の先頭クリップの先頭画にジャンプします。

18. NEXTボタン

再生位置の順方向にクリップジャンプします。

最終クリップにいた場合は、最終クリップの最終画にジャンプします。NEXTボタンを押した状態でF FWDボタンを押すと、記録メディア内の最終クリップの最終画にジャンプします。

19. レンズフード取り外しボタン

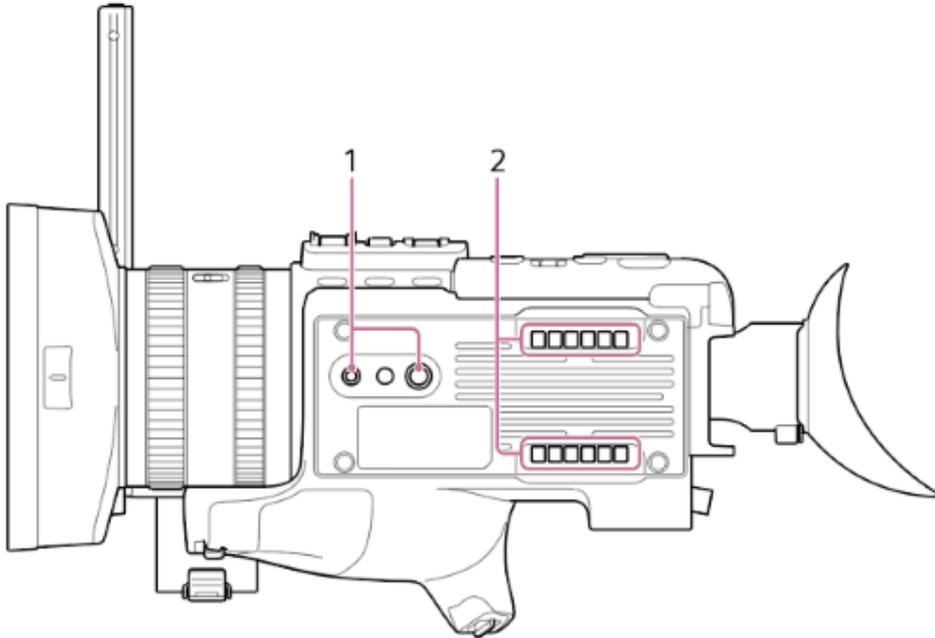
関連項目

- [収録する音声を設定する](#)
- [音声入力機器を選ぶ](#)
- [オーディオ入力端子を増設する](#)
- [基本操作手順](#)
- [メモリーカードAとメモリーカードBの両方に記録する](#)
- [ズームレバーでズームする](#)
- [アサインابلボタン](#)
- [ダイレクトメニュー](#)
- [拡大表示をしてフォーカスを合わせる](#)
- [クリップを再生する](#)
- [レンズフード \(付属\) を取り付ける](#)

TP1001669957

ソリッドステートメモリーカムコーダー
PXW-Z200/HXR-NX800

底面部



1. 三脚用ネジ穴

1/4インチ (1/4-20UNCネジ)、3/8インチ (3/8-16UNCネジ) に対応しています。三脚 (別売、ネジの長さ5.5 mm以下) を取り付けます。

2. 吸気口

ご注意

- 吸気口をふさがらないでください。

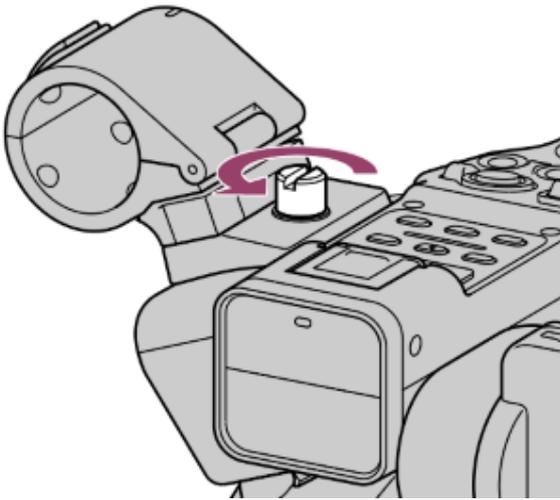
TP1001669958

ソリッドステートメモリーカムコーダー
PXW-Z200/HXR-NX800

マイクホルダーの取り外し

本機はマイクホルダーを取り外して収納サイズを小さくすることができます。

- 1 ネジを緩めてマイクホルダーを取り外す。



ご注意

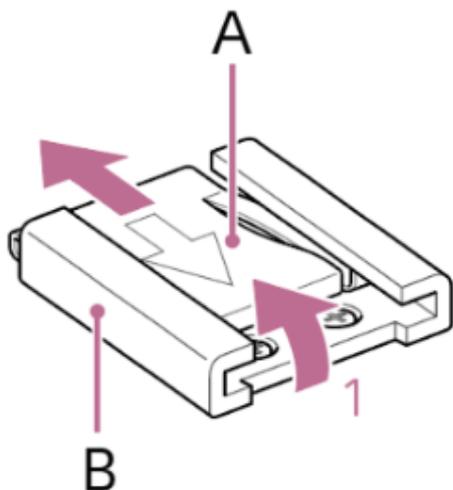
- マイクホルダーを取り付けるときは、マイクが落下することがあるのでネジを確実に締めてください。

TP1001669959

ソリッドステートメモリーカムコーダー
PXW-Z200/HXR-NX800

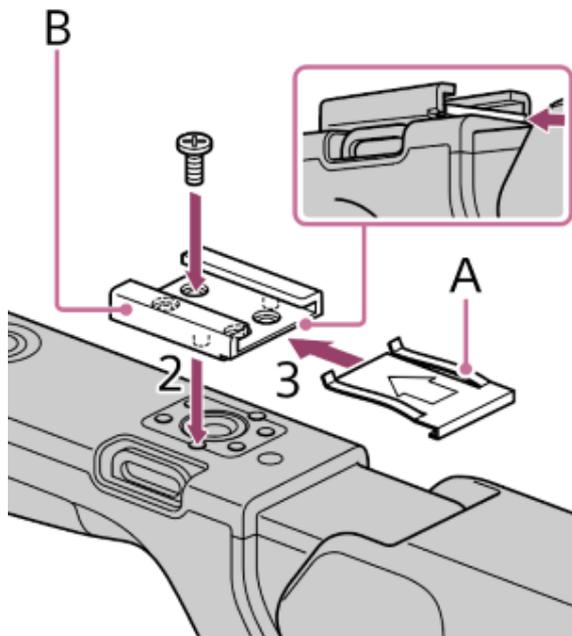
アクセサリシューの取り付け

- 1 シューバネ (A) の先端を持ち上げ、刻印された矢印の向きと反対方向へ引き抜く。



- 2 アクセサリシュー (B) の凸部とアクセサリシュー取り付け部の凹部を合わせて取り付け、4本のネジを締める。

- 3 シューバネ (A) を矢印の方向に挿入し、コの字部分がアクセサリシューの端部にはまるように取り付ける。



ヒント

- アクセサリシューを取り外す場合は、手順1と同様にシューバネを外し、ネジを緩めてアクセサリシューを外します。

ソリッドステートメモリーカムコーダー
PXW-Z200/HXR-NX800

タッチパネルの使いかた

タッチパネル利用上のご注意

本製品のビューファインダーはタッチパネルになっており、指で直接触れて操作を行えます。タッチパネルは指で軽く触れるように設計されています。指で強く押ししたり、先の尖ったもの（爪/ボールペン/ピンなど）を押し付けたりしないでください。

次の場合はタッチパネルに触れても動作しないことがあります。また、誤動作の原因となりますのでご注意ください。

- 爪の先での操作
- 異物を操作面に乗せたままでの操作
- 保護シートやシールなどを貼った状態での操作
- ディスプレイに水滴が付着または結露している状態での操作
- 濡れた指または汗で湿った指での操作

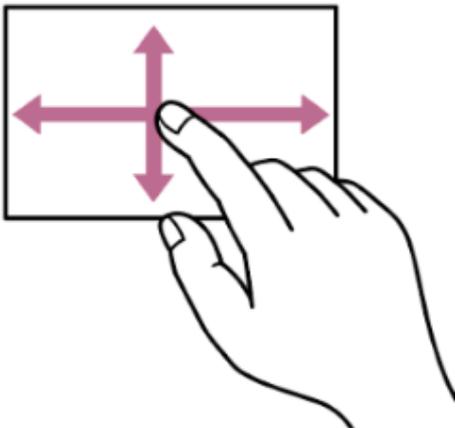
タッチパネル上の操作

タップ

アイコンやメニューなどの項目に指で軽く触れ、すぐに離します。

ドラッグ

画面に触れたまま目的の位置までなぞって指を離します。



フリック/スワイプ

画面に触れて上下または左右にはらうように操作します。



ヒント

- 表示内容が画面の外へ続く場合は、表示内容をドラッグしたりフリックしたりしてスクロールさせることができます。

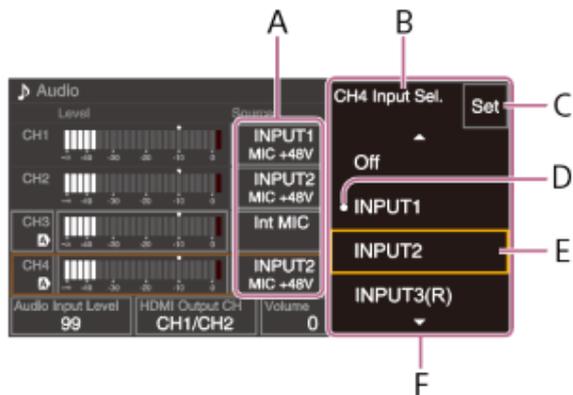
タッチパネルの設定

タッチパネルを利用するかどうかは、フルメニューの [Technical] - [Touch Operation] で設定できます。

タッチ操作対応設定画面の使いかた

ステータス画面での操作を例に、タッチ操作での設定方法を説明します。

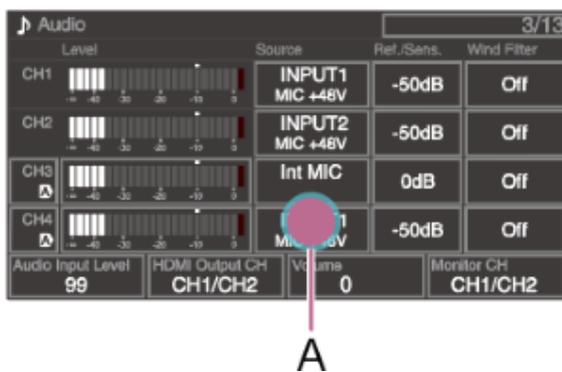
画面構成



- A: 設定項目
- B: 設定項目名
- C: [Set] (決定) ボタン
- D: 直前の設定値を示す印
- E: 設定値選択カーソル (橙色枠)
- F: 設定値の選択肢

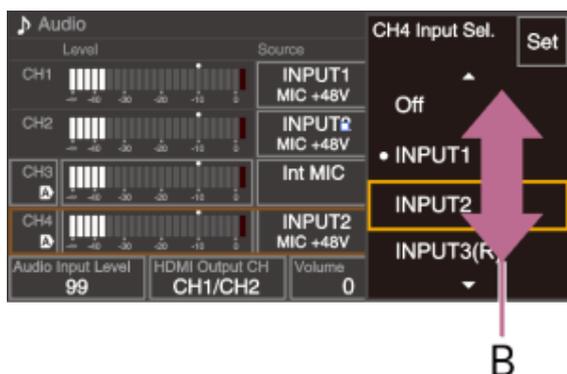
操作方法

1. 設定項目をタップ (A) する。



設定値の選択肢が表示されます。

2. 設定値をドラッグまたはフリック (B) して選択する。



3. [Set] または設定値選択カーソルをタップする。
設定値を確定し元の画面に戻ります。

ヒント

- CANCEL/BACKボタンを押すと直前の設定値に戻ります。
- マルチファンクションダイヤルやマルチセレクターでも操作できます。
- タッチ操作を無効にすることもできます。

TP1001669961

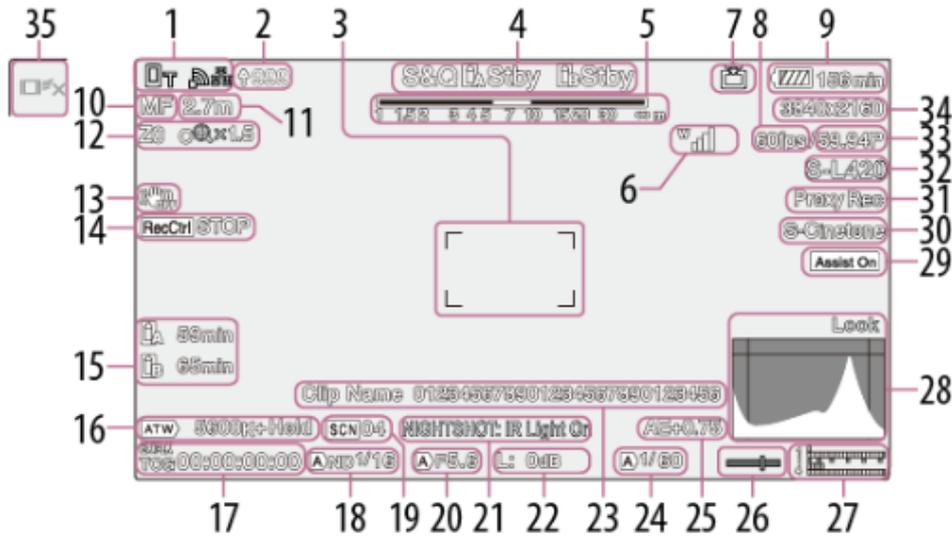
5-060-574-01(2) Copyright 2024 Sony Corporation

ソリッドステートメモリーカムコーダー
PXW-Z200/HXR-NX800

画面表示

撮影中（記録中/記録待機中）および再生中は、映像に本機の状態や設定が重ねて表示されます。表示/非表示の切り替えは、DISPLAYボタンで行います。非表示にした場合も、ダイレクトメニューの操作中は表示されます。また、項目ごとに表示/非表示を選択することもできます。

撮影中の画面に表示される情報



1. ネットワーク状態

ネットワーク接続の状態がアイコンで表示されます。

2. アップロード中表示/転送ファイル残数

3. フォーカスエリア

オートフォーカスでフォーカスを合わせる領域が表示されます。

4. スロットA/Bの記録モード/動作状態

表示	意味
● Rec	記録中
Stby	記録待機中

5. 被写界深度

6. UWP-Dシリーズの状態

UWP-DシリーズをMIシューにデジタルオーディオ伝送の設定で接続したとき、電波強度を示すRFレベルなどがアイコンで表示されます。

7. ストリーミング状態

SRTの場合、ARCによるビットレートが併せて表示されます。

表示	意味
	ストリーミング送信している状態
	ストリーミング送信への移行中状態
	エラーが発生してストリーミング送信していない状態

8. スロー&クイックモーション撮像フレームレート
9. バッテリー残量/DC IN電圧
10. フォーカスモード

表示	意味
Focus Hold	[Focus Hold] モード
MF	MFモード
AF	AFモード
	リアルタイムトラッキングAFモード
被写体認識AF (AF/人/Only/人/!)	
人	人物検出アイコン
Only	人物限定AFアイコン
人	保存された追尾顔ありアイコン
!	AF一時停止アイコン ¹⁾

1) オートフォーカス動作中にオートフォーカス動作が継続できず、一時的にオートフォーカス動作が停止したときに表示されます。オートフォーカス動作を停止する原因が解消し、オートフォーカス動作を再開すると、非表示になります。

11. フォーカスポジション

フォーカスの位置が表示されます。

12. ズームポジション

ズームの位置が0（広角端）～99（望遠端）の範囲で表示されます。
バー表示に変えることもできます。
全画素超解像ズームを有効にすると、以下の表示が追加されます。

表示	意味
	全画素超解像ズーム機能が有効
倍率数値	全画素超解像ズーム中

13. 手ブレ補正モード

14. SDI出力/HDMI出力の [Rec Control] 状態

SDI/HDMI出力信号の出力状態を表示します。

15. 記録メディア残量

表示	意味
	マウント処理中/マウント状態（ [Media(A)] ）
	マウント処理中/マウント状態（ [Media(B)] ）
	マウント処理中/マウント状態（ [Media(B)] ） ¹⁾
 (点滅)	マウント状態（記録不可）（ [Media(B)] ） ^{1) 2)}

1) プロキシクリップのみを記録する場合

2) 記録開始時または記録中にエラーや残量がなくなった場合
メモリーカードがプロテクトされている場合は、（プロテクト）マークが表示されます。

16. ホワイトバランスモード

表示	意味
	自動モード
 [Hold]	自動モード一時停止
W:P	プリセットモード
W:A	メモリーAモード
W:B	メモリーBモード

17. タイムコード外部ロック/タイムデータ

他機のタイムコードにロックさせると「EXT-LK」と表示されます。

18. NDフィルター

表示	意味
	自動モード

19. シーンファイル

20. アイリス

アイリスの位置（F値）が表示されます。

21. [NIGHTSHOT] 状態/映像レベル注意

22. ゲイン

撮影モードが [Custom] のときはゲイン値またはISO値、ログ撮影のときはISO値を表示します。

表示	意味
	自動モード
H	プリセットHモード
M	プリセットMモード
L	プリセットLモード
	一時調節モード

23. クリップ名

記録中または次に記録するクリップの名前が表示されます。

24. シャッター

25. AEモード/AEレベル

26. 水準器

本機の水平方向の傾きが $\pm 1^\circ$ 刻みで $\pm 15^\circ$ まで表示されます。

27. オーディオレベルメーター

CH1～CH4のオーディオレベルを表示します。

28. 映像信号モニター

ウェーブフォーム、ベクトルスコープ、ヒストグラムを表示します。

オレンジの線はゼブラレベルの設定値を表します。

撮影モードがログ撮影のときは、表示の上にモニター対象としているLUTの適用状態を表示します。[LUT Off] 時は、色域設定が表示されます。[LUT On] 時は、適用されているLUTの種類に関わらず「Look」が表示されます。

29. ガンマ表示アシスト/基本ルック

撮影モードが [Custom] のときは、ガンマ表示アシストの状態を表示します。ガンマ表示アシストの表示/非表示は、[Gamma Display Assist] が割り当てられたアサインボタンで切り替えることができます。

ログ撮影のときは、基本ルックの設定値を表示します。

30. 記録映像表示

メモリーカードに記録される映像信号を表示します。撮影モードが [Custom] のときは、基本ルックの設定値を表示します。

ログ撮影のときは、色域の設定を表示します。

31. プロキシ状態

表示	意味
Proxy	プロキシ記録オン
Proxy Rec	プロキシ記録中
Proxy Rec (点滅)	プロキシ記録準備中
PxChunk	プロキシ分割記録オン
PxChunk Rec	プロキシ分割記録中
PxChunk Rec (点滅)	プロキシ分割記録準備中

32. 記録フォーマット (コーデック) 表示

メモリーカードに記録されるフォーマット名称を表示します。

33. 記録フォーマット (フレームレートとスキャン方式)

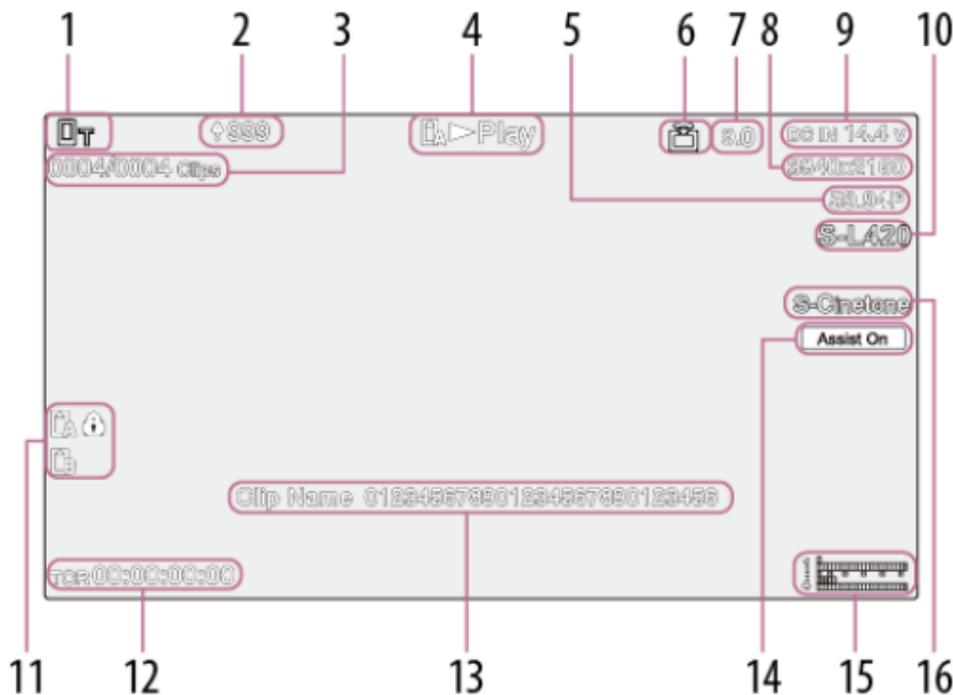
34. 記録フォーマット (画サイズ) 表示

メモリーカードに記録される画サイズを表示します。

35. リアルタイムトラッキングAF終了ボタン

再生中の画面に表示される情報

再生画像には、次のような情報が重ねて表示されます。



1. ネットワーク状態
2. アップロード中表示/転送ファイル残数
3. クリップ番号/クリップ総数
4. 再生動作状態
5. 再生フォーマット (フレームレートとスキャン方式)

6. ストリーミング状態

7. ビットレート

SRTストリーミング時に [ARC] が [On] の場合は、ビットレートが表示されます。ビットレートがARC機能によって設定した値より低下すると点滅表示されます。

8. 再生フォーマット (画サイズ)

9. バッテリー残量/DC IN電圧

10. 再生フォーマット (コーデック)

11. 記録メディア

メモリーカードがプロテクトされている場合は、 (プロテクト) マークが表示されます。

12. タイムデータ

13. クリップ名

14. ガンマ表示アシスト

撮影モードが [Custom] のときは、ガンマ表示アシストの状態を表示します。

ログ撮影のときは、適用されたモニターLUTを表示します。

15. オーディオレベルメーター

再生オーディオレベルを表示します。

16. 再生中クリップの記録ガンマ

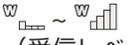
再生中のクリップが [HLG] または [S-Log3] で記録されていた場合に、それぞれ記録ガンマを表示します。

アイコンについて

ネットワーク接続のアイコン

ネットワークモード	接続状態	アイコン
アクセスポイントモード	アクセスポイントとして動作中	
	アクセスポイント動作エラー	
ステーションモード	Wi-Fi接続中 電波強度によりアイコンが変化 (4段階)	
	Wi-Fi接続切断 (準備中含む)	
	Wi-Fi接続エラー	
有線LAN	有線LAN接続中	
	有線LAN切断	
	有線LANエラー	
USBテザリング	USBテザリング接続中	
	USBテザリング切断	
	USBテザリングエラー	
Bluetooth	Bluetooth機能がオン	

UWP-Dシリーズのアイコン

送信機の状態	受信状態	アイコン
電源オフ	未受信	
通常送信状態	受信中	 (受信レベルを4段階で表示)
ミュート状態	受信中 (ミュート中)	

送信機の状態	受信状態	アイコン
バッテリー残量警告状態	受信中	 (アイコン点滅)
ミュート、かつバッテリー残量警告状態	受信中	 (アイコン点滅)

関連項目

- プロキシクリップを分割記録し、転送する
- 無線LANでインターネットに接続する
- USBテザリングでインターネットに接続する
- 有線LANでインターネットに接続する
- 基本操作手順
- ゲインを調節する
- ストリーミングする
- スロー&クイックモーション
- 手ブレ補正を使う
- 残りの記録可能時間を確認する
- ホワイトバランスを手動で調節する
- タイムコードを外部機器と合わせる (PXW-Z200のみ)
- ルックを選ぶ
- ルックを保存する
- ファイルに保存される項目
- サムネイル画面の構成
- 映像信号モニター
- ガンマ表示アシスト機能
- プロキシ記録
- リアルタイムトラッキングAFを終了する

TP1001669962

ソリッドステートメモリーカムコーダー
PXW-Z200/HXR-NX800

ステータス画面

ステータス画面では、本機の設定や状態を確認することができます。また、*印が付いている項目については設定を変更できません。

ステータス画面を表示させるには

- MENUボタンを押す。

ヒント

- フルメニューの [Technical] - [Menu Settings] - [Menu Page On/Off] で、各ステータス画面の表示/非表示を切り替えることができます。

ステータス画面を切り替えるには

- マルチファンクションダイヤルを回す。
- マルチセレクターを上下に操作する。
- ステータス画面を上下にスワイプする。

ステータス画面を消すには

- MENUボタンを押す。

設定を変更するには

ステータス画面の表示中にマルチファンクションダイヤルやマルチセレクターを押すと、ページ内の設定項目を選べるようになります。ページ番号を選んで押すと、ページ切り替えに戻ります。

なお、タッチ操作で直接選ぶこともできます。

ご注意

- フルメニューの [Technical] - [Menu Settings] - [User Menu Only] を [On] に設定すると、ステータス画面で設定変更できなくなります。

【Camera】ステータス画面

主に各種プリセットの状態を表示します。

表示項目	説明
[White Switch]	ホワイトバランスのメモリーBの設定値
[White Switch<A>]	ホワイトバランスのメモリーAの設定値
[White Switch<P>]	[Preset White] の設定値
[ND] <Preset> *	NDフィルターの [Preset] の設定値
[ISO/Gain<L>] *	[ISO/Gain<L>] の設定
[ISO/Gain<M>] *	[ISO/Gain<M>] の設定
[ISO/Gain<H>] *	[ISO/Gain<H>] の設定
[Zebra1] *	ゼブラ1のオン/オフとレベルの設定
[Zebra2] *	ゼブラ2のオン/オフとレベルの設定

表示項目	説明
[VF Gamma] / [Gamma]	ガンマカテゴリとカーブ
[Scene File] *	使用中のSceneファイルとそのファイルID

【Audio】ステータス画面

各チャンネルの入力設定、オーディオレベルメーターと音声モニターの設定を表示します。

表示項目		説明
[CH1]	[Level]	自動調節のオン/オフ状態 オーディオレベルメーター
	[Source] *	入力ソース
	[Reference] *	入力リファレンスレベル
	[Wind Filter] *	マイクの風音低減フィルターの設定
[CH2]	[Level]	自動調節のオン/オフ状態 オーディオレベルメーター
	[Source] *	入力ソース
	[Reference] *	入力リファレンスレベル
	[Wind Filter] *	マイクの風音低減フィルターの設定
[CH3]	[Level] *	自動調節のオン/オフ状態 オーディオレベルメーター
	[Source] *	入力ソース
	[Reference] *	入力リファレンスレベル
	[Wind Filter] *	マイクの風音低減フィルターの設定
[CH4]	[Level] *	自動調節のオン/オフ状態 オーディオレベルメーター
	[Source] *	入力ソース
	[Reference] *	入力リファレンスレベル
	[Wind Filter] *	マイクの風音低減フィルターの設定
[Audio Input Level] *		音声入力レベル（マスターボリューム）の設定
[HDMI Output CH] *		HDMIおよびヘッドホンに出力される音声チャンネルの設定
[Headphone Out] *		ヘッドホン出力方式の設定
[Monitor CH] *		モニターするチャンネルの設定

【Project】ステータス画面

撮影プロジェクトに関する基本的な設定を表示します。

表示項目	説明
[Frequency/Scan] *	システム周波数と走査方式の設定
[Codec] *	記録するコーデックの設定

表示項目	説明
[Rec Function] *	特殊な記録機能のオン/オフと主な設定
[Simul Rec] *	2スロット同時記録機能のオン/オフ状態と設定
[Title Name] *	クリップ名のタイトル部分
[Video Format] *	メモリーカードに記録する画サイズ
[Number]	クリップ名の最後の数値部分
[Shooting Mode] *	撮影モードの設定
[Auto Framing] *	オートフレーミング機能の設定
[Proxy Rec] *	プロキシ記録のオン/オフの設定

【Monitoring】ステータス画面

SDI/HDMI出力の設定を表示します。

表示項目		説明
[SDI] ¹⁾	[Signal] *	出力画サイズ
	[Info. Disp.] *	画面表示出力オン/オフ
	[Color Gamut] *	色域の設定値/モニターLUTの適用状態
[HDMI]	[Signal] *	出力画サイズ
	[Info. Disp.] *	画面表示出力オン/オフ
	[Color Gamut] *	色域の設定値/モニターLUTの適用状態
[Stream]	[Signal]	出力画サイズ
	[Info. Disp.]	画面表示出力（ [Off] 固定）
	[Color Gamut] *	色域の設定値/モニターLUTの適用状態
[LCD/VF]	[Color Gamut] *	ガンマ表示アシストの設定値/色域の設定値/モニターLUTの適用状態
[Base Look/LUT] *		[Base Look/LUT] の設定
[Gamma Display Assist] *		[Gamma Display Assist] のオン/オフ状態

1) PXW-Z200のみ

【Assignable Button】ステータス画面

各アサインボタンに割り当てた機能を表示します。

表示項目	説明
1	アサインボタン1ボタンに割り当てられている機能
2	アサインボタン2ボタンに割り当てられている機能
3	アサインボタン3ボタンに割り当てられている機能
4	アサインボタン4ボタンに割り当てられている機能
5	アサインボタン5ボタンに割り当てられている機能

表示項目	説明
6	アサインブル6ボタンに割り当てられている機能
7	アサインブル7ボタンに割り当てられている機能
8	アサインブル8ボタンに割り当てられている機能
9	アサインブル9ボタンに割り当てられている機能
10	アサインブル10ボタンに割り当てられている機能
11	アサインブル11ボタンに割り当てられている機能
[<PUSH AUTO>]	FOCUS PUSH AUTOボタンに割り当てられている機能
[Multi Function Dial]	マルチファンクションダイヤルに割り当てられている機能

【Battery】ステータス画面

バッテリーまたはDC IN電源の情報を表示します。

表示項目	説明
[Detected Battery]	バッテリーの種類
[Remaining]	残容量 (%)
[Charge Count]	充電を行った回数
[Capacity]	残容量 (Ah)
[Voltage]	バッテリー電圧 (V)
[Manufacture Date]	バッテリーの製造年月日
[Video Light Remaining]	ビデオライトバッテリー残量表示
[Power Source]	電源供給源
[Supplied Voltage]	供給電源電圧

【Media】ステータス画面

メモリーカードの残量および残記録可能時間を表示します。

表示項目	説明
メモリーカードAの情報	スロットAにメモリーカードが挿入されているとき、アイコンを表示する
メモリーカードAの残量メーター	スロットAに挿入されているメモリーカードの残容量を、残比率で表したバーで表示する
メモリーカードAの残時間	現在と同じ状態でスロットAに挿入されているメモリーカードに記録したときの予測残時間を分単位で表示する
メモリーカードAの初期化ボタン	押すとメモリーカードAを初期化するメニューを表示する
メモリーカードBの情報	スロットBにメモリーカードが挿入されているとき、アイコンを表示する
メモリーカードBの残量メーター	スロットBに挿入されているメモリーカードの残容量を、残比率で表したバーで表示する

表示項目	説明
メモリーカードBの残時間	現在と同じ状態でスロットBに挿入されているメモリーカードに記録したときの予測残時間を分単位で表示する
メモリーカードBの初期化ボタン	押すとメモリーカードBを初期化するメニューを表示する

【Network】ステータス画面

ネットワーク接続の接続状態を表示します。

表示項目	説明
[Wireless LAN] *	無線LANの設定、接続状態
[Wired LAN] *	有線LANの設定、接続状態
[USB Tethering] *	USBテザリングの設定、接続状態
[Bluetooth]	Bluetoothの設定、接続状態
[Show Authentication]	押すと本機に接続するためのユーザー名とパスワードを表示する

【Stream】ステータス画面

ストリーミングの状態を表示します。

表示項目	説明
[RTMP/RTMPS Status] */ [SRT-Caller Status] *	ストリーミング機能のオン/オフの設定 [On] 時はストリーミング機能の状態も表示する
[ARC]	[SRT-Caller 1] ~ [SRT-Caller 3] の自動レート制御機能のオン/オフ状態 [On] 時は自動レート制御の状態も表示する
[Destination] *	ストリーミングの送信先の設定
[Latency] / [TTL]	[SRT-Caller 1] ~ [SRT-Caller 3] のストリーミングのレイテンシー、TTLの表示
[Destination URL]	ストリーミングの送信先URLの表示
[Codec]	コーデックの表示
[Audio Channel]	音声チャンネルの表示
[Resolution] / [Bit Rate]	ストリーミングの解像度、ビットレートの表示

【File Transfer】ステータス画面

ファイル転送の情報を表示します。

表示項目	説明
[Auto Upload] *	[Auto Upload] のオン/オフ状態
[Auto Upload (Proxy)] *	[Auto Upload (Proxy)] のオン/オフ/分離状態
[Total Transfer Progress]	総ジョブの転送進捗状況
[Default Upload Server] *	[Auto Upload (Proxy)] の転送先サーバーの選択

表示項目	説明
[Job Status(Remain/Total)]	総ジョブ数と残りのジョブ数
[Current File Transfer Progress]	転送中ファイルの転送進捗状況
[Current Transferring File Name]	転送中のファイル名
[Server Address]	ファイル転送先サーバーのアドレス
[Destination Directory]	ファイル転送先サーバーの転送先ディレクトリー

TP1001669963

5-060-574-01(2) Copyright 2024 Sony Corporation

ソリッドステートメモリーカムコーダー
PXW-Z200/HXR-NX800

電源の準備

バッテリーパック、またはACアダプターを介してAC電源を使用できます。
安全のため、下記ソニー純正以外のバッテリーパックを使用しないでください。

リチウムイオンバッテリーパック

BP-U35

BP-U70

BP-U100

バッテリーチャージャー

BC-U1A

BC-U2A

ACアダプター (付属)



直射日光の下や火気の近くなど、高温のところにバッテリーを置かないでください。

ご注意

- AC電源につないで使うときは、付属のACアダプターをご使用ください。
- バッテリーパックやACアダプターは、必ず本機の電源スイッチを \odot (スタンバイ) の位置にしてから脱着してください。電源スイッチを \blacksquare (オン) の位置のまま脱着した場合、まれに起動しなくなることがあります。もし起動しなくなった場合には、電源スイッチを \odot (スタンバイ) の位置にしてからバッテリーパックおよびACアダプターを一旦取り外し、約30秒放置した後に取り付けてください。(バッテリーパックで動作中の本機にACアダプターを着脱する場合は、電源スイッチは \blacksquare (オン) の位置のままでも問題ありません。)

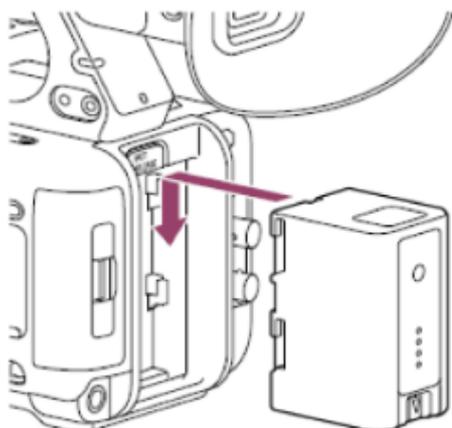
TP1001669964

ソリッドステートメモリーカムコーダー
PXW-Z200/HXR-NX800

バッテリーパックを使う

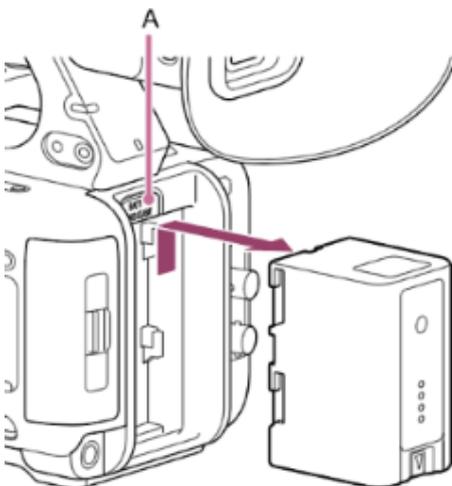
バッテリーパックを取り付ける

バッテリーパックをバッテリーパック装着部の奥まで差し込んで、下にスライドさせてロックする。



バッテリーパックを取り外す

BATT RELEASEボタン (A) を押しながらバッテリーパックを上にもスライドさせてロックを外し、引き抜く。



ご注意

- 装着する前に、専用のバッテリーチャージャーBC-U1A/BC-U2Aを使用して充電してください。
- 使用直後などバッテリーパックの温度が上昇した状態で充電すると、完全に充電されないことがあります。

残量を確認する

バッテリーパックを使用して撮影/再生しているときは、LCDモニター/ビューファインダーにバッテリー残量が表示されます。

アイコン	意味
	100%～91%
	90%～71%
	70%～51%
	50%～31%

アイコン	意味
	30%~11%
	10%~0%

残量は、現在の消費電流のペースで本機を継続使用した場合のバッテリーパックの使用可能時間を計算して、分単位で表示されます。

バッテリーパックの容量が低下すると

使用中にバッテリーパックの容量が一定の値まで低下すると（[Low Battery] 状態）、バッテリーパックの残りが少ないことを知らせるメッセージが画面に表示され、記録/タリーランプの点滅で警告します。

さらに容量が減り、動作が継続不可能な状態になると（[Battery Empty] 状態）、バッテリーパックの残りが少ないことを知らせるメッセージに切り替わります。

充電されたバッテリーパックに交換してください。

警告残量を変更する

工場出荷時には、[Low Battery] はフル充電の10%、[Battery Empty] は3%に設定されています。これらの設定は、フルメニューの [Technical] - [Camera Battery Alarm] で変更することもできます。

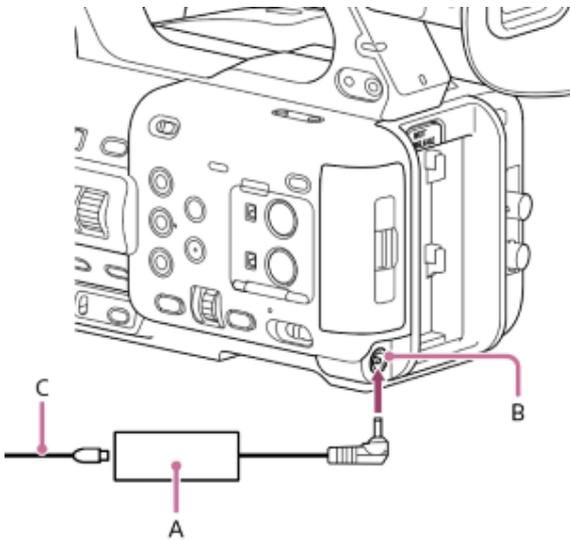
TP1001669965

5-060-574-01(2) Copyright 2024 Sony Corporation

ソリッドステートメモリーカムコーダー
PXW-Z200/HXR-NX800

ACアダプターを使う

ACアダプターを使うと、バッテリーが切れることを心配しないで使うことができます。



ACアダプター (A) を本体のDC IN端子 (B) につなぎ、電源コード (C) (付属) をAC電源に接続します。

ACアダプターの出力電圧が低下すると

使用中にACアダプターの出力電圧が一定の値まで低下すると ([DC Low Voltage1] 状態)、ACアダプターの出力電圧が低下していることを知らせるメッセージが画面に表示され、記録/タリールンプの点滅で警告します。

さらに電圧が低下し、動作が継続不可能な状態になると ([DC Low Voltage2] 状態)、ACアダプターの出力電圧が不足していることを知らせるメッセージに切り替わります。

ACアダプターが故障している可能性がありますので、必要に応じて点検を行ってください。

警告電圧を変更する

工場出荷時には、 [DC Low Voltage1] は16.5 V、 [DC Low Voltage2] は15.5 Vに設定されています。これらの設定は、フルメニューの [Technical] — [Camera DC IN Alarm] で変更することもできます。

ACアダプターについて

- ACアダプターを壁との隙間などの狭い場所に設置して使用しないでください。
- ACアダプターは手近なAC電源を使用してください。本機を使用中、不具合が生じたときはすぐにAC電源からプラグを抜き、電源を遮断してください。
- ACアダプターのプラグを金属類でショートさせないでください。故障の原因になります。
- ACアダプターをつないでも本機に装着したバッテリーを充電することはできません。
- ACアダプターを本体から取り外す際はプラグ部分を持って真っすぐ抜いてください。ケーブル部分を引っ張ると故障の原因になります。

TP1001669966

ソリッドステートメモリーカムコーダー
PXW-Z200/HXR-NX800

電源を入れる/切る

電源を入れるときは (オン) の位置にします。電源を切るときは (スタンバイ) の位置にします。

ご注意

- 本機は、電源スイッチを (スタンバイ) にした状態でも、わずかに待機電力を消費します。本機を長時間使用しないときは、バッテリーパックを取り外してください。
- バッテリーパックやACアダプターは、電源スイッチを (スタンバイ) にして電源ランプが消えてから取り外してください。電源スイッチが (オン) のまま取り外すと、本機やメモリーカードの故障の原因となることがあります。

TP1001669967

ソリッドステートメモリーカムコーダー
PXW-Z200/HXR-NX800

日付/時刻

本機を初めて使用するときやバックアップ電池が放電してしまった後に、初めて本機の電源を入れるとLCDモニター/ビューファインダーに初期設定画面が表示されます。

この画面を使用して内蔵時計の日付/時刻を設定してください。

【Time Zone】について

UTC（協定世界時）からの時差を設定します。必要に応じて変更してください。

マルチセレクターまたはマルチファンクションダイヤルで項目や数値を選び、マルチセレクターまたはマルチファンクションダイヤルを押して決定すると、時計が動き始めます。

設定画面が消えた後は、フルメニューの【Maintenance】 - 【Clock Set】で【Time Zone】および日時の設定を変更することができます。

ご注意

- 電源が供給されていない（バッテリーパックもACアダプターも接続されていない）状態でバックアップ電池が消耗するなどして現在日時の情報が失われた場合は、次に電源を入れると初期設定画面が表示されます。
- 初期設定画面が表示されている状態では、この画面での設定が完了するまで電源を切る以外の操作はできません。
- 本機は日時や各種の設定を電源の入/切と関係なく保持するために、充電式電池を内蔵しています。

TP1001669968

ソリッドステートメモリーカムコーダー
PXW-Z200/HXR-NX800

アクセシビリティ機能の概要

本機には、視覚を補助するためのアクセシビリティ機能が搭載されています。画面上のテキストなどの情報を音声で読み上げる機能と、拡大して表示する機能があります。

アクセシビリティ機能は、初期設定画面またはフルメニューの [Maintenance] - [ Accessibility] から設定できます。

音声読み上げ機能

フルメニューの [Maintenance] - [ Accessibility] - [Screen Reader] で、音声読み上げ機能のオン/オフや読み上げ速度などの詳細な設定ができます。

画面拡大機能

フルメニューの [Maintenance] - [ Accessibility] - [Enlarge Screen] で、画面拡大機能のオン/オフや拡大倍率などの詳細な設定ができます。

ヒント

- 記録映像、再生映像のほか、一部の表示物は拡大しません。

関連項目

- [画面を音声で読み上げる](#)
- [画面を拡大表示する](#)

TP1001669969

ソリッドステートメモリーカムコーダー
PXW-Z200/HXR-NX800

基本動作の設定

撮影を始める前に、運用形態に合わせて、[Project] ステータス画面で基本動作の設定を行います。

Project		3/10
Frequency/Scan	59.94P	Shooting Mode Custom (709)
Codec	XAVC S-L 420	Video Format 3840×2160P
Rec Function	Off	Auto Framing Off
Simul Rec	Off	Proxy Rec Off
Title Name	C	Number 0001

関連項目

- [ステータス画面](#)

TP1001671379

ソリッドステートメモリーカムコーダー
PXW-Z200/HXR-NX800

撮影モード

本機では現場で自在に映像の作り込みができるカスタム撮影と、ポストプロダクション処理を前提とし、現場では絵作りを行わないフィルムカメラと同等の使い方ができるログ撮影を切り替えて使用します。

[Project] ステータス画面の [Shooting Mode] で切り替えます。

ヒント

- フルメニューの [Project] - [Base Setting] - [Shooting Mode] でも設定できます。

カスタム撮影：[Custom]

撮影モードが [Custom] のときは、映像規格を選ぶことができます。

フルメニューの [Project] - [Base Setting] - [Target Display] で切り替えます。

- [SDR(BT.709)] : HD放送の規格に準じた撮影
- [HDR(HLG)] : 次世代の4K放送の規格に準じた撮影

ログ撮影：[Flexible ISO]

撮影シーンに合わせたISO感度による露出設定でS-Log3の素材を記録します。

まず、記録信号および出力信号のベースとなる色域を選択します。ここで選択した色域が、記録映像、および [LUT] を [Off] に設定した映像出力の色域となります。

フルメニューの [Project] - [Flexible ISO Setting] - [Color Gamut] で切り替えます。

- [S-Gamut3.Cine/SLog3] : デジタルシネマの色域 (DCI-P3) への調整がしやすい色域
- [S-Gamut3/SLog3] : ソニー独自のITU-R BT.2020をカバーする広い色域

撮影モードごとの機能制約は以下のようになります。

✓ : 使用可能

× : 使用不可

項目	[Custom]	[Flexible ISO]
[ISO/Gain]	✓	✓ (ISOのみ)
[LUT On/Off]	×	✓
[Paint/Look] ([Base Look] 以外)	✓	×
[Paint/Look] ([Base Look] のみ)	✓ ¹⁾	✓ ²⁾

1) 基本Lookとして適用

2) LUTとして適用

関連項目

- [ガンマ表示アシスト機能](#)
- [映像信号モニター](#)

ソリッドステートメモリーカムコーダー
PXW-Z200/HXR-NX800

記録フォーマット

システム周波数

撮影する映像のシステム周波数を切り替えます。

[Project] ステータス画面の [Frequency/Scan] で切り替えます。設定値によっては、切り替えを実行すると本機が自動的に再起動します。

ヒント

- フルメニューの [Project] - [Rec Format] - [Frequency] でも設定できます。

ご注意

- 記録/再生中にシステム周波数を切り替えることはできません。

コーデック

撮影する映像のコーデックを切り替えます。

[Project] ステータス画面の [Codec] で切り替えます。

ヒント

- フルメニューの [Project] - [Rec Format] - [Codec] でも設定できます。

ご注意

- 撮影中/再生中にコーデックを切り替えることはできません。

ビデオフォーマット

撮影する映像のビデオフォーマットの設定を行います。

[Project] ステータス画面の [Video Format] で切り替えます。

ヒント

- フルメニューの [Project] - [Rec Format] - [Video Format] でも設定できます。

ご注意

- 撮影中/再生中にビデオフォーマットを切り替えることはできません。
- ビデオフォーマットの設定によって、SDI OUT端子 (PXW-Z200のみ) およびHDMI出力端子からの信号も制限されます。
- 記録フォーマットが3840×2160で、スロー&クイックモーションのフレームレートが100fpsまたは120fpsの場合、画角が狭くなります (クロップされます)。

ソリッドステートメモリーカムコーダー
PXW-Z200/HXR-NX800

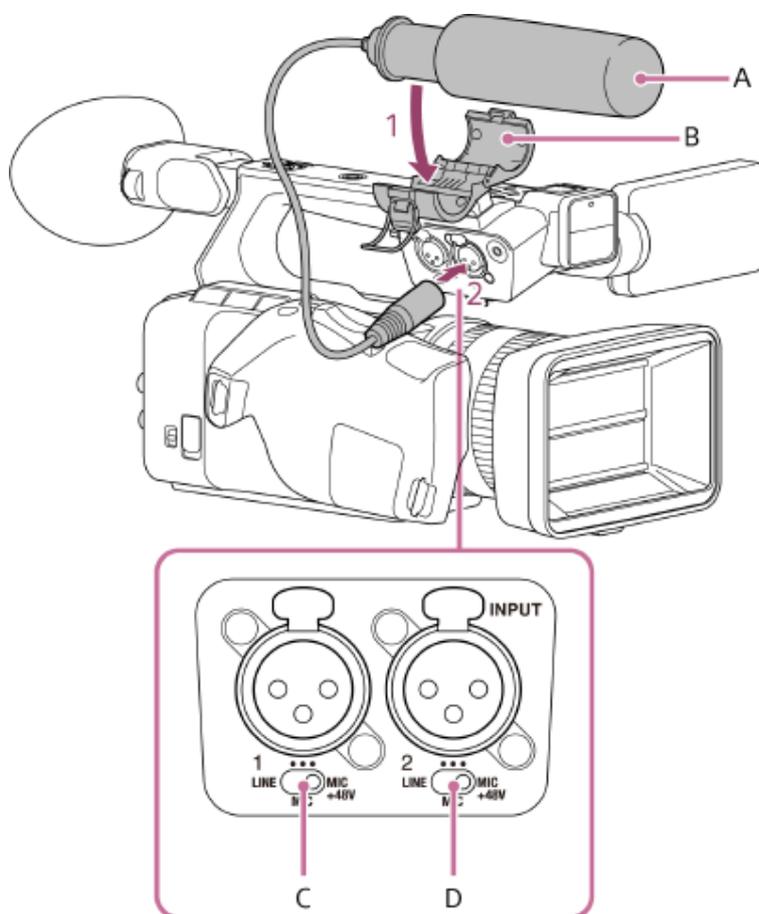
マイク（別売）を取り付ける

マイク（別売）を取り付けることができます。

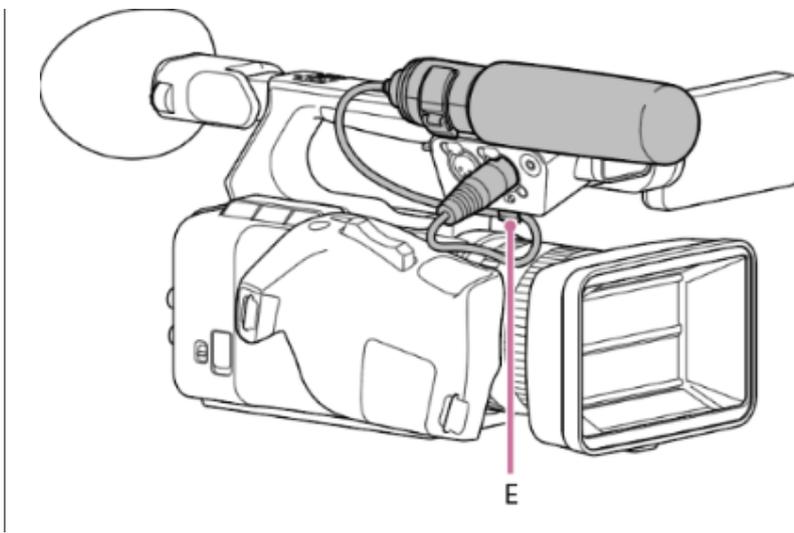
- 1 マイク（A）をマイクホルダー（B）に取り付ける。
- 2 マイクケーブルをINPUT 1端子またはINPUT 2端子に接続する。
- 3 マイクの種類に応じてINPUT 1/INPUT 2スイッチ（C/D）を設定する。

MIC : ダイナミックマイクや電池内蔵のマイク

MIC+48V: +48V電源（ファンタム電源）対応のマイク



- 4 マイクケーブルをケーブルホルダー（E）に取り付ける。



ヒント

- マイクがしっかりと固定できないときは、マイクに付属のスペーサーを使ってください。
- 取り付けるレンズの種類によってはマイクの先端が写り込んでしまう場合があります。マイクの位置を調整してください。

関連項目

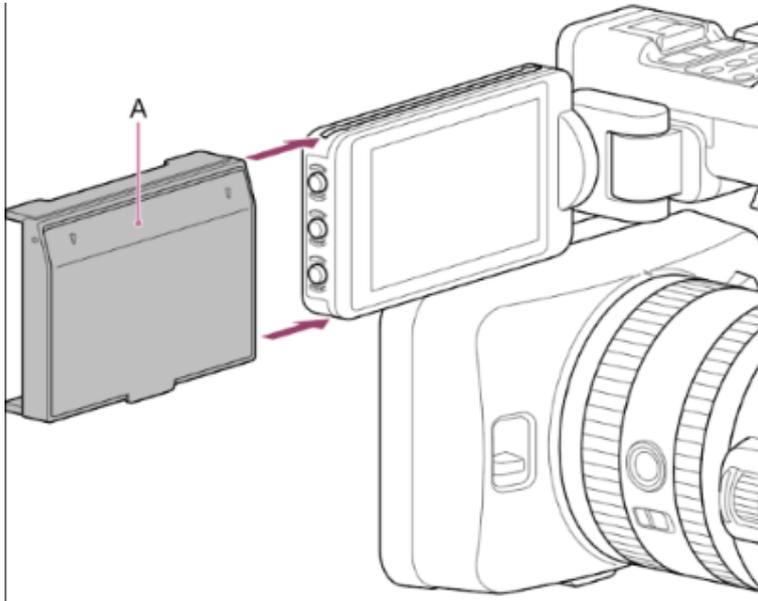
- [収録する音声を設定する](#)
- [音声入力機器を選ぶ](#)
- [録音レベルを自動調節する](#)
- [録音レベルを手動調節する](#)

TP1001669972

ソリッドステートメモリーカムコーダー
PXW-Z200/HXR-NX800

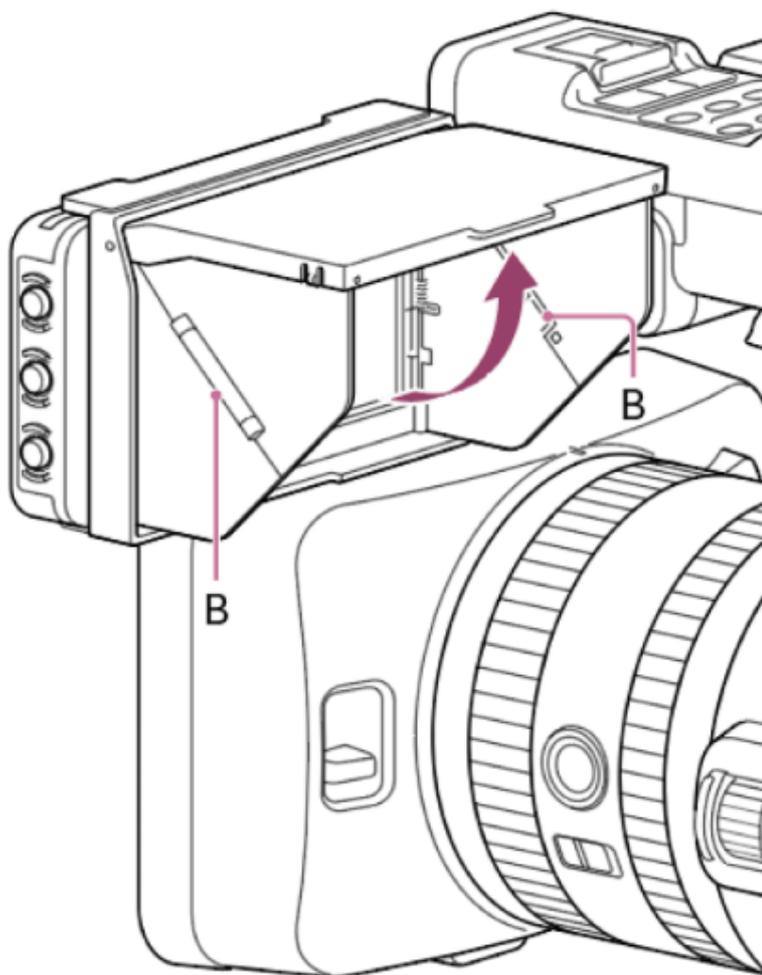
LCDフード（付属）を取り付ける

LCDモニターにLCDフード（付属）を取り付けることができます。
LCDフード（A）を、LCDモニターの上下の溝に左から右へスライドさせて取り付ける。



LCDフードカバーを開く

LCDフードカバーの中央下部を手前に引き、上方に開く。



LCDフードカバーを閉じるときは、左右の（B）を内側へ折りたたんで閉めてください。

ご注意

- LCDモニターを動かすときは、LCDモニター本体を持って動かしてください。LCDフードを持って動かさないでください。

LCDフードを取り外す

LCDフードを取り付けたときと逆の方向に抜き取ります。

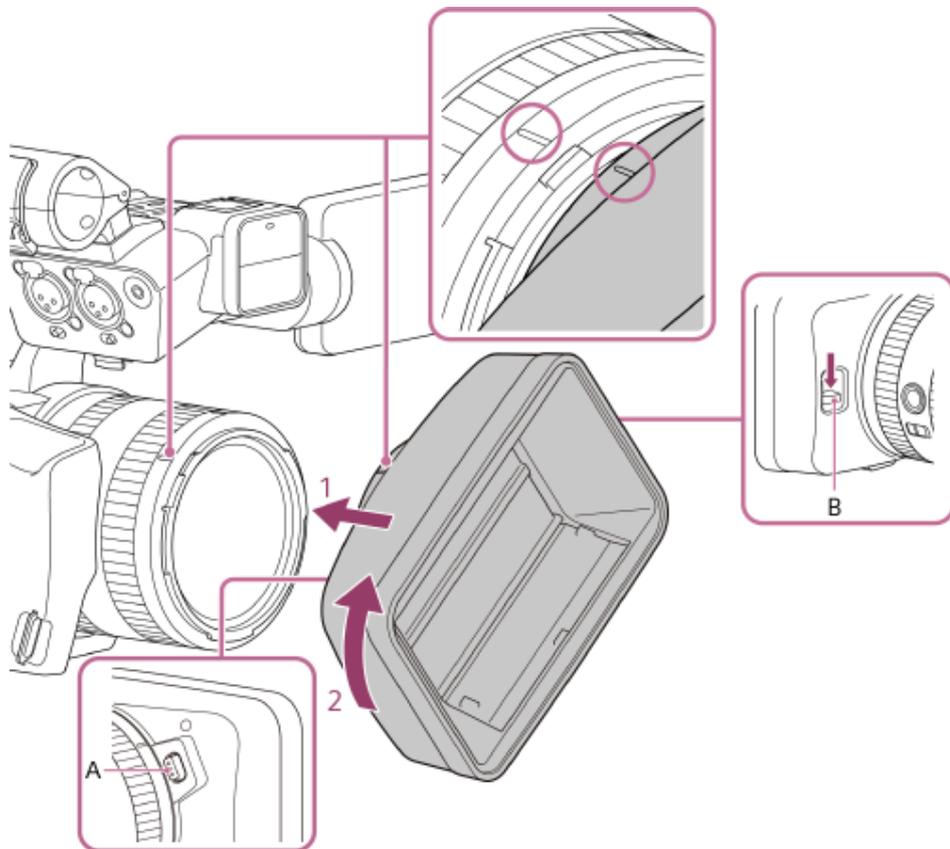
TP1001669973

5-060-574-01(2) Copyright 2024 Sony Corporation

ソリッドステートメモリーカムコーダー
PXW-Z200/HXR-NX800

レンズフード（付属）を取り付ける

レンズフード（付属）を取り付けることができます。
レンズとレンズフードの印を合わせて取り付け（1）、矢印（2）の方向にロックされるまで回す。



ご注意

- 運搬時などご使用にならないときは、レンズフードシャッター開閉スイッチ（B）を下に押し、レンズフードシャッターを閉じてレンズを保護してください。

レンズフードを取り外す

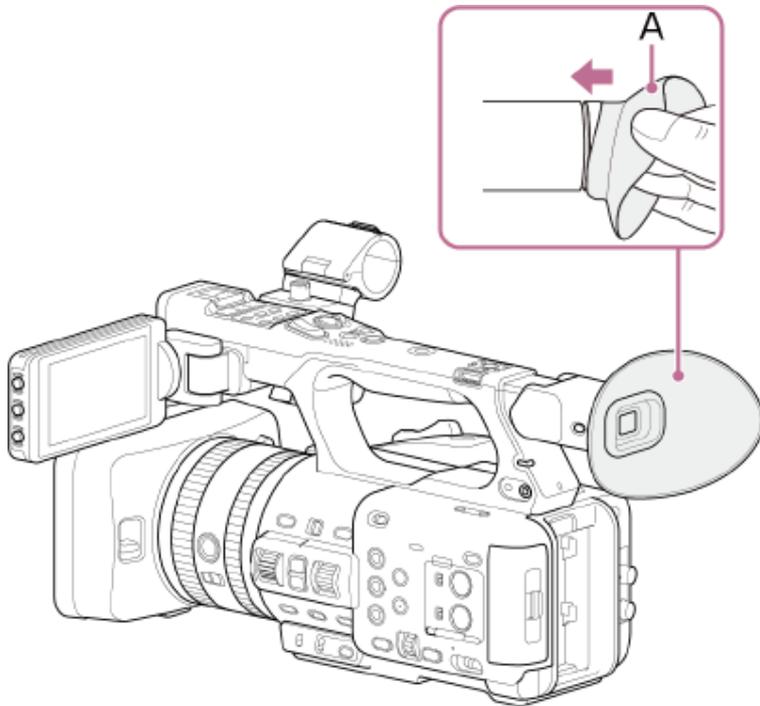
レンズフード取り外しボタン（A）を押しながら、取り付け方向（2）と反対方向に回す。

TP1001669974

ソリッドステートメモリーカムコーダー
PXW-Z200/HXR-NX800

大型アイカップを取り付ける

ビューファインダーに大型アイカップを取り付けることができます。
大型アイカップ (A) (付属) を少し伸ばしてビューファインダーにはめ、縁を水平の溝に合わせてはめ込む。

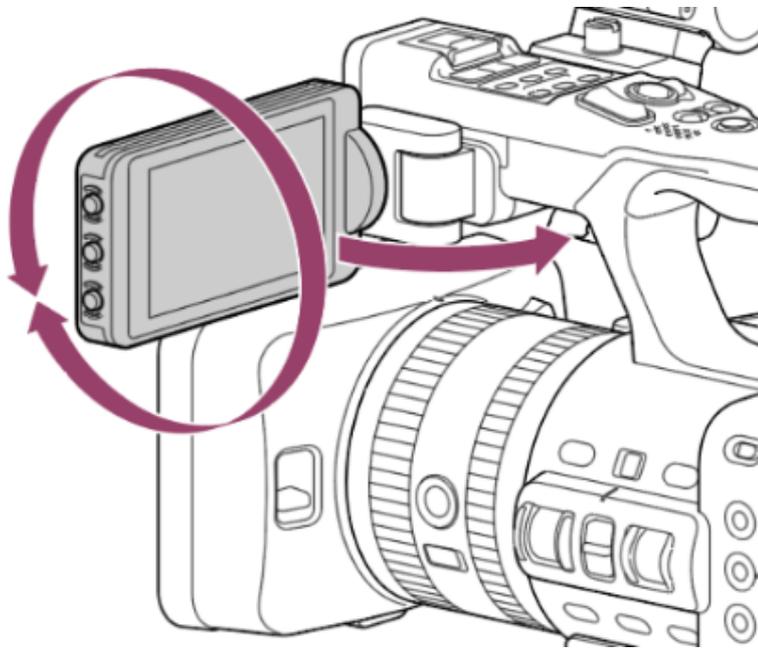


TP1001669975

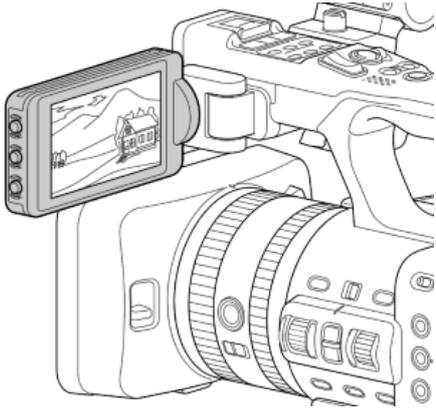
ソリッドステートメモリーカムコーダー
PXW-Z200/HXR-NX800

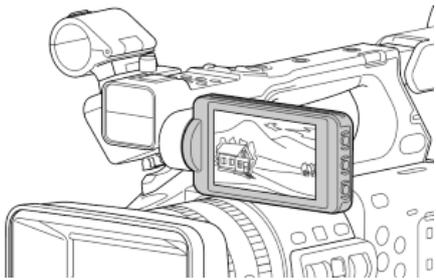
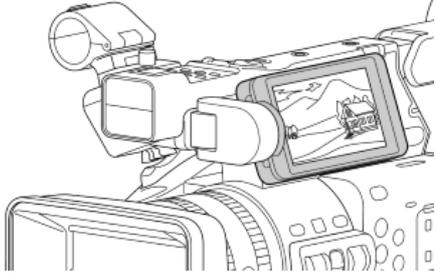
LCDモニターの角度を調節する

LCDモニターは上下および後方に回して、見やすい角度に調節することができます。



LCDモニターを上180度、下90度、または後方に105度回すことで、下図のように配置することができます。

LCDモニターの向き	説明
<p>LCDモニターがレンズと反対方向を向いた状態</p> 	<p>通常の撮影に適した表示です。</p>

LCDモニターの向き	説明
<p>LCDモニターがレンズ方向を向いた状態</p> 	<p>自分撮りに適した表示です。撮影映像は左右反転表示になりますが、再生映像は左右反転されずに表示します。</p>
<p>LCDモニターが外側を向いた収納状態</p> 	<p>このような向きでも映像を確認することができます。</p>

TP1001669976

ソリッドステートメモリーカムコーダー
PXW-Z200/HXR-NX800

LCDモニターの明るさを調節する

フルメニューの [Monitoring] – [LCD Monitor/VF] – [LCD Monitor Brightness] で調節できます。明るさを変えても、記録される映像に影響はありません。

ヒント

- [LCD/VF Adjust] を割り当てたアサインボタンでも調節できます。

TP1001669977

ソリッドステートメモリーカムコーダー
PXW-Z200/HXR-NX800

LCDモニターの画面表示を拡大する

フルメニューの [Maintenance] - [ Accessibility] - [Enlarge Screen] - [Setting] を [Enable] に設定し、 [Enlarge Screen Button] で設定したアサインボタンを押すと画面が拡大表示されます。押すたびに倍率が上がり、最後に拡大を解除します。
拡大位置の移動は、LCDモニターのタッチ操作、またはマルチセレクターで行います。メニュー操作はマルチファンクションダイヤルで行います。

ヒント

- [ Accessibility] - [Enlarge Screen] - [Setting] を [Disable] に設定すると、 [Enlarge Screen] に設定していたアサインボタンの機能は工場出荷時の割り当てに戻ります。

ご注意

- タッチ操作で画面拡大倍率を変えることはできません。

関連項目

- [画面を拡大表示する](#)

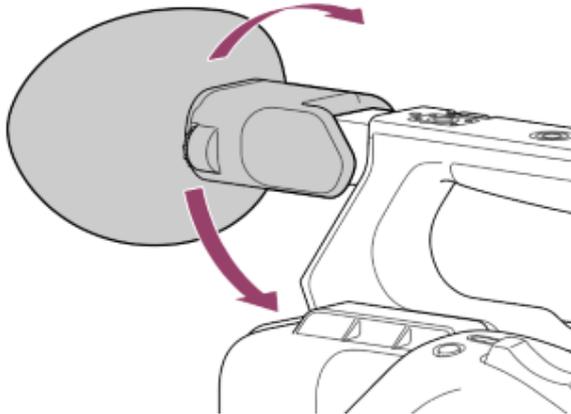
TP1001669978

ソリッドステートメモリーカムコーダー
PXW-Z200/HXR-NX800

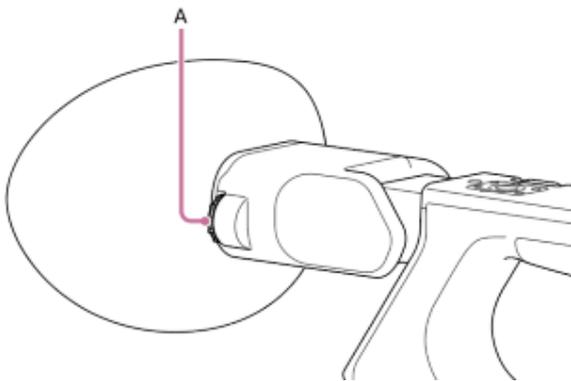
ビューファインダーの角度を調節する

ビューファインダーで見るときは、ビューファインダーに目を近づけます。

ビューファインダーは撮影スタイルに合わせて、角度を変えることができます。使用しないときは、下にさげて折り畳むことができます。折り畳むと消灯します。



ビューファインダーの画面表示がぼやけているときは、ビューファインダーの横の視度調整ダイヤル (A) で調節します。画像がはっきり見えるように動かします。



TP1001669979

ソリッドステートメモリーカムコーダー
PXW-Z200/HXR-NX800

ビューファインダーの明るさを調節する

フルメニューの [Monitoring] - [LCD Monitor/VF] - [VF Brightness] で調節できます。明るさを変えても、記録される映像に影響はありません。

ヒント

- [LCD/VF Adjust] を割り当てたアサインボタンでも調節できます。

TP1001669980

ソリッドステートメモリーカムコーダー
PXW-Z200/HXR-NX800

LCDモニター/ビューファインダーの表示を切り替える

ビューファインダーを下に折り畳むと消灯します。折り畳んでいないときはビューファインダーを覗きこむことで接眼センサーが反応し自動的に点灯します。

ビューファインダーが点灯するとLCDモニターは消灯します（LCDモニターとビューファインダーは同時点灯しません）。カメラを構えたときの姿勢などにより接眼センサーが誤反応すると、ビューファインダーが点灯し、LCDモニターが消灯してしまうことがあります。

このようなときに、VF/LCD切り替えボタンで接眼センサーを無効化することができます。接眼センサーが無効化設定されていると、ビューファインダーを覗いても点灯しません。

TP1001669981

ソリッドステートメモリーカムコーダー
PXW-Z200/HXR-NX800

メモリーカードについて

本機では、撮影した映像/音声を、カードスロット内のCFexpress Type Aメモリーカード（別売）またはSDXCメモリーカード（別売）に記録します。また、プロキシ記録、設定内容の保存/読み出しと、将来のバージョンアップ（ソフトウェアアップデート）時にもこれらのメモリーカードを使用します。

CFexpress Type Aメモリーカードについて

本機に対応のCFexpress Type Aメモリーカード^{*}についての詳細は、下記をご覧ください。

[推奨メモリーカードについて](#)

他社製メディアの動作については、各社メディアの取扱説明書やメーカー情報をご確認ください。

^{*} 本書では「CFexpressカード」と表現しています。

SDXCメモリーカードについて

本機に対応のSDXCメモリーカード^{*}についての詳細は、下記をご覧ください。

[推奨メモリーカードについて](#)

^{*} 本書では「SDカード」と表現しています。

TP1001669982

ソリッドステートメモリーカムコーダー
PXW-Z200/HXR-NX800

推奨メモリーカードについて

動作保証条件は [Rec Format] や記録設定によって異なります。

通常記録

✓ : 動作を保証

x : 保証しない

記録フォーマット			[Bit Rate]	SDXC							CFexpress Type A	
システム 周波数	[Codec]	解像度		Class10	U1	U3	VSC V10	VSC V30	VSC V60	VSC V90	CFE200	CFE400
119.88 Hz	XAVC HS Long 422	3840×2160	H	x	x	x	x	x	✓	✓	✓	✓
			M	x	x	x	x	x	✓	✓	✓	✓
			L	x	x	x	x	x	✓	✓	✓	✓
	XAVC HS Long 420	3840×2160	H	x	x	x	x	x	✓	✓	✓	✓
			M	x	x	x	x	x	✓	✓	✓	✓
			L	x	x	x	x	x	✓	✓	✓	✓
	XAVC S Long 422	3840×2160	H	x	x	x	x	x	✓	✓	✓	✓
			M	x	x	x	x	x	✓	✓	✓	✓
			L	x	x	x	x	x	✓	✓	✓	✓
	XAVC S Long 420	3840×2160	H	x	x	x	x	x	✓	✓	✓	✓
			M	x	x	x	x	x	✓	✓	✓	✓
			L	x	x	x	x	x	✓	✓	✓	✓
		1920×1080	H	x	x	✓	x	✓	✓	✓	✓	✓
			M	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓
			L	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓

記録フォーマット			[Bit Rate]	SDXC							CFexpress Type A	
システム周波数	[Codec]	解像度		Class10	U1	U3	VSC V10	VSC V30	VSC V60	VSC V90	CFE200	CFE400
100 Hz	XAVC HS Long 422	3840×2160	H	x	x	x	x	x	✓	✓	✓	✓
			M	x	x	x	x	x	✓	✓	✓	✓
			L	x	x	x	x	x	✓	✓	✓	✓
	XAVC HS Long 420	3840×2160	H	x	x	x	x	x	✓	✓	✓	✓
			M	x	x	x	x	x	✓	✓	✓	✓
			L	x	x	x	x	x	✓	✓	✓	✓
	XAVC S Long 422	3840×2160	H	x	x	x	x	x	✓	✓	✓	✓
			M	x	x	x	x	x	✓	✓	✓	✓
			L	x	x	x	x	x	✓	✓	✓	✓
	XAVC S Long 420	3840×2160	H	x	x	x	x	x	✓	✓	✓	✓
			M	x	x	x	x	x	✓	✓	✓	✓
			L	x	x	x	x	x	✓	✓	✓	✓
		1920×1080	H	x	x	✓	x	✓	✓	✓	✓	✓
			M	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓
			L	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓

記録フォーマット			[Bit Rate]	SDXC							CFexpress Type A	
システム 周波数	[Codec]	解像度		Class10	U1	U3	VSC V10	VSC V30	VSC V60	VSC V90	CFE200	CFE400
59.94 Hz	XAVC HS Long 422	3840×2160	H	x	x	✓	x	✓	✓	✓	✓	✓
			M	x	x	✓	x	✓	✓	✓	✓	✓
			L	x	x	✓	x	✓	✓	✓	✓	✓
	XAVC HS Long 420	3840×2160	H	x	x	✓	x	✓	✓	✓	✓	✓
			M	x	x	✓	x	✓	✓	✓	✓	✓
			L	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓
	XAVC S Long 422	3840×2160	H	x	x	✓	x	✓	✓	✓	✓	✓
			M	x	x	✓	x	✓	✓	✓	✓	✓
			L	x	x	✓	x	✓	✓	✓	✓	✓
		1920×1080	H	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓
			M	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓
			L	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓
	XAVC S Long 420	3840×2160	H	x	x	✓	x	✓	✓	✓	✓	✓
			M	x	x	✓	x	✓	✓	✓	✓	✓
			L	x	x	✓	x	✓	✓	✓	✓	✓
		1920×1080	H	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓
			M	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓
			L	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓
	XAVC S Intra 422	3840×2160	H	x	x	x	x	x	x	✓	✓	✓
			M	x	x	x	x	x	x	✓	✓	✓
			L	x	x	x	x	x	x	✓	✓	✓
1920×1080		H	x	x	x	x	x	x	✓	✓	✓	
		M	x	x	x	x	x	x	✓	✓	✓	
		L	x	x	x	x	x	x	✓	✓	✓	

記録フォーマット			[Bit Rate]	SDXC							CFexpress Type A	
システム周波数	[Codec]	解像度		Class10	U1	U3	VSC V10	VSC V30	VSC V60	VSC V90	CFE200	CFE400
50 Hz	XAVC HS Long 422	3840×2160	H	x	x	✓	x	✓	✓	✓	✓	✓
			M	x	x	✓	x	✓	✓	✓	✓	✓
			L	x	x	✓	x	✓	✓	✓	✓	✓
	XAVC HS Long 420	3840×2160	H	x	x	✓	x	✓	✓	✓	✓	✓
			M	x	x	✓	x	✓	✓	✓	✓	✓
			L	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓
	XAVC S Long 422	3840×2160	H	x	x	✓	x	✓	✓	✓	✓	✓
			M	x	x	✓	x	✓	✓	✓	✓	✓
			L	x	x	✓	x	✓	✓	✓	✓	✓
		1920×1080	H	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓
			M	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓
			L	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓
	XAVC S Long 420	3840×2160	H	x	x	✓	x	✓	✓	✓	✓	✓
			M	x	x	✓	x	✓	✓	✓	✓	✓
			L	x	x	✓	x	✓	✓	✓	✓	✓
		1920×1080	H	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓
			M	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓
			L	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓
	XAVC S Intra 422	3840×2160	H	x	x	x	x	x	x	✓	✓	✓
			M	x	x	x	x	x	x	✓	✓	✓
			L	x	x	x	x	x	x	✓	✓	✓
1920×1080		H	x	x	x	x	x	x	✓	✓	✓	
		M	x	x	x	x	x	x	✓	✓	✓	
		L	x	x	x	x	x	x	✓	✓	✓	

記録フォーマット			[Bit Rate]	SDXC							CFexpress Type A		
システム周波数	[Codec]	解像度		Class10	U1	U3	VSC V10	VSC V30	VSC V60	VSC V90	CFE200	CFE400	
29.97 Hz	XAVC S Long 422	3840×2160	H	x	x	✓	x	✓	✓	✓	✓	✓	
			M	x	x	✓	x	✓	✓	✓	✓	✓	
			L	x	x	✓	x	✓	✓	✓	✓	✓	
		1920×1080	H	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓
			M	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓
			L	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓
	XAVC S Long 420	3840×2160	H	x	x	✓	x	✓	✓	✓	✓	✓	
			M	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	
			L	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	
		1920×1080	H	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓
			M	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓
			L	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓
	XAVC S Intra 422	3840×2160	H	x	x	x	x	x	x	✓	✓	✓	
			M	x	x	x	x	x	x	✓	✓	✓	
			L	x	x	x	x	x	x	✓	✓	✓	
		1920×1080	H	x	x	x	x	x	x	✓	✓	✓	
			M	x	x	x	x	x	x	✓	✓	✓	
			L	x	x	x	x	x	x	✓	✓	✓	

記録フォーマット			[Bit Rate]	SDXC							CFexpress Type A		
システム周波数	[Codec]	解像度		Class10	U1	U3	VSC V10	VSC V30	VSC V60	VSC V90	CFE200	CFE400	
25 Hz	XAVC S Long 422	3840×2160	H	x	x	✓	x	✓	✓	✓	✓	✓	
			M	x	x	✓	x	✓	✓	✓	✓	✓	
			L	x	x	✓	x	✓	✓	✓	✓	✓	
		1920×1080	H	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓
			M	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓
			L	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓
	XAVC S Long 420	3840×2160	H	x	x	✓	x	✓	✓	✓	✓	✓	✓
			M	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓
			L	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓
		1920×1080	H	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓
			M	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓
			L	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓
	XAVC S Intra 422	3840×2160	H	x	x	x	x	x	x	✓	✓	✓	✓
			M	x	x	x	x	x	x	✓	✓	✓	✓
			L	x	x	x	x	x	x	✓	✓	✓	✓
		1920×1080	H	x	x	x	x	x	x	✓	✓	✓	✓
			M	x	x	x	x	x	x	✓	✓	✓	✓
			L	x	x	x	x	x	x	✓	✓	✓	✓

記録フォーマット			[Bit Rate]	SDXC							CFexpress Type A	
システム周波数	[Codec]	解像度		Class10	U1	U3	VSC V10	VSC V30	VSC V60	VSC V90	CFE200	CFE400
23.98 Hz	XAVC HS Long 422	3840×2160	H	x	x	✓	x	✓	✓	✓	✓	✓
			M	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓
			L	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓
	XAVC HS Long 420	3840×2160	H	x	x	✓	x	✓	✓	✓	✓	✓
			M	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓
			L	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓
	XAVC S Long 422	3840×2160	H	x	x	✓	x	✓	✓	✓	✓	✓
			M	x	x	✓	x	✓	✓	✓	✓	✓
			L	x	x	✓	x	✓	✓	✓	✓	✓
		1920×1080	H	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓
			M	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓
			L	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓
	XAVC S Long 420	3840×2160	H	x	x	✓	x	✓	✓	✓	✓	✓
			M	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓
			L	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓
		1920×1080	H	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓
			M	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓
			L	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓
	XAVC S Intra 422	3840×2160	H	x	x	x	x	x	x	✓	✓	✓
			M	x	x	x	x	x	x	✓	✓	✓
			L	x	x	x	x	x	x	✓	✓	✓
1920×1080		H	x	x	x	x	x	x	✓	✓	✓	
		M	x	x	x	x	x	x	✓	✓	✓	
		L	x	x	x	x	x	x	✓	✓	✓	

S&Q

✓ : 動作を保証

x : 保証しない

記録フォーマット			S&Q 撮像 フレ ーム レ ート	[Bit Rate]	SDXC								CFexpress Type A	
シス テム 周波 数	[Codec]	解像度			Class10	U1	U3	VSC V10	VSC V30	VSC V60	VSC V90	CFE200	CFE400	
59.94 Hz	XAVC HS Long 422	3840×2160	1-60	H	x	x	x	x	x	✓	✓	✓	✓	
				M, L	x	x	x	x	x	✓	✓	✓	✓	
			100, 120	H	x	x	x	x	x	x	✓	✓	✓	✓
				M, L	x	x	x	x	x	x	✓	✓	✓	✓
	XAVC HS Long 420	3840×2160	1-60	H	x	x	x	x	x	✓	✓	✓	✓	
				M	x	x	x	x	x	✓	✓	✓	✓	
				L	x	x	x	x	x	✓	✓	✓	✓	
			100, 120	H	x	x	x	x	x	x	✓	✓	✓	✓
				M	x	x	x	x	x	x	✓	✓	✓	✓
				L	x	x	x	x	x	x	✓	✓	✓	✓
	XAVC S Long 422	3840×2160	1-60	H, M, L	x	x	x	x	x	✓	✓	✓	✓	
				100, 120	H, M, L	x	x	x	x	x	✓	✓	✓	
		1920×1080	1-60	H, M, L	x	x	✓	x	✓	✓	✓	✓	✓	
				100, 120	H, M, L	x	x	✓	x	✓	✓	✓	✓	
			150, 180, 200, 240	H, M, L	x	x	x	x	x	✓	✓	✓	✓	
	XAVC S Long 420	3840×2160	1-60	H, M, L	x	x	x	x	x	✓	✓	✓	✓	
				100, 120	H, M, L	x	x	x	x	x	✓	✓	✓	
1920×1080		1-60	H	x	x	✓	x	✓	✓	✓	✓	✓		
			M, L	x	x	✓	x	✓	✓	✓	✓	✓		
		100, 120	H	x	x	✓	x	✓	✓	✓	✓	✓		
			M, L	x	x	✓	x	✓	✓	✓	✓	✓		
		150, 180, 200, 240	H	x	x	x	x	x	✓	✓	✓	✓		
			M, L	x	x	✓	x	✓	✓	✓	✓	✓		

記録フォーマット			S&Q 撮像 フレーム レート	[Bit Rate]	SDXC								CFexpress Type A	
シス テム 周波 数	[Codec]	解像度			Class10	U1	U3	VSC V10	VSC V30	VSC V60	VSC V90	CFE200	CFE400	
	XAVC S Intra 422	3840×2160	1-60	H, M, L	x	x	x	x	x	x	✓	✓	✓	
			100, 120	H, M, L	x	x	x	x	x	x	x	✓	✓	
		1920×1080	1-60	H, M, L	x	x	x	x	x	x	x	✓	✓	✓
			100, 120, 150, 180, 200, 240	H, M, L	x	x	x	x	x	x	x	✓	✓	✓

記録フォーマット			S&Q 撮像 フレ ーム レ ート	[Bit Rate]	SDXC								CFexpress Type A	
シス テム 周波 数	[Codec]	解像度			Class10	U1	U3	VSC V10	VSC V30	VSC V60	VSC V90	CFE200	CFE400	
50 Hz	XAVC HS Long 422	3840×2160	1-60	H	x	x	x	x	x	✓	✓	✓	✓	
				M, L	x	x	x	x	x	✓	✓	✓	✓	
			100, 120	H	x	x	x	x	x	x	✓	✓	✓	✓
				M, L	x	x	x	x	x	x	✓	✓	✓	✓
	XAVC HS Long 420	3840×2160	1-60	H	x	x	x	x	x	✓	✓	✓	✓	
				M	x	x	x	x	x	✓	✓	✓	✓	
				L	x	x	x	x	x	✓	✓	✓	✓	
			100, 120	H	x	x	x	x	x	x	✓	✓	✓	✓
				M	x	x	x	x	x	x	✓	✓	✓	✓
				L	x	x	x	x	x	x	✓	✓	✓	✓
	XAVC S Long 422	3840×2160	1-60	H, M, L	x	x	x	x	x	✓	✓	✓	✓	
				100, 120	H, M, L	x	x	x	x	x	✓	✓	✓	
		1920×1080	1-60	H, M, L	x	x	✓	x	✓	✓	✓	✓	✓	
				100, 120	H, M, L	x	x	✓	x	✓	✓	✓	✓	
			150, 180, 200, 240	H, M, L	x	x	x	x	x	✓	✓	✓	✓	
	XAVC S Long 420	3840×2160	1-60	H, M, L	x	x	x	x	x	✓	✓	✓	✓	
				100, 120	H, M, L	x	x	x	x	x	✓	✓	✓	
1920×1080		1-60	H	x	x	✓	x	✓	✓	✓	✓	✓		
			M, L	x	x	✓	x	✓	✓	✓	✓	✓		
		100, 120	H	x	x	✓	x	✓	✓	✓	✓	✓		
			M, L	x	x	✓	x	✓	✓	✓	✓	✓		
		150, 180, 200, 240	H	x	x	x	x	x	✓	✓	✓	✓		
			M, L	x	x	x	x	x	✓	✓	✓	✓		

記録フォーマット			S&Q 撮像 フレ ーム レ ー ト	[Bit Rate]	SDXC								CFexpress Type A	
シス テム 周波 数	[Codec]	解像度			Class10	U1	U3	VSC V10	VSC V30	VSC V60	VSC V90	CFE200	CFE400	
	XAVC S Intra 422	3840×2160	1-60	H, M, L	x	x	x	x	x	x	✓	✓	✓	
			100, 120	H, M, L	x	x	x	x	x	x	x	✓	✓	
		1920×1080	1-60	H, M, L	x	x	x	x	x	x	x	✓	✓	✓
			100, 120, 150, 180, 200, 240	H, M, L	x	x	x	x	x	x	x	✓	✓	✓

記録フォーマット			S&Q 撮像 フレーム レート	[Bit Rate]	SDXC								CFexpress Type A		
シス テム 周波 数	[Codec]	解像度			Class10	U1	U3	VSC V10	VSC V30	VSC V60	VSC V90	CFE200	CFE400		
29.97 Hz	XAVC S Long 422	3840×2160	1-60	H, M, L	x	x	x	x	x	✓	✓	✓	✓		
			100, 120	H, M, L	x	x	x	x	x	x	✓	✓	✓		
		1920×1080	1-60	H, M, L	x	x	✓	x	✓	✓	✓	✓	✓	✓	
			100, 120	H, M, L	x	x	x	x	x	✓	✓	✓	✓	✓	
			150, 180, 200, 240	H, M, L	x	x	x	x	x	x	✓	✓	✓	✓	
		XAVC S Long 420	3840×2160	1-60	H	x	x	x	x	x	✓	✓	✓	✓	✓
	M, L				x	x	x	x	x	✓	✓	✓	✓	✓	
	100, 120			H	x	x	x	x	x	x	✓	✓	✓	✓	
				M, L	x	x	x	x	x	x	✓	✓	✓	✓	
	1920×1080		1-60	H	x	x	✓	x	✓	✓	✓	✓	✓	✓	
				M, L	x	x	✓	x	✓	✓	✓	✓	✓	✓	
			100, 120	H	x	x	x	x	x	x	✓	✓	✓	✓	
				M, L	x	x	✓	x	✓	✓	✓	✓	✓	✓	
	150, 180, 200, 240		H	x	x	x	x	x	x	x	✓	✓	✓	✓	
			M, L	x	x	x	x	x	x	✓	✓	✓	✓	✓	
	XAVC S Intra 422		3840×2160	1-60	H, M, L	x	x	x	x	x	x	✓	✓	✓	✓
				120	H, M, L	x	x	x	x	x	x	x	✓	✓	✓
		1920×1080	1-60	H, M, L	x	x	x	x	x	x	✓	✓	✓	✓	
			120	H, M, L	x	x	x	x	x	x	✓	✓	✓	✓	

記録フォーマット			S&Q 撮像 フレ ーム レ ート	[Bit Rate]	SDXC								CFexpress Type A		
シス テム 周波 数	[Codec]	解像度			Class10	U1	U3	VSC V10	VSC V30	VSC V60	VSC V90	CFE200	CFE400		
25 Hz	XAVC S Long 422	3840×2160	1-60	H, M, L	x	x	x	x	x	✓	✓	✓	✓		
			100, 120	H, M, L	x	x	x	x	x	x	✓	✓	✓	✓	
		1920×1080	1-60	H, M, L	x	x	✓	x	✓	✓	✓	✓	✓	✓	
			100, 120	H, M, L	x	x	x	x	x	✓	✓	✓	✓	✓	
			150, 180, 200, 240	H, M, L	x	x	x	x	x	x	✓	✓	✓	✓	
		XAVC S Long 420	3840×2160	1-60	H	x	x	x	x	x	✓	✓	✓	✓	✓
	M, L				x	x	x	x	x	✓	✓	✓	✓	✓	
	100, 120			H	x	x	x	x	x	x	✓	✓	✓	✓	✓
				M, L	x	x	x	x	x	x	✓	✓	✓	✓	✓
	1920×1080		1-60	H	x	x	✓	x	✓	✓	✓	✓	✓	✓	
				M, L	x	x	✓	x	✓	✓	✓	✓	✓	✓	
			100, 120	H	x	x	x	x	x	x	✓	✓	✓	✓	
				M, L	x	x	✓	x	✓	✓	✓	✓	✓	✓	
	150, 180, 200, 240		H	x	x	x	x	x	x	✓	✓	✓	✓		
			M, L	x	x	x	x	x	x	✓	✓	✓	✓		
	XAVC S Intra 422		3840×2160	1-60	H, M, L	x	x	x	x	x	x	✓	✓	✓	
				100	H, M, L	x	x	x	x	x	x	x	✓	✓	
		1920×1080	1-60	H, M, L	x	x	x	x	x	x	✓	✓	✓		
			100, 150, 180, 200, 240	H, M, L	x	x	x	x	x	x	✓	✓	✓		

記録フォーマット			S&Q 撮像 フレ ーム レ ート	[Bit Rate]	SDXC								CFexpress Type A	
シス テム 周波 数	[Codec]	解像度			Class10	U1	U3	VSC V10	VSC V30	VSC V60	VSC V90	CFE200	CFE400	
23.98 Hz	XAVC HS Long 422	3840×2160	1-60	H	x	x	x	x	x	✓	✓	✓	✓	
				M, L	x	x	x	x	x	✓	✓	✓	✓	
			100, 120	H	x	x	x	x	x	x	✓	✓	✓	✓
				M, L	x	x	x	x	x	x	✓	✓	✓	✓
	XAVC HS Long 420	3840×2160	1-60	H	x	x	x	x	x	✓	✓	✓	✓	
				M	x	x	x	x	x	✓	✓	✓	✓	
				L	x	x	x	x	x	✓	✓	✓	✓	
			100, 120	H	x	x	x	x	x	x	✓	✓	✓	✓
				M	x	x	x	x	x	x	✓	✓	✓	✓
				L	x	x	x	x	x	x	✓	✓	✓	✓
	XAVC S Long 422	3840×2160	1-60	H, M, L	x	x	x	x	x	✓	✓	✓	✓	
				100, 120	H, M, L	x	x	x	x	x	✓	✓	✓	
		1920×1080	1-60	H, M, L	x	x	✓	x	✓	✓	✓	✓	✓	
			100, 120	H, M, L	x	x	x	x	x	✓	✓	✓	✓	
			150, 180, 200, 240	H, M, L	x	x	x	x	x	x	✓	✓	✓	
	XAVC S Long 420	3840×2160	1-60	H	x	x	x	x	x	✓	✓	✓	✓	
				M, L	x	x	x	x	x	✓	✓	✓	✓	
			100, 120	H	x	x	x	x	x	x	✓	✓	✓	
M, L				x	x	x	x	x	x	✓	✓	✓		
1920×1080		1-60	H, M, L	x	x	✓	x	✓	✓	✓	✓	✓		
		100, 120	H, M, L	x	x	x	x	x	✓	✓	✓	✓		
		150, 180, 200, 240	H, M, L	x	x	x	x	x	x	✓	✓	✓		

記録フォーマット			S&Q 撮像 フレ ーム レ ート	[Bit Rate]	SDXC								CFexpress Type A	
シス テム 周波 数	[Codec]	解像度			Class10	U1	U3	VSC V10	VSC V30	VSC V60	VSC V90	CFE200	CFE400	
	XAVC S Intra 422	3840×2160	1-60	H, M, L	x	x	x	x	x	x	✓	✓	✓	
			120	H, M, L	x	x	x	x	x	x	x	✓	✓	
		1920×1080	1-60	H, M, L	x	x	x	x	x	x	x	✓	✓	✓
			120, 150, 180, 200, 240	H, M, L	x	x	x	x	x	x	x	✓	✓	✓

TP1001669983

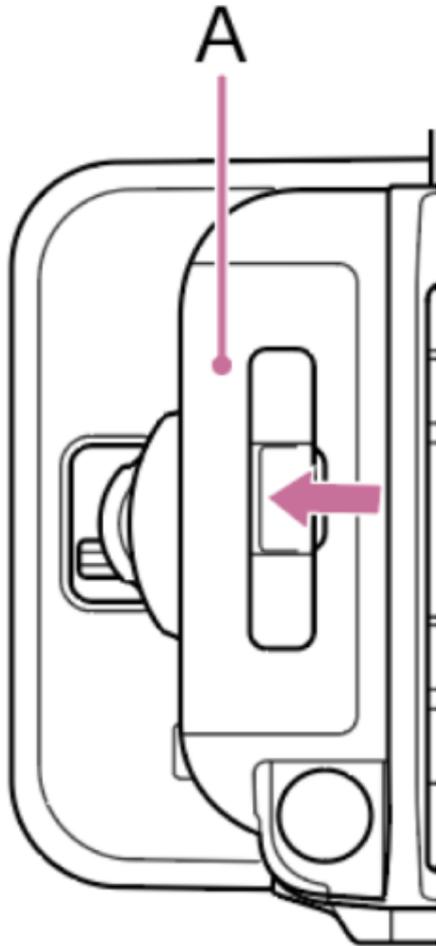
5-060-574-01(2) Copyright 2024 Sony Corporation

ソリッドステートメモリーカムコーダー
PXW-Z200/HXR-NX800

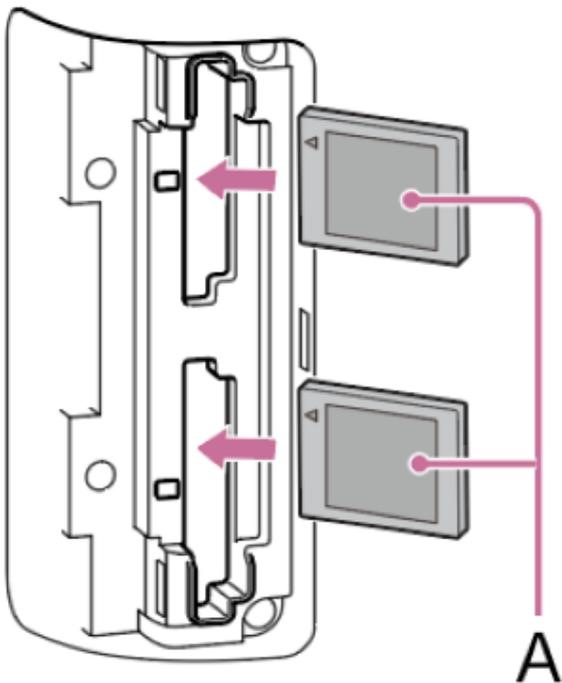
メモリーカードを入れる

メモリーカードの入れ方を説明します。

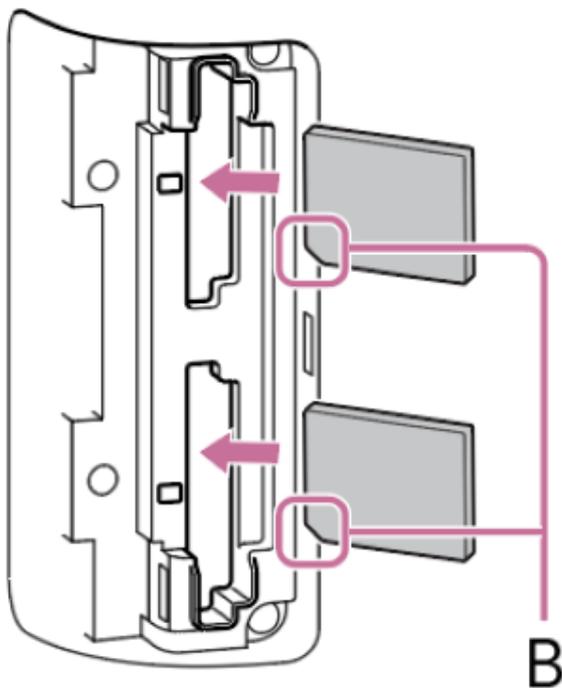
- 1 カードスロットカバー (A) 中央のレバーを矢印の方向に押して開ける。



- 2 メモリーカードを差し込む。
 - CFexpressカードの場合はラベル (A) を左にする。



- SDカードの場合はラベルを右にして切り欠き部（B）を下にする。



アクセスランプが赤く点灯し、使用可能な状態になると緑で点灯します。

ご注意

- アクセスランプの赤い点滅が長く続き緑点灯にならない場合は、一度電源を切りメモリーカードを抜き差しすることで、緑点灯になる可能性があります。

3 カードスロットカバーを閉める。

ご注意

- 誤った向きで無理に入れると、メモリーカードやメモリーカードスロット、画像データが破損することがあります。
- CFexpress Type A/SDカードスロット（A） / （B）の両方にメモリーカードを挿入して記録を行う際には、どちらのスロットにも、記録するフォーマットに対して動作が推奨されているメモリーカードを挿入してください。

関連項目

- [メモリーカードについて](#)

TP1001669984

5-060-574-01(2) Copyright 2024 Sony Corporation

ソリッドステートメモリーカムコーダー
PXW-Z200/HXR-NX800

メモリーカードを取り出す

カードスロットのカードスロットカバーを開け、メモリーカードを軽く1回押して取り出します。

ご注意

- メモリーカードにアクセス中に本機の電源を切ったりメモリーカードを抜いた場合はデータは保証されません。カードに記録されたすべてのデータが壊れる可能性があります。電源を切ったり、カードを抜くときは、必ず使用するメモリーカードのアクセスランプが緑で点灯または消灯していることを確認してから操作してください。
- 記録終了後にメモリーカードを取り出した際、メモリーカードが熱くなっている場合がありますが故障ではありません。

TP1001669985

ソリッドステートメモリーカムコーダー
PXW-Z200/HXR-NX800

メモリーカードを初期化する

フォーマットされていないメモリーカード、または別の仕様でフォーマットされたメモリーカードを装着すると、メッセージがLCDモニター/ビューファインダーに表示されます。

下記の手順に従ってフォーマットしてください。

1. [Media] ステータスで初期化したいメモリーカードの [Format] ボタンを押し、[Full Format] または [Quick Format] を選択する。

確認メッセージが表示されます。

- [Full Format] : メモリーカードのデータ管理情報だけでなくデータ領域を含む全体を初期化します。
- [Quick Format] : メモリーカードのデータ管理情報を初期化します。

ご注意

- フォーマット対象のメモリーカードに転送対象ファイルが存在する場合は、確認メッセージの下に補足メッセージ（表示例：[A transfer target file exists.]）が表示されます。この場合は、メモリーカードを初期化してよいかどうかを確認してから、初期化を実行またはキャンセルしてください。

2. [OK] を選択する。

実行中はメッセージが表示され、アクセスランプが赤く点灯します。

フォーマットが終了すると、完了メッセージが表示されますので、マルチファンクションダイヤルを押して消します。

ヒント

- フルメニューの [TC/Media] - [Format Media] でも実行できます。

ご注意

- メモリーカードをフォーマットすると、記録された映像データ、セットアップファイルなどを含む、すべてのデータが消去されます。
- フォーマットの処理時間によっては、実行中のメッセージが表示されない場合があります。

フォーマットできなかったときは

本機で使用できないメモリーカードはフォーマットできません。

警告メッセージが表示されますので、メッセージに従って、使用できるメモリーカードに交換してください。

本機でフォーマットしたメモリーカードを他の機器で使用するには

あらかじめバックアップを取り、お使いになる機器でフォーマットし直して使用してください。

ソリッドステートメモリーカムコーダー
PXW-Z200/HXR-NX800

残りの記録可能時間を確認する

撮影中（記録中/記録待機中）は、撮影画面のメディア残量表示で、各スロットに装着したメモリーカードの残量を確認することができます。

現在設定されている記録フォーマットで撮影した場合に記録可能な時間を、それぞれのスロット内のメモリーカードの残量から計算して分単位で表示します。

メモリーカードの交換時期

- 記録中に2枚のメモリーカードの残記録可能時間の合計が5分を切ると、[Media Near Full] が表示され、記録/タリーループの点滅とブザー音（ヘッドホン出力）で警告します。空きのあるメモリーカードに交換してください。
- 記録を継続して、残記録可能時間の合計が0になると、[Media Full] の表示に変わり記録が停止します。

ヒント

- 1枚のメモリーカードに約9999個までのクリップを記録できます。

TP1001669987

ソリッドステートメモリーカムコーダー
PXW-Z200/HXR-NX800

基本操作手順

基本的な撮影は次の手順で行います。

1. **必要な機器が取り付けられ、電源が供給されていることを確認する。**
2. **必要なメモリーカードを入れる。**
メモリーカードはA/B両方のカードスロットに入れておくと、1枚目の残量がなくなった時点で自動的に2枚目に切り替わります。
3. **電源スイッチをオンにする。**
電源ランプが点灯して、LCDモニターまたはビューファインダーに撮影画面が表示されます。
4. **グリップまたはハンドルの録画START/STOPボタンを押す。**
記録/タリーランプが点灯して、撮影が始まります。
5. **撮影を終了するときは、もう一度録画START/STOPボタンを押す。**
撮影が停止し、本機は [Stby] (記録待機) モードになります。

ご注意

- 電源を入れてから数秒以内に録画START/STOPボタンを押すと、記録/タリーランプが点灯し録画状態になりますが、選択している記録フォーマットによっては最初の数秒間はメモリーカードに記録されない場合があります。

FULL AUTOモードで撮影する

AUTO/MANUALスイッチをAUTOにすると、オートNDフィルター/オートアイリス/オートゲインコントロール/オートシャッター/ATWモードが有効になり、明るさとホワイトバランスが常に自動調整されます。
それぞれをマニュアルで調節したいときは、AUTO/MANUALスイッチをMANUALにしてください。

ご注意

- [Auto ND Filter] は、NDバリアブルモードで [ND Filter Position] を [On] にしたときに働きます。ND PRESET/VARIABLEスイッチをVARIABLEにしておき、被写体の明るさに応じて [On] / [Clear] を手動で切り替えてください。

メモリーカードを入れ換えながら、中断することなく撮影する

カードスロットA/Bの両方にメモリーカードを入れておけば、撮影中にメモリーカードA (またはメモリーカードB) の残量がなくなる直前に、自動的にもう一方のメモリーカードへの記録に切り替わります (リレー記録)。
メモリーカードが切り替わるたびに、記録済みのメモリーカードを新しいメモリーカードに交換することで、中断することなく撮影を続けられます。

ご注意

- 記録中のメモリーカードを取り出さないでください。記録中にメモリーカードを入れ換えるときは、アクセスランプが消灯しているカードスロットのみ行ってください。
- 記録中のメモリーカードの残量が1分未満のときに、もう一方のカードスロットに記録可能なメモリーカードが入っていると、メッセージが表示されます。メモリーカードが切り替わると消えます。
- メモリーカードの残量が1分未満のときに記録を始めると、続けて撮影ができない場合があります。正しく行うには、撮影開始時にメモリーカードの残量が1分以上あることを確認してください。
- 本機を使ってリレー記録した動画は、本機上ではシームレス再生できません。
- 本機を使ってリレー記録した動画を結合するには、ソフトウェア「Catalyst Browse」を使用してください。ご使用前には、「Catalyst Browse」の動作環境を確認してください。
- SDカードを使ってリレー記録を行う場合は、同じ種類のSDカードを使用してください。

クリップについて

クリップ

撮影を停止すると、開始から停止までの映像/音声/付随データが、ひとつの「クリップ」としてメモリーカードに記録されます。

クリップ名について

本機で記録されるクリップには、フルメニューの [TC/Media] - [Clip Name Format] で設定された形式でクリップ名がつけられます。

クリップの最大記録時間

クリップの最大記録時間は、記録フォーマットにより異なりますが、最大13時間で自動的に停止します。

音声を聞く

記録される音声をヘッドホンでモニターできます。

ヘッドホン端子にヘッドホンをつなぐと、記録される音声をモニターできます。また、再生時は内蔵スピーカーまたはヘッドホンでモニターできます。

モニターするチャンネルの選択は、[Audio] ステータス - [Monitor CH] またはフルメニューの [Audio] - [Audio Output] - [Monitor CH] で行います。

ヒント

- 本機は画面表示やメニューの音声読み上げに対応しています。

タイムデータ

タイムコードを設定する

記録されるタイムコードは、フルメニューの [TC/Media] - [Timecode] で設定します。

ユーザービットを設定する

8桁の16進数をユーザービットとしてクリップに付加できます。ユーザービットを現在時刻に設定することも可能です。[TC/Media] - [Users Bit] で設定します。

タイムデータを表示する

表示するタイムコードは、フルメニューの [TC/Media] - [TC Display] - [Display Select] で設定します。

[DURATION/TC/U-BIT] 機能が割り当てられたアサインボタンを押すと、表示がタイムコード、ユーザービット、経過時間の順に切り替わります。

タイムコードの入力/出力を切り替える (PXW-Z200のみ)

TC IN/OUTスイッチで、タイムコードの入力/出力を切り替えることができます。

記録内容を確認する

レックレビューモードを使うと、直前に記録したクリップの映像を画面で確認することができます。

ご注意

- 記録後にビデオフォーマットを変更したときは、レックレビューはできません。

レックレビューの方法

事前にアサインボタンのいずれかに [Rec Review] を割り当てておきます。

記録を停止したら、[Rec Review] が割り当てられたアサインボタンを押します。すると、直前に記録したクリップの再生が始まります。

クリップの終わりまで再生すると、レックレビューは終了し、[Stby] (記録待機) モードに戻ります。

レックレビューを中止するには

[Rec Review] が割り当てられたアサインボタンまたはCANCEL/BACKボタンを押します。

レックレビューの設定

フルメニューの [Technical] - [Rec Review] の設定により、再生開始位置を次のいずれかに設定できます。

- クリップの最後の3秒
- クリップの最後の10秒
- クリップの先頭から

ヒント

- 撮影した複数のクリップから任意のクリップを確認したい場合は、THUMBNAILボタンを押してサムネイル画面からクリップを選択して再生を開始することができます。

関連項目

- [画面を音声で読み上げる](#)
- [クリップを再生する](#)
- [タイムコードを外部機器と合わせる \(PXW-Z200のみ\)](#)

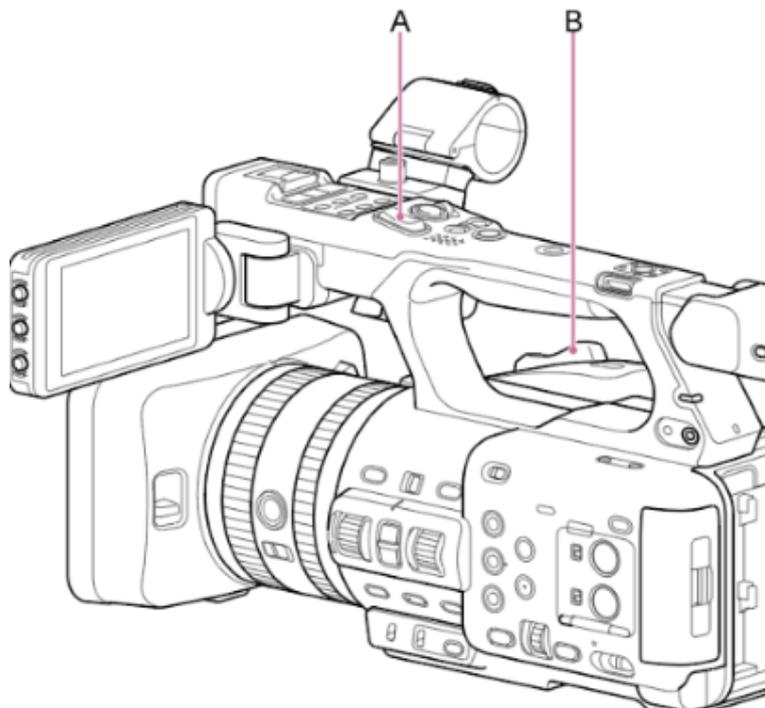
TP1001669989

5-060-574-01(2) Copyright 2024 Sony Corporation

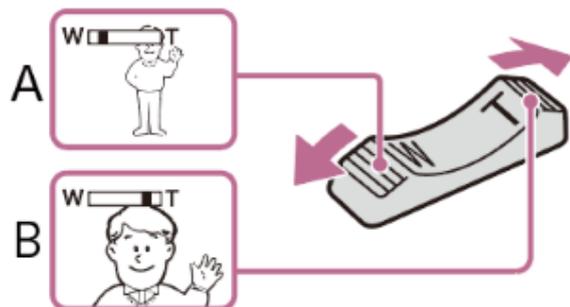
ソリッドステートメモリーカムコーダー
PXW-Z200/HXR-NX800

ズームレバーでズームする

ハンドルズームレバー (A) またはグリップズームレバー (B) でズーム操作ができます。レバーを押し込む量に応じてズームスピードが変化します。



ズームレバーを浅く押し込むとゆっくり、深く押し込むと速くズームします。



A : Wへ押しすと広角になる

B : Tへ押しすと望遠になる

ヒント

- ピント合わせに必要な被写体との距離は、広角は約1cm以上、望遠は約100cm以上です。
- 被写体との距離が100cm以内の被写体は、ズーム位置によってはピントが合わないことがあります。
- ズームレバーから指を離さずに操作してください。指を離すとズームレバーの操作音が記録されることがあります。
- フルメニューの [Technical] - [Zoom] - [Zoom Type] で、ズームレバー操作時のズームタイプを選ぶことができます。
- フルメニューの [Technical] - [Speed Zoom] で、ズームレバーのズーム駆動速度を速くすることもできます。

ソリッドステートメモリーカムコーダー
PXW-Z200/HXR-NX800

ズームの種類を選ぶ

フルメニューの [Technical] - [Zoom] - [Zoom Type] でズームの種類を設定します。

[Zoom Type] の設定	
[Optical Zoom Only]	[On(Clear Image Zoom)]
光学ズームのみできる。	光学ズームと全画素超解像ズームができる。

全画素超解像ズーム

本機は、全画素超解像という画像処理技術によるズーム機能を搭載しています。全画素超解像ズームを有効にすると、光学望遠端からさらに寄ることができます。

全画素超解像ズームの最大倍率は、記録解像度により異なります。

- 記録解像度がQFHDのとき：1.5倍
- 記録解像度がHDのとき：2倍

TP1001669991

ソリッドステートメモリーカムコーダー
PXW-Z200/HXR-NX800

ハンドルズームレバーでズームする

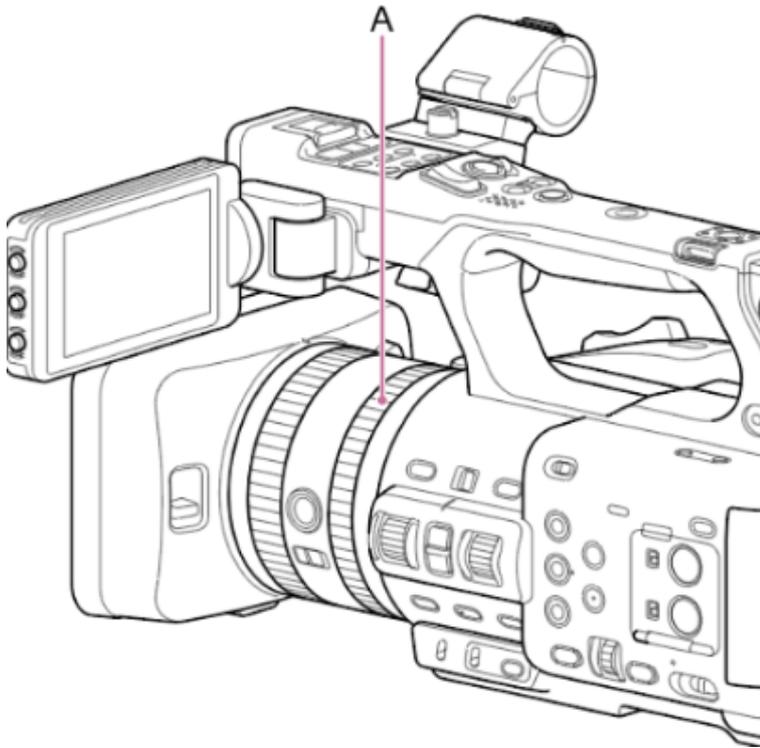
フルメニューの [Technical] - [Handle Zoom] でハンドル部のズームレバーの設定を行います。

TP1001669992

ソリッドステートメモリーカムコーダー
PXW-Z200/HXR-NX800

ズームリングでズームする

ズームリング (A) を回して好みの速さでズームすることができます。微調整も可能です。



ご注意

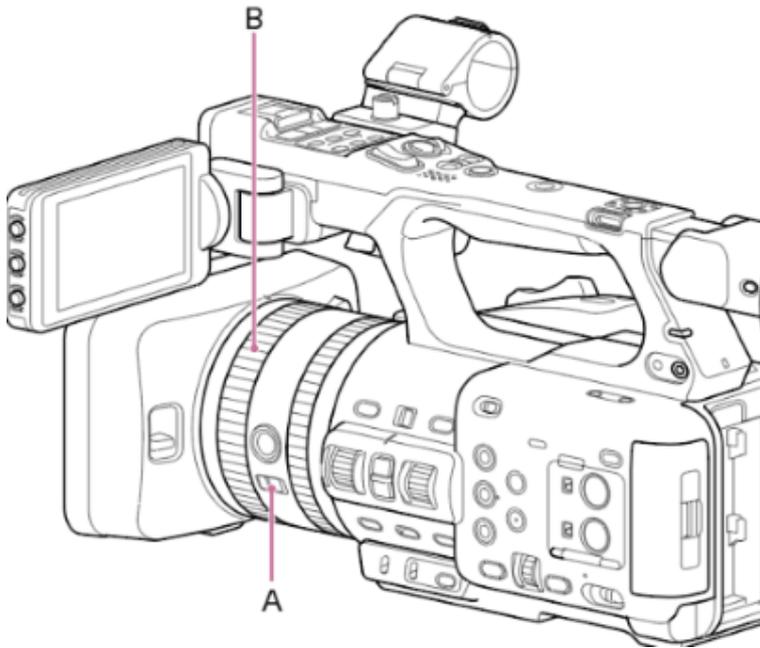
- ズームリングは適度な速さで回してください。速すぎると、ズームリングの回転に追いつかないことがあります。また、ズームの駆動音が記録されることがあります。

TP1001669993

ソリッドステートメモリーカムコーダー
PXW-Z200/HXR-NX800

フォーカスを手動調節する

フォーカスを手動調整するには、FOCUSスイッチ (A) をMFの位置にします。
撮影状況に応じて、フォーカスリング (B) を回して手動でフォーカス合わせができます。



以下のようなときに使います。

- 水滴の多い被写体
- 背景とコントラストの弱い被写体
- 意図的にフォーカスを手前の被写体から奥の被写体に送るとき
- 外気温の大きな変化により、フォーカスのピントが外れたとき (レンズの温度特性による変化時)

ヒント

- 手動調節を基本オペレーションとして、オートフォーカスを補助的に効かせることもできます。
 - AF乗り移り感度設定を [1(Locked On)] にする
 - FOCUSスイッチをAFに設定する
 - フォーカスリングを操作する ([AF Assist])

関連項目

- [手動でフォーカス対象を変更する](#)

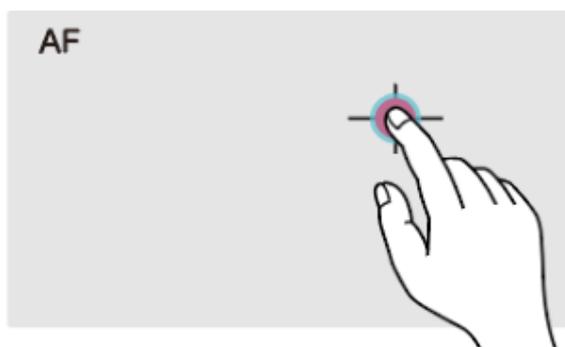
TP1001669994

ソリッドステートメモリーカムコーダー
PXW-Z200/HXR-NX800

タッチ操作でフォーカスを合わせる

マニュアルフォーカス時、ピントを合わせたい位置をタッチ操作で指定すると、フォーカスを合わせることができます。スポットフォーカスを使用するには、[Shooting] - [Focus] - [Touch Function in MF] を [Spot Focus] に設定します。

ピントを合わせたい位置をタップすると、スポットフォーカスマークが表示されます。



ご注意

- スポットフォーカス中に FOCUS PUSH AUTO ボタンを押すとスポットフォーカスを終了し、そのボタンを押している間はオートフォーカスになります。ボタンから指を離すと、マニュアルフォーカスに戻ります。[Push AF/ Push MF] を割り当てたアサインボタンでも同様の操作ができます。
- ピント拡大中、またはフルメニューの [Technical] - [Touch Operation] を [Off] に設定しているときは、スポットフォーカスの位置指定操作はできません。

関連項目

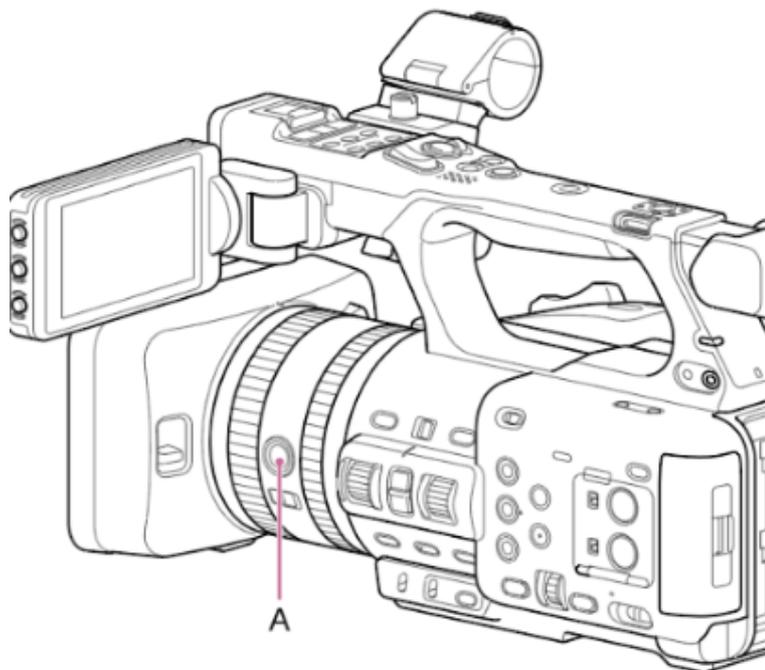
- [タッチパネルの使いかた](#)

TP1001669995

ソリッドステートメモリーカムコーダー
PXW-Z200/HXR-NX800

一時的に自動でフォーカスを合わせる

マニュアルフォーカス中に、FOCUS PUSH AUTOボタン (A) または [Push AF/Push MF] が割り当てられたアサインابلボタンを押すと、そのボタンを押している間はオートフォーカスになります。



フルメニューの [Shooting] - [Focus] - [Focus Area] で設定したフォーカスエリア内でフォーカスを合わせます。
ボタンから指を離すと、マニュアルフォーカスに戻ります。
マニュアルフォーカス中に、ある被写体から別の被写体にゆっくりとフォーカス送りするような場合に有効です。

TP1001669996

ソリッドステートメモリーカムコーダー
PXW-Z200/HXR-NX800

拡大表示をしてフォーカスを合わせる

工場出荷時はグリップのASSIGN（アサイナブル）4ボタンとハンドルのASSIGN（アサイナブル）9ボタンに [Focus Magnifier ×3/×6] が割り当てられています。

ASSIGN（アサイナブル）4ボタンまたはASSIGN（アサイナブル）9ボタンを押すと、LCDモニター/ビューファインダー画面がピント拡大画面に切り替わり、画面中央が約3倍に拡大されます。もう一度押すと約6倍に拡大されます。フォーカスが合っているかを確認するときに便利です。

もう一度押すと元に戻ります。

ピント拡大中にマルチセレクターで拡大位置を移動できます。マルチセレクターを押すと中央に戻ります。

ご注意

- ピント拡大で表示されていても、記録される画像やSDI出力、HDMI出力の画像は拡大されません。
- 拡大位置は本機の電源をオフにすると画面中央に戻ります。

TP1001669997

ソリッドステートメモリーカムコーダー
PXW-Z200/HXR-NX800

フォーカスを自動調節する

本機は、高速性に優れた位相差AF方式と、高い精度でフォーカスを合わせることに優れたコントラストAF方式を採用しています。

これらの2つのAF方式を組み合わせることで、高速性/高精度を両立したオートフォーカスを実現しています。フォーカスを自動調整するには、FOCUSスイッチをAFの位置にします。

ヒント

- フルメニューの [Shooting] - [Focus] - [AF Assist] を [On] に設定すると、オートフォーカス中でもフォーカスリングでフォーカスを動かすことができます。

ご注意

- 撮影状況により精度が出ない場合があります。

TP100166998

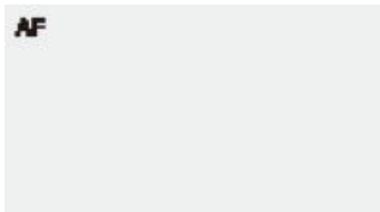
ソリッドステートメモリーカムコーダー
PXW-Z200/HXR-NX800

オートフォーカスの対象領域/位置を設定する

フルメニューの [Shooting] - [Focus] - [Focus Area] でオートフォーカスの対象とする領域を設定できます。

[Wide]

映像全域からフォーカスを合わせる位置を探します。枠は表示されません。



[Zone]

指定したゾーン内から自動でフォーカスを合わせる位置を探します。

選択後、マルチセレクターで位置を指定します。

マルチセレクターを長押しすると中央の位置に戻ります。

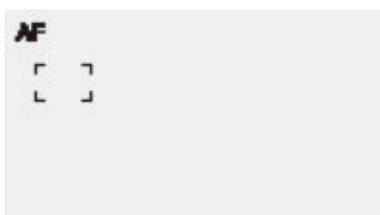


[Flexible Spot]

映像の指定した位置にフォーカスを合わせます。

選択後、マルチセレクターで位置を指定します。

マルチセレクターを長押しすると中央の位置に戻ります。



ヒント

- フルメニューの [Monitoring] - [Display On/Off] - [Focus Area Indicator] で、フォーカス領域の枠を表示/非表示にすることができます。

ご注意

- フォーカス領域の枠はDISPLAYボタンでは非表示になりません。

ソリッドステートメモリーカムコーダー
PXW-Z200/HXR-NX800

フォーカスエリアをすばやく変更する

アサインボタンに [Focus Setting] を割り当てると、撮影中などにオートフォーカスの対象領域（フォーカスエリア）の位置や大きさをすばやく変更することができます。

[Focus Area] の設定により動作が変わります。

【Focus Area】 – 【Wide】 の場合：

[Focus Setting] を割り当てたアサインボタンの長押しによるフォーカスエリアの大きさ変更のみ可能です。[Focus Area] を [Flexible Spot] または [Zone] に設定すれば、続けて位置変更も可能です。

【Focus Area】 – 【Zone】 または 【Flexible Spot】 の場合：

[Focus Setting] を割り当てたアサインボタンを押すと、マルチセレクターでフォーカスエリアの位置を変更することができます。

位置変更中にマルチセレクターを押すと、フォーカスエリアの位置が中央に戻ります。

[Focus Setting] を割り当てたアサインボタンの長押しするとフォーカスエリアの大きさを変更することができます。大きさを変更後、マルチセレクターを押すとフォーカスエリアの位置を設定します。

設定の変更が終了したら、[Focus Setting] を割り当てたアサインボタンを押して元の画面に戻ります。

ヒント

- フォーカスエリアの位置変更が可能な場合は、フォーカスエリア枠がオレンジ色で表示されます。

TP1001670000

ソリッドステートメモリーカムコーダー
PXW-Z200/HXR-NX800

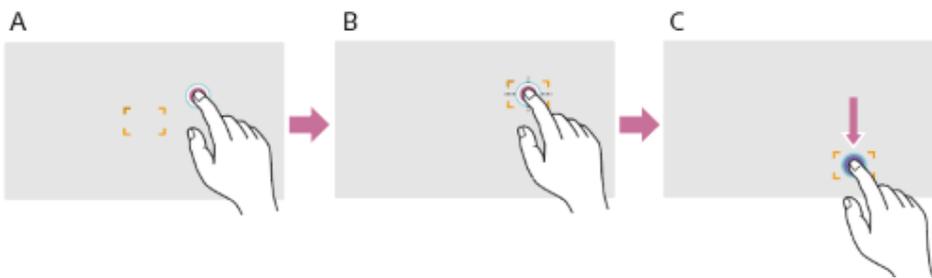
フォーカスエリア枠をタッチ操作で移動する

「Focus Setting」を割り当てたアサインボタンを押すなどしてフォーカスエリアの表示をオレンジにしたとき、タッチ操作で移動できます。

タップした場所をフォーカスエリアの中心とし、フォーカスエリアの位置を移動します。ドラッグすると、フォーカスエリアの位置は指の動きに追従して移動します。

ヒント

- 撮影画面では「Focus Setting」を割り当てたアサインボタンの操作で、タッチフォーカス操作の有効/無効を切り替えることができます。



- A: 任意の位置をタップする
B: タップした位置をフォーカスエリアの中心として位置を移動する
C: ドラッグで指先を追従し、フォーカスエリアの位置を移動する

ご注意

- タップまたはドラッグした位置がフォーカスエリアの位置の設定範囲を超えた場合、フォーカスエリアの位置は設定範囲内の上下左右端に設定されます。
- 以下の場合、この機能は使えません。
 - フルメニューの「Technical」 – 「Touch Operation」を「Off」に設定した場合
 - フォーカスエリア枠がグレーまたは非表示の場合

関連項目

- [タッチパネルの使いかた](#)

TP1001670001

ソリッドステートメモリーカムコーダー
PXW-Z200/HXR-NX800

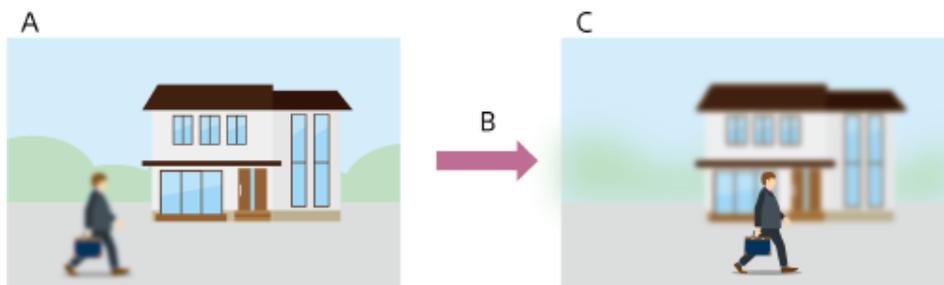
オートフォーカスの動作の調節をする

AFトランジション速度

フルメニューの [Shooting] - [Focus] - [AF Transition Speed] で被写体が移り変わる際のフォーカス駆動の速さを設定することができます。

[1(Slow)] を選択すると被写体の移り変わり時にゆっくりとフォーカス送りし、印象的な映像表現を可能にします。

[7(Fast)] を選択すると被写体間のフォーカス送りがすばやくなります。フレームに入った被写体にすぐにフォーカスが合うので、すばやいフォーカス合わせが要求されるドキュメンタリー撮影などに効果的です。



A : 奥の被写体に合焦している

B : 乗り移り中

[1(Slow)] : フォーカスがゆっくり動く

⋮

[7(Fast)] : フォーカスがすばやく動く

C : 手前の被写体に合焦

AF乗り移り感度

フルメニューの [Shooting] - [Focus] - [AF Subj. Shift Sens.] で、被写体の乗り移り感度を設定することができます。

[1(Locked On)] を選択するとフォーカスの合っている被写体の前に別の被写体が来てもフォーカスが移りにくくなり、

[5(Responsive)] を選択すると手前に来た被写体を優先してフォーカスが移りやすくなります。

ヒント

- [AF Speed/Sens.] を割り当てたアサインボタンを押すたびに、調節用のレベルバーが以下の順で表示され、[AF Transition Speed] と [AF Subj. Shift Sens.] の設定を変更できます。
AFトランジション速度→AF乗り移り感度→非表示・・・

[AF Subj. Shift Sens.] : [1(Locked On)]



別の被写体にフォーカスが移りにくい

[AF Subj. Shift Sens.] : [5(Responsive)]



別の被写体にフォーカスが移りやすい

ソリッドステートメモリーカムコーダー
PXW-Z200/HXR-NX800

手動でフォーカス対象を変更する

フルメニューの [Shooting] - [Focus] - [AF Assist] を [On] に設定すると、オートフォーカス中でもフォーカスリングを操作して任意の被写体にフォーカスを合わせることができます。

フォーカスリングの操作を止めると、フォーカスリングで合わせた被写体にオートフォーカスします (AFアシスト状態)。フルメニューの [Shooting] - [Focus] - [AF Subj. Shift Sens.] の設定に関わらず、フォーカスリング操作後はフォーカスが乗り移りにくくなります。

以下の場合、AFアシスト状態は解除されます。

- フォーカスリングで合わせた被写体を見失ったとき
- マニュアルフォーカスにしたとき
- リアルタイムトラッキングAFを開始したとき

ヒント

- FOCUS PUSH AUTOボタンまたは [Push AF/Push MF] が割り当てられたアサインブルボタンを使うと、AFアシスト状態を素早く解除できます。
- フォーカスリングを操作すると、リアルタイムトラッキングAFは終了します。
- 人物限定AFの場合、フォーカスリングを操作すると一番近い顔にオートフォーカスします。

TP1001670003

ソリッドステートメモリーカムコーダー
PXW-Z200/HXR-NX800

一時的に手動でフォーカスを合わせる

オートフォーカス中に、FOCUS PUSH AUTOボタンを押すと、そのボタンを押している間はマニュアルフォーカスになります。

ボタンから指を離すと、オートフォーカスに戻ります。

被写体の手前を撮影対象でないものが横切るときなどに、一時的にオートフォーカスを止めて手動でフォーカスを合わせることができます。

ヒント

- [Push AF/ Push MF] が割り当てられたアサインボタンでも同様の動作が可能です。
- リアルタイムトラッキングAF中の場合、リアルタイムトラッキングAFを終了します。

TP1001670004

ソリッドステートメモリーカムコーダー
PXW-Z200/HXR-NX800

人物を検出して追尾する

人物を追尾対象として検出し、フォーカスエリア内にある顔や瞳、頭、体にフォーカスを合わせ続けることができます。フォーカスモードがオートフォーカスモードまたはプッシュオートフォーカス中のみ使用できます。人物を検出すると灰色の被写体認識枠が表示されます。オートフォーカスの対象と判断されると、枠が白色になり、追尾が開始されます。よりピンポイントな認識部位（瞳など）が認識された場合は、その部位が自動的に優先されて認識枠が表示されます。複数の人物を検出したときは、主な被写体は自動的に決定します。

ヒント

- フォーカスエリアが [Zone] または [Flexible Spot] に設定されているときは、設定したフォーカスエリアの範囲に人物が重なっているときに、認識した被写体の部位（顔や瞳/頭/体）に認識枠が表示されます。

フルメニューの [Shooting] - [Focus] - [Subject Recognition AF] で、被写体認識AFの動作を設定します。

【Human Only AF】：

カメラが被写体（人物）を検出したとき、人の顔/瞳/頭/体にフォーカスを合わせて追尾します。顔/瞳/頭/体を検出しない間は、オートフォーカスモードが一時停止し、人物限定AF中の （オートフォーカス一時停止アイコン）が表示されます。顔/瞳/頭/体だけにフォーカスを合わせて追尾したいときに有効なモードです。

【Human Priority AF】：

カメラが被写体（人物）の顔/瞳/頭/体を検出したとき、人の顔/瞳/頭/体に優先的にフォーカスを合わせて追尾します。顔/瞳/頭/体を検出しないときは、映像のどこかにフォーカスが合った状態にします（初期設定）。

【Off】：

被写体認識AF機能を無効にします。

ご注意

- [Human Only AF] に設定しているときでも、プッシュオートフォーカス実行中は、[Human Priority AF] になります。
- FOCUSスイッチがMFのときは、被写体認識枠を表示しません（プッシュオートフォーカス実行中、リアルタイムトラッキングAF実行中を除く）。
- [Human Only AF] に設定した状態で本機の電源を切った場合、次に電源を入れると自動的に [Human Priority AF] になります。

被写体認識枠を消す

被写体認識枠の表示/非表示は、フルメニューの [Monitoring] - [Display On/Off] - [Subject Recognition Frame] で設定できます。

アサインブルボタンで被写体認識AFの動作を切り替える

アサインブルボタンに [Subject Recognition AF] を割り当てると、そのボタンを押すたびに、被写体認識AFの動作が [Human Priority AF] → [Human Only AF] → [Off] の順に切り替わります。

ダイレクトメニューで設定する

被写体認識AFの動作は、ダイレクトメニューでも切り替えることができます。

関連項目

- [アサインブルボタン](#)
- [ダイレクトメニュー](#)

ソリッドステートメモリーカムコーダー
PXW-Z200/HXR-NX800

被写体を指定して追尾する

タッチ操作や被写体認識枠の選択操作で指定した被写体にフォーカスを合わせ続けることができます。
被写体を選択すると白色の追尾枠が表示され、追尾が開始されます。

ヒント

- フォーカスエリアの設定に関わらず、映像領域全体で追尾します。

フルメニューの [Shooting] - [Focus] - [Touch Function in MF] を [Tracking AF] に設定すると、フォーカスモードがマニュアルフォーカスモードの場合でもリアルタイムトラッキングAFが可能です。

被写体認識AFの動作モードの設定によって、追尾対象に対して次のように動作します。

【Human Only AF】 / 【Human Priority AF】 :

指定した被写体にフォーカスを合わせ追尾します。

追尾対象が人物で、顔/瞳/頭/体を検出した場合は、顔/瞳/頭/体にフォーカスを合わせます。

追尾対象の顔/瞳/頭/体を検出した場合、追尾対象の顔を保存します。保存が完了すると  (保存された追尾顔ありアイコン) が表示されます。

【Off】 :

指定した被写体にフォーカスを合わせ追尾します。

追尾対象が人物であっても、顔/瞳/頭/体の検出は行いません。

TP1001670006

ソリッドステートメモリーカムコーダー
PXW-Z200/HXR-NX800

リアルタイムトラッキングAFを開始する

特定の被写体を追尾対象に指定すると、その被写体に対して追尾が開始されます。

タッチ操作で指定する

次のいずれかの状態のときに、追尾対象とする被写体をタップします。

- フォーカスモードがマニュアルフォーカスモード、またはプッシュマニュアルフォーカス中で、フルメニューの [Shooting] - [Focus] - [Touch Function in MF] - [Tracking AF] のとき
- フォーカスモードがオートフォーカスモード、またはプッシュオートフォーカス (AF) 中のとき

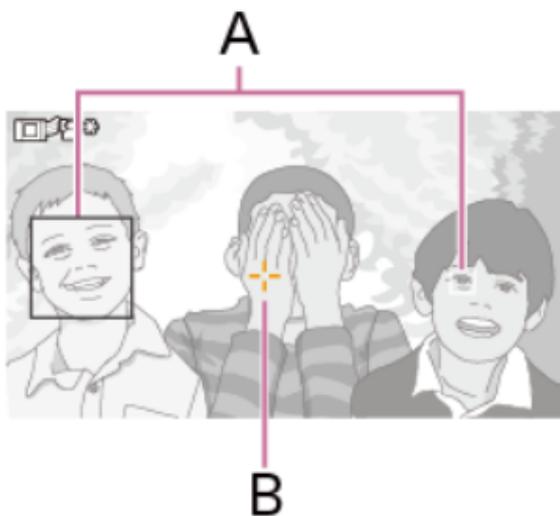
ご注意

- フルメニューの [Technical] - [Touch Operation] を [Off] に設定した場合はタッチ操作での指定はできません。

トラッキングAFポインターで指定する

フルメニューの [Shooting] - [Focus] - [Multi Selector Function] を [Pointer] に設定すると、タッチ操作の代わりにマルチセクターで画面上の被写体を自由に選ぶことができます。

マルチセクターで被写体にトラッキングAFポインターを追尾対象にする被写体に移動して、マルチセクターを押し込みます。



A: 瞳顔枠

B: トラッキングAFポインター

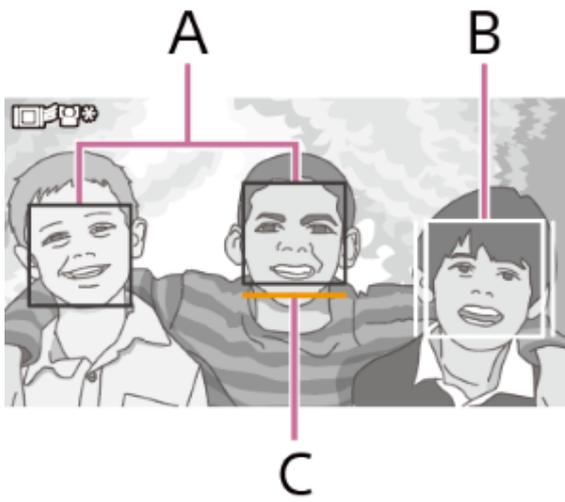
ビューファインダーを使用している場合やタッチパネル操作を無効にしている場合に便利です。

トラッキングAFポインターは、ポインターの色や縁取りを変えることで見やすくしたり、撮影を邪魔しすぎないようにすることができます。

被写体認識枠の選択操作で指定する

フルメニューの [Shooting] - [Focus] - [Multi Selector Function] を [Subject Sel. Cursor] に設定すると、被写体認識枠をマルチセクターで選ぶことができます。

マルチセクターで被写体選択カーソル (オレンジ色の下線) を追尾対象にする被写体に移動して、マルチセクターを押し込みます。



- A : 他の顔検出枠（灰色）
B : 追尾枠
C : 顔選択カーソル（オレンジ）

ヒント

- リアルタイムトラッキングAF中に追尾対象を変更することもできます。

ご注意

- マニュアルフォーカス中は、被写体認識枠の選択操作でトラッキングを開始できません。

TP1001670007

ソリッドステートメモリーカムコーダー
PXW-Z200/HXR-NX800

リアルタイムトラッキングAFを終了する

タッチ操作で終了する

タッチパネル左上に表示される  (リアルタイムトラッキングAF終了) ボタンをタップします。

ヒント

- 以下の場合もリアルタイムトラッキングAFが終了します。
 - FOCUS PUSH AUTOボタンまたは [Push AF/Push MF] を割り当てたアサインボタンを押したとき
 - FOCUSスイッチでAUTO/MANを切り替えたとき
 - フォーカスモードを変更したとき
 - オートフォーカスアシストを実行したとき
 - フォーカスエリアの設定や被写体認識AFの動作を変更したとき
 - 撮影画面内から追尾対象がなくなり、フォーカスがどこにも合っていない状態が数秒経過したとき

TP1001670008

ソリッドステートメモリーカムコーダー
PXW-Z200/HXR-NX800

撮影時のご注意

以下の場合、状況によってはうまく被写体にピントが合わないことがあります。

- 低照度、逆光時
- 影がかかった状態
- ピントが大きくずれた状態

また、被写体の動きが大きいときなど、瞳を認識していても、以下の場合、状況によってはうまく瞳にピントが合わないことがあります。

- 目を閉じた状態
- 瞳に毛などがかかった状態
- メガネ（サングラス）をかけた状態

ほかにも、状況によって被写体にピントを合わせられない場合があります。

- 被写体の瞳などの優先したい部位にピントを合わせることができないときは、被写体の頭部や体などの認識されたほかの部位に自動でピントを合わせることがあります。
- 被写体の顔などに白色の被写体認識枠が表示されていても、自動的に被写体の瞳などの優先したい部位にピントを合わせることがあります。
- 被写体の一部しか画角に入っていないときは認識しない場合があります。
 - 人物や動物の手や足のみが見えている場合
 - 被写体の一部が隠れて見えない場合など
- 状況によっては、被写体以外のものや部位などを被写体と誤認識することがあります。

TP1001670009

ソリッドステートメモリーカムコーダー
PXW-Z200/HXR-NX800

アイリスを調節する

アイリスを調節して、明るさを調節できます。

アイリスを自動調節する

被写体に応じて明るさを調節します。

IRIS AUTOボタンを長押ししてAUTOにする。

ヒント

- [Auto Iris] のダイレクトメニューで [Auto] を選んでも同様の操作ができます。
- アサインナブルボタンに [Auto Iris] を割り当てることもできます。

アイリスを手動調節する

1. IRIS AUTOボタンを長押ししてMANUALにする。
2. IRISダイヤルを回して調節する。

ヒント

- ダイレクトメニューでF値を選択し、マルチセレクターを上下させることで同様の操作ができます。

一時的に自動調節する

[Push Auto Iris] を割り当てたアサインナブルボタンを押している間、アイリスを自動調節します。指を離すと手動アイリスに戻ります。

TP1001670010

ソリッドステートメモリーカムコーダー
PXW-Z200/HXR-NX800

ゲインを調節する

ゲインを調節して、明るさを調節できます。

ゲインを自動調節する

[ISO/Gain] が割り当てられたアサインボタンを長押しして **[AGC]** のダイレクトメニューを表示させ、**[Auto]** を選ぶ。

ヒント

- フルメニューの **[Shooting]** - **[Auto Exposure]** - **[AGC]** を **[On]** に設定しても同様の調節が可能です。
- アサインボタンに **[AGC]** を割り当てることもできます。

ゲインを手動調節する

アイリスを固定したまま露出調整したいときや、AGCによるゲインアップを行いたくないときなどに使用します。

1. **[ISO/Gain]** が割り当てられたアサインボタンを長押しして **[AGC]** のダイレクトメニューを表示させ、**[Manual]** を選ぶ。
2. **ISO/GAIN** スイッチで **L/M/H** を選ぶ。

ヒント

- **[Camera]** ステータス - **[ISO/Gain<L>]** / **[ISO/Gain<M>]** / **[ISO/Gain<H>]**、またはフルメニューの **[Shooting]** - **[ISO/Gain]** - **[ISO/Gain<L>]** / **[ISO/Gain<M>]** / **[ISO/Gain<H>]** で各スイッチポジションのプリセット値を変更できます。
- アサインボタンに **[Push AGC]** を割り当てると、そのボタンを押している間だけ **[AGC]** を **[On]** にできます。

ゲインを微調整する

1. **[ISO/Gain]** が割り当てられたアサインボタンを押して、ゲイン値が白背景で表示された状態にする。
2. マルチファンクションダイヤルを回して調節する。

ヒント

- **ISO/GAIN** スイッチの設定に応じたゲインプリセット値を変更します。

ゲインを一時的に微調整する

マルチファンクションダイヤルに **[ISO/Gain]** を割り当てると、**ISO/GAIN** スイッチで設定した値からダイヤルで調整することができます。

被写界深度を変えずにもう一步露出を追い込みたいときに便利です。

一時的に微調整した結果は、**ISO/GAIN** スイッチの切り替えや **[AGC]** を **[On]**、電源をオフにすると無効になります。

ヒント

- アサインボタンに **[Push AGC]** を割り当てると、そのボタンを押している間だけ **[AGC]** を **[On]** にできます。

ソリッドステートメモリーカムコーダー
PXW-Z200/HXR-NX800

シャッターを調節する

シャッターを調節して、明るさを調節できます。

シャッターを自動調節する

[Shutter] が割り当てられたアサインボタンを長押ししてダイレクトメニューを表示させ、[Auto] を選ぶと、映像の明るさに応じて自動でシャッター速度または開角度を調節できます。

ヒント

- フルメニューの [Shooting] - [Auto Exposure] - [Auto Shutter] を [On] に設定しても同様の調節が可能です。

シャッターを手動調節する

1. [Shutter] が割り当てられたアサインボタンを長押ししてダイレクトメニューを表示させ、[Speed] または [Angle] を選ぶ。
2. [Shutter] が割り当てられたアサインボタンを押して、シャッター値が白背景で表示された状態にする。
3. マルチファンクションダイヤルを回してシャッター速度を調節する。

ヒント

- 露光時間をフレーム周期に合わせる場合は、手順1で [Off] を選択します。
- 角度で設定したり、光源の周波数に応じてシャッター速度を細かく設定することもできます。

TP1001670012

ソリッドステートメモリーカムコーダー
PXW-Z200/HXR-NX800

光量を調節する

撮影状況が明るすぎる場合は、NDフィルターを変更して適切な明るさにすることができます。
本機は2つのNDフィルターモードを備えています。2つのモードはND PRESET/VARIABLEスイッチで切り替えます。

プリセットモードで調節する

ND PRESET/VARIABLEスイッチをPRESETの位置にして、ND FILTER POSITION上下ボタンで切り替えます。

[Clear] : NDなし

[1] : フルメニューの [Shooting] - [ND Filter] - [Preset1] で設定した透過率。

[2] : フルメニューの [Shooting] - [ND Filter] - [Preset2] で設定した透過率。

[3] : フルメニューの [Shooting] - [ND Filter] - [Preset3] で設定した透過率。

バリエابلモードで調節する

ND PRESET/VARIABLEスイッチをVARIABLEの位置にします。ND FILTER POSITION上下ボタンで [Clear] と [On] を切り替えます。

光量を自動調節する

[Auto ND Filter] を [On] にして、NDフィルターを使った自動露出調節を行います。

1. ND FILTER POSITION上下ボタンの+を押して、NDフィルターを [On] にする。
2. ND AUTOボタンを [Auto] になるまで長押しする。

光量を手動調節する

1. ND FILTER POSITION上下ボタンの+を押して、NDフィルターを [On] にする。
2. ND AUTOボタンを [Manual] になるまで長押しする。
3. ND VARIABLEダイヤルを回してフィルターの透過率を調節する。

一時的に自動調節する

[Push Auto ND] が割り当てられたアサインボタンを押している間、[Auto ND Filter] が [On] になります。指を離すと [Off] に戻ります。

ND FILTER POSITION上下ボタンの+を押して、NDフィルターを [On] にしておいてください。

ご注意

- 撮影中に [Clear] をまたいでNDフィルターを切り替えたとき、画像内にNDフィルターの枠が入り、音声に動作音が入ります。

ヒント

- ND VARIABLEダイヤルをND1/4からさらに下に回すと、[Clear] にすることができます。また、[Clear] からある程度上に回すと、ND1/4にすることができます。フルメニューの [Technical] - [ND Dial] - [CLEAR with Dial] で、この動作を無効にすることができます。
- ND FILTER POSITION上下ボタンの代わりに、[ND Filter Position] が割り当てられたアサインボタンを押して設定を変更することもできます。
プリセットモード : [Clear] → [Preset1] → [Preset2] → [Preset3] → [Clear] ……
バリエابلモード : [Clear] → [On] → [Clear] ……
- [Auto ND Filter] が割り当てられたアサインボタンを押して [Auto ND Filter] モードを [On] / [Off] にすることもできます。
- 明るい被写体を撮影するとき、アイリスを極端に絞ると回折現象が生じフォーカスが甘くなることがあります（ビデオカメラでは一般的に起こる現象です）。NDフィルターを使うことでこの現象を抑え、より良好な撮影結果を得ることができます。

ソリッドステートメモリーカムコーダー
PXW-Z200/HXR-NX800

ホワイトバランスを自動で調節する

常に適切なホワイトバランスになるように自動的に調節します。

光源の色温度が変化すると、ホワイトバランスを自動的に調節し直します。

[White Balance] が割り当てられたアサインボタンを長押しして、ダイレクトメニューから [ATW] を設定します。フルメニューの [Shooting] - [White Setting] - [ATW Speed] で調節速度を選択します。

ヒント

- アサインボタンに [ATW Hold] 機能を割り当てておくと、このボタンを押すことによって、ATWモードでも一時的にATWを停止させ、ホワイトバランスを固定することができます。

ご注意

- 照明や被写体の条件によっては、ATWを使用しても適切な色に調節できないことがあります。
例：
 - 空/海/地面/草花など単一色の被写体が大部分を占める場合
 - 色温度が非常に高い/非常に低い光源下の被写体
 - ATWの自動追従の時間が遅い場合や、適切な効果が得られない場合は、オートホワイトバランスを実行してください。

TP1001670014

ソリッドステートメモリーカムコーダー
PXW-Z200/HXR-NX800

ホワイトバランスを手動で調節する

1. ホワイトバランスがATWモードになっているときは、[White Balance] が割り当てられたアサインブルボタンを長押しして、ダイレクトメニューから [W:P] / [W:A] / [W:B] を選ぶ。
2. WHT BALスイッチでB/A/PRESETを選択する。
B: メモリーBモード
A: メモリーAモード
PRESET: プリセットモード

ヒント

- フルメニューの [Shooting] - [White Setting] - [White Switch] を [ATW] に設定すると、メモリーBに [ATW] が割り当てられます。

メモリーA/メモリーBモード

メモリーAまたはメモリーBに保存されたホワイトバランスに調節します。

プリセットモード

色温度をプリセット値 (工場出荷時: [3200K]) に調節するモードです。

既定のプリセット値に変更する

プリセットモードでは既定のプリセット値に直接変更することができます。

[White Balance] が割り当てられたアサインブルボタンを長押しして、ダイレクトメニューで以下から選択する。

カスタム撮影: → [3200K] → [4300K] → [5600K] → [6300K]

ログ撮影: → [3200K] → [4300K] → [5500K]

ヒント

- [Preset White Select] が割り当てられたアサインブルボタンを押して設定を変更することもできます。
カスタム撮影:
[→3200K]
[→4300K]
[→5600K]
[→6300K]
ログ撮影:
[→3200K]
[→4300K]
[→5500K]

任意の色温度に変更する

1. [White Balance] が割り当てられたアサインブルボタンを押して、色温度が白背景で表示された状態にする。
2. マルチファンクションダイヤルを回して調節する。

ヒント

- プリセットモードでは100K単位で設定できます。
- メモリーモードでは、[2000K] ~ [5600K] は20K単位で設定できます。[5600K] より上の値は、[5580K] から [5600K] の色変化量が等しくなる間隔で設定できます。また、フルメニューの [Shooting] - [White] - [Tint] の調節ができます。

オートホワイトバランスを実行する

メモリーA/メモリーBモードで保存するホワイトバランスを自動で設定します。

1. メモリーAモードまたはメモリーBモードを選択する。
2. 被写体の照明光源と同じ条件のところに白い紙などを置き、ズームアップして画面に白を映す。
3. 明るさを調節する。

アイリスを手動調節してください。詳細は下記をご覧ください。

[アイリスを調節する](#)

4. WB SETボタンを押す。

- メモリーモードで実行した場合、自動で調節した結果は手順1で選択したメモリー（AまたはB）に保存されます。
- ATWモードで実行した場合、自動調節が終わると、結果を引き継いでATWを再開します。[ATW Speed] の設定に関わらず、最速でホワイトバランスをあわせたいときに使用できます。

ご注意

- 正常に終了しなかったときは画面に約3秒間エラーメッセージが表示されます。繰り返し調整を試みてもエラーメッセージが表示されるときは、ソニーのサービス担当者にご相談ください。

TP1001670015

5-060-574-01(2) Copyright 2024 Sony Corporation

ソリッドステートメモリーカムコーダー
PXW-Z200/HXR-NX800

手ブレ補正を使う

手ブレ補正機能を有効にすると、撮影時の細かな動きによる画像のぶれを抑えることができます。

1. フルメニューの [Shooting] – [SteadyShot] – [Setting] を [Active] / [Standard] に設定する。

[Standard] : 手ブレによって生じる撮像映像のぶれを抑えます。

[Active] : [Standard] より強力な補正を行うことで、歩きながらの撮影など、より強い手ブレを補正します。

[Off] : 手ブレ補正モードをオフにします。

アサインボタンに [SteadyShot]、[SteadyShot Active] または [SteadyShot Standard] を割り当てておくと、そのボタンを押すたびに、[Standard]、[Active]、[Off] が切り替わります。切り替え順序については、フルメニューの [Project] – [Assignable Button] をご覧ください。

[\[Project\] メニュー](#)

設定は、撮影画面に表示されます。

また、ダイレクトメニューで、手ブレ補正の [Standard]、[Active]、[Off] の切り替えができます。

ヒント

- スロー&クイックモーションで撮影しているときは [Active] に設定できません。
- 三脚に載せて安定した状態で使用するときは、手ブレ補正を [Off] にしてください。

TP1001670016

ソリッドステートメモリーカムコーダー
PXW-Z200/HXR-NX800

収録する音声を設定する

本機の入力端子やスイッチ、ダイヤルなどを使い、収録する音声を設定します。

外部音声の入力端子と切り替えスイッチ

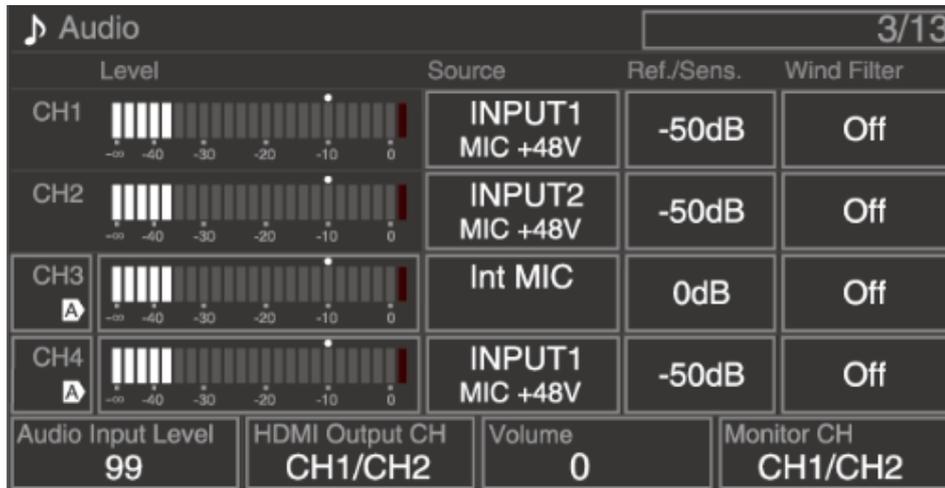
INPUT 1端子
INPUT 2端子
INPUT 3端子 (外部マイク接続用)
マルチインターフェースシュー
INPUT 1スイッチ (LINE/MIC/MIC+48V)
INPUT 2スイッチ (LINE/MIC/MIC+48V)

録音レベルの設定用スイッチ/ダイヤル

CH1 (AUTO/MAN) スイッチ
CH2 (AUTO/MAN) スイッチ
AUDIO LEVELダイヤル (CH1)
AUDIO LEVELダイヤル (CH2)

【Audio】ステータス画面

AUDIOボタンを押すと、【Audio】ステータス画面が表示されます。MENUボタンを押して、画面を上下にスクロールして表示させることもできます。



TP1001670017

ソリッドステートメモリーカムコーダー
PXW-Z200/HXR-NX800

音声入力機器を選ぶ

- 1 [Audio] ステータスの [CH1] / [CH2] / [CH3] / [CH4] - [Source]、またはフルメニューの [Audio] - [Audio Input] - [CH1 Input Select] / [CH2 Input Select] / [CH3 Input Select] / [CH4 Input Select] で音声入力を切り替える。

マルチインターフェースシューに接続されたマイクやXLRアダプターを使う場合は、[Shoe CH1] または [Shoe CH2] もしくは [Shoe CH3] または [Shoe CH4] を設定します。XLRアダプターについて、詳細は下記をご覧ください。
[オーディオ入力端子を増設する](#)

ご注意

- スロー&クイックモーション撮影では、音声は記録されません。
- [CH1 Input Select] と [CH2 Input Select] が [Internal MIC] に設定されている場合、CH1とCH2の録音レベルは共に AUDIO LEVELダイヤル (CH1) に連動して調節されます。[CH3 Input Select] と [CH4 Input Select] が [Internal MIC] に設定されている場合、CH3とCH4の録音レベルは共に [CH3 Input Level] に連動して調節されます。

- 2 入力する音源を選ぶ。

INPUT 1/INPUT 2端子に接続する機器に合わせて、INPUT 1/INPUT 2 (LINE/MIC/MIC+48V) スイッチを設定します。

接続機器	スイッチの位置
外部音声機器 (ミキサーなど)	LINE
ダイナミックマイクや電池内蔵のマイク	MIC
+48V電源 (ファンタム電源) 対応のマイク	MIC+48V

- MIC+48Vにしたままで+48V電源に対応していない機器を接続すると、接続した機器の故障の原因になります。接続前にご確認ください。
- 接続しない端子の雑音が気になるときは、INPUT 1/INPUT 2 (LINE/MIC/MIC+48V) スイッチをLINEにしてください。

TP1001670018

ソリッドステートメモリーカムコーダー
PXW-Z200/HXR-NX800

録音レベルを自動調節する

自動調節するチャンネルのCH1/CH2 (AUTO/MAN) スイッチをAUTOの位置にします。
CH3/CH4の場合は、[Audio] ステータス、またはフルメニューの [Audio] - [Audio Input] - [CH3 Level Control] / [CH4 Level Control] を [Auto] に設定します。

関連項目

- [ブロックダイアグラム](#)

TP1001670019

ソリッドステートメモリーカムコーダー
PXW-Z200/HXR-NX800

録音レベルを手動調節する

CH1/CH2の録音レベルを手動調節する場合は、以下の手順で行います。

- 1 調節するチャンネルのCH1/CH2 (AUTO/MAN) スイッチをMANの位置にする。
- 2 撮影中またはスタンバイ中に、調節するチャンネルのAUDIO LEVELダイヤル (CH1) / (CH2) を回して、音量を調節する。
 - CH3/CH4の場合は、[Audio] ステータスの [CH3] / [CH4]、またはフルメニューの [Audio] - [Audio Input] - [CH3 Level Control] / [CH4 Level Control] を [Manual] に設定し、[CH3 Input Level] / [CH4 Input Level] で録音レベルを調節します。
 - CH1~CH4を一括してレベル調節することもできます。[Audio Input Level] が割り当てられたマルチファンクションダイヤルや、[Audio] ステータス、またはフルメニューの [Audio] - [Audio Input] - [Audio Input Level] で調節します。

ヒント

- 音声入力レベルの確認には、[Audio] ステータス画面が便利です。

ご注意

- [Audio] メニューの設定の組み合わせにより [Audio Input Level] の設定が無効になる場合があります。
- 本機では組み合わせによりさまざまな設定ができます。
- 設定の組み合わせについて、詳細は下記をご覧ください。
[ブロックダイヤグラム](#)

TP1001670020

ソリッドステートメモリーカムコーダー
PXW-Z200/HXR-NX800

オーディオ入力端子を増設する

XLRアダプターXLR-K2M (別売)、XLR-K3M (別売) を使うと、同時に4系統のXLR音声機器を本機に接続することができます。

XLR-K2Mの場合

マルチインターフェースシューにXLRアダプターを装着して、[Audio] ステータスの [CH3] - [Source] を [Shoe CH1] に設定し、[CH4] - [Source] を [Shoe CH2] に設定してください。

または、フルメニューの [Audio] - [Audio Input] - [CH3 Input Select] を [Shoe CH1] に設定し、[CH4 Input Select] を [Shoe CH2] に設定してください。

XLR-K2Mは、4ch対応ではなく2ch対応のマイクです。CH3/CH4には対応していないため、カメラ本体で [Shoe CH3] または [Shoe CH4] に設定されたチャンネルは無音になります。

XLR-K3Mの場合

マルチインターフェースシューにXLRアダプターを装着して、[Audio] ステータスの [CH3] - [Source] を [Shoe CH1] または [Shoe CH3] に設定し、[CH4] - [Source] を [Shoe CH2] または [Shoe CH4] に設定してください。

または、フルメニューの [Audio] - [Audio Input] - [CH3 Input Select] を [Shoe CH1] または [Shoe CH3] に設定し、[CH4 Input Select] を [Shoe CH2] または [Shoe CH4] に設定してください。

ご注意

- 本機はXLR-K3Mのデジタル4chオーディオインターフェースに対応しています。
- [Audio] - [Audio Input] - [CH3 Level] / [CH4 Level] を [Audio Input Level] に設定した場合は、XLRアダプターで調節したレベルに本機の [Audio Input Level] が掛け合わされます。XLRアダプターのスイッチをAUTOに設定した場合も [Audio Input Level] が有効になります。[Through] に設定した場合は、XLRアダプターで調節したレベルで記録されます。
- 入力にXLRアダプターを選択したチャンネルでは、重複する本機の機能は無効になります。XLRアダプターのスイッチやダイヤルで調節してください。

TP1001670021

ソリッドステートメモリーカムコーダー
PXW-Z200/HXR-NX800

ダイレクトメニュー

撮影画面に表示される本機の状態や設定を、直接選択して変更することができます。
設定できる項目は、以下のとおりです。

- [Subject Recognition AF]
- [SteadyShot]
- [White Mode]
- [Color Temp]
- [Scene File]
- [ND Filter Position] / [Auto ND Filter]
- [ND Filter Value]
- [Auto Iris]
- Iris value
- [AGC]
- ISO value
- Gain value
- [Auto Shutter] / [ECS]
- [Shutter Value]
- [Auto Exposure Mode]
- [Auto Exposure Level]
- S&Q motion frame rate

1. **マルチファンクションダイヤル、または [Direct Menu] が割り当てられたアサインボタンを押す。**
ダイレクトメニュー操作のできる項目のいずれかにオレンジのカーソルが表示されます。
2. **マルチファンクションダイヤルで操作したい項目にカーソルを合わせ、マルチファンクションダイヤルを押す。**
メニューが表示されるか、または項目が白背景で表示されます。
3. **マルチファンクションダイヤルで設定を選び、マルチファンクションダイヤルを押す。**
メニューまたは白背景が消えて、新しい設定がオレンジのカーソルで表示されます。
再び [Direct Menu] が割り当てられたアサインボタンを押すか、何も操作しないで3秒経過すると、ダイレクトメニューが終了します。

ヒント

- 各種ファンクションボタンを長押しして、直接設定をする状態にすることもできます。
- 白背景で表示された状態では、マルチファンクションダイヤルをアサインダイヤルのように使うことができます。
- 選択操作はマルチセレクターでも行えます。
- ダイレクトメニューはタッチ操作できません。

TP1001670022

ソリッドステートメモリーカムコーダー
PXW-Z200/HXR-NX800

アサインナブルボタン

本機には、機能を割り当てて使用できるアサインナブルボタンが12個あります。
本体のマルチファンクションダイヤルにも機能を割り当てることができます。

ボタンの機能を変更する

フルメニューの [Project] - [Assignable Button] で設定します。
割り当てられた機能は、[Assignable Button] ステータス画面で確認することができます。

工場出荷時にアサインナブルボタンに割り当てられている機能

アサインナブルボタン	機能
ASSIGN (アサインナブル) 1ボタン	[S&Q Motion]
ASSIGN (アサインナブル) 2ボタン	[Network Status]
ASSIGN (アサインナブル) 3ボタン	[NIGHTSHOT]
ASSIGN (アサインナブル) 4ボタン	[Focus Magnifier ×3/×6]
ASSIGN (アサインナブル) 5ボタン	[Direct Menu]
ASSIGN (アサインナブル) 6ボタン	[ISO/Gain]
ASSIGN (アサインナブル) 7ボタン	[White Balance]
ASSIGN (アサインナブル) 8ボタン	[Shutter]
ASSIGN (アサインナブル) 9ボタン	[Focus Magnifier ×3/×6]
ASSIGN (アサインナブル) 10ボタン	[Direct Menu]
ASSIGN (アサインナブル) 11ボタン	[Video Signal Monitor]
FOCUS PUSH AUTOボタン	[Push AF/Push MF]

割り当てられる機能

- [Off]
- [ISO/Gain]
- [AGC]
- [Push AGC]
- [ND Filter Position]
- [Auto ND Filter]
- [Push Auto ND]
- [Auto Iris]
- [Push Auto Iris]
- [Shutter]
- [Auto Shutter]
- [AE Level/Mode]
- [Backlight]
- [Spotlight]
- [Preset White Select]
- [White Balance]
- [ATW]
- [ATW Hold]

- [AF Speed/Sens.]
- [Focus Setting]
- [Subject Recognition AF]
- [Push AF/Push MF]
- [Focus Hold]
- [Focus Magnifier ×3/×6]
- [Focus Magnifier ×3]
- [Focus Magnifier ×6]
- [S&Q Motion]
- [LUT On/Off **1**]
- [LUT On/Off **2**]
- [NIGHTSHOT]
- [SteadyShot]
- [SteadyShot Active]
- [SteadyShot Standard]
- [Rec]
- [Auto Framing Pause]
- [Auto Framing Settings]
- [Rec Review]
- [Shot Mark1]
- [Shot Mark2]
- [Clip Flag OK]
- [Clip Flag NG]
- [Clip Flag Keep]
- [Color Bars]
- [Tally [Front]]
- [DURATION/TC/U-BIT]
- [Display]
- [Lens Info]
- [Video Signal Monitor]
- [Marker]
- [LCD/VF Adjust]
- [Gamma Display Assist]
- [Peaking]
- [Zebra]
- [Thumbnail]
- [Touch Operation]
- [Handle Zoom]
- [Stream]
- [Auto Upload (Proxy)]
- [Enlarge Screen]
- [Direct Menu]
- [Network Status]
- [User Menu]
- [Menu]

ダイヤルの機能を変更する

本体のマルチファンクションダイヤルの機能を変更することができます。

マルチファンクションダイヤルはフルメニューの [Project] – [Multi Function Dial] – [Default Function] で設定します。

工場出荷時には [Off] が割り当てられています。

マルチファンクションダイヤルに割り当てられる機能

- [Off]
- [ISO/Gain]
- [Auto Exposure Level]
- [Audio Input Level]

ご注意

- メニューなどを表示しているときは、本設定は無効になります。

ソリッドステートメモリーカムコーダー
PXW-Z200/HXR-NX800

スロー&クイックモーション

記録フォーマットが下記に設定されているときは、撮像時のフレームレートを再生時のフレームレートと異なる値に設定することができます。

記録フォーマット			フレームレート
システム周波数	コーデック	ビデオフォーマット	
59.94/50/23.98	[XAVC HS-L 422]	3840×2160P	1-60、100、120
	[XAVC HS-L 420]	3840×2160P	1-60、100、120
59.94/50/29.97/25/23.98	[XAVC S-L 422] / [XAVC S-L 420] / [XAVC S-I]	3840×2160P	1-60、100、120
		1920×1080P	1-60、100、120、150、180、200、240

[S&Q Motion] が割り当てられたアサインボタンを押すと、スロー&クイックモーションモードをオン/オフできます。ボタンを長押しすると、撮像時のフレームレートを設定できます。

ヒント

- [Project] ステータスの [Rec Function] またはフルメニューの [Shooting] - [S&Q Motion] でも設定することができます。

ご注意

- 記録中、再生中、サムネイル表示中は、スロー&クイックモーションモードにできません。
- スロー&クイックモーションモードでは、音声は記録できません。
- スロー&クイックモーションモードでは、オートシャッターは無効になります。

TP1001670024

ソリッドステートメモリーカムコーダー
PXW-Z200/HXR-NX800

オートフレーミング

撮影する被写体（人物）を自動で追尾し、カメラが被写体を捉え続けながら自動的に最適な構図に切り出しされた映像を撮影できます。

ライブ撮影において、オートフレーミングで切り出された映像をライブ配信に利用しつつ、切り出し前の映像をクリップに残してパッケージメディアの素材にする、といった使い方ができます。

[Project] ステータスの [Auto Framing]、またはフルメニューの [Project] - [Auto Framing] - [Setting] を [On] に設定し、以下の設定を行います。

オートフレーミングの開始方法

フルメニューの [Project] - [Auto Framing] - [Framing Operation Mode] で設定します。

撮影する被写体の大きさ

[Project] ステータスまたはフルメニューの [Project] - [Auto Framing] - [Crop Level] で設定します。

被写体に追従する速度

[Project] ステータスまたはフルメニューの [Project] - [Auto Framing] - [Framing Tracking Speed] で設定します。

映像の切り出し設定

- 記録映像とストリーミング出力される映像：
フルメニューの [Project] - [Auto Framing] - [Rec/Stream] で設定します。
- HDMIに出力される映像：
フルメニューの [Project] - [Auto Framing] - [HDMI] で設定します。

ヒント

- [Auto Framing Pause] を割り当てたアサインボタンを押すと、オートフレーミングを一時停止して映像全体を出力します。もう一度押すと切り出しを再開します。意図した構図から外れた場合の対処にご利用いただけます。
- [Auto Framing Settings] を割り当てたアサインボタンを押すと、[Crop Level] と [Framing Tracking Speed] を設定できません。

ご注意

- 撮影状況によっては最適な構図で切り出しされない場合があります。
- 本機能が有効なとき、SDI出力はできません。

TP1001670025

ソリッドステートメモリーカムコーダー
PXW-Z200/HXR-NX800

メモリーカードAとメモリーカードBの両方に記録する

[Project] - [Simul Rec]、またはフルメニューの [Project] - [Simul Rec] - [Setting] を [On] に設定すると、メモリーカードAとメモリーカードBの両方に同時に記録できます。

メモリーカードAとメモリーカードBの記録操作を別々に行う

録画START/STOPボタンとハンドルの録画START/STOPボタンで、それぞれ別のメモリーカードを記録開始/停止することができます。

工場出荷時は、どちらのボタンもメモリーカードAとメモリーカードBの両方に同時に記録するように設定されています。

- [Rec Button:   Handle Rec Button:  ]

それぞれのボタンで別のメモリーカードへ記録するように設定したとき、以下の記録開始/停止制御は、スロットAの記録状態に従います。

PXW-Z200 : [SDI/HDMI Rec Control]

HXR-NX800 : [HDMI Rec Control]

設定を変えるには

フルメニューの [Project] - [Simul Rec] を [Rec Button Set] に設定します。

[Rec Button Set] の設定	ボタンとメモリーカード
[Rec Button:   Handle Rec Button:  ]	どちらのボタンを押しても、メモリーカードAとメモリーカードBに同時に記録を開始/停止する。
[Rec Button:  Handle Rec Button: ]	録画START/STOPボタンを押したときはメモリーカードAに、ハンドルの録画START/STOPボタンを押したときはメモリーカードBに、記録を開始/停止する。
[Rec Button:  Handle Rec Button: ]	録画START/STOPボタンを押したときはメモリーカードBに、ハンドルの録画START/STOPボタンを押したときはメモリーカードAに、記録を開始/停止する。

ヒント

- LANCリモコンやスマートフォンアプリのリモコンの録画ボタンは、本機のグリップ部の録画START/STOPボタンと同じ動作をします。

ハンドルの録画START/STOPボタンの誤操作を防止するには

ハンドルのHOLDスイッチをHOLDの位置にします。

ファイル名について

2スロット同時記録の場合は、生成されるクリップはどちらのメディアも同じクリップ名になります。

TP1001670026

ソリッドステートメモリーカムコーダー
PXW-Z200/HXR-NX800

映像信号モニター

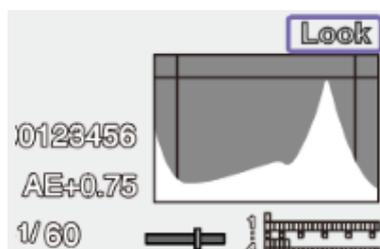
フルメニューの [Monitoring] - [Display On/Off] - [Video Signal Monitor] で、ビューファインダー画面に表示する映像信号の種類をウェーブフォーム/ベクトルスコープ/ヒストグラムのいずれかに設定できます。

オレンジの線はゼブラレベルの設定値を表します。

[Video Signal Monitor] を割り当てたアサインナブルボタンでも設定できます。

モニター対象の表示

ログ撮影のときは、モニター対象を示す情報として、LUTを適用している場合は「Look」、LUTを適用していない場合は「SG3/SLog3」または「SG3C/SLog3」が映像信号モニターの右上に表示されます。



TP1001670027

ソリッドステートメモリーカムコーダー
PXW-Z200/HXR-NX800

ガンマ表示アシスト機能

カスタム撮影で、フルメニューの [Project] - [Base Setting] - [Target Display] を [HDR(HLG)] に設定したとき、[Monitoring] ステータスの [Gamma Display Assist] を [On] に設定すると、ビューファインダーをHDR撮影しやすい表示にすることができます。フルメニューの [Monitoring] - [Gamma Display Assist] - [Setting] でも設定することができます。

ガンマ表示アシスト機能有効時にビューファインダーの表示を選択する

ガンマ表示アシスト機能が有効なときにビューファインダーのHDR映像の表示方法を次の2種類から選択できます。

HDRの低輝度部分や高輝度部分のコントラストを保持して表示する

HDRの表現力を活かし、明るめの露出、または暗めの露出で撮影した場合にも、黒つぶれや白飛びを起こさずに映像をビューファインダーに表示できます。その反面、全体のコントラストは少し低くなります。

この表示方法を使用するには、フルメニューの [Project] - [HDR Setting] - [LCD/VF SDR Preview] を [Off] に設定します。

HDRからSDRへの変換を想定して簡易変換されたSDRを表示

いままでのSDRと同様の感覚でのカメラオペレーションが可能です。

HDRとSDRのゲイン差を [SDR Gain] で設定することで、HDR映像の明るさを設定できます。

この表示方法を使用するには次の設定を行います。

1. フルメニューの [Project] - [HDR Setting] - [LCD/VF SDR Preview] を [On] に設定する。
2. フルメニューの [Project] - [HDR Setting] - [SDR Gain] でHDRモード時のSDRゲイン値を調節する。

ヒント

- 撮影後、SR Live Metadataを使用してHDR映像からSDRに変換する場合、変換に [SDR Gain] が適用され、撮影時にビューファインダーで確認していた露出のSDR映像に変換されます。

TP1001670028

ソリッドステートメモリーカムコーダー
PXW-Z200/HXR-NX800

クリップフラグ

【Clip Flag OK】が割り当てられたアサインボタンを押すと、【Add OK】が実行され記録中または直前に記録したクリップに【OK】のクリップフラグが付けられます。再生中のクリップにもクリップフラグを付けることができます。2回続けて押すと【Delete Clip Flag】が実行され、【OK】のクリップフラグが消えます。

ヒント

- フルメニューの【Thumbnail】 - 【Set Clip Flag】でクリップフラグを付けることもできます。
- サムネイル画面をクリップフラグの種類別に表示することができます（フィルタードクリップサムネイル画面）。詳細は下記をご覧ください。
[クリップを操作する](#)

TP1001670029

ソリッドステートメモリーカムコーダー
PXW-Z200/HXR-NX800

プロキシ記録

本機は高解像度のオリジナルクリップの動画をメモリーカードに記録しながら、低解像度のプロキシクリップを同時に記録できます。

プロキシクリップは短時間で自動分割して、記録終了前でもファイルの転送を行うことができます。

使用可能なメモリーカードや、メモリーカードのフォーマット方法、残容量の確認方法について、詳細は下記をご覧ください。

[推奨メモリーカードについて](#)

[メモリーカードを初期化する](#)

[残りの記録可能時間を確認する](#)

記録されるファイルについて

拡張子は「.mp4」です。

タイムコードも同時に記録されます。

ファイルの保存先について

記録したファイルは、以下のディレクトリーに保存されます。

メモリーカード	フォルダパス	
	通常記録	分割記録
SDXC	/PRIVATE/M4ROOT/SUB	/PRIVATE/M4ROOT/GENERAL/SONY/PXTMP
CFexpress Type A	/M4ROOT/SUB	/PRIVATE/M4ROOT/GENERAL/SONY/PXTMP

ファイル名について

メモリーカードに記録されるクリップ名+S03となります。ただし、プロキシクリップ分割記録し、転送する場合には、オリジナルクリップ名+分割番号+S03となります。

プロキシ記録で撮影する

以下の手順でプロキシ記録の撮影を行います。

1. **【Project】ステータス - 【Proxy Rec】またはフルメニューの【Project】 - 【Proxy Rec】 - 【Setting】を【On】に設定する。**
2. **メモリーカードをCFexpress Type A/SDカードスロットに差し込む。**
 - CFexpressカードの場合はラベルを左にする。
 - SDカードの場合はラベルを右にして切り欠き部を下にする。

ご注意

- プロキシ記録は、スロー&クイックモーションと同時に【On】にすることはできません。プロキシ記録が【On】の状態、スロー&クイックモーションを【On】にすると、プロキシ記録は一時的に【Off】になります。

3. **録画START/STOPボタンを押す。**

プロキシ記録で撮影が開始されます。

ご注意

- メモリーカードにアクセス中に本機の電源を切ったりメモリーカードを抜いた場合はデータは保証されません。メモリーカードに記録されたすべてのデータが壊れる可能性があります。電源を切ったり、メモリーカードを抜くときは、必ず使用するメモリーカードのアクセスランプが消灯していることを確認してから操作してください。

- 出し入れ時にはメモリーカードの飛び出しにご注意ください。

撮影を終了するには

記録停止の操作を行います。

プロキシ記録時のオーディオチャンネルを設定するには

フルメニューの [Project] - [Proxy Rec] - [Audio Channel] で、プロキシデータに記録するオーディオチャンネルを設定できます。

TP1001670030

5-060-574-01(2) Copyright 2024 Sony Corporation

ソリッドステートメモリーカムコーダー
PXW-Z200/HXR-NX800

プロキシクリップを分割記録し、転送する

自動転送の設定を [Chunk] にしてプロキシクリップを分割記録すると、本線記録中でもプロキシクリップを転送することが可能になります。

分割記録したプロキシクリップの転送について、詳細は下記をご覧ください。

[クリップを自動転送する](#)

1. フルメニューの [Project] – [Proxy Rec] – [Chunk] で分割記録時間を選択する。

[30s] : 30秒単位でプロキシクリップを分割して記録します (初期設定値)。

[1min] : 1分単位でプロキシクリップを分割して記録します。

[2min] : 2分単位でプロキシクリップを分割して記録します。

2. フルメニューの [Network] – [File Transfer] – [Auto Upload (Proxy)] を [Chunk] に設定する。

オリジナルクリップはスロットAのメディアに記録され、分割記録したプロキシクリップはスロットBのメディアに記録されます。

3. プロキシ記録を開始する。

設定した分割記録時間ごとにプロキシクリップが転送ジョブとしてジョブリストに登録されます。

ご注意

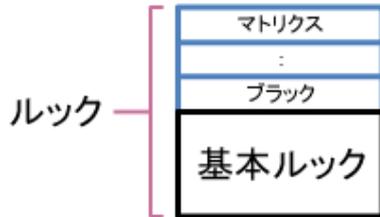
- [Auto Upload (Proxy)] を [Chunk] に設定しない場合、プロキシの分割記録は行われません。
- スロットBのメディアは分割したプロキシクリップの記録専用となるため、リレー記録や2スロット同時記録はできません。

TP1001670031

ソリッドステートメモリーカムコーダー
PXW-Z200/HXR-NX800

ルックを選ぶ

本機の撮影モードが [Custom] のときは、基本ルックをベースにブラックやマトリクスなどの調節を加えてルックを構成します。



これらの設定をSceneファイルに保存することで、内容の異なるルックを簡単に選ぶことができます。本機は、計6個のプリセットのルックを用意しています。

1. 撮影画面でマルチファンクションダイヤルを押す。
2. **[SCN]**1 (Sceneファイル) アイコンを選ぶ。
3. マルチファンクションダイヤルを押す。
4. メニューから好みのルックを選択し、マルチファンクションダイヤルを押す。

ヒント

- 工場出荷時は、以下がプリセットされています。

[Shooting Mode]	[Custom]	
[Target Display]	[SDR(BT.709)]	[HDR(HLG)]
Sceneファイル1	[S-Cinetone]	[HLG Live]
Sceneファイル2	[ITU709]	[HLG Mild]
Sceneファイル3	[709tone]	[HLG Natural]
Sceneファイル4	未登録	未登録
Sceneファイル5~16	未登録	未登録

- フルメニューの [Paint/Look] - [Scene File] - [Recall] でもルックを選択することができます。なお、プリセットのルックは [Scene File] - [Preset Recall] でも呼び出せます。

TP1001670032

ソリッドステートメモリーカムコーダー
PXW-Z200/HXR-NX800

好みの基本ルックをインポートする

PCなどで作成した3D LUTファイルを、基本ルックとしてメモリーカードまたはクラウドサービスから最大16個までインポートすることができます。

- ファイル形式：Catalyst BrowseやRAW Viewerで生成される17格子または33格子のCUBEファイル (*.cube)
- 入力色域/ガンマ：S-Gamut3.Cine/S-Log3またはS-Gamut3/S-Log3

メモリーカードからインポートする

3D LUTファイルをメモリーカードからインポートします。

1. PCなどでメモリーカードの所定のフォルダに、3D LUTファイルを保存する。

メモリーカード	フォルダパス
SDXC	/PRIVATE/SONY/PRO/LUT/
CFexpress Type A	/SONY/PRO/LUT/

2. 3D LUTファイルを保存したメモリーカードを、CFexpress Type A/SDカードスロット (B) に差し込む。
3. フルメニューの [Paint/Look] - [Base Look] - [Import from Media(B)] を実行する。
4. インポート先を選択する。
5. インポートする3D LUTファイルを選択する。
画面の指示に従ってください。本機は3D LUTファイルを基本ルックとして取り扱います。
6. フルメニューの [Paint/Look] - [Base Look] - [Select] でインポートした3D LUTファイルを選択する。
7. インポートした3D LUTファイルの属性に合わせて、フルメニューの [Paint/Look] - [Base Look] - [Input] と [Output] を設定する。

クラウドサービスからインポートする

3D LUTファイルをクラウドサービスからインポートします。

1. 本機をスマートフォンアプリ「Creators' App for enterprise」に接続する。
2. フルメニューの [Paint/Look] - [Base Look] - [Import from Cloud(Private)] / [Import from Cloud(Share)] を実行する。
3. インポート先を選択する。
4. インポートする3D LUTファイルを選択する。
画面の指示に従ってください。本機は3D LUTファイルを基本ルックとして取り扱います。
5. フルメニューの [Paint/Look] - [Base Look] - [Select] でインポートした3D LUTファイルを選択する。
6. インポートした3D LUTファイルの属性に合わせて、フルメニューの [Paint/Look] - [Base Look] - [Input] と [Output] を設定する。

露出不足を調節する

インポートした基本ルックを使って自動露出をしたときに露出不足の傾向がある場合は、フルメニューの [Paint/Look] - [Base Look] - [AE Level Offset] で調節してください。

ご注意

- 3D LUTファイルをインポートしただけでは映像に反映されません。フルメニューの [Paint/Look] - [Base Look] - [Select] でインポートした3D LUTファイルを読み出してください。
- [Input] を正しく設定しないと、本来のルックになりません。

- 設定項目 [Input] / [Output] / [AE Level Offset] は、[Select] で選択された基本ルックに適用されます。複数の3D LUTファイルをインポートした場合は、各3D LUTファイルを [Select] で選択し、[Input] / [Output] / [AE Level Offset] をそれぞれ設定してください。
- 設定した [Input] / [Output] / [AE Level Offset] は、3D LUTファイルごとに保存されます。
- インポートした3D LUTファイルは、[SDR(BT.709)] / [HDR(HLG)] /ログ撮影共通の基本ルック/LUT選択肢となりますが、これらのモードに応じた色域/ガンマ変換は行いません。
- フルメニューの [Maintenance] - [All Reset] - [Reset] を実行しても3D LUTファイルは削除されません。

TP1001670033

5-060-574-01(2) Copyright 2024 Sony Corporation

ソリッドステートメモリーカムコーダー
PXW-Z200/HXR-NX800

ルックをカスタマイズする

フルメニューの [Paint/Look] - [Matrix] などの各設定項目で、基本ルックを基にルックをカスタマイズすることができます。

設定するときは、本機をテレビやモニターにつないで、画像を確認しながら調節してください。

ご注意

- 3D LUTファイルをインポートして映像に適用したとき、フルメニューの [Paint/Look] - [Matrix] などの基本ルック以外の各設定が変更されていると、3D LUTファイルに定義された通りのルックになりません。フルメニューの [Paint/Look] - [Reset Paint Settings] - [Reset without Base Look] でカスタマイズされた設定値をまとめてリセットできます。

TP1001670034

ソリッドステートメモリーカムコーダー
PXW-Z200/HXR-NX800

ルックを保存する

フルメニューの [Paint/Look] - [Scene File] - [Store] で、現在のルックをSceneファイルとして内部メモリーに保存できます。

撮影画面からダイレクトメニューの操作で簡単に呼び出せるようになります。

ヒント

- プリセットのSceneファイルも上書きできます。
- プリセットのSceneファイルを復元するには、フルメニューの [Paint/Look] - [Scene File] - [Preset Recall] で復元したいルックを読み出したあと、 [Scene File] - [Store] でSceneファイルに保存してください。

ご注意

- ルックを保存せずにほかのルックを選択すると、保存前のルックは破棄されます。
- フルメニューの [Maintenance] - [All Reset] - [Reset] を実行しても、Sceneファイルは削除されません。

保存したルックを削除する

フルメニューの [Paint/Look] - [Scene File] - [Delete] で内部メモリーに保存されているSceneファイルを削除できます。

ヒント

- 削除すると、ダイレクトメニューに表示されなくなります。

TP1001670035

ソリッドステートメモリーカムコーダー
PXW-Z200/HXR-NX800

基本ルックを削除する

フルメニューの [Paint/Look] - [Base Look] - [Delete] でインポートした3D LUTファイルを削除できます。
フルメニューの [Paint/Look] - [Base Look] - [Delete All] ですべての3D LUTファイルを削除できます。

ご注意

- 削除する前に、その基本ルックがSceneファイルで使用されていないことをご確認ください。使用されている基本ルックを削除した場合、該当するSceneファイルのルックは不適切なものになります。
- インポートした3D LUTファイルは、フルメニューの [Maintenance] - [All Reset] - [Reset] を実行しても削除されません。
- 削除した基本ルックは、ログ撮影でもLUTとして使えなくなります。

TP1001670036

ソリッドステートメモリーカムコーダー
PXW-Z200/HXR-NX800

暗い場所で撮影する

NIGHTSHOT用IRライトを点灯することで、真っ暗な場所でも撮影することができます。
フルメニューの [Shooting] - [NIGHTSHOT] - [Setting] を [On] に設定します。

赤外線ライトの点灯設定をする

フルメニューの [Shooting] - [NIGHTSHOT] - [IR Light] で設定します。

撮影色の設定をする

フルメニューの [Shooting] - [NIGHTSHOT] - [Image Color] で設定します。

ヒント

- [NIGHTSHOT] を割り当てたアサインボタンでもナイトショットをオンにできます。

ご注意

- ナイトショットモードは赤外線を利用するため、NIGHTSHOT用IRライトを指などで覆わないでください。
- レンズフードは取り外してください。
- 明るい場所で使うと、故障の原因になります。

TP1001670037

ソリッドステートメモリーカムコーダー
PXW-Z200/HXR-NX800

ネットワーク機能でできること

本機とスマートフォン/タブレットなどのモバイル機器を接続すると、モバイル機器をリモコンとして利用することができます。また、本機をインターネットに接続すると、ファイル転送や様々なサービスを利用することができます。

- リモート操作
モバイル機器で、本機の撮影映像や再生映像を見ながら、本機をリモート操作することができます。
- ファイル転送
本機のメモリーカードに記録したプロキシクリップやオリジナルクリップを、インターネット経由でクラウドサーバーに転送することができます。
- ストリーミング
本機の撮影映像をRTMP/RTMPSやSRTでストリーミングすることができます。

「Monitor & Control」アプリケーション

モバイル機器の画面で本機の映像をモニタリングしながら、ホワイトバランスや露出の設定、フォーカス操作などを行えるアプリケーションです。

「Creators' App for enterprise」アプリケーション

「Creators' App for enterprise」アプリケーションを使うと、クラウドサービス「C3 Portal」へのファイル転送を簡単に行うことができます。

あらかじめ「C3 Portal」のアカウントを取得し、モバイル機器に「Creators' App for enterprise」をインストールしてください。

「C3 Portal」のアカウントの取得については、所属組織の管理者にお問い合わせください。

ご注意

- お住まいの地域によってはクラウドサービスを提供していない場合があります。

「Camera Remote SDK」

ソニーが提供する、ソフトウェア開発者自身がソニーのカメラを使ったソリューションやアプリケーションを開発する環境です。開発者はこのSDKを使うことにより、ホストPCからソニーのカメラのリモート制御を行ない、撮影やモニタリングといった独自のアプリケーションを開発することが可能となります。

各アプリケーションやSDKについては、お買い上げ店またはソニーのサービス窓口にご確認ください。操作方法については、それぞれのヘルプまたはヘルプガイドをご覧ください。

TP1001670038

ソリッドステートメモリーカムコーダー
PXW-Z200/HXR-NX800

「Monitor & Control」と接続する

本機とモバイル機器を接続して「Monitor & Control」を使ってモバイル機器で本機の映像をモニタリングしながら操作できます。

接続方式
BluetoothペアリングでのWi-Fi接続/Bluetooth pairing (Wi-Fi)
カメラをAP ¹⁾ としたWi-Fi接続 (Wi-Fi Direct接続) /Wi-Fi
無線LANルーターをAP ¹⁾ としたWi-Fi接続/Wi-Fi
ルーター経由での有線LAN接続/Wired LAN
モバイル機器をAP ¹⁾ としたWi-Fiテザリング ²⁾ /Tethering (Wi-Fi)
モバイル機器をAP ¹⁾ としたUSBテザリング ²⁾ /Tethering (USB)

1) アクセスポイント (AP) : Wi-Fi接続するためのSSIDを提供する機器

2) テザリング (インターネット共有) : モバイル端末のSIMカードを利用して、モバイル回線のデータ通信により、インターネット接続を可能にする機能

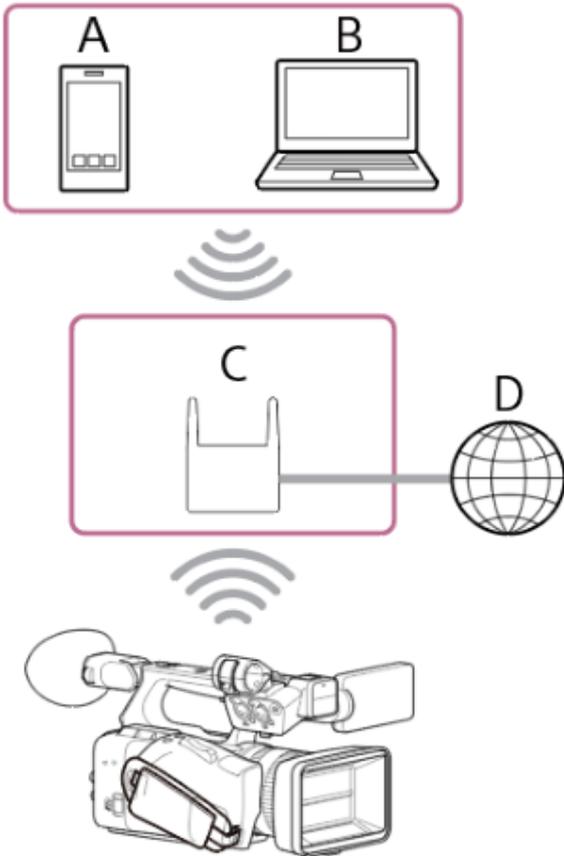
本機とモバイル機器との接続方法や「Monitor & Control」の操作については、「Monitor & Control」のヘルプガイドをご覧ください。

TP1001670039

ソリッドステートメモリーカムコーダー
PXW-Z200/HXR-NX800

無線LANでインターネットに接続する

本機を既存の無線LANのアクセスポイントに接続します。操作用のモバイル機器とはアクセスポイント経由で接続します。接続したアクセスポイントの履歴は、過去10件まで記憶されます。接続履歴はAllファイルに保存されますが、アクセスポイントのパスワードは保存されないため、Allファイル読み込み後の再接続の際にはパスワードの入力が必要となります。



- A: スマートフォン/タブレット
B: コンピューター
C: アクセスポイント
D: インターネット

ヒント

- アクセスポイントに接続するとき、本機はステーション (ST) モードにします。
- モバイル機器をアクセスポイントに設定できる場合があります (Wi-Fiテザリング)。詳しくは、モバイル機器の取扱説明書をご覧ください。

アクセスポイント自動検出機能を使って接続する

1. NETWORKボタンを押す。

[Network] ステータスが表示されます。

ヒント

- MENUボタンを押して、画面を上下にスクロールして表示させることもできます。

2. [Wireless LAN] - [Setting] を [Wireless LAN ST] に設定する。

ご注意

- 本機は、無線LANと有線LANを同時に使用できません。

3. **[Wireless LAN] の [Status] を押す。**
[Scan Networks] 画面が表示されます。
4. **接続するネットワークのアクセスポイントを選択し、パスワードを入力する。**
5. **必要に応じて以下の接続設定を行う。**

設定項目	説明
[DHCP]	DHCPを設定します。 [On] に設定すると、自動的に本機にIPアドレスを割り当てます。手動で本機のIPアドレスを入力する場合は、[Off] に設定します。
[IP Address]	本機のIPアドレスを入力します。 [DHCP] を [Off] に設定したときに有効です。
[Subnet Mask]	本機のサブネットマスクを入力します。 [DHCP] を [Off] に設定したときに有効です。
[Gateway]	アクセスポイントのゲートウェイを入力します。 [DHCP] を [Off] に設定したときに有効です。
[DNS Auto]	DNS自動取得設定をします。 [On] に設定すると、自動的にDNSサーバーのアドレスを取得します。 [DHCP] を [On] に設定したときに有効です。
[Primary DNS Server]	アクセスポイントのプライマリDNSサーバーを入力します。 [DNS Auto] を [Off] に設定したときに有効です。
[Secondary DNS Server]	アクセスポイントのセカンダリDNSサーバーを入力します。 [DNS Auto] を [Off] に設定したときに有効です。

6. **設定が完了したら [Connect] ボタンを押す。**
本機がインターネットに接続されます。

ヒント

- 「Monitor & Control」や「Creators' App for enterprise」、「Camera Remote SDK」を使用する場合など、外部からの操作を許可する場合は、[Network] ステータス - [Wireless LAN] - [Remote] を [Enable] に設定してください。
- [Network] ステータス画面の [Show Authentication] ボタンを押すと、本機に接続するための認証情報が表示されます。画面を盗み見られたりQRコードの画像を流出させないようにご注意ください。

アクセスポイントの情報を手動で入力して接続する

1. **[Network] ステータスの [Wireless LAN] - [Setting] を [Wireless LAN ST] に設定する。**
2. **フルメニューの [Network] - [Wireless LAN] の [Manual Register] を設定する。**
[Wireless LAN] - [Manual Register] 画面が表示されます。
3. **以下の設定を行う。**

設定項目	説明
[SSID]	無線LANアクセスポイントのSSIDを入力します。
[Security]	暗号化方式を選択します。 ご注意 <ul style="list-style-type: none">● [None] を選択すると、安全のためパスワードがクリアされます。

設定項目	説明
[Password]	無線LANアクセスポイントのパスワードを入力します。
[DHCP]	DHCPを設定します。[On] に設定すると、自動的に本機にIPアドレスを割り当てます。手動で本機のIPアドレスを入力する場合は、[Off] に設定します。
[IP Address]	本機のIPアドレスを入力します。 [DHCP] を [Off] に設定したときに有効です。
[Subnet Mask]	本機のサブネットマスクを入力します。 [DHCP] を [Off] に設定したときに有効です。
[Gateway]	ゲートウェイのアドレスを入力します。 [DHCP] を [Off] に設定したときに有効です。
[DNS Auto]	DNS自動取得設定をします。[On] に設定すると、自動的にDNSサーバーのアドレスを取得します。 [DHCP] を [On] に設定したときに有効です。
[Primary DNS Server]	プライマリDNSサーバーのアドレスを入力します。 [DNS Auto] を [Off] に設定したときに有効です。
[Secondary DNS Server]	セカンダリDNSサーバーのアドレスを入力します。 [DNS Auto] を [Off] に設定したときに有効です。

4. 設定が完了したら【Connect】ボタンを押す。

本機がインターネットに接続されます。

ヒント

- 「Monitor & Control」や「Creators' App for enterprise」、「Camera Remote SDK」を使用する場合など、外部からの操作を許可する場合は、[Network] ステータス - [Wireless LAN] - [Remote] を [Enable] に設定してください。
- [Network] ステータス画面の [Show Authentication] ボタンを押すと、本機に接続するための認証情報が表示されます。画面を盗み見られたりQRコードの画像を流出させないようにご注意ください。

TP1001670040

ソリッドステートメモリーカムコーダー
PXW-Z200/HXR-NX800

USBテザリングでインターネットに接続する

USBケーブルで本機とスマートフォンを接続し、スマートフォンの回線を使用してインターネットに接続します。

1. **本機の電源を入れる。**
2. **NETWORKボタンを押す。**
[Network] ステータスが表示されます。

ヒント

- MENUボタンを押して、画面を上下にスクロールして表示させることもできます。

3. **[USB Tethering] – [Setting] を [On] に設定する。**
4. **USBケーブルで本機とスマートフォンを接続する。**
5. **スマートフォンのテザリング通信を有効に設定する。**
詳しくは、スマートフォンの取扱説明書をご覧ください。
本機がインターネットに接続されます。

ヒント

- 「Monitor & Control」や「Creators' App for enterprise」、「Camera Remote SDK」を使用する場合など、外部からの操作を許可する場合は、[Network] ステータス – [USB Tethering] – [Remote] を [Enable] に設定してください。
- [Network] ステータス画面の [Show Authentication] ボタンを押すと、本機に接続するための認証情報が表示されます。画面を盗み見られたりQRコードの画像を流出させないようにご注意ください。

ご注意

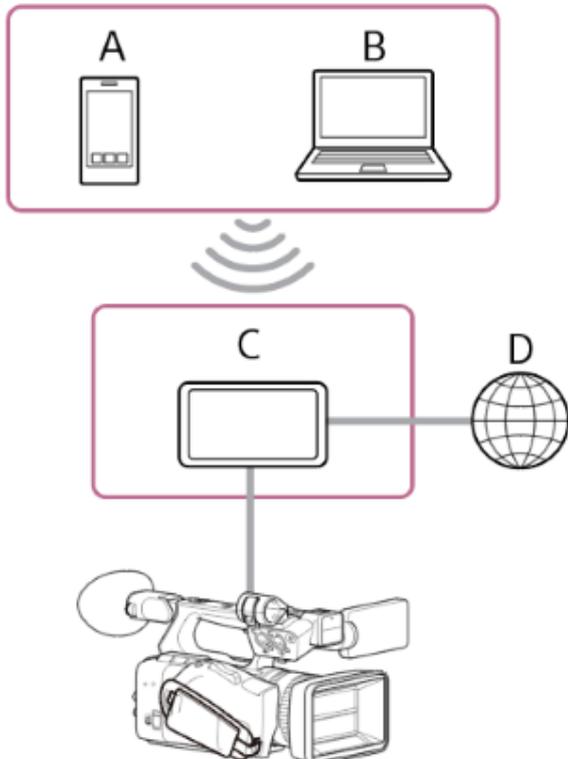
- USBケーブルを接続したときに「USB接続を有効にしますか？」が表示された場合、[OK] ボタンを押さずに [Cancel] ボタンを押してください。
- 黒い画面に「USB接続中」と表示されている場合は、USBケーブルを抜いて撮影画面に戻り、USBテザリングを [On] にしてからUSBケーブルを接続してください。
- USBハブを介してスマートフォンを接続した場合、USBテザリングは使用できません。

TP1001670041

ソリッドステートメモリーカムコーダー
PXW-Z200/HXR-NX800

有線LANでインターネットに接続する

本機と無線LANルーターを有線LAN接続してインターネットに接続します。



- A: スマートフォン/タブレット
B: コンピューター
C: 無線LANルーター
D: インターネット

1. 本機のネットワーク端子と無線LANルーターをLANケーブルで接続する。
2. 本機の電源を入れる。
3. **NETWORK**ボタンを押す。
[Network] ステータスが表示されます。

ヒント

- MENUボタンを押して、画面を上下にスクロールして表示させることもできます。

4. **[Wired LAN]** - **[Setting]** を **[Wired LAN]** に設定する。

ご注意

- 本機は、無線LANと有線LANを同時に使用できません。

5. 必要に応じて、フルメニューの **[Network]** - **[Wired LAN]** - **[Detail Settings]** で以下の設定を行い、**[Set]** を選択する。

設定項目	説明
[DHCP]	DHCPを設定します。[On] に設定すると、自動的に本機にIPアドレスを割り当てます。手動で本機のIPアドレスを入力する場合は、[Off] に設定します。

設定項目	説明
[IP Address]	本機のIPアドレスを入力します。 [DHCP] を [Off] に設定したときに有効です。
[Subnet Mask]	本機のサブネットマスクを入力します。 [DHCP] を [Off] に設定したときに有効です。
[Gateway]	ゲートウェイのアドレスを入力します。 [DHCP] を [Off] に設定したときに有効です。
[DNS Auto]	DNS自動取得設定をします。[On] に設定すると、自動的にDNSサーバーのアドレスを取得します。 [DHCP] を [On] に設定したときに有効です。
[Primary DNS Server]	プライマリDNSサーバーのアドレスを入力します。 [DNS Auto] を [Off] に設定したときに有効です。
[Secondary DNS Server]	セカンダリDNSサーバーのアドレスを入力します。 [DNS Auto] を [Off] に設定したときに有効です。

ヒント

- 「Monitor & Control」や「Creators' App for enterprise」、「Camera Remote SDK」を使用する場合など、外部からの操作を許可する場合は、[Network] ステータス - [Wired LAN] - [Remote] を [Enable] に設定してください。
- [Network] ステータス画面の [Show Authentication] ボタンを押すと、本機に接続するための認証情報が表示されます。画面を盗み見られたりQRコードの画像を流出させないようにご注意ください。

ご注意

- 接続設定を変更した場合、必ず [Set] を選択してください。[Set] を選択しなかった場合は設定した内容が反映されません。

TP1001670042

ソリッドステートメモリーカムコーダー
PXW-Z200/HXR-NX800

「C3 Portal」へファイルを転送する

「Creators' App for enterprise」を使って、クラウドサービス「C3 Portal」へファイルを転送することができます。

1. フルメニューの [Network] – [Network Setup] – [Setup for Mobile App] を実行する。

自動変更される項目の確認画面が表示されます。

[Network] メニューの設定が次のように自動変更されます。

- [USB Tethering] – [Setting] – [On]
- [USB Tethering] – [Camera Remote Control] – [Enable]

2. 設定内容を確認して [OK] を選択する。

設定が開始されます。

設定中はメッセージが表示されます。

設定が正常に終了すると、LCDモニターまたはビューファインダーにアクセス認証の画面が表示されます。



画面には以下の情報が表示されます。

ユーザー名/パスワード/フィンガープリント/カメラのモデル名/シリアル番号

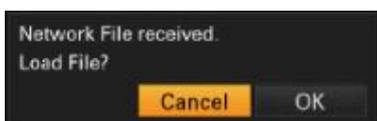
ヒント

- 本画面は映像出力へ出力されません。

ご注意

- パスワードを盗み見られたり、QRコードの画像を流出させないように注意してください。

3. スマートフォンの「Creators' App for enterprise」を起動し、クラウドサービス「C3 Portal」にサインインする。
4. 本機のUSB-C端子にUSBケーブルを接続し、スマートフォンを接続する。
5. スマートフォンのUSBテザリング機能を有効にする。
詳しくは、スマートフォンの取扱説明書をご覧ください。
6. 「Creators' App for enterprise」の画面の指示に従って、本機のLCDモニターに表示されたQRコードを撮影する。
スマートフォンから本機へファイル転送の設定情報が送られ、本機に次の画面が表示されます。



7. [OK] を選択する。

設定の読み込みが開始されます。

設定の読み込みが正常に終了すると、メッセージが表示されます。

ご注意

- 「Creators' App for enterprise」は、本機の [Network] - [File Transfer] の設定を書き換えます。
- [Root Certificate] は自動では設定できません。手動で設定してください。

オリジナルクリップを転送する

[File Transfer] ステータスまたはフルメニューの [Network] - [File Transfer] - [Auto Upload] を [On] に設定すると、オリジナルクリップを「C3 Portal」へ転送できます。

記録を終了するたびに、「C3 Portal」のアカウントに紐づけされた場所へクリップが転送されます。

プロキシクリップを転送する

[File Transfer] ステータスまたはフルメニューの [Network] - [File Transfer] - [Auto Upload (Proxy)] を [On] に設定すると、プロキシクリップを「C3 Portal」へ転送できます。

記録を終了するたびに、「C3 Portal」のアカウントに紐づけされた場所へクリップが転送されます。

ヒント

- 本機から転送されたファイルは、「Creators' App for enterprise」でキャッシュされながら「C3 Portal」へ転送されます。本機のファイル転送状態の表示は、「Creators' App for enterprise」への転送状況を示しています。
- 本機から「Creators' App for enterprise」へファイル転送が終了した後は、本機の電源をオフにすることができますが、スマートフォンからのファイル転送は継続している場合があります。スマートフォンの電池残量にはご注意ください。
- 「C3 Portal」へ任意のクリップを転送することができます。詳細は下記をご覧ください。
[クリップを選んで転送する](#)
- 「C3 Portal」で保存された3D LUTファイルの本機にインポートすることができます。
- 本機で作成したAllファイルを「C3 Portal」に保存したり、読み出したりして利用することができます。

「C3 Portal」を使用したその他の機能

3D LUTファイルを管理する

「C3 Portal」側で保存された3D LUTファイルの本機にインポートできます。

Allファイルを管理する

本機で作成したAllファイルを「C3 Portal」に保存したり、読み出したりして利用できます。

関連項目

- [好みの基本ルックをインポートする](#)
- [設定内容をファイルに保存する](#)

TP1001670043

ソリッドステートメモリーカムコーダー
PXW-Z200/HXR-NX800

ファイルを転送するための準備をする

記録したプロキシクリップやオリジナルクリップを、インターネット上のサーバーやローカルネット上のサーバーへ転送することができます。

以下の手順に従って、本機をインターネットまたはローカルネットワークに接続します。

[無線LANでインターネットに接続する](#)

[USBテザリングでインターネットに接続する](#)

[有線LANでインターネットに接続する](#)

ファイルの転送先を登録する

あらかじめクリップを構成するファイルを転送するサーバーを登録しておきます。

1. フルメニューの [Network] - [File Transfer] - [Server Settings1] / [Server Settings2] / [Server Settings3] を選択する。
2. 転送先設定画面が表示されます。
3. 転送先設定画面の各項目を設定する。

設定項目	説明
[Display Name]	転送先のリストに表示されるサーバー名を入力します。
[Service]	サーバーの種類を表示します。 [FTP] : FTP サーバー
[Host Name]	サーバーのアドレスを入力します。
[Port]	サーバーに接続する際のポート番号を入力します。
[User Name]	ユーザー名を入力します。
[Password]	パスワードを入力します。
[Passive Mode]	パッシブモードのオン/オフを行います。
[Destination Directory]	<p>転送先ディレクトリー名を入力します。</p> <div style="border: 1px solid #ccc; padding: 10px; background-color: #f9f9f9;"> <p>ご注意</p> <ul style="list-style-type: none"> ● オリジナルクリップは、転送先として指定したディレクトリー内の「Main」フォルダーに転送されます。 ● 編集時、編集不可能な文字は“□”で表示されます。この文字を含むディレクトリー名を編集した場合の動作は保証されません。もし編集してしまった場合は、すべての文字を削除して入力し直してください。 ● 転送先サーバーで使用できない文字を [Destination Directory] に入力した場合、ファイルはユーザーのホームディレクトリーに転送されます。使用できない文字はサーバーによって異なります。 </div>
[Using Secure Protocol]	セキュアなFTP転送を行うかどうかを設定します。

設定項目	説明
[Root Certificate]	<p>証明書の読み込みや消去を行います。</p> <ul style="list-style-type: none"> [Load] : 手順3で [Set] を選択すると、CA証明書を読み込みます。 <p>ご注意</p> <ul style="list-style-type: none"> 読み込む証明書はPEM形式で、カードスロットBに挿入したメモリーカードのルートディレクトリーに「certification.pem」のファイル名で書き込んでおいてください。 <ul style="list-style-type: none"> [Clear] : 手順3で [Set] を選択すると、CA証明書をクリアします。 [None] : 読み込み/消去を行いません。 <p>ご注意</p> <ul style="list-style-type: none"> CA証明書を読み込む際は、本機の時刻を正しく設定してください。 記録フォーマットにより、記録動作が優先されるため証明書を [Load] / [Clear] できない場合があります。 低電圧時には、CA証明書を [Load] / [Clear] することはできません。
[Root Certificate Status]	証明書の読み込み状態を表示します。
[Reset]	[Server Settings1] / [Server Settings2] / [Server Settings3] の設定を初期値に戻します。

4. 設定が完了したら [Set] を選択し、設定内容を確定する。

ご注意

- 設定完了後は、必ず [Set] を選択してください。 [Set] を選択しなかった場合、設定した内容が反映されません。

TP1001670044

ソリッドステートメモリーカムコーダー
PXW-Z200/HXR-NX800

クリップを選んで転送する

メモリーカードに記録したプロキシクリップやオリジナルクリップをサーバーに転送します。

ご注意

- 分割記録したプロキシクリップは自動転送専用ファイルになるため、そのファイルを選んで転送することはできません。

プロキシクリップを転送する

1. フルメニューの **【Thumbnail】 - 【Transfer Clip (Proxy)】 - 【Select Clip】** を選択する。
画面がフルメニューからサムネイル画面に変わります。
クリップの転送は、サムネイル画面またはフィルタードクリップサムネイル画面で操作することができます。
2. 転送したいクリップを選択し、最後に**MENU**ボタンを押す。
転送を実行する確認画面が表示されます。
3. **【Execute】** を選択する。
選択したオリジナルクリップに対応するプロキシクリップが転送ジョブとして登録され、転送が開始されます。
転送ジョブへの登録が完了すると、登録結果画面が表示されます。
4. **【OK】** を選択する。

ヒント

- 手順1で **【Select Clip】** ではなく、**【All Clips】** を選択するとオリジナルクリップに対応するプロキシクリップが一括転送されます。

ご注意

- 転送ジョブの上限は200件です。

オリジナルクリップを転送する

1. フルメニューの **【Thumbnail】 - 【Transfer Clip】 - 【Select Clip】** を選択する。
画面がフルメニューからサムネイル画面に変わります。
ファイルの転送は、サムネイル画面またはフィルタードクリップサムネイル画面で操作することができます。
2. 転送したいクリップを選択し、最後に**MENU**ボタンを押す。
転送を実行する確認画面が表示されます。
3. **【Execute】** を選択する。
選択したクリップが転送ジョブとして登録され、転送が開始されます。
転送ジョブへの登録が完了すると、登録結果画面が表示されます。
4. **【OK】** を選択する。

ヒント

- 手順1で **【Select Clip】** ではなく、**【All Clips】** を選択するとクリップが一括転送されます。

ご注意

- オリジナルクリップは、転送先として指定したディレクトリー内の「Main」フォルダーに転送されます。
- 転送ジョブの上限は200件です。

転送状態を確認する

フルメニューの [Network] - [File Transfer] - [View Job List] を選択すると、ファイルの転送状態を確認することができます。

モバイル機器と接続すると「Catalyst Browse」アプリケーションでファイルの転送状態を確認することもできます。

ヒント

- [File Transfer] ステータスまたはフルメニューの [Network] - [File Transfer] - [Auto Upload] / [Auto Upload (Proxy)] を [On] に設定し、ネットワークに接続している場合、記録終了時に [Default Upload Server] で設定されたサーバーに対して、自動的にオリジナルクリップやプロキシクリップを転送します。オリジナルクリップとプロキシクリップの両方を自動転送に設定している場合には、プロキシクリップが優先して自動転送されます。

ご注意

- ジョブリストは本機の電源をオフにしても保持されますが、電源スイッチを  (スタンバイ) にせずにはバッテリーパックを取り外した場合には、最大で10分間分程度の進捗情報が喪失する可能性があります。
- バッテリー電圧低下状態に陥った後に追加されたジョブについては、ジョブリストに保存されません。
- ファイル転送中に転送がエラーになると、転送先サーバーの設定や状態によっては、同じ名前のクリップが転送できなくなることがあります。その場合は転送先サーバーの設定や状態を確認してください。

関連項目

- [サムネイル画面の構成](#)
- [クリップを操作する](#)

TP1001670045

ソリッドステートメモリーカムコーダー
PXW-Z200/HXR-NX800

クリップを自動転送する

クリップを自動転送することができます。

オリジナルクリップを自動転送する

記録終了時にオリジナルクリップを指定したサーバーに自動で転送します。

自動転送を有効にするには、[File Transfer] ステータスまたはフルメニューの [Network] - [File Transfer] - [Auto Upload] を [On] に設定します。

プロキシクリップを自動転送する

記録終了時にプロキシクリップを指定したサーバーに自動で転送します。

自動転送を有効にするには、[File Transfer] ステータスまたはフルメニューの [Network] - [File Transfer] - [Auto Upload (Proxy)] を [On] に設定します。

また、[Auto Upload (Proxy)] を [Chunk] に設定すると、プロキシクリップを分割記録して、記録継続中でも指定したサーバーに順次転送することができます。分割記録したプロキシクリップの自動転送は、他のファイル転送ジョブよりも優先されて行われます。

関連項目

- [プロキシ記録](#)
- [プロキシクリップを分割記録し、転送する](#)

TP1001670046

ソリッドステートメモリーカムコーダー
PXW-Z200/HXR-NX800

セキュアなFTP転送を行うには

ファイルの転送先サーバーとの接続にFTPSのExplicitモード（FTPES）を使用することで、ファイルを暗号化して転送することができます。

セキュアなFTP転送の設定

セキュアなFTP転送を行うには、ファイル転送先サーバーの設定で、[Using Secure Protocol] を [On] に設定し、証明書の読み込みを行います。

関連項目

- [ファイルを転送するための準備をする](#)

TP1001670047

ソリッドステートメモリーカムコーダー
PXW-Z200/HXR-NX800

ストリーミングする

本機で撮影/再生している映像と音声を低遅延でストリーミングすることができます。
ストリーミングには二種類あります。

- RTMP/RTMPSストリーミング
Adobe Inc.が開発したRTMP (Real Time Messaging Protocol) で、本機で撮影映像と音声を低遅延でストリーミングすることができます。SSLで暗号化したRTMPSにも対応しています。
- SRTストリーミング
Haivision社が開発したSRT (Secure Reliable Transport) で、本機で撮影映像と音声を低遅延でストリーミング伝送することができます。SRTストリーミングにはListenerとCallerがあり、ListenerがIPアドレスやドメインなど接続先情報を持ち、CallerがListenerに接続します。本機はCallerに該当します。

ストリーミングのビットレートの範囲と初期値は、システム周波数と解像度によって以下のように異なります。

システム周波数	ストリーミング		
	解像度	ビットレート範囲 (Mbps)	初期値 (Mbps)
59.94/50	3840×2160	38のみ	–
	1920×1080	4.5 ~ 27	9
	1280×720	2.3~13.5	6
29.97/25/23.98	3840×2160	13 ~ 38	34
	1920×1080	3 ~ 18	6
	1280×720	1.5 ~ 9	4

RTMP/RTMPSストリーミングの設定をする

接続先とフォーマットを設定する

1. フルメニューの [Network] - [Stream] を [RTMP/RTMPS 1] / [RTMP/RTMPS 2] / [RTMP/RTMPS 3] に設定する。
接続先設定画面が表示されます。
2. 接続先設定画面の各項目を設定する。

設定項目	説明
[Display Name]	[Destination Select] のメニュー上の表示名を設定します。
[Codec]	ストリーミングする映像のコーデックが表示されます。
[Resolution]	ストリーミングする映像の解像度を設定します。 <ul style="list-style-type: none"> ● [3840×2160P] ● [1920×1080P] ● [1280×720P]
[Bit Rate]	ストリーミングする映像のビットレートを設定します。

設定項目	説明
[Destination URL]	接続するサーバーのURLを設定します。 「rtmps://」で始まるURLは、RTMPSストリーミングと認識され、ストリーミングデータは暗号化されます。この場合、RTMPS接続用の証明書が必要になります。
[Stream Key]	ストリーミング接続で使用するストリームキーを設定します。
[RTMPS Certificate]	RTMPSストリーミング用の証明書の読み込みや消去について設定します。 <ul style="list-style-type: none"> [Load] : 証明書を読み込みます。 <div style="border: 1px solid #ccc; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>ご注意</p> <ul style="list-style-type: none"> 読み込む証明書はPEM形式で、メモリーカードのルートディレクトリーに「RTMPS_certification.pem」のファイル名で書き込んでおいてください。 </div> <ul style="list-style-type: none"> [Clear] : 証明書をクリアします。 [None] : 読み込み/消去を行いません。 <p>ここで証明書を読み込まない場合は、本機に内蔵の既定証明書が使用されます。</p>

3. 設定が完了したら [Set] を選択し、設定内容を確定する。

ご注意

- 設定完了後は、必ず [Set] を選択してください。[Set] を選択しなかった場合、設定した内容が反映されません。
- RTMPS接続用の証明書を読み込む際は、本機の時刻を正しく設定してください。
- 記録フォーマットにより、記録動作が優先されるため証明書を [Load] / [Clear] を実行できない場合があります。
- 低電圧時には、RTMPS接続用の証明書を [Load] / [Clear] することはできません。
[RTMPS Certificate Status] : RTMPS接続用の証明書の読み込み状態を表示します。
[Reset] : 設定を初期値に戻します。

本機に内蔵の既定証明書を任意の既定証明書に変更する

1. カードスロットBに任意の既定証明書が保存されているメモリーカードを挿入する。

読み込まれるファイル：メモリーカードのルートディレクトリー直下の「RTMPS_DefaultCertificates.pem」

2. フルメニューの [Network] - [Stream] - [RTMPS Default Certificates] - [Replace] で [Execute] を選択する。

メモリーカードに既定証明書が書き込まれていることを確認するメッセージが表示されます。なお、既定証明書は、ユーザー任意の既定証明書に変更することも可能です。

3. [OK] を選択する。

任意の既定証明書が本機に読み込まれます。

読み込みが正常に終了すると、メッセージが表示されます。

本機に内蔵の既定証明書に戻す

フルメニューの [Network] - [Stream] - [RTMPS Default Certificates] - [Reset] で [Execute] を選択します。操作が正常に終了すると、メッセージが表示されます。

任意に登録した既定証明書が削除され、本機に内蔵の既定証明書が有効になります。

既定証明書の状態を確認する

フルメニューの [Network] - [Stream] - [RTMPS Default Certificates] - [Status] で既定証明書の状態が表示されます。

本機に内蔵の既定証明書が使用されている場合は、[Preinstall] と表示されます。

任意の既定証明書が使用されている場合は、証明書の変更が行われた日時が表示されます。

表示形式：年4桁（西暦）+月2桁+日2桁+時2桁（24時間）+分2桁+秒2桁

表示例：2024年12月1日12時34分56秒→20241201123456

SRTストリーミングの設定をする

接続先とフォーマットを設定する

1. フルメニューの [Network] - [Stream] を [SRT-Caller 1] / [SRT-Caller 2] / [SRT-Caller 3] に設定する。
接続先設定画面が表示されます。
2. 接続先設定画面の各項目を設定する。

設定項目	説明
[Display Name]	[Destination Select] のメニュー上の表示名を設定します。
[Codec]	ストリーミングする映像のコーデックを設定します。
[Resolution]	ストリーミングする映像の解像度を設定します。 <ul style="list-style-type: none">● [1920×1080P]● [1280×720P]
[Bit Rate]	ストリーミングする映像のビットレートを設定します。
[Destination URL]	接続するサーバーのURLを設定します。
[Port]	ストリーミングの送信先のポートを設定します。
[Latency]	ストリーミングの配信遅延時間を設定します。
[TTL]	ストリーミングのTTL値を設定します。
[Encryption]	ストリーミングの暗号化方式を設定します。
[Passphrase]	ストリーミングの暗号化に使用するパスフレーズを設定します。
[ARC]	ストリーミング時のAdaptive Rate Control機能を有効にするか無効にするか設定します。

ご注意

- [Codec] で [H.265/HEVC] を使用する場合、一部の受信機では正常に再生されない場合があります。再生に問題が発生した場合には [H.264/AVC] をお試しください。

3. 設定が完了したら [Set] を選択し、設定内容を確定する。
設定完了後は、必ず [Set] を選択してください。[Set] を選択しなかった場合、設定した内容が反映されません。
[Reset] : 設定を初期値に戻します。

ストリーミングを開始する

1. 本機をインターネットまたはローカルネットワークに接続する。

ご注意

- ストリーミングは継続的に大量の通信を行うため、有線LANの使用をお勧めします。とくに無線LAN2.4GHz帯の使用は、モバイル機器からのリモート操作やBluetoothリモコンの動作に支障が出る場合があります。やむを得ず無線接続を使用する場合は、事前に本番同等の電波環境で十分なテストを行ってください。

2. [Stream] ステータス、またはフルメニューの [Network] - [Stream] - [Destination Select] で、事前に設定した伝送設定を選択する。
3. [Stream] ステータスの [RTMP/RTMPS Status] / [SRT-Caller Status]、またはフルメニューの [Network] - [Stream] - [Setting] を [On] に設定する。
設定に応じてストリーミングが開始されます。

ご注意

- 以下の場合、ストリーミングを開始できません。
 - フルメニューの [Shooting] - [S&Q Motion] - [Setting] を [On] に設定しているとき

– フルメニューの [Project] – [Rec Format] – [Frequency] を [119.88] / [100] に設定しているとき

- ストリーミングを開始してから実際に映像/音声にストリーミングされるまでに数十秒かかる場合があります。
- ストリーミングの接続先の設定が不正な場合やネットワークに接続できていない場合には、ストリーミング状態表示に [x] が表示されます。
- インターネット経由で映像/音声データをそのまま送信します。そのためデータが漏えいする可能性があります。接続先がストリーミングデータを受信できていることを確認してください。アドレスの設定ミスなどにより意図しない相手にデータを送信してしまう可能性があります。
- お使いのインターネット回線やネットワークの状況によっては、配信が中断される場合があります。その場合は、再度ストリーミングを開始してください。
- 動きの激しいシーンの場合は、画質が悪くなります。
- ストリーミングを大きな解像度で小さいビットレートに設定した場合、すべてのフレームが再生できない場合があります。この現象を軽減させるためには、[Resolution] でより小さい解像度を選んでください。
- ストリーミング中は、Monitor & Controlで映像を見ることはできません。
- ストリーミング中は、ファイルを転送できません。ストリーミングを停止するとファイルを転送できます。
- ファイル転送中にストリーミングを開始すると、ファイル転送は停止します。ストリーミングを停止するとファイル転送を再開します。
- ストリーミング中は画面情報の更新頻度が低下しますが、操作には影響しません。
- ストリーミング中は、記録設定は変更できません。
- ストリーミング可能な配信フォーマットは、本線の [Rec Format] によって変わります。

ストリーミングを停止する

[Stream] ステータスの [RTMP/RTMPS Status] / [SRT-Caller Status]、またはフルメニューの [Network] – [Stream] – [Setting] を [Off] に設定するとストリーミングが停止します。

TP1001670048

ソリッドステートメモリーカムコーダー
PXW-Z200/HXR-NX800

サムネイル画面の構成

THUMBNAILボタンを押すと、メモリーカードに収録されているクリップが、サムネイル画面に表示されます。サムネイル画面で選択したクリップから再生を開始することができます。再生映像は、LCDモニター/ビューファインダー/外部モニターに表示されます。

THUMBNAILボタンを押すと、サムネイル画面を終了し、撮影画面に戻ります。

ご注意

- サムネイル画面には、現在選択している記録フォーマットで記録されたクリップのみが表示されます。記録したはずのクリップが表示されないときは、記録フォーマットをご確認ください。また、メモリーカードを初期化する場合は、メモリーカードのすべてのデータが消去されますのでご注意ください。

画面下部には、カーソル位置のクリップの情報が表示されます。



A: 現在選択されているメモリーカード (プロテクトされている場合は右にロックマーク表示)

B: クリップ番号/クリップ総数

C: カーソル (黄色)

1. サムネイル

各クリップの代表画像です。記録時にはクリップの先頭フレームが自動的に代表画像に設定されます。

サムネイルの下にはクリップ/フレーム情報が表示されます。フルメニューの [Thumbnail] - [Customize View] - [Thumbnail Caption] で表示内容を変更できます。

2. クリップ名

選択されているクリップのクリップ名が表示されます。

3. 記録時の記録フォーマット

選択したクリップのファイルフォーマットが表示されます。

4. 特殊記録撮影情報

特殊記録モードで記録されたクリップの場合のみ、そのモードが表示されます。

スロー&クイックモーションモードで撮影されたクリップの場合は、右側にフレームレートが表示されます。

5. クリップの記録時間

6. 作成日時

ソリッドステートメモリーカムコーダー
PXW-Z200/HXR-NX800

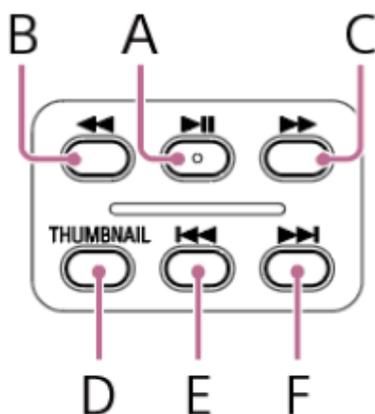
クリップを再生する

本機が記録停止中のときは、記録したクリップを再生することができます。

1. 再生するメモリーカードを入れる。
2. 再生操作ボタンのPLAY/PAUSEボタンを押す。
3. PREVボタンまたはNEXTボタンを押して、再生したいクリップの頭出しをする。
4. PLAY/PAUSEボタンを押す。
再生画が表示されます。

再生操作は次のボタンやダイヤルで行います。

ハンドルの再生操作ボタン



A : PLAY/PAUSEボタン

再生を一時停止します。もう一度押すと再生モードに戻ります。

B : F REVボタン

C : F FWDボタン

高速再生します。PLAY/PAUSEボタンを押すと標準再生に戻ります。

D : THUMBNAILボタン

再生状態で押すと、サムネイル画面が表示されます。もう一度押すと撮像状態に戻ります。

E : PREVボタン

現在のクリップの先頭に移動します。クリップの先頭で押すと前のクリップに移動します。PREVボタンを押した状態でF REVボタンを押すと、先頭のクリップに移動します。

F : NEXTボタン

次のクリップの先頭に移動します。NEXTボタンを押した状態でF FWDボタンを押すと、最終のクリップに移動します。

マルチセレクター/マルチファンクションダイヤル

マルチセレクターまたはマルチファンクションダイヤル押し、再生映像のタップ :

再生を一時停止します。

もう一度押すと再生に戻ります。

マルチセレクターの左ボタン/右ボタン押し、再生映像の右フリック/左フリック :

クリップの先頭または前後のクリップに移動します。

マルチセレクターの左ボタン/右ボタン長押し :

高速再生します。

長押しをやめると標準再生に戻ります。

CANCEL/BACKボタン :

再生を停止し、撮影画面に戻ります。

ヒント

- 撮影モードをログ撮影にした状態で収録したクリップを再生すると、撮影時に使用したLUTを適用します。適用するLUTは、メタデータ保存された3D LUTファイルの情報から判断されます。
撮影時に、フルメニューの [Project] - [Flexible ISO Setting] - [Embed LUT File] を [On] に設定して記録したクリップの場合で、撮影時に使用した3D LUTファイルが本機にインストールされていたら、そのLUTを適用して再生します。
撮影時に、フルメニューの [Project] - [Flexible ISO Setting] - [Embed LUT File] を [Off] に設定して記録したクリップを再生した場合は、フルメニューの [Paint/Look] - [Base Look] - [Select] で選択されているLUTを適用します。
撮影時に使用された3D LUTファイルが本機にインストールされていない場合も同様です。

選択したクリップ以降のクリップを連続再生する

1. 再生するメモリーカードを入れる。
2. THUMBNAILボタンを押す。
3. マルチセレクターまたはマルチファンクションダイヤルを操作して、再生を開始したいクリップのサムネイルにカーソルを合わせる。
サムネイル画面を上下にドラッグすると、スクロールさせることができます。
4. マルチセレクターまたはマルチファンクションダイヤルを押す。
選択したクリップの先頭から再生が始まります。
サムネイルをタップした場合も再生が始まります。

ご注意

- クリップとクリップの境界では、一時的に画像が乱れたり、静止画になる場合があります。またこの間は操作ができません。
- サムネイル画面でクリップを選択して再生を開始すると、クリップの先頭部分の再生映像が乱れる場合があります。クリップの先頭から乱れない映像で再生するには、一度再生モードにした後で一時停止にし、マルチセレクターの左ボタンを押してクリップの先頭に戻して再生を行ってください。

TP1001670050

ソリッドステートメモリーカムコーダー
PXW-Z200/HXR-NX800

クリップを操作する

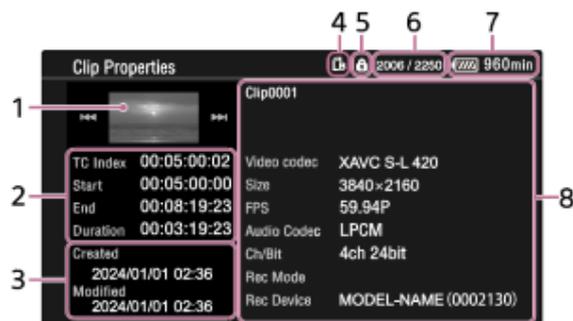
サムネイル画面では、フルメニューの [Thumbnail] メニューを使用してクリップの操作や詳細情報の確認などができます。

クリップ操作メニュー

- [Display Clip Properties]
- [Set Clip Flag]
- [Lock/Unlock Clip]
- [Delete Clip]
- [Copy Clip]
- [Transfer Clip]
- [Transfer Clip (Proxy)]
- [Filter Clips]
- [Customize View]

クリップの詳細情報を表示する

フルメニューの [Thumbnail] - [Display Clip Properties] を選択します。
マルチセクターを左右へ押し、前後のクリップへ移動することができます。



1. 現在のクリップの画像

2. タイムコード表示

- [TC Index] : クリップのタイムコード
- [Start] : 記録開始点のタイムコード
- [End] : 記録終了点のタイムコード
- [Duration] : 収録時間

3. 収録日時と変更日時

4. 現在選択されているメモリーカード

5. メモリーカードのプロテクトアイコン

6. クリップ番号/クリップ総数

7. バッテリーアイコン

8. クリップの情報

クリップ名/記録フォーマット/特殊記録撮影情報/収録機器名

クリップフラグを付ける

クリップにクリップフラグ ([OK] / [NG] / [KP] マーク) を付けると、クリップフラグを基準にクリップを絞り込んで表示することができます。

クリップフラグを付けたいクリップのサムネイルを選択し、フルメニューの [Thumbnail] - [Set Clip Flag] からクリップフラグを選びます。

設定値	付加されるクリップフラグ
[Add OK]	OK

設定値	付加されるクリップフラグ
[Add NG]	NG
[Add KEEP]	KP

ヒント

- クリップフラグ機能を割り当てたアサインボタンを使用してクリップフラグを付けることもできます。

クリップをフィルターで表示する

フルメニューの [Thumbnail] - [Filter Clips] で表示したいフラグを選ぶと、指定したフラグの付いているクリップのみを表示することができます。

すべてのクリップを表示するには、[All] を選んでください。

ヒント

- DISPLAYボタンでフィルターを順に切り替えることもできます。

クリップを削除する

メモリーカードからクリップを削除することができます。

フルメニューの [Thumbnail] - [Delete Clip] - [Select Clip] / [All Clips] を選択します。

[Select Clip] : 任意のクリップを削除します。1度に複数のクリップを選択することもできます。

[All Clips] : 表示されているすべてのクリップを削除します。

クリップをコピーする

クリップを別のメモリーカードにコピーすることができます。

コピー先のメモリーカードには同じクリップ名でコピーされます。

フルメニューの [Thumbnail] - [Copy Clip] - [Select Clip] / [All Clips] を選択します。

[Select Clip] : 任意のクリップをコピーします。複数のクリップを選択することもできます。

[All Clips] : 同じメモリーカードに記録されているクリップを、別のメモリーカードにまとめてコピーします。

ご注意

- コピー先のメモリーカードに同名のクリップが存在している場合は、オリジナルのクリップ名のクリップ番号をインクリメントしたクリップ名でコピーされます。
例 : ABCD0002 → ABCD0003
- コピー先のメモリーカードの残量が不足しているときはメッセージが表示されます。コピー先のメモリーカードを交換してください。
- 複数のクリップが記録されたメモリーカードをコピーする場合は、容量が同じメモリーカードであっても、使用条件やメモリーの特性などにより、すべてのクリップをコピーできない場合があります。

クリップをインターネット上のサーバーやローカルネット上のサーバーへ転送する

詳細は下記をご覧ください。

[ファイルを転送するための準備をする](#)

[クリップを選んで転送する](#)

サムネイル画面の情報を変更する

サムネイルの下に表示されるクリップ/フレーム情報を変更します。

フルメニューの [Thumbnail] - [Customize View] - [Thumbnail Caption] から、表示したい内容を選びます。

[Date Time] : 作成日時または最終変更日時

[Time Code] : タイムコード

[Duration] : 収録時間

[Sequential Number] : サムネイル番号

ソリッドステートメモリーカムコーダー
PXW-Z200/HXR-NX800

メニュー一覧

MENUボタンを長押しすると、撮影や再生に必要な各種設定を行うフルメニューがLCDモニター/ビューファインダーに表示されます。外部ビデオモニターに表示させることもできます。

【User】

任意の設定を集めたメニュー

[Edit User Menu] から編集できます。

【Edit User Menu】

[User] メニューの編集に関する設定

【Shooting】

撮影に関する設定

【Project】

プロジェクトの基本的な設定

【Paint/Look】

画質に関する設定

【TC/Media】

タイムコードとメモリーカードに関する設定

【Monitoring】

ビデオ出力やビューファインダー出力に関する設定

【Audio】

音声に関する設定

【Thumbnail】

サムネイル表示に関する設定

【Technical】

技術的な内容の設定

【Network】

ネットワークに関する設定

【Maintenance】

時計や言語設定などの機器設定

フルメニューの階層

[User] (工場出荷時の設定)	[Base Setting]
	[HDR Setting]
	[Focus]
	[NIGHTSHOT]
	[Auto Framing]
	[Assignable Button]
	[Multi Function Dial]
	[All File]
	[LCD Monitor/VF]
	[Peaking]
	[Delete Clip]
	[Copy Clip]
	[Transfer Clip]
	[Bluetooth]
	[Touch Operation]
	[Menu Settings]
[Edit User Menu]	
[Edit User Menu]	[Add Item]
	[Customize Reset]
[Shooting]	[ISO/Gain]
	[ND Filter]
	[Shutter]
	[Auto Exposure]
	[White]
	[White Setting]
	[Offset White]
	[Focus]
	[S&Q Motion]
	[LUT On/Off]
	[NIGHTSHOT]
	[Noise Suppression]
	[Flicker Reduce]
[SteadyShot]	

[Project]	[Base Setting]
	[Rec Format]
	[Flexible ISO Setting]
	[HDR Setting]
	[Simul Rec]
	[Proxy Rec]
	[SDI/HDMI Rec Control]
	PXW-Z200 : [SDI/HDMI Rec Control] HXR-NX800 : [HDMI Rec Control]
	[Auto Framing]
	[Assignable Button]
	[Multi Function Dial]
	[User File]
	[All File]
[Paint/Look]	[Scene File]
	[Base Look]
	[Reset Paint Settings]
	[Black]
	[Knee]
	[Detail]
	[Matrix]
	[Multi Matrix]
[TC/Media]	[Timecode]
	[TC Display]
	[Users Bit]
	[HDMI TC Out]
	[Clip Name Format]
	[Update Media]
	[Format Media]

[Monitoring]	[Output On/Off]
	[Output Format]
	[Output Display]
	[Display On/Off]
	[Marker]
	[LCD Monitor/VF]
	[Gamma Display Assist]
	[Peaking]
	[Zebra]
[Audio]	[Audio Input]
	[Audio Output]
[Thumbnail]	[Display Clip Properties]
	[Set Clip Flag]
	[Lock/Unlock Clip]
	[Delete Clip]
	[Copy Clip]
	[Transfer Clip]
	[Transfer Clip (Proxy)]
	[Filter Clips]
	[Customize View]
[Technical]	[Color Bars]
	[ND Dial]
	[Tally]
	[Touch Operation]
	[Rec Review]
	[Zoom]
	[Handle Zoom]
	[Speed Zoom]
	[Menu Settings]
	[Fan Control]
	[Lens]
	[Video Light Set]
	[Camera Battery Alarm]
[Camera DC IN Alarm]	

[Network]	[Network Setup]
	[Wireless LAN]
	[Wired LAN]
	[USB Tethering]
	[Bluetooth]
	[File Transfer]
	[Stream]
	[Network Reset]
[Maintenance]	[Language]
	[ Accessibility]
	[Clock Set]
	[All Reset]
	[Hours Meter]
	[Device Information]
	[Version]

TP1001670052

ソリッドステートメモリーカムコーダー
PXW-Z200/HXR-NX800

フルメニューの操作方法

フルメニュー画面の表示や操作は以下の方法で行います。

MENUボタン

長押しするとフルメニューを表示します。フルメニューの表示中に押すと元の画面に戻ります。

マルチセレクター

ボタンを8方向へ押すと、カーソルが上下左右に移動して、メニュー項目や設定値を選択できます。

マルチセレクターを押すと、選択している項目を決定します。

マルチファンクションダイヤル

マルチファンクションダイヤルを回すとカーソルが上下に移動して、メニュー項目や設定値を選択できます。

マルチファンクションダイヤルを押すと、選択している項目を決定します。

CANCEL/BACKボタン

1つ前の階層に戻ります。確定前の変更はキャンセルされます。

タッチ操作

タッチ操作でメニュー項目や設定値を選択できます。

ご注意

- メニューを表示させたときの状態によって選択できない項目があります。
- フルメニューの [Technical] - [Touch Operation] - [Setting] を [Off] に設定している場合、タッチ操作はできません。

メニューを設定する

マルチセレクターを8方向へ押すか、またはマルチファンクションダイヤルを回して設定したい項目にカーソルを合わせ、マルチセレクターまたはマルチファンクションダイヤルを押して決定します。タッチ操作の場合は、設定したい項目をタップします。

- 選択項目が表示される選択肢エリアは最大8行まで表示します。選択肢が一度に表示できない場合は、カーソルを上下に移動すると表示がスクロールします。タッチ操作の場合は、上下にフリックして選択項目を表示させます。
- 選択肢の設定値の範囲が大きい項目の場合（例：-99 ~ +99）は、選択肢エリアは表示されません。文字がハイライト表示になり設定の変更が可能な状態であることを示します。
- 項目を実行する [Execute] を選択した場合は、対応する機能が実行されます。
- 実行前に確認が必要な項目を選択すると、一旦メニューが消え、確認メッセージが表示されます。メッセージに従って、実行またはキャンセルを選択してください。

TP1001670053

ソリッドステートメモリーカムコーダー
PXW-Z200/HXR-NX800

文字列を入力する

ファイル名など、文字列を設定する項目を選択した場合は、文字列の入力画面が表示されます。



1 タッチ操作、またはマルチファンクションダイヤルやマルチセレクターで入力したい文字タイプを選択し、決定する。

タップまたは左右にドラッグしてカーソルを移動できます。

- [ABC] : 英大文字
- [abc] : 英小文字
- [123] : 数字
- [!#\$] : 特殊文字

2 選んだ文字タイプから文字を選択し、決定する。

カーソルが次の欄に移動します。

-  : カーソルの位置にスペースを入力します。
-  : カーソル位置を移動します。
-  : カーソルの左の文字を削除します。

3 入力が終わったら、[Done] を選択し、決定する。

文字列を確定して、入力画面が消えます。

キャンセルする場合は、[Cancel] を選択します。

ソリッドステートメモリーカムコーダー
PXW-Z200/HXR-NX800

メニューをロックする

フルメニューの表示をロックして、[User] メニューだけを表示させることができます。
ステータス画面では設定変更できなくなります。

- 1 マルチファンクションダイヤルを押しながらMENUボタンを長押しする。
- 2 フルメニューの [Technical] - [Menu Settings] - [User Menu with Lock] を選択する。

ご注意

- マルチファンクションダイヤルを押さずにMENUボタンを長押ししてフルメニューを表示した場合は、[Menu Settings] - [User Menu Only] が表示され、ロックを設定することができません。必ずマルチファンクションダイヤルを押しながらMENUボタンを長押ししてください。

- 3 [On] を選択して決定ボタンまたはマルチファンクションダイヤルを押す。

ビューファインダーの画面が、暗証番号入力画面に切り替わります。

- 4 任意の暗証番号を入力する。

0000～9999の4桁の数値が入力できます。初期値は0000となっています。
数値を入力し、決定ボタンまたはマルチファンクションダイヤルを押すと、カーソルが次の桁に移動します。
すべての桁を入力したら、カーソルが [Set] に移動します。

- 5 決定ボタンまたはマルチファンクションダイヤルを押す。

入力が確定します。
設定が完了したメッセージが表示され、画面が [User] メニューに切り替わります。

TP1001670055

ソリッドステートメモリーカムコーダー
PXW-Z200/HXR-NX800

メニューのロックを解除する

フルメニューの表示ロックを解除します。

- 1 マルチファンクションダイヤルを押しながらMENUボタンを長押しする。
- 2 フルメニューの [User] - [Menu Settings] - [User Menu with Lock] を選択する。

ご注意

- マルチファンクションダイヤルを押さずにMENUボタンを長押ししてフルメニューを表示した場合は、[Menu Settings] - [User Menu Only] が表示され、ロックを解除することができません。必ずマルチファンクションダイヤルを押しながらMENUボタンを長押ししてください。

- 3 [Off] を選択して決定ボタンまたはマルチファンクションダイヤルを押す。

ビューファインダーの画面が、暗証番号入力画面に切り替わります。

- 4 メニューをロックしたときの番号を入力する。

数値を入力し、決定ボタンまたはマルチファンクションダイヤルを押すと、カーソルが次の桁に移動します。すべての桁を入力したら、カーソルが [Set] に移動します。

- 5 決定ボタンまたはマルチファンクションダイヤルを押す。

入力が確定します。

メニューをロックしたときの暗証番号と入力した番号が一致した場合、ロックが解除できたことのメニュー表示に切り替わります。

ご注意

- メニューをロックしたときの暗証番号と入力した番号が不一致の場合は、ロックを解除できません。
- 暗証番号は、忘れたときのため、手元に記録を残すことをお勧めします。忘れたときはサービス窓口にお問い合わせください。
- 下表のフルメニューのメニュー項目を [User] メニューに登録せずにロックした場合、同機能をアサイン可能なボタンに設定することはできません。
- 下表の機能をアサイン可能なボタンに割り当てていた場合は、メニューをロックした時点でアサイン可能な機能が無効になります。

フルメニューの項目	アサイン可能なボタンの選択肢
[Shooting] - [Auto Exposure] - [AGC]	[AGC]
[Shooting] - [Auto Exposure] - [Auto Shutter]	[Auto Shutter]
[Shooting] - [Auto Exposure] - [Mode]	[Backlight]
[Shooting] - [Auto Exposure] - [Mode]	[Spotlight]
[Shooting] - [White] - [Preset White]	[Preset White Select]
[Shooting] - [Focus] - [AF Transition Speed] / [AF Subj. Shift Sens.]	[AF Speed/Sens.]
[Shooting] - [Focus] - [Subject Recognition AF]	[Subject Recognition AF]
[Shooting] - [S&Q Motion] - [Setting]	[S&Q Motion]

フルメニューの項目	アサインボタンを選択肢
[Shooting] – [LUT On/Off] – [1 SDI/HDMI] / [1 HDMI]	[LUT On/Off 1]
[Shooting] – [LUT On/Off] – [2 LCD/VF/Proxy/Stream]	[LUT On/Off 2]
[Shooting] – [NIGHTSHOT] – [Setting]	[NIGHTSHOT]
[Shooting] – [SteadyShot] – [Setting]	[SteadyShot] [SteadyShot Active] [SteadyShot Standard]
[Project] – [Auto Framing] – [Crop Level] / [Framing Tracking Speed]	[Auto Framing Settings]
[Thumbnail] – [Set Clip Flag] – [Add OK]	[Clip Flag OK]
[Thumbnail] – [Set Clip Flag] – [Add NG]	[Clip Flag NG]
[Thumbnail] – [Set Clip Flag] – [Add KEEP]	[Clip Flag Keep]
[Technical] – [Color Bars] – [Setting]	[Color Bars]
[Monitoring] – [Display On/Off] – [Tally]	[Tally [Front]]
[TC/Media] – [TC Display] – [Display Select]	[DURATION/TC/U-BIT]
[Monitoring] – [Display On/Off] – [Lens Info]	[Lens Info]
[Monitoring] – [Display On/Off] – [Video Signal Monitor]	[Video Signal Monitor]
[Monitoring] – [Marker] – [Setting]	[Marker]
[Monitoring] – [Gamma Display Assist] – [Setting]	[Gamma Display Assist]
[Monitoring] – [Peaking] – [Setting]	[Peaking]
[Monitoring] – [Zebra] – [Setting]	[Zebra]
[Technical] – [Touch Operation] – [Setting]	[Touch Operation]
[Technical] – [Handle Zoom] – [Setting]	[Handle Zoom]
[Network] – [Stream] – [Setting]	[Stream]
[Network] – [File Transfer] – [Auto Upload (Proxy)]	[Auto Upload (Proxy)]

TP1001670056

ソリッドステートメモリーカムコーダー
PXW-Z200/HXR-NX800

画面を音声で読み上げる

画面上のテキストなどの情報を音声で読み上げることができます。

読み上げ設定をする

フルメニューの [Maintenance] - [Accessibility] - [Screen Reader] - [Setting] を [On] に設定します。

ヒント

- 読み上げ音声の出力先は、本体スピーカーとヘッドホンです。

読み上げ速度の設定をする

フルメニューの [Maintenance] - [Accessibility] - [Screen Reader] - [Speed] で 速度を設定します。

読み上げ音量の設定をする

フルメニューの [Maintenance] - [Accessibility] - [Screen Reader] - [Volume] で 音量を設定します。

起動時の読み上げのオン/オフの設定をする

フルメニューの [Maintenance] - [Accessibility] - [Screen Reader] - [Read Out when Power On] を [Enable] / [Disable] に設定します。

[Enable] : MENUボタンを押しながら本機の電源をオンにすることで音声読み上げをオンにすることができます。

[Disable] : 起動時の音声読み上げはオフです。

ご注意

- 実際に音声読み上げが行われるまで、MENUボタンを押し続けてください。
- お買い上げ状態では [Read Out when Power On] は [Enable] に設定されています。初期設定画面で音声読み上げ機能を使用しなかった場合は、初期設定画面終了時に自動的に [Disable] に設定されます。

TP1001670057

ソリッドステートメモリーカムコーダー
PXW-Z200/HXR-NX800

画面を拡大表示する

撮影画面や再生画面、メニュー画面などを拡大して表示することができます。
拡大表示が割り当てられたボタンを押すと、拡大倍率の設定に従って画面が拡大表示されます。

ご注意

- 一部の画面や表示物は、拡大表示に対応していません。
- 撮影映像や再生映像は拡大しません。撮影映像の拡大にはピンツーム拡大機能をご使用ください。

拡大表示を有効に設定する

- フルメニューの [Maintenance] - [Accessibility] - [Enlarge Screen] - [Setting] を [Enable] に設定する。
確認メッセージが表示されます。
- [Execute] を選択する。
画面拡大機能が有効になり、ASSIGN 11ボタンに画面拡大機能が割り当てられます。

拡大倍率の設定をする

フルメニューの [Maintenance] - [Accessibility] - [Enlarge Screen] - [Magnification] で拡大倍率を設定します。

撮影環境や表示内容に応じて、複数の倍率を選択できます。

拡大表示に使うボタンの設定をする

拡大表示を割り当てたボタンを変更したい場合に設定します。

フルメニューの [Maintenance] - [Accessibility] - [Enlarge Screen] - [Enlarge Screen Button] で設定します。
ASSIGN (アサインナブル) 1~ASSIGN (アサインナブル) 11ボタン/FOCUS PUSH AUTOボタンのいずれかに拡大表示を設定できます。

ヒント

- フルメニューの [Project] - [Assignable Button] でもアサインナブルボタンに拡大表示を割り当てることができます。

ご注意

- [Assignable Button] - [Enlarge Screen] の割り当てをすべて解除すると、フルメニューの [Maintenance] - [Accessibility] - [Enlarge Screen] - [Setting] が [Disable] に変更されます。
- [Accessibility] - [Enlarge Screen] - [Setting] を [Enable] に設定すると、[Assignable Button] - [Enlarge Screen] が割り当てられているすべてのアサインナブルボタンの設定が初期値に戻ります。
- [Accessibility] - [Enlarge Screen] - [Setting] を [Disable] に設定しているときに、[Assignable Button] でいずれかのボタンに拡大表示を割り当てると、[Enlarge Screen] - [Setting] が [Enable] に変更されます。

画面拡大の操作方法

- 拡大表示が割り当てられたボタンを押すことで画面が拡大表示されます。
- 画面拡大中は、マルチセレクターまたはタッチ操作（ドラッグ）で表示する位置を動かすことができます。メニューやメッセージの操作は、マルチファンクションダイヤルで行います。
- 拡大表示が割り当てられたボタンを押すたびに、[Magnification] で設定した倍率で、拡大していない状態→拡大倍率1→拡大倍率2→…拡大していない状態の順に切り替わります。
- 拡大表示を解除するには、ボタンを繰り返し押して通常の画面表示に戻してください。

ソリッドステートメモリーカムコーダー
PXW-Z200/HXR-NX800

[User] メニュー

工場出荷状態で設定されている各メニュー項目および対応する機能は以下のとおりです。

[User]

メニュー項目	内容
[Base Setting]	[Project] – [Base Setting]
[HDR Setting]	[Project] – [HDR Setting]
[Focus]	[Shooting] – [Focus]
[NIGHTSHOT]	[Shooting] – [NIGHTSHOT]
[Auto Framing]	[Project] – [Auto Framing]
[Assignable Button]	[Project] – [Assignable Button]
[Multi Function Dial]	[Project] – [Multi Function Dial]
[All File]	[Project] – [All File]
[LCD Monitor/VF]	[Monitoring] – [LCD Monitor/VF]
[Peaking]	[Monitoring] – [Peaking]
[Delete Clip]	[Thumbnail] – [Delete Clip]
[Copy Clip]	[Thumbnail] – [Copy Clip]
[Transfer Clip]	[Thumbnail] – [Transfer Clip]
[Bluetooth]	[Network] – [Bluetooth]
[Touch Operation]	[Technical] – [Touch Operation]
[Menu Settings]	[Technical] – [Menu Settings]
[Edit User Menu]	[Edit User Menu]

ご注意

- [User] メニューは [Edit User Menu] によってメニュー項目の追加や削除ができます。設定できる項目数は20が上限です。

TP1001670059

ソリッドステートメモリーカムコーダー
PXW-Z200/HXR-NX800

【Edit User Menu】メニュー

【User】 – 【Edit User Menu】を選択すると、【Edit User Menu】メニューが第1階層に表示されます。

【Edit User Menu】

メニュー項目	細目と設定値	内容
[Add Item] 【User】メニュー項目の追加	–	【User】メニューに第2階層の項目を追加する。
[Customize Reset] 【User】メニュー項目のリセット	–	【User】メニューの登録項目を工場出荷時の状態に戻す。
編集集中に選択した第2階層の項目	[Delete]	【User】メニューに登録した第2階層の項目を削除する。
	[Move]	【User】メニューに登録した項目を並べ替える。
	[Edit Sub Item]	【User】メニューに登録した第3階層の項目に属する細目を編集（登録/削除）する。

TP1001670060

ソリッドステートメモリーカムコーダー
PXW-Z200/HXR-NX800

【Shooting】メニュー

各メニュー項目の機能および設定値は以下のとおりです。

【Shooting】 – 【ISO/Gain】

ゲインに関する設定を行います。

メニュー項目	細目と設定値	工場出荷時の初期設定値	内容
[Mode]	[ISO] / [dB]	[dB]	ゲイン設定モードを選択する。 ご注意 ● ログ撮影のときは、本設定は [ISO] に固定されます。
[ISO/Gain<H>]	設定項目について、詳細は下記をご覧ください。 【ISO/Gain】メニューの設定値と初期設定値	—	ゲインのプリセット値<H>を設定する。
[ISO/Gain<M>]	設定項目について、詳細は下記をご覧ください。 【ISO/Gain】メニューの設定値と初期設定値	—	ゲインのプリセット値<M>を設定する。
[ISO/Gain<L>]	設定項目について、詳細は下記をご覧ください。 【ISO/Gain】メニューの設定値と初期設定値	—	ゲインのプリセット値<L>を設定する。
[Shockless Gain]	[On] / [Off]	[Off]	ショックレスゲインをオン/オフする。

【Shooting】 – 【ND Filter】

NDフィルターのプリセット値を設定します。

メニュー項目	細目と設定値	工場出荷時の初期設定値	内容
[Preset1]	1/4 / 1/8 / 1/16 / 1/32 / 1/64 / 1/128	1/4	NDフィルターのプリセット1の値を設定する。
[Preset2]	1/4 / 1/8 / 1/16 / 1/32 / 1/64 / 1/128	1/16	NDフィルターのプリセット2の値を設定する。
[Preset3]	1/4 / 1/8 / 1/16 / 1/32 / 1/64 / 1/128	1/64	NDフィルターのプリセット3の値を設定する。

【Shooting】 – 【Shutter】

電子シャッターの動作を設定します。

メニュー項目	細目と設定値	工場出荷時の初期設定値	内容
[Mode]	[Speed] / [Angle]	[Speed]	電子シャッターのモードを選択する。動きの速い被写体を鮮明に撮影したい場合などに使用する。秒数でシャッター速度を設定する [Speed] モードと開角度でシャッター速度を設定する [Angle] モードを選択する。
[Shutter Speed On/Off]	[On] / [Off]	[Off]	[Speed] モード選択時の露光時間を [Shutter Speed] の設定値に従うか、またはフル露光にするかを設定する。
[Shutter Speed]	64F ~ 1/8000 設定値は、選択されている記録フォーマットのシステム周波数によって異なります。 119.88P : 1/120 / 1/125 / 1/250 / 1/500 / 1/1000 / 1/2000 / 1/4000 / 1/8000 100P : 1/100 / 1/120 / 1/125 / 1/250 / 1/500 / 1/1000 / 1/2000 / 1/4000 / 1/8000 59.94P : 64F / 32F / 16F / 8F / 7F / 6F / 5F / 4F / 3F / 2F / 1/60 / 1/100 / 1/120 / 1/125 / 1/250 / 1/500 / 1/1000 / 1/2000 / 1/4000 / 1/8000 50P : 64F / 32F / 16F / 8F / 7F / 6F / 5F / 4F / 3F / 2F / 1/50 / 1/60 / 1/100 / 1/120 / 1/125 / 1/250 / 1/500 / 1/1000 / 1/2000 / 1/4000 / 1/8000 29.97P : 64F / 32F / 16F / 8F / 7F / 6F / 5F / 4F / 3F / 2F / 1/30 / 1/40 / 1/50 / 1/60 / 1/100 / 1/120 / 1/125 / 1/250 / 1/500 / 1/1000 / 1/2000 / 1/4000 / 1/8000 25P : 64F / 32F / 16F / 8F / 7F / 6F / 5F / 4F / 3F / 2F / 1/25 / 1/33 / 1/50 / 1/60 / 1/100 / 1/120 / 1/125 / 1/250 / 1/500 / 1/1000 / 1/2000 / 1/4000 / 1/8000 23.98P : 64F / 32F / 16F / 8F / 7F / 6F / 5F / 4F / 3F / 2F / 1/24 / 1/32 / 1/48 / 1/50 / 1/60 / 1/96 / 1/100 / 1/120 / 1/125 / 1/250 / 1/500 / 1/1000 / 1/2000 / 1/4000 / 1/8000	119.88P : 1/120 100P : 1/100 59.94P : 1/60 50P : 1/50 29.97P : 1/30 25P : 1/25 23.98P : 1/24	[Speed] モード選択時、シャッタースピードを設定する。 ご注意 <ul style="list-style-type: none"> システム周波数が100Pまたは119.88Pの場合、2F~64Fを選択できません。
[Shutter Angle]	64F / 32F / 16F / 8F / 7F / 6F / 5F / 4F / 3F / 2F / 360.0° / 300.0° / 270.0° / 240.0° / 216.0° / 210.0° / 180.0° / 172.8° / 150.0° / 144.0° / 120.0° / 90.0° / 86.4° / 72.0° / 45.0° / 30.0° / 22.5° / 11.25° / 5.6°	180.0°	[Angle] モード 選択時、開角度を設定する。 ご注意 <ul style="list-style-type: none"> システム周波数が100Pまたは119.88Pの場合、2F~64Fを選択できません。

メニュー項目	細目と設定値	工場出荷時の初期設定値	内容
[ECS On/Off]	[On] / [Off]	[Off]	ECSモードの設定をオン/オフする。
[ECS Frequency]	23.99 ~ 8000 設定値は、選択されている記録フォーマットのシステム周波数によって異なります。	119.88P : 120.0 100P : 100.0 59.94P : 60.00 50P : 50.00 29.97P : 30.00 23.98P : 23.99 25P : 25.02	ECSモード選択時、ECS周波数を設定する。

【Shooting】 – 【Auto Exposure】

自動露出調整の設定を行います。

メニュー項目	細目と設定値	工場出荷時の初期設定値	内容
[Level]	+3.0 / +2.75 / +2.5 / +2.25 / +2.0 / +1.75 / +1.5 / +1.25 / +1.0 / +0.75 / +0.5 / +0.25 / ±0 / -0.25 / -0.5 / -0.75 / - 1.0 / -1.25 / -1.5 / -1.75 / -2.0 / -2.25 / - 2.5 / -2.75 / -3.0	±0	自動検出した露出に対する明暗レベルを設定する。
[Mode]	[Backlight] / [Standard] / [Spotlight]	[Standard]	自動露出調整の動作モードを設定する。 [Backlight] : 中心となる被写体が逆光のとき、黒沈みを軽減するモード [Standard] : 標準モード [Spotlight] : 中心となる被写体にスポットライトが当たっているとき、白潰れを軽減するモード
[Speed]	-99 ~ +99	±0	自動露出調整の調整スピードを設定する。
[AGC]	[On] / [Off]	[Off]	オートゲインコントロールをオン/オフする。
[AGC Limit]	設定項目について、詳細は下記をご覧ください。 [AGC Limit] の設定値と初期設定値	-	オートゲインコントロールの最大ゲインを設定する。
[AGC Point]	F2.8 / F4 / F5.6	F2.8	[AGC] を [On] に設定している場合に、オートゲインコントロールを動作させ始めるアイリスのF値を設定する。
[Auto Shutter]	[On] / [Off]	[Off]	オートシャッターをオン/オフする。
[A.SHT Limit]	1/100 / 1/150 / 1/200 / 1/250 / 1/2000	1/2000	オートシャッターの最速シャッタースピードを設定する。

メニュー項目	細目と設定値	工場出荷時の初期設定値	内容
[A.SHT Point]	F5.6 / F8 / F11	F8	[Auto Shutter] を [On] に設定している場合に、オートシャッターを動作させ始めるアイリスのF値を設定する。
[Clip Highlight]	[On] / [Off]	[Off]	高輝度部の検出を無視して、高輝度に対する反応を鈍くさせる機能をオン/オフする。
[Detect Window]	1 / 2 / 3 / 4 / 5 / 6 / [Custom]	1	被写体の明るさに追従して露出を自動調整する測光範囲を選択する。(露出手動調整しているときは無効)
[Detect Window Indication]	[On] / [Off]	[Off]	測光範囲の表示をオン/オフする。
[Custom Width]	40 ~ 999	500	測光範囲の幅を設定する。
[Custom Height]	70 ~ 999	500	測光範囲の高さを設定する。
[Custom H Position]	-479 ~ +479	±0	測光範囲の水平位置を設定する。
[Custom V Position]	-464 ~ +464	±0	測光範囲の垂直位置を設定する。

[Shooting] - [White]

ホワイトバランスの設定を行います。

メニュー項目	細目と設定値	工場出荷時の初期設定値	内容
[Preset White]	2000K ~ 15000K	3200K	ホワイトバランスのプリセット値を設定する。
[Color Temp <A>]	2000K ~ 15000K	3200K	メモリーAに保存されたホワイトバランスの色温度を設定する。 ご注意 ● [Color Temp] は、[R Gain] / [B Gain] 調整時に2000Kや15000Kでクリップされるため、R/Bゲイン値の正確な [Color Temp] 値を表示できない場合があります。
[Tint<A>]	-99 ~ +99	±0	メモリーAに保存されたホワイトバランスの [Tint] の値を設定する。 ご注意 ● [Tint] は、[R Gain] / [B Gain] 調整時に±99でクリップされるため、R/Bゲイン値の正確な [Tint] 値を表示できない場合があります。
[R Gain <A>]	-99.0 ~ +99.0	±0.0	メモリーAに保存されたホワイトバランスのRゲイン値を設定する。

メニュー項目	細目と設定値	工場出荷時の初期設定値	内容
[B Gain <A>]	-99.0 ~ +99.0	±0.0	メモリーAに保存されたホワイトバランスのBゲイン値を設定する。
[Color Temp]	2000K ~ 15000K	3200K	メモリーBに保存されたホワイトバランスの色温度を設定する。 ご注意 ● [Color Temp] は、[R Gain] / [B Gain] 調整時に2000Kや15000Kでクリップされるため、R/Bゲイン値の正確な [Color Temp] 値を表示できない場合があります。
[Tint]	-99 ~ +99	±0	メモリーBに保存されたホワイトバランスの [Tint] 値を設定する。 ご注意 ● [Tint] は、[R Gain] / [B Gain] 調整時に±99でクリップされるため、R/Bゲイン値の正確な [Tint] 値を表示できない場合があります。
[R Gain]	-99.0 ~ +99.0	±0.0	メモリーBに保存されたホワイトバランスのRゲイン値を設定する。
[B Gain]	-99.0 ~ +99.0	±0.0	メモリーBに保存されたホワイトバランスのBゲイン値を設定する。

【Shooting】 – 【White Setting】

ホワイトバランスの調整を行います。

メニュー項目	細目と設定値	工場出荷時の初期設定値	内容
[Shockless White]	[Off] / 1 / 2 / 3	2	ホワイトバランスモード切り替え時のホワイトバランス変化速度を設定する。 [Off] : 瞬時に切り替わる。 1~3 : 数字が大きいほどゆっくり切り替わる。
[ATW Speed]	1 / 2 / 3 / 4 / 5	3	オートホワイトモード時の反応速度を設定する。 1 : 最も反応速度が速い。
[White Switch]	[Memory] / [ATW]	[Memory]	WHT BALスイッチをBに設定したときに選択されるホワイトバランス調整モードを選択する。
[Filter White Memory]	[On] / [Off]	[Off]	NDフィルターごとにホワイトバランスメモリー領域を設定する機能をオン/オフする。 [On] : NDフィルターごとにホワイトバランスメモリーを設定する。 ヒント ● プリセットモードのときは [Clear] / 1/2/3の4組、パリアブルモードのときは [Clear] と [On] の2組となります。 [Off] : 各NDフィルターでホワイトバランスメモリーは共通。

【Shooting】 – 【Offset White】

ホワイトバランスのオフセットの設定を行います。

メニュー項目	細目と設定値	工場出荷時の初期設定値	内容
[Offset White <A>]	[On] / [Off]	[Off]	<p>メモリーAのホワイトバランスにオフセット値を付加する [On] または付加しない [Off] を選択する。</p> <p>ご注意</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 撮影モードがログ撮影のときは、本設定は [Off] に固定されます。
[Offset Color Temp<A>]	-99 ~ +99	±0	[Offset White <A>] を [On] に設定している場合に、メモリーAのホワイトバランスに付加する色温度方向のオフセットを設定する。
[Offset Tint<A>]	-99 ~ +99	±0	[Offset White <A>] を [On] に設定している場合に、メモリーAのホワイトバランスに付加する [Tint] 方向のオフセットを設定する。
[Offset White]	[On] / [Off]	[Off]	<p>メモリーBのホワイトバランスにオフセット値を付加する [On] または付加しない [Off] を選択する。</p> <p>ご注意</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 撮影モードがログ撮影のときは、本設定は [Off] に固定されます。
[Offset Color Temp]	-99 ~ +99	±0	[Offset White] を [On] に設定している場合に、メモリーBのホワイトバランスに付加する色温度方向のオフセットを設定する。
[Offset Tint]	-99 ~ +99	±0	[Offset White] を [On] に設定している場合に、メモリーBのホワイトバランスに付加する [Tint] 方向のオフセットを設定する。
[Offset White<ATW>]	[On] / [Off]	[Off]	<p>オートホワイトのホワイトバランスにオフセット値を付加する [On] または付加しない [Off] を選択する。</p> <p>ご注意</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 撮影モードがログ撮影のときは、本設定は [Off] に固定されます。
[Offset Color Temp<ATW>]	-99 ~ +99	±0	[Offset White<ATW>] を [On] に設定している場合に、オートホワイトのホワイトバランスに付加する色温度方向のオフセットを設定する。
[Offset Tint<ATW>]	-99 ~ +99	±0	[Offset White<ATW>] を [On] に設定している場合に、オートホワイトのホワイトバランスに付加する [Tint] 方向のオフセットを設定する。

【Shooting】 – 【Focus】

フォーカスの設定を行います。

メニュー項目	細目と設定値	工場出荷時の初期設定値	内容
[AF Transition Speed]	[1(Slow)] / 2 / 3 / 4 / 5 / 6 / [7(Fast)]	5	オートフォーカス中の被写体に移り変わる際のフォーカス駆動の速さを設定する。
[AF Subj. Shift Sens.]	[1(Locked On)] / 2 / 3 / 4 / [5(Responsive)]	[5(Responsive)]	オートフォーカス中の被写体の乗り移り感度を設定する。
[Focus Area]	[Wide] / [Zone] / [Flexible Spot]	[Wide]	オートフォーカス、プッシュオートフォーカスの対象とする領域を設定する。 [Wide] : 映像全域からフォーカスを合わせる位置を探す。 [Zone] : 指定したゾーン内から自動でフォーカスを合わせる点を探す。 [Flexible Spot] : 映像の指定した位置にフォーカスを合わせる。
[Subject Recognition AF]	[Human Only AF] / [Human Priority AF] / [Off]	[Human Priority AF]	被写体検出AF機能の動作を設定する。 [Human Only AF] : カメラが被写体（人物）を検出したとき、人物の瞳、顔、頭部、体にフォーカスを合わせる。人物を検出しない間は、オートフォーカスが一時停止する。 [Human Priority AF] : カメラが被写体（人物）を検出したとき、人物の瞳、顔、頭部、体にフォーカスを合わせる。人物を検出しないときはオートフォーカスで動作する。 [Off] : 被写体認識AF機能を無効にします。
[Touch Function in MF]	[Tracking AF] / [Spot Focus]	[Tracking AF]	マニュアルフォーカス時にタッチ操作の動作を設定する。
[Multi Selector Function]	[Subject Sel. Cursor] / [Pointer]	[Subject Sel. Cursor]	マルチセレクター操作によるオートフォーカス対象の指定方法を設定する。 [Subject Sel. Cursor] : マルチセレクターで被写体認識枠を選ぶことができる。 [Pointer] : マルチセレクターでトラッキングAFポインターを動かして、画面上の被写体を自由に選ぶことができる。
[Pointer Color]	[Orange] / [White] / [Yellow] / [Cyan] / [Green] / [Magenta] / [Red] / [Blue]	[Orange]	フォーカス対象の指定に使用するポインターの色を設定する。
[Pointer Border]	[On] / [Off]	[On]	フォーカス対象の指定に使用するポインターの縁取りをオン/オフする。
[AF Assist]	[On] / [Off]	[On]	[On] に設定すると、オートフォーカス時、一時的に手動でフォーカスを合わせることができる。

【Shooting】 – 【S&Q Motion】

スロー&クイックモーションモードの設定を行います。

メニュー項目	細目と設定値	工場出荷時の初期設定値	内容
[Setting]	[On] / [Off]	[Off]	スロー&クイックモーションモードをオン/オフする。
[Frame Rate]	1fps ~ 60fps / 100fps / 120fps / 150fps / 180fps / 200fps / 240fps	—	スロー&クイックモーションモード時のフレームレートを設定する。 ご注意 ● 設定値の範囲は、選択されているシステム周波数やコーデック、ビデオフォーマットによって異なります。

【Shooting】 - 【LUT On/Off】

LUTの設定を行います。

メニュー項目	細目と設定値	工場出荷時の初期設定値	内容
[1 SDI/HDMI] (PXW-Z200のみ)	[LUT On] / [LUT Off]	[LUT Off]	SDIおよびHDMI出力映像にモニターLUTを適用するか選択する。 ご注意 ● ログ撮影のときに設定できます。
[1 HDMI] (HXR-NX800のみ)	[LUT On] / [LUT Off]	[LUT Off]	HDMI出力映像にモニターLUTを適用するか選択する。 ご注意 ● ログ撮影のときに設定できます。
[2 LCD/VF/Proxy/Stream]	[LUT On] / [LUT Off]	[LUT Off]	LCD、VF、ProxyおよびStreamの出力映像にモニターLUTを適用するか選択する。 ご注意 ● ログ撮影のときに設定できます。

【Shooting】 - 【NIGHTSHOT】

ナイトショットの設定を行います。

メニュー項目	細目と設定値	工場出荷時の初期設定値	内容
[Setting]	[On] / [Off]	[Off]	ナイトショットモードをオン/オフする。
[IR Light]	[On] / [Off]	[On]	ナイトショットモードがオンの場合の赤外線ライトの点灯設定をオン/オフする。

メニュー項目	細目と設定値	工場出荷時の初期設定値	内容
[Image Color]	[White] / [Green]	[White]	ナイトショットモードがオンの場合の撮影色を設定する。

【Shooting】 – 【Noise Suppression】

ノイズサプレスの設定を行います。

ヒント

- [Setting(Custom)] と [Level(Custom)] の設定値はそれぞれ [Target Display] の設定に反映されます。

メニュー項目	細目と設定値	工場出荷時の初期設定値	内容
[Setting(Custom)]	[On] / [Off]	[On]	<p>カスタム撮影時のノイズサプレス機能をオン/オフする。</p> <p>ご注意</p> <ul style="list-style-type: none"> ● ログ撮影のときは、本機能を設定できません。
[Level(Custom)]	[Low] / [Mid] / [High]	[Mid]	<p>カスタム撮影時のノイズサプレスのレベルを設定する。</p> <p>ご注意</p> <ul style="list-style-type: none"> ● ログ撮影のときは、本機能を設定できません。
[Setting(Flexible ISO)]	[On] / [Off]	[Off]	<p>ログ撮影時のノイズサプレス機能をオン/オフする。</p> <p>ご注意</p> <ul style="list-style-type: none"> ● カスタム撮影のときは、本機能を設定できません。
[Level(Flexible ISO)]	[Low] / [Mid] / [High]	[Mid]	<p>ログ撮影時のノイズサプレスのレベルを設定する。</p> <p>ご注意</p> <ul style="list-style-type: none"> ● カスタム撮影のときは、本機能を設定できません。

【Shooting】 – 【Flicker Reduce】

フリッカー補正の設定を行います。

メニュー項目	細目と設定値	工場出荷時の初期設定値	内容
[Mode]	[Auto] / [On] / [Off]	[Off]	フリッカー補正モードを設定する。
[Frequency]	[50Hz] / [60Hz]	[60Hz]	フリッカーの原因となる照明の電源周波数を設定する。

【Shooting】 – 【SteadyShot】

手ブレ補正の設定を行います。

メニュー項目	細目と設定値	工場出荷時の初期設定値	内容
[Setting]	[Active] / [Standard] / [Off]	[Standard]	手ブレ補正機能を設定する。

TP1001670061

ソリッドステートメモリーカムコーダー
PXW-Z200/HXR-NX800

【Project】メニュー

各メニュー項目の機能および設定値は以下のとおりです。

【Project】 – 【Base Setting】

基本設定を行います。

メニュー項目	細目と設定値	工場出荷時の初期設定値	内容
[Shooting Mode]	[Custom] / [Flexible ISO]	[Custom]	撮影モードを設定する。
[Target Display]	[SDR(BT.709)] / [HDR(HLG)]	[SDR(BT.709)]	カスタム撮影時の記録/出力の映像規格を設定する。

【Project】 – 【Rec Format】

記録フォーマットの設定を行います。

メニュー項目	細目と設定値	工場出荷時の初期設定値	内容
[Frequency]	119.88 / 100 / 59.94 / 50 / 29.97 / 25 / 23.98	59.94	システム周波数を選択する。
[Codec]	[XAVC HS-L 422] / [XAVC HS-L 420] / [XAVC S-L 422] / [XAVC S-L 420] / [XAVC S-I]	[XAVC S-L 420]	クリップの記録/再生コーデックを設定する。
[Video Format]	設定項目について、詳細は下記をご覧ください。 【Video Format】 / 【Quality】 / 【Bit Rate】 の設定値	—	録画フォーマットを設定する。
[Quality]	設定項目について、詳細は下記をご覧ください。 【Video Format】 / 【Quality】 / 【Bit Rate】 の設定値	—	記録ビットレートを設定する。
[Bit Rate]	設定項目について、詳細は下記をご覧ください。 【Video Format】 / 【Quality】 / 【Bit Rate】 の設定値	—	記録ビットレートを表示する。

【Project】 – 【Flexible ISO Setting】

ログ撮影（【Flexible ISO】）の設定を行います。ログ撮影のときのみ有効です。

メニュー項目	細目と設定値	工場出荷時の初期設定値	内容
[Color Gamut]	[S-Gamut3/SLog3] / [S-Gamut3.Cine/SLog3]	[S-Gamut3.Cine/SLog3]	ログ撮影時の色域を設定する。
[Embed LUT File]	[On] / [Off]	[On]	3D LUTファイル（CUBEファイル）のメタデータ記録をオン/オフする。

【Project】 – 【HDR Setting】

HDRモードの設定を行います。

ご注意

- [Shooting Mode] が [Custom] で、[Target Display] が [HDR(HLG)] のときのみ設定できます。

メニュー項目	細目と設定値	工場出荷時の初期設定値	内容
[LCD/VF SDR Preview]	[On] / [Off]	[Off]	HDRモード時でガンマ表示アシストが有効なとき、LCDモニター/ビューファインダー映像を簡易的にHDRからSDRに変換した映像で表示する機能をオン/オフする。 ヒント ● [On] のときはLCDモニター/ビューファインダー映像に [SDR Gain] が適用されます。
[SDR Gain]	0dB ~ -15dB	-6dB	HDRモード時で [LCD/VF SDR Preview] を [On] に設定している場合に、LCDモニター/ビューファインダーに適用される [SDR Gain] の値を設定する。

【Project】 – 【Simul Rec】

同時記録の設定を行います。

メニュー項目	細目と設定値	工場出荷時の初期設定値	内容
[Setting]	[On] / [Off]	[Off]	本線同時記録機能のオン/オフと記録先メディアを一括設定する。
[Rec Button Set]	[Rec Button:   Handle Rec Button:  ] / [Rec Button:  Handle Rec Button: ] / [Rec Button:  Handle Rec Button: ]	[Rec Button:   Handle Rec Button:  ]	メモリーカードごとに録画START/STOPボタンの割り当てを行う。

【Project】 – 【Proxy Rec】

プロキシ記録モードの設定を行います。

メニュー項目	細目と設定値	工場出荷時の初期設定値	内容
[Setting]	[On] / [Off]	[Off]	プロキシ記録モードをオン/オフする。
[Proxy Format]	[HEVC 1920 (16M)] / [HEVC 1920 (9M)] / [AVC 1280 (6M)]	[AVC 1280 (6M)]	プロキシファイル用の映像のサイズを設定する。
[Audio Channel]	[CH1/CH2] / [CH3/CH4]	[CH1/CH2]	プロキシデータに記録するオーディオチャンネルを選択する。
[Chunk]	[30s] / [1min] / [2min]	[30s]	プロキシファイルの分割記録時間を選択する。

【Project】 – 【SDI/HDMI Rec Control】 (PXW-Z200のみ)

SDI/HDMI記録制御の設定を行います。

メニュー項目	細目と設定値	工場出荷時の初期設定値	内容
[Setting]	[Off] / [SDI/HDMI Remote I/F] / [Parallel Rec]	[Off]	<p>SDI/HDMI出力信号による外部接続機器の記録/停止制御を設定する。</p> <p>[Off] : リモート制御しない。</p> <p>[SDI/HDMI Remote I/F] : 本機にメディアを挿入していない状態で、外部接続機器の記録/停止制御が可能。本機のメディアとフレーム精度で同期しない。</p> <p>[Parallel Rec] : 本機にメディアを挿入している状態で、外部接続機器の記録/停止制御が可能。本機のメディアとフレーム精度で同期する。</p> <p>ご注意</p> <ul style="list-style-type: none"> HDMI出力信号による制御を行う場合は、フルメニューの [TC/Media] - [HDMI TC Out] - [Setting] を [On] に設定してください。

【Project】 - 【HDMI Rec Control】 (HXR-NX800のみ)

HDMI記録制御の設定を行います。

メニュー項目	細目と設定値	工場出荷時の初期設定値	内容
[Setting]	[On] / [Off]	[Off]	<p>HDMI出力信号による外部接続機器の記録/停止制御をオン/オフする。</p> <p>ご注意</p> <ul style="list-style-type: none"> HDMI出力信号による制御を行う場合は、フルメニューの [TC/Media] - [HDMI TC Out] - [Setting] を [On] に設定してください。

【Project】 - 【Auto Framing】

オートフレーミングの設定を行います。

メニュー項目	細目と設定値	工場出荷時の初期設定値	内容
[Setting]	[On] / [Off]	[Off]	オートフレーミング機能をオン/オフする。
[Framing Operation Mode]	[Start When Tracking] / [Auto Start] / [Auto Start(15s switch)] / [Auto Start(30s switch)]	[Auto Start]	フレーミングやクロップの開始方法と動作を設定する。
[Crop Level]	[Large Crop Level] / [Medium Crop Level] / [Small Crop Level]	[Medium Crop Level]	認識した被写体をクロップする範囲の大きさを設定する。
[Framing Tracking Speed]	[1(Slow)] / 2 / 3 / 4 / [5(Fast)]	3	フレーミングやクロップが被写体に追従する速度を設定する。
[Rec/Stream]	[Crop] / [Full]	[Crop]	記録される映像とストリーミングで出力される映像をクロップするかを設定する。

メニュー項目	細目と設定値	工場出荷時の初期設定値	内容
[HDMI]	[Crop] / [Full]	[Crop]	HDMIに出力される映像をクロップするかどうかを設定する。

【Project】 – 【Assignable Button】

アサインブルボタンへの機能割り当て設定を行います。

メニュー項目	細目と設定値	内容
<p><1> ~ <11>/ [<PUSH AUTO>]</p>	<p>[Off] / [ISO/Gain] / [AGC] / [Push AGC] / [ND Filter Position] / [Auto ND Filter] / [Push Auto ND] / [Auto Iris] / [Push Auto Iris] / [Shutter] / [Auto Shutter] / [AE Level/Mode] / [Backlight] / [Spotlight] / [Preset White Select] / [White Balance] / [ATW] / [ATW Hold] / [AF Speed/Sens.] / [Focus Setting] / [Subject Recognition AF] / [Push AF/Push MF] / [Focus Hold] / [Focus Magnifier ×3/×6] / [Focus Magnifier ×3] / [Focus Magnifier ×6] / [S&Q Motion] / [LUT On/Off 1] / [LUT On/Off 2] / [NIGHTSHOT] / [SteadyShot] / [SteadyShot Active] / [SteadyShot Standard] / [Rec] / [Auto Framing Pause] / [Auto Framing Settings] / [Rec Review] / [Shot Mark1] / [Shot Mark2] / [Clip Flag OK] / [Clip Flag NG] / [Clip Flag Keep] / [Color Bars] / [Tally [Front]] / [DURATION/TC/U-BIT] / [Display] / [Lens Info] / [Video Signal Monitor] / [Marker] / [LCD/VF Adjust] / [Gamma Display Assist] / [Peaking] / [Zebra] / [Thumbnail] / [Touch Operation] / [Handle Zoom] / [Stream] / [Auto Upload (Proxy)] / [Enlarge Screen] / [Direct Menu] / [Network Status] / [User Menu] / [Menu]</p>	<p>アサインボタンに機能を割り当てる。</p> <p>[ISO/Gain] : [ISO] / [Gain Mode] / [Value] のダイレクトメニューの操作を開始/終了する。</p> <p>[AGC] : オートゲインコントロールのオン/オフを切り替える。</p> <p>[Push AGC] : ボタンを押している間、オートゲインコントロールを有効にする。</p> <p>[ND Filter Position] : NDフィルターポジションを切り替える。</p> <p>[Auto ND Filter] : オートNDフィルターのオン/オフを即時に切り替える。</p> <p>[Push Auto ND] : ボタンを押している間、オートNDフィルターを有効にする。</p> <p>[Auto Iris] : オートアイリスのオン/オフを切り替える。</p> <p>[Push Auto Iris] : ボタンを押している間、オートアイリスを有効にする。</p> <p>[Shutter] : [Auto Shutter] / [ECS] / [Shutter Value] のダイレクトメニューを開始/終了する。</p> <p>[Auto Shutter] : オートシャッターのオン/オフを切り替える。</p> <p>[AE Level/Mode] : [AE Mode] / [Level] のダイレクトメニューを開始/終了する。</p> <p>[Backlight] : [Backlight] / [Standard] を切り替える。</p> <p>[Spotlight] : [Spotlight] / [Standard] を切り替える。</p> <p>[Preset White Select] : ホワイトバランスプリセットモード値を切り替える。</p> <p>[White Balance] : [White Balance Mode] / [Value] のダイレクトメニューを開始/終了する。</p> <p>[ATW] : オートホワイトのオン/オフを切り替える。</p> <p>[ATW Hold] : オートホワイトの動作を一時停止する。</p> <p>[AF Speed/Sens.] : フォーカスの動作速度の設定とフォーカスが乗り移る感度の設定を切り替える。</p> <p>[Focus Setting] : フォーカスエリアの設定を行う。</p>

メニュー項目	細目と設定値	内容
		<p>[Subject Recognition AF] : 被写体認識オートフォーカスの動作を切り替える。</p> <p>[Push AF/Push MF] : フォーカスモードがマニュアルフォーカスの場合に、ボタンを押している間はオートフォーカスになる。</p> <p>フォーカスモードがオートフォーカスの場合に、ボタンを押している間はマニュアルフォーカスになる。</p> <p>[Focus Hold] : フォーカスモードがオートフォーカスの場合に、ボタンを押している間フォーカスを固定する。</p> <p>[Focus Magnifier ×3/×6] / [Focus Magnifier ×3] / [Focus Magnifier ×6] : ピント拡大時のオン/オフを切り替える。</p> <p>[S&Q Motion] : 短押しでスロー&クイックモーションのオン/オフ切り替える。長押しで撮影時のフレームレートの設定をする。</p> <p>[LUT On/Off 1] : [Shooting] - [LUT On/Off] - [1 HDMI] / [1 SDI/HDMI] の設定を切り替える。</p> <p>[LUT On/Off 2] : [Shooting] - [LUT On/Off] - [2 LCD/VF/Proxy/Stream] の設定を切り替える。</p> <p>[NIGHTSHOT] : ナイトショットモードのオン/オフを切り替える。</p> <p>[SteadyShot] : 手ブレ補正機能を [Standard] → [Active] → [Off] → [Standard] の順序で切り替える。</p> <p>[SteadyShot Active] : 手ブレ補正機能を [Active] と [Off] で交互に切り替える。</p> <p>[SteadyShot Standard] : 手ブレ補正機能を [Standard] と [Off] で交互に切り替える。</p> <p>[Rec] : 撮影を開始または停止する。</p> <p>[Auto Framing Pause] : オートフレーミングを休止または再開する。</p> <p>[Auto Framing Settings] : オートフレーミングのクロップレベル/フレーミング追従速度</p>

メニュー項目	細目と設定値	内容
		<p>を設定する。</p> <p>〔Rec Review〕：レックレビューのオン/オフを切り替える。</p> <p>〔Shot Mark1〕：記録中または再生中のクリップにショットマーク1を追加する。</p> <p>〔Shot Mark2〕：記録中または再生中のクリップにショットマーク2を追加する。</p> <p>〔Clip Flag OK〕：〔Add OK〕を実行する、2回続けて押すと〔Delete Clip Flag〕を実行する。</p> <p>〔Clip Flag NG〕：〔Add NG〕を実行する、2回続けて押すと〔Delete Clip Flag〕を実行する。</p> <p>〔Clip Flag Keep〕：〔Add KEEP〕を実行する、2回続けて押すと〔Delete Clip Flag〕を実行する。</p> <p>〔Color Bars〕：カラーバーのオン/オフを切り替える。</p> <p>〔Tally [Front]〕：記録/タリランプ（フロント）の点灯/点滅のオン/オフを切り替える。</p> <p>〔DURATION/TC/U-BIT〕：〔Time Code〕 / 〔Users Bit〕 / 〔Duration〕を切り替える。</p> <p>〔Display〕：画面表示のオン/オフを切り替える。</p> <p>〔Lens Info〕：被写界深度表示を切り替える。</p> <p>〔Video Signal Monitor〕：映像信号モニター（波形モニターなど）の表示を切り替える。</p> <p>〔Marker〕：マーカのオン/オフを切り替える。</p> <p>〔LCD/VF Adjust〕：LCDモニター/ビューファインダー画面の明るさ調節用レベルバーを表示する。</p> <p>〔Gamma Display Assist〕：ガンマ表示アシストを切り替える。</p> <p>〔Peaking〕：ピーキングのオン/オフを切り替える。</p> <p>〔Zebra〕：ゼブラのオン/オフを切り替える。</p> <p>〔Thumbnail〕：サムネイル画面を開始/終了する。</p> <p>〔Touch Operation〕：タッチ操作のオン/オフを切り替える。</p> <p>〔Handle Zoom〕：ハンドルズーム動作を切り替える。</p>

メニュー項目	細目と設定値	内容
		[Stream] : ストリームのオン/オフを切り替える。 [Auto Upload (Proxy)] : プロキシファイルの自動転送の [On] / [Off] / [Chunk] を切り替える。 [Enlarge Screen] : 画面拡大表示の倍率を切り替える。 [Direct Menu] : ダイレクトメニューを開始/終了する。 [Network Status] : [Network] ステータス画面を表示する。 [User Menu] : [User] メニュー表示を開始/終了する。 [Menu] : フルメニュー表示を開始/終了する。

【Project】 – 【Multi Function Dial】

マルチファンクションダイヤルへの機能割り当て設定を行います。

メニュー項目	細目と設定値	工場出荷時の初期設定値	内容
[Default Function]	[Off] / [ISO/Gain] / [Auto Exposure Level] / [Audio Input Level]	[Off]	マルチファンクションダイヤルのデフォルト機能を割り当てる。 [ISO/Gain] : ゲインを調節する。 [Auto Exposure Level] : 自動露出レベルを調節する。 [Audio Input Level] : 録音レベルを調節する。

【Project】 – 【User File】

ユーザーファイルの操作に関する設定を行います。

メニュー項目	細目と設定値	工場出荷時の初期設定値	内容
[Load from Media(B)]	[Execute] / [Cancel]	–	ユーザーファイルの設定をカードスロットBに挿入したメモリーカードから読み込む。 [Execute] : 実行する。
[Save to Media(B)]	[Execute] / [Cancel]	–	ユーザーファイルの設定をカードスロットBに挿入したメモリーカードに保存する。 [Execute] : 実行する。
[File ID]	–	–	ユーザーファイルのファイルIDの表示と編集を行う画面を表示する。
[Load Customize Data]	[On] / [Off]	[Off]	[Load from Media(B)] の実行時に [User] メニューの構成カスタマイズ情報を読み込むかどうかを設定する。
[Load White Data]	[On] / [Off]	[Off]	[Load from Media(B)] の実行時にホワイトバランス情報を読み込むかどうかを設定する。

[Project] – [All File]

Allファイルに関する設定を行います。

メニュー項目	細目と設定値	工場出荷時の 初期設定値	内容
[Load from Media(B)]	[Execute] / [Cancel]	–	Allファイルの設定をカードスロットBに挿入したメモリーカードから読み込む。 [Execute] : 実行する。
[Load from Cloud(Private)]	[Execute] / [Cancel]	–	クラウドサービス「C3 Portal」(個人)にアップロードしたAllファイルを読み込む。 [Execute] : 実行する。
[Load from Cloud(Share)]	[Execute] / [Cancel]	–	クラウドサービス「C3 Portal」(共通)にアップロードしたAllファイルを読み込む。 [Execute] : 実行する。
[Save to Media(B)]	[Execute] / [Cancel]	–	Allファイルの設定をカードスロットBに挿入したメモリーカードに保存する。 [Execute] : 実行する。
[Save to Cloud(Private)]	[Execute] / [Cancel]	–	Allファイルの設定をクラウドサービス「C3 Portal」(個人)に保存する。 [Execute] : 実行する。
[Save to Cloud(Share)]	[Execute] / [Cancel]	–	Allファイルの設定をクラウドサービス「C3 Portal」(共通)に保存する。 [Execute] : 実行する。
[File ID]	–	–	ファイルに名前を付ける。
[Load Network Data]	[On] / [Off]	[Off]	[Load from Media(B)]の実行時に、[Network]メニューの設定情報を読み込むかどうかを設定する。

TP1001670062

ソリッドステートメモリーカムコーダー
PXW-Z200/HXR-NX800

[Paint/Look] メニュー

各メニュー項目の機能および設定値は以下のとおりです。

[Paint/Look] – [Scene File]

Sceneファイルに関する設定を行います。

ご注意

- カスタム撮影のときのみ有効です。

メニュー項目	細目と設定値	内容
[Recall]	–	内蔵メモリーに保存されているSceneファイルを読み込み、現在の画質設定に適用する。
[Store]	–	現在の画質設定状態をSceneファイルとして内蔵メモリーに保存する。
[Delete]	–	内蔵メモリーに保存されているSceneファイルを削除する。
[Preset Recall]	カスタム撮影で [Target Display] – [SDR(BT.709)] を選択している場合： [S-Cinetone] / [ITU709] / [709tone] カスタム撮影で [Target Display] – [HDR(HLG)] を選択している場合： [HLG Live] / [HLG Mild] / [HLG Natural]	プリセット画質（書き換え不可）を現在の画質設定に適用する。

[Paint/Look] – [Base Look]

基本ルックに関する設定を行います。

メニュー項目	細目と設定値	工場出荷時の初期設定値	内容
[Select]	カスタム撮影で [Target Display] – [SDR(BT.709)] を選択している場合： [S-Cinetone] / [ITU709] / [709tone] / User1 ~ User16 カスタム撮影で [Target Display] – [HDR(HLG)] を選択している場合： [HLG Live] / [HLG Mild] / [HLG Natural] / User1 ~ User16 ログ撮影を選択している場合： [s709] / [709(800%)] / [S-Log3] / User1 ~ User16	カスタム撮影で [Target Display] – [SDR(BT.709)] を選択している場合： [ITU709] カスタム撮影で [Target Display] – [HDR(HLG)] を選択している場合： [HLG Mild] ログ撮影を選択している場合： [s709]	基本ルックを選択する。
[Delete]	–	–	選択した基本ルックを削除する。
[Delete All]	–	–	すべての基本ルックを削除する。

メニュー項目	細目と設定値	工場出荷時の初期設定値	内容
[Import from Media(B)]	[Execute] / [Cancel]	—	カードスロットBに挿入したメモリーカードから基本ルックファイルを読み込む。 [Execute] : 実行する。
[Import from Cloud(Private)]	[Execute] / [Cancel]	—	クラウドサービス「C3 Portal」(個人)にアップロードした基本ルックファイルを読み込む。 [Execute] : 実行する。
[Import from Cloud(Share)]	[Execute] / [Cancel]	—	クラウドサービス「C3 Portal」(共通)にアップロードした基本ルックファイルを読み込む。 [Execute] : 実行する。
[Input]	[S-Gamut3/SLog3] / [S-Gamut3.Cine/SLog3]	[S-Gamut3.Cine/SLog3]	[Select] で選択している基本ルックの入力色域を設定する。
[Output]	[BT.709] / [HLG]	[BT.709]	[Select] で選択している基本ルックの出力色域を設定する。
[AE Level Offset]	0EV / 1/3EV / 2/3EV / 1EV / 4/3EV / 5/3EV / 2EV	0EV	[Select] で選択している基本ルックの露出基準値を設定する。

【Paint/Look】 – 【Reset Paint Settings】

基本ルック以外の【Paint/Look】メニューの設定値をリセットします。

ご注意

- カスタム撮影のときのみ有効です。

メニュー項目	細目と設定値	内容
[Reset without Base Look]	[Execute] / [Cancel]	基本ルック以外の【Paint/Look】メニューの設定値のリセットを実行する。 [Execute] : 実行する。

【Paint/Look】 – 【Black】

ブラックの設定を行います。

ご注意

- カスタム撮影のときのみ有効です。

メニュー項目	細目と設定値	工場出荷時の初期設定値	内容
[Master Black]	-99.0 ~ +99.0	±0.0	マスターブラックレベルを設定する。

メニュー項目	細目と設定値	工場出荷時の初期設定値	内容
[R Black]	-99.0 ~ +99.0	±0.0	Rブラックレベルを設定する。
[B Black]	-99.0 ~ +99.0	±0.0	Bブラックレベルを設定する。

【Paint/Look】 - 【Knee】

ニー補正の設定を行います。

ご注意

- カスタム撮影のときのみ有効です。

メニュー項目	細目と設定値	工場出荷時の初期設定値	内容
[Setting]	[On] / [Off] / ---	[Target Display] - [SDR(BT.709)] を選択している場合： [On] [HDR(HLG)] を選択している場合： [Off]	ニー補正をオン/オフする。 ヒント ● [Base Look] - [Select] が [ITU709]、[709tone]、[HLG Live]、[HLG Mild] または [HLG Natural] のときのみ有効です。
[Auto Knee]	[On] / [Off] / ---	[Target Display] - [SDR(BT.709)] を選択している場合： [On] [HDR(HLG)] を選択している場合： [Off]	オートニーをオン/オフする。 ヒント ● [Setting] を [On] に設定している場合に、[Base Look] - [Select] - [ITU709] / [709tone] のときのみ有効です。
[Point]	75% ~ 109%	90%	ニーポイントを設定する。
[Slope]	-99 ~ +99	±0	ニースロープを設定する。

【Paint/Look】 - 【Detail】

ディテール調整の設定を行います。

ご注意

- カスタム撮影のときのみ有効です。

メニュー項目	細目と設定値	工場出荷時の初期設定値	内容
[Setting]	[On] / [Off]	[On]	ディテールをオン/オフする。
[Level]	-7 ~ +7	±0	ディテールレベルを設定する。
[Manual Setting]	[On] / [Off] /---	[Off]	ディテール手動調整をオン/オフする。
[H/V Ratio]	-2 ~ +2	±0	ディテール手動調整時に垂直 (V) /水平 (H) ディテールのバランスを設定する。

メニュー項目	細目と設定値	工場出荷時の初期設定値	内容
[B/W Balance]	[Type1] / [Type2] / [Type3] / [Type4] / [Type5]	[Type3]	ディテール手動調整時に下側 (Black) / 上側 (White) ディテールのバランスを設定する。
[Limit]	0 ~ 7	0	ディテール手動調整時にディテールのリミットレベルを設定する。
[Crispening]	0 ~ 7	0	ディテール手動調整時にクリスピングレベルを設定する。
[High Light Detail]	0 ~ 4	0	ディテール手動調整時に高輝度部分のディテールレベルを設定する。

[Paint/Look] – [Matrix]

マトリクス補正の設定を行います。

ご注意

- カスタム撮影のときのみ有効です。

メニュー項目	細目と設定値	工場出荷時の初期設定値	内容
[User Matrix]	[On] / [Off]	[Off]	ユーザーマトリクス補正をオン/オフする。
[User Matrix Level]	-99 ~ +99	±0	映像全域の色の濃さを調整する。
[User Matrix Phase]	-99 ~ +99	±0	映像全域の色合いを調整する。
[User Matrix R-G]	-99 ~ +99	±0	R-Gのユーザーマトリクスを任意に設定する。
[User Matrix R-B]	-99 ~ +99	±0	R-Bのユーザーマトリクスを任意に設定する。
[User Matrix G-R]	-99 ~ +99	±0	G-Rのユーザーマトリクスを任意に設定する。
[User Matrix G-B]	-99 ~ +99	±0	G-Bのユーザーマトリクスを任意に設定する。
[User Matrix B-R]	-99 ~ +99	±0	B-Rのユーザーマトリクスを任意に設定する。
[User Matrix B-G]	-99 ~ +99	±0	B-Gのユーザーマトリクスを任意に設定する。

[Paint/Look] – [Multi Matrix]

マルチマトリクス補正の設定を行います。

ご注意

- カスタム撮影のときのみ有効です。
- [Area Indication] はすべての映像出力に適用されます。映像出力信号を本線信号として使っている場合などはご注意ください。
- マルチマトリクス補正は、全色相を16分割した色軸毎に色相（ヒュー）と飽和度（サチュレーション）を調節します。調節したい色軸を選択する際に、[Area Indication] をオンにすることで、調節対象の色軸が撮影映像中のどの場所なのかを簡易的に確認できます。場所を確認したら、[Area Indication] をオフにしてから、色相（ヒュー）と飽和度（サチュレーション）を調節してください。
- 記録動作中、[Area Indication] はオフに固定されます。
- マルチマトリクス補正の設定画面から他に移動すると、[Area Indication] は自動的にオフになります。
- マルチマトリクス補正の設定中は、DISPLAYボタンは[Area Indication] の切り替えボタンとなります。DISPLAYボタンを押す度に、[Area Indication] のオン/オフが切り替わります。

メニュー項目	細目と設定値	工場出荷時の初期設定値	内容
[Setting]	[On] / [Off]	[Off]	マルチマトリクス補正をオン/オフする。
[Area Indication]	[On] / [Off]	[Off]	<p>[Axis] で選択した調整対象の色軸に該当する対象領域を見分ける表示機能をオン/オフする。撮影映像中の対象領域以外の部分をモノトーンで表示する。</p> <p>ヒント</p> <ul style="list-style-type: none"> マルチマトリクス補正の設定画面では、DISPLAYボタンで [Area Indication] のオン/オフを切り替えることができます。 <p>ご注意</p> <ul style="list-style-type: none"> [Area Indication] はすべての映像出力に適用されます。映像出力信号を本線信号として使っている場合などにご注意ください。
[Reset]	[Execute] / [Cancel]	—	各色軸の色相（ヒュー）と飽和度（サチュレーション）の設定値をすべて初期値にする。
[Axis]	B / B+ / MG- / MG / MG+ / R / R+ / YL- / YL / YL+ / G- / G / G+ / CY / CY+ / B-	B	調整対象の色軸を選択する。
[Hue]	-99 ~ +99	±0	[Axis] で選択した調整対象の色軸の色相（ヒュー）を設定する。
[Saturation]	-99 ~ +99	±0	[Axis] で選択した調整対象の色軸の飽和度（サチュレーション）を設定する。

TP1001670063

ソリッドステートメモリーカムコーダー
PXW-Z200/HXR-NX800

【TC/Media】メニュー

各メニュー項目の機能および設定値は以下のとおりです。

【TC/Media】 – 【Timecode】

タイムコードの設定を行います。

メニュー項目	細目と設定値	工場出荷時の初期設定値	内容
[Mode]	[Preset] / [Regen] / [Clock]	[Preset]	タイムコードの歩進モードを設定する。 [Preset] : 設定された値から歩進する。 [Regen] : 前のクリップのタイムコードに続けて歩進する。 [Clock] : 内蔵時計をタイムコードとして使用する。
[Run]	[Rec Run] / [Free Run]	[Rec Run]	[Rec Run] : 撮影時のみ歩進する。 [Free Run] : 撮影時に関係なく常に歩進する。
[Setting]	–	–	タイムコードを任意の値に設定する。 [Set] : 確定する。
[Reset]	[Execute] / [Cancel]	–	タイムコードを00:00:00:00にリセットする。 [Execute] : 実行する。
[TC Format]	[DF] / [NDF]	[DF]	タイムコードのフォーマットを設定する。 [DF] : ドロップフレーム [NDF] : ノンドロップフレーム

【TC/Media】 – 【TC Display】

タイムデータ表示の設定を行います。

メニュー項目	細目と設定値	工場出荷時の初期設定値	内容
[Display Select]	[Timecode] / [Users Bit] / [Duration]	[Timecode]	タイムデータの表示を切り替える。

【TC/Media】 – 【Users Bit】

ユーザービットに関する設定を行います。

メニュー項目	細目と設定値	工場出荷時の初期設定値	内容
[Mode]	[Fix] / [Time]	[Fix]	ユーザービットのモードを設定する。 [Fix] : ユーザービットに任意の固定値を使用する。 [Time] : ユーザービットに現在の時分秒を使用する。
[Setting]	–	–	ユーザービットを任意の値に設定する。

【TC/Media】 – 【HDMI TC Out】

HDMI利用時のタイムコード出力に関する設定を行います。

メニュー項目	細目と設定値	工場出荷時の初期設定値	内容
[Setting]	[On] / [Off]	[Off]	HDMIを利用して、他の業務用機器にタイムコードを出力するかどうかを設定する。

【TC/Media】 – 【Clip Name Format】

クリップ名に関する設定を行います。

メニュー項目	細目と設定値	工場出荷時の初期設定値	内容
[Clip Number]	[Series] / [Reset]	[Series]	クリップ番号の発番方法を設定する。 [Series]：本機に保持された連番カウンターの番号を起点に発番する方法。ただし、メモリーカード内のクリップのうち一番大きな番号が連番カウンターより大きい番号の場合は、その番号を起点に発番する。 [Reset]：メモリーカード内にあるクリップのうち一番大きな番号を起点に発番する方法。
[Series Counter Reset]	[Execute] / [Cancel]	–	本機に保持された連番カウンターをリセットする。 [Execute]：実行する。 ヒント ● クリップを記録するごとに、そのクリップの番号で連番カウンターを更新します。
[Title Name Settings]	任意の文字を入力する	C	クリップ名のタイトル部分を設定する。

【TC/Media】 – 【Update Media】

メモリーカード内の管理ファイルを更新します。

メニュー項目	細目と設定値	内容
[Media(A)]	[Execute] / [Cancel]	カードスロットAのメモリーカード内の管理ファイルを更新する。 [Execute]：実行する。
[Media(B)]	[Execute] / [Cancel]	カードスロットBのメモリーカード内の管理ファイルを更新する。 [Execute]：実行する。

【TC/Media】 – 【Format Media】

メモリーカードを初期化します。

メニュー項目	細目と設定値	内容
[Media(A)]	[Full Format] / [Quick Format] / [Cancel]	カードスロットAのメモリーカードを初期化する。
[Media(B)]	[Full Format] / [Quick Format] / [Cancel]	カードスロットBのメモリーカードを初期化する。

ソリッドステートメモリーカムコーダー
PXW-Z200/HXR-NX800

【Monitoring】メニュー

各メニュー項目の機能および設定値は以下のとおりです。

【Monitoring】 – 【Output On/Off】

映像出力の設定を行います。

メニュー項目	細目と設定値	工場出荷時の初期設定値	内容
[SDI] (PXW-Z200のみ)	[On] / [Off]	[On]	SDI出力をオン/オフする。
[HDMI]	[On] / [Off]	[On]	HDMI出力をオン/オフする。

【Monitoring】 – 【Output Format】

出力フォーマットの設定を行います。

メニュー項目	細目と設定値	内容
PXW-Z200	[SDI]	SDIとHDMI出力の解像度設定をする。
	[HDMI]	
HXR-NX800	[HDMI]	

設定項目について、詳細は下記をご覧ください。
[SDI/HDMI出力端子の出力フォーマット \(PXW-Z200のみ\)](#)
[HDMI出力端子の出力フォーマット](#)

【Monitoring】 – 【Output Display】

画面表示の出力設定を行います。

メニュー項目	細目と設定値	工場出荷時の初期設定値	内容
[SDI] (PXW-Z200のみ)	[On] / [Off]	[Off]	SDI出力信号へのメニューやステータスなど、画面表示の重畳を設定する。
[HDMI]	[On] / [Off]	[Off]	HDMI出力信号へのメニューやステータスなど、画面表示の重畳を設定する。

【Monitoring】 – 【Display On/Off】

撮影画面または再生画面に表示する項目を選択します。

メニュー項目	細目と設定値	工場出荷時の初期設定値	内容
[Network Status]	[On] / [Off]	[On]	撮影画面または再生画面に表示する項目を選択する。
[File Transfer Status]	[On] / [Off]	[On]	
[Stream Status]	[On] / [Off]	[On]	
[Rec/Play Status]	[On] / [Off]	[On]	
[Tally]	[On] / [Off]	[On]	
[Battery Remain]	[On] / [Off]	[On]	
[Focus Mode]	[On] / [Off]	[On]	
[Focus Position]	[On] / [Off]	[On]	
[Focus Area Indicator]	[On] / [Off]	[On]	
[Subject Recognition Frame]	[On] / [Off]	[On]	
[Tracking AF Pointer]	[On] / [Off]	[On]	
[Lens Info]	[On] / [Off]	[Off]	
[Rec Format]	[On] / [Off]	[On]	
[Frame Rate]	[On] / [Off]	[On]	
[Zoom Position]	[On] / [Off]	[On]	
[UWP RF Level]	[On] / [Off]	[On]	
[SteadyShot]	[On] / [Off]	[On]	
[Base Look/Rec Look]	[On] / [Off]	[On]	
[SDI/HDMI Rec Control] (PXW-Z200のみ)	[On] / [Off]	[On]	
[HDMI Rec Control] (HXR-NX800のみ)	[On] / [Off]	[On]	
[Monitoring Look]	[On] / [Off]	[On]	
[Proxy Status]	[On] / [Off]	[On]	
[Media Status]	[On] / [Off]	[On]	
[Video Signal Monitor]	[Off] / [Waveform] / [Vector] / [Histogram]	[Off]	
[Clip Name]	[On] / [Off]	[On]	
[White Balance]	[On] / [Off]	[On]	
[Scene File]	[On] / [Off]	[On]	
[Auto Exposure Mode]	[On] / [Off]	[On]	
[Auto Exposure Level]	[On] / [Off]	[On]	
[Timecode]	[On] / [Off]	[On]	

メニュー項目	細目と設定値	工場出荷時の初期設定値	内容
[ND Filter]	[On] / [Off]	[On]	
[Iris]	[On] / [Off]	[On]	
[ISO/Gain]	[On] / [Off]	[On]	
[Shutter]	[On] / [Off]	[On]	
[Level Gauge]	[On] / [Off]	[On]	
[Audio Level Meter]	[On] / [Off]	[On]	
[Video Level Warning]	[On] / [Off]	[On]	
[NIGHTSHOT]	[On] / [Off]	[On]	
[Clip Number]	[On] / [Off]	[On]	
[Notice Message]	[On] / [Off]	[On]	

【Monitoring】 – 【Marker】

マーカー表示の設定を行います。

メニュー項目	細目と設定値	工場出荷時の初期設定値	内容
[Setting]	[On] / [Off]	[On]	すべてのマーカー表示をまとめてオン/オフする。
[Color]	[White] / [Yellow] / [Cyan] / [Green] / [Magenta] / [Red] / [Blue]	[White]	マーカーの信号色を選択する。
[Center Marker]	1 / 2 / 3 / 4 / [Off]	[Off]	センターマーカーを選択する。
[Safety Zone]	[On] / [Off]	[Off]	セーフティーゾーンマーカーをオン/オフする。
[Safety Area]	80% / 90% / 92.5% / 95%	90%	セーフティーゾーンマーカーの大きさ（画面全体に対する比率）を選択する。
[Aspect Marker]	[Line] / [Mask] / [Off]	[Off]	アスペクトマーカーの比を選択する。
[Aspect Mask]	0 ~ 15	12	マーカー外側のビデオ信号のレベルを設定する。
[Aspect Safety Zone]	[On] / [Off]	[Off]	アスペクトセーフティーゾーンマーカーをオン/オフする。
[Aspect Safety Area]	80% / 90% / 92.5% / 95%	90%	アスペクトセーフティーゾーンマーカーの大きさ（画面全体に対する比率）を選択する。
[Aspect Select]	1:1 / 4:3 / 13:9 / 14:9 / 15:9 / 17:9 / 1.66:1 / 1.85:1 / 2.35:1 / 2.39:1 / [Custom]	2.39:1	アスペクトマーカーを表示するときのアスペクト比を設定する。

メニュー項目	細目と設定値	工場出荷時の初期設定値	内容
[Custom Aspect Ratio]	任意の値を入力する	01.00:01.00	アスペクト比を任意の値に設定する。 ご注意 ● [Aspect Select] を [Custom] に設定した場合に、この設定が有効になります。
[Guide Frame]	[On] / [Off]	[Off]	ガイドフレーム表示をオン/オフする。
[100% Marker]	[On] / [Off]	[Off]	100%マーカーをオン/オフする。
[User Box]	[On] / [Off]	[Off]	ユーザーボックスマーカーの表示をオン/オフする。
[User Box Width]	3 ~ 479	240	ユーザーボックスマーカーの幅（中心から左右端までの距離）を設定する。
[User Box Height]	3 ~ 269	135	ユーザーボックスマーカーの高さ（中心から上下端までの距離）を設定する。
[User Box H Position]	-476 ~ +476	0	ユーザーボックスマーカーの中心の水平位置を設定する。
[User Box V Position]	-266 ~ +266	0	ユーザーボックスマーカーの中心の垂直位置を設定する。

【Monitoring】 – 【LCD Monitor/VF】

LCDモニター/ビューファインダーの設定を行います。

メニュー項目	細目と設定値	工場出荷時の初期設定値	内容
[LCD Monitor Brightness]	1 ~ 15	8	LCDモニター映像の明るさを調整する。
[LCD Monitor Color Mode]	[Color] / [B&W]	[Color]	E-E表示/記録時のLCDモニターの表示モードを選択する。
[VF Brightness]	1 ~ 3	2	ビューファインダー映像の明るさを調整する。
[VF Color Mode]	[Color] / [B&W]	[Color]	E-E表示/記録時のビューファインダーの表示モードを選択する。

【Monitoring】 – 【Gamma Display Assist】

ガンマ表示アシストの設定を行います。

メニュー項目	細目と設定値	工場出荷時の初期設定値	内容
[Setting]	[On] / [Off]	[On]	<p>[Custom] – [Target Display] – [HDR(HLG)] 時のガンマ表示アシスト機能をオン/オフする。</p> <p>ご注意</p> <ul style="list-style-type: none"> [Custom] – [Target Display] を [SDR(BT.709)] に設定しているとき、およびログ撮影のときは、本設定は [Off] に固定されます。

【Monitoring】 – 【Peaking】

ピーキングの設定を行います。

メニュー項目	細目と設定値	工場出荷時の初期設定値	内容
[Setting]	[On] / [Off]	[Off]	ピーキングをオン/オフする。
[Peaking Level]	[High] / [Mid] / [Low]	[Mid]	カラーピーキングの信号レベルを設定する。
[Color]	[B&W] / [Red] / [Yellow] / [Blue]	[B&W]	カラーピーキングの信号色を選択する。

【Monitoring】 – 【Zebra】

ゼブラパターンの設定を行います。

メニュー項目	細目と設定値	工場出荷時の初期設定値	内容
[Setting]	[Off] / [Zebra1] / [Zebra2]	[Off]	ゼブラ表示の種類を選択する。
[Zebra1 Level]	0% ~ 109%	70%	[Zebra1] を表示するレベルを設定する。
[Zebra1 Aperture Level]	2% ~ 20%	10%	[Zebra1] のアパーチャーレベルを設定する。
[Zebra2 Level]	0% ~ 109%	100%	[Zebra2] を表示するレベルを設定する。

TP1001670065

ソリッドステートメモリーカムコーダー
PXW-Z200/HXR-NX800

[Audio] メニュー

各メニュー項目の機能および設定値は以下のとおりです。
設定項目について、詳細は下記をご覧ください。

[ブロックダイヤグラム](#)

[Audio] – [Audio Input]

音声入力の設定を行います。

メニュー項目	細目と設定値	工場出荷時の初期設定値	内容
[CH1 Input Select]	[INPUT1] / [INPUT3 (L)] / [Internal MIC] / [Shoe CH1]	[Internal MIC]	CH1に対する入力元を切り替える。
[CH2 Input Select]	[INPUT1] / [INPUT2] / [INPUT3 (R)] / [Internal MIC] / [Shoe CH2]	[Internal MIC]	CH2に対する入力元を切り替える。
[CH3 Input Select]	[Off] / [INPUT1] / [INPUT3 (L)] / [Internal MIC] / [Shoe CH1] / [Shoe CH3]	[Internal MIC]	CH3に対する入力元を切り替える。
[CH4 Input Select]	[Off] / [INPUT1] / [INPUT2] / [INPUT3 (R)] / [Internal MIC] / [Shoe CH2] / [Shoe CH4]	[Internal MIC]	CH4に対する入力元を切り替える。
[INPUT1 MIC Reference]	-80dB / -70dB / -60dB / -50dB / -40dB / -30dB	-50dB	INPUT 1からのXLRマイク入力に対するリファレンスレベルを設定する。
[INPUT2 MIC Reference]	-80dB / -70dB / -60dB / -50dB / -40dB / -30dB	-50dB	INPUT 2からのXLRマイク入力に対するリファレンスレベルを設定する。
[Line Input Reference]	+4dB / 0dB / -3dB / [EBUL]	+4dB	INPUT 1/INPUT 2スイッチの設定がLINEの場合の基準入力レベルを選択する。
[Reference Level]	-20dB / -18dB / -16dB / -12dB / [EBUL]	-20dB	基準入力レベルの1 kHz信号の記録レベルを選択する。
[CH1 Wind Filter]	[On] / [Off]	[Off]	CH1に対する風音低減フィルターを設定する。
[CH2 Wind Filter]	[On] / [Off]	[Off]	CH2に対する風音低減フィルターを設定する。
[CH3 Wind Filter]	[On] / [Off]	[Off]	CH3に対する風音低減フィルターを設定する。
[CH4 Wind Filter]	[On] / [Off]	[Off]	CH4に対する風音低減フィルターを設定する。

メニュー項目	細目と設定値	工場出荷時の初期設定値	内容
[CH3 Level Control]	[Auto] / [Manual]	[Auto]	CH3の音声入力レベル調整を自動にするか、手動にするかを設定する。 ご注意 <ul style="list-style-type: none"> ● [CH3 Input Select] / [CH4 Input Select] がどちらも [Internal MIC] に設定されている場合は、本設定に連動してCH4の自動/手動も切り替わります。
[CH4 Level Control]	[Auto] / [Manual]	[Auto]	CH4の音声入力レベル調整を自動にするか、手動にするかを設定する。 ご注意 <ul style="list-style-type: none"> ● [CH3 Input Select] / [CH4 Input Select] がどちらも [Internal MIC] に設定されている場合は、[CH3 Level Control] の設定に連動してCH4の自動/手動も切り替わります。
[CH3 Input Level]	0 ~ 99	49	CH3の入力レベルを設定する。
[CH4 Input Level]	0 ~ 99	49	CH4の入力レベルを設定する。
[Audio Input Level]	0 ~ 99	99	音声入力レベルを設定する。 [CH1 Level] ~ [CH4 Level] の設定に従って、マスターボリュームとして使用できます。
[Limiter Mode]	[Off] / -6dB / -9dB / -12dB / -15dB / -17dB	[Off]	オーディオ入力レベルの手動調節時の大きな信号に対するリミッター特性を選択する。
[CH1&2 AGC Mode]	[Mono] / [Stereo]	[Stereo]	CH1とCH2の自動レベル調整モードを設定する。[Stereo] に設定しているときは、チャンネル間でオートゲインコントロールが連動する。
[CH3&4 AGC Mode]	[Mono] / [Stereo]	[Stereo]	CH3とCH4の自動レベル調整モードを設定する。[Stereo] に設定しているときは、チャンネル間でオートゲインコントロールが連動する。
[AGC Spec]	-6dB / -9dB / -12dB / -15dB / -17dB	-6dB	オートゲインコントロール特性を選択する。
[1kHz Tone on Color Bars]	[On] / [Off]	[Off]	カラーバー表示中の1 kHzの基準音声信号をオン/オフする。 ご注意 <ul style="list-style-type: none"> ● [On] に設定すると、[CH3 Input Select] / [CH4 Input Select] を [Off] に設定している場合でも、1 kHzの基準音声信号をCH3/CH4に乗せます。

メニュー項目	細目と設定値	工場出荷時の初期設定値	内容
[CH1 Level]	XLRアダプター入力なし : [Audio Input Level] / [Side] / [Level+Side] XLRアダプター入力あり : [Audio Input Level] / [Through]	XLRアダプター入力なし : [Level+Side] XLRアダプター入力あり : [Audio Input Level]	CH1の音声入力レベル調整の組み合わせを設定する。 ご注意 ● [Side] は本機側面のAUDIO LEVEL (CH1) ダイアルを指します。 [Level+Side] を設定したときは [Audio Input Level] 設定の割合とダイアル設定の割合を掛け合わせた割合が録音レベルになります。
[CH2 Level]	XLRアダプター入力なし : [Audio Input Level] / [Side] / [Level+Side] XLRアダプター入力あり : [Audio Input Level] / [Through]	XLRアダプター入力なし : [Level+Side] XLRアダプター入力あり : [Audio Input Level]	CH2の音声入力レベル調整の組み合わせを設定する。 ご注意 ● [Side] は本機側面のAUDIO LEVEL (CH2) ダイアルを指します。 [Level+Side] を設定したときは [Audio Input Level] 設定の割合とダイアル設定の割合を掛け合わせた割合が録音レベルになります。
[CH3 Level]	XLRアダプター入力なし : [Audio Input Level] / [CH3 Input Level] / [Level+CH3 Input Level] XLRアダプター入力あり : [Audio Input Level] / [Through]	XLRアダプター入力なし : [Level+CH3 Input Level] XLRアダプター入力あり : [Audio Input Level]	CH3の音声入力レベル調整の組み合わせを設定する。
[CH4 Level]	XLRアダプター入力なし : [Audio Input Level] / [CH4 Input Level] / [Level+CH4 Input Level] XLRアダプター入力あり : [Audio Input Level] / [Through]	XLRアダプター入力なし : [Level+CH4 Input Level] XLRアダプター入力あり : [Audio Input Level]	CH4の音声入力レベル調整の組み合わせを設定する。

【Audio】 – 【Audio Output】

音声出力の設定を行います。

メニュー項目	細目と設定値	工場出荷時の初期設定値	内容
[Monitor CH]	[CH1/CH2] / [CH3/CH4] / [MIX ALL] / [CH1] / [CH2] / [CH3] / [CH4]	[CH1/CH2]	ヘッドホン端子および内蔵スピーカーに出力する音声チャンネルを選択する。 ご注意 ● 複数チャンネルの音声を同時出力する設定値を選択した場合は、音割れしないように各チャンネルの出力レベルを下げて音声が出力されません。

メニュー項目	細目と設定値	工場出荷時の初期設定値	内容
[Headphone Out]	[Mono] / [Stereo]	[Stereo]	ヘッドホン端子をモノラル出力にするか、ステレオ出力にするかを選択する。
[Alarm Level]	0 ~ 7	4	警告音の音量を調整する。
[HDMI Output CH]	[CH1/CH2] / [CH3/CH4]	[CH1/CH2]	HDMIに出力される音声チャンネルの組み合わせを設定する。

TP1001670066

5-060-574-01(2) Copyright 2024 Sony Corporation

ソリッドステートメモリーカムコーダー
PXW-Z200/HXR-NX800

【Thumbnail】メニュー

各メニュー項目の機能および設定値は以下のとおりです。

【Thumbnail】

メニュー項目	内容
[Display Clip Properties]	クリップ詳細情報画面を開く。

【Thumbnail】 – 【Set Clip Flag】

クリップフラグの編集を行います。

メニュー項目	内容
[Add OK]	[OK] フラグを付ける。
[Add NG]	[NG] フラグを付ける。
[Add KEEP]	[KEEP] フラグを付ける。
[Delete Clip Flag]	すべてのフラグを外す。

【Thumbnail】 – 【Lock/Unlock Clip】

クリップの保護設定を行います。

メニュー項目	内容
[Select Clip]	保護/保護を解除するクリップを選択して実行する。
[Lock All Clips]	すべてのクリップを保護する。
[Unlock All Clips]	すべてのクリップの保護を解除する。

【Thumbnail】 – 【Delete Clip】

クリップを削除します。

メニュー項目	内容
[Select Clip]	任意のクリップを削除する。
[All Clips]	クリップを一括削除する。

【Thumbnail】 – 【Copy Clip】

クリップをコピーします。

メニュー項目	内容
[Select Clip]	任意のクリップをコピーする。

メニュー項目	内容
[All Clips]	クリップを一括コピーする。

【Thumbnail】 – 【Transfer Clip】

クリップを転送します。

ご注意

- [Network] – [Network Setup] – [Edit Authentication] – [Input Password] でパスワードを設定していない場合、【Transfer Clip】は設定できません。

メニュー項目	内容
[Select Clip]	任意のクリップを転送する。
[All Clips]	クリップを一括転送する。 ご注意 <ul style="list-style-type: none"> ● 転送できるクリップの上限は200件です。

【Thumbnail】 – 【Transfer Clip (Proxy)】

プロキシクリップを転送します。

ご注意

- [Network] – [Network Setup] – [Edit Authentication] – [Input Password] でパスワードを設定していない場合、【Transfer Clip (Proxy)】は設定できません。

メニュー項目	内容
[Select Clip]	任意のクリップに対応しているプロキシクリップを転送する。
[All Clips]	クリップに対応するプロキシクリップを一括転送する。 ご注意 <ul style="list-style-type: none"> ● 転送できるクリップの上限は200件です。

【Thumbnail】 – 【Filter Clips】

表示するクリップの設定を行います。

メニュー項目	内容
[OK]	[OK] フラグのついたクリップのみを表示する。
[NG]	[NG] フラグのついたクリップのみを表示する。
[KEEP]	[KEEP] フラグのついたクリップのみを表示する。
[None]	フラグのついていないクリップのみを表示する。
[All]	フラグのありなしによらず、すべてのクリップを表示する。

【Thumbnail】 – 【Customize View】

サムネイル画面の表示を切り替えます。

メニュー項目	細目と設定値	工場出荷時の初期設定値	内容
[Thumbnail Caption]	[Date Time] / [Time Code] / [Duration] / [Sequential Number]	[Time Code]	サムネイル画像直下の表示内容を切り替える。

TP1001670067

5-060-574-01(2) Copyright 2024 Sony Corporation

ソリッドステートメモリーカムコーダー
PXW-Z200/HXR-NX800

【Technical】メニュー

各メニュー項目の機能および設定値は以下のとおりです。

【Technical】 – 【Color Bars】

カラーバーの設定を行います。

メニュー項目	細目と設定値	工場出荷時の初期設定値	内容
[Setting]	[On] / [Off]	[Off]	カラーバーをオン/オフする。
[Type]	ARIB / 100% / 75% / SMPTE	ARIB	カラーバーの種類を選択する。

【Technical】 – 【ND Dial】

ND VARIABLEダイヤルの操作に関する設定を行います。

メニュー項目	細目と設定値	工場出荷時の初期設定値	内容
[CLEAR with Dial]	[On] / [Off]	[On]	ND VARIABLEダイヤルの操作でNDフィルターの状態遷移 [Clear] ⇔ [On] を可能にするかどうか設定する。

【Technical】 – 【Tally】

記録/タリーランプの設定を行います。

メニュー項目	細目と設定値	工場出荷時の初期設定値	内容
[Front Tally Lamp]	[On] / [Off]	[On]	記録/タリーランプ（フロント）をオン/オフする。
[Rear Tally Lamp]	[On] / [Off]	[On]	記録/タリーランプ（リア）をオン/オフする。

【Technical】 – 【Touch Operation】

タッチ操作に関する設定を行います。

メニュー項目	細目と設定値	工場出荷時の初期設定値	内容
[Setting]	[On] / [Off]	[On]	タッチ操作をオン/オフする。

【Technical】 – 【Rec Review】

レックレビューの設定を行います。

メニュー項目	細目と設定値	工場出荷時の初期設定値	内容
[Setting]	[3s] / [10s] / [Clip]	[3s]	レックレビューで直前に記録したクリップを再生する時間を選択する。

【Technical】 - 【Zoom】

ズームの設定を行います。

メニュー項目	細目と設定値	工場出荷時の初期設定値	内容
[Zoom Type]	[Optical Zoom Only] / [On(Clear Image Zoom)]	[Optical Zoom Only]	ズームの種類を設定する。 [Optical Zoom Only] : レンズを動かすことにより光学的なズームを行う。 [On(Clear Image Zoom)] : 画質劣化が少ない電子的なズームを行う。

【Technical】 - 【Handle Zoom】

ハンドルズームの設定を行います。

メニュー項目	細目と設定値	工場出荷時の初期設定値	内容
[Setting]	[Off] / [Low] / [High] / [Variable]	[Variable]	ハンドルズーム速度を設定する。
[High]	1 ~ 8	8	[Setting] を [High] に設定している場合に、ハンドルズームレバーを押したときのズーム速度を設定する。
[Low]	1 ~ 8	3	[Setting] を [Low] に設定している場合に、ハンドルズームレバーを押したときのズーム速度を設定する。 ご注意 ● ズーム速度が低速のときにズーミングにむらが出る場合があります。

【Technical】 - 【Speed Zoom】

高速ズーム機能の設定を行います。

メニュー項目	細目と設定値	工場出荷時の初期設定値	内容
[Setting]	[On] / [Off]	[Off]	高速ズーム機能をオン/オフする。

【Technical】 - 【Menu Settings】

メニューに関する設定を行います。

メニュー項目	細目と設定値	工場出荷時の初期設定値	内容
[User Menu Only]	[On] / [Off]	[Off]	メニューを表示したときに、 [User] メニューだけを表示するか、メニューリストを表示するかを設定する。 [On] : [User] メニューだけを表示する。 [Off] : メニューリストを表示する。

メニュー項目	細目と設定値	工場出荷時の初期設定値	内容
[Menu Page On/Off]	[ Camera] / [ Project] / [ Monitoring] / [ Assignable Button] / [ Battery] / [ Media] / [ Network] / [ Stream] / [ File Transfer]	-	ステータス画面の表示をオン/オフする。
[User Menu with Lock]	[On] / [Off]	[Off]	<p>メニュー表示にロックをかけて、[User] メニューだけの表示にするかを設定する。</p> <p>ご注意</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 通常のメニュー表示操作では表示されません。

【Technical】 – 【Fan Control】

ファン制御モードの設定を行います。

メニュー項目	細目と設定値	工場出荷時の初期設定値	内容
[Setting]	[Auto] / [Minimum] / [Off in Rec]	[Auto]	<p>ファン制御モードを設定する。</p> <p>ご注意</p> <ul style="list-style-type: none"> ● [Off in Rec] に設定していても、本機の内部温度が一定温度を超えるとファンが回転します。

【Technical】 – 【Lens】

レンズに関する設定を行います。

メニュー項目	細目と設定値	工場出荷時の初期設定値	内容
[Distance Display]	[Meter] / [Feet]	[Meter]	レンズ情報とフォーカスポジションの表示単位を設定する。
[Zoom Position Display]	[Number] / [Bar]	[Number]	ズーム位置の表示形式を設定する。

【Technical】 – 【Video Light Set】

ビデオライトの点灯方式を設定します。HVL-LBPC（別売）使用時のみ有効な設定です。

メニュー項目	細目と設定値	工場出荷時の初期設定値	内容
[Video Light Set]	[Power Link] / [Rec Link] / [Rec Link + Stby]	[Power Link]	マルチインターフェースシューに取り付けるビデオライトの点灯方式を設定する。 [Power Link] : 本機の電源のオン/オフに連動してビデオライトが点灯/消灯する。 [Rec Link] : 本機の撮影開始/終了に連動してビデオライトが点灯/消灯する。 [Rec Link + Stby] : 本機の撮影開始/終了に連動してビデオライトが点灯/スタンバイ点灯する。

【Technical】 – 【Camera Battery Alarm】

バッテリーの電圧低下警告の設定を行います。

メニュー項目	細目と設定値	工場出荷時の初期設定値	内容
[Low Battery]	5% / 10% / 15% / --- / 45% / 50%	10%	バッテリー電圧低下警告を表示する残量を設定する（5%刻み）。
[Battery Empty]	3% ~ 7%	3%	バッテリー切れ警告を表示する残量を設定する。

【Technical】 – 【Camera DC IN Alarm】

入力電圧警告の設定を行います。

メニュー項目	細目と設定値	工場出荷時の初期設定値	内容
[DC Low Voltage1]	16.0V ~ 19.0V	16.5V	DC INへの入力電圧の低下警告を表示する電圧を設定する。
[DC Low Voltage2]	15.5V ~ 18.5V	15.5V	DC INへの入力電圧の不足警告を表示する電圧を設定する。

TP1001670068

ソリッドステートメモリーカムコーダー
PXW-Z200/HXR-NX800

【Network】メニュー

各メニュー項目の機能および設定値は以下のとおりです。

【Network】 – 【Network Setup】

ネットワーク設定支援ツールを実行します。

メニュー項目	細目と設定値	工場出荷時の初期設定値	内容
[Setup for Mobile App]	–	–	ネットワーク設定支援ツールを起動する。
[LAN Type Select]	[Wireless LAN AP 2.4G] / [Wireless LAN AP 5G] / [Wireless LAN ST] / [Wired LAN] / [Off]	[Off]	LANの接続方法を設定する。
[Show Authentication]	–	–	アクセス認証のユーザー名とパスワードをテキストとQRコードで表示する。
[Edit Authentication]	[User Name]	–	アクセス認証のためのユーザー名を設定する。
	[Input Password]	–	アクセス認証のためのパスワードを設定する。 ご注意 ● セキュリティの観点から、パスワードには他人に推測されにくく十分な長さのある文字列を設定し、厳重に保管することを推奨します。
	[Generate Password] – [Execute] / [Cancel]	–	アクセス認証のためのパスワードを自動生成する。 [Execute] : 実行する。

【Network】 – 【Wireless LAN】

無線LANに関する設定を行います。

メニュー項目	細目と設定値	工場出荷時の初期設定値	内容
[Setting]	[Access Point (2.4GHz)] / [Access Point (5GHz)] / [Station Mode] / [Off]	[Off]	無線LAN接続の動作モードを選択する。 ご注意 ● 本機は、無線LANと有線LANを同時に使用できません。

メニュー項目	細目と設定値	工場出荷時の初期設定値	内容
[Channel]	—	—	無線LANのチャンネルを表示する。 (アクセスポイントモードのみ)
[Camera SSID & Password]	—	—	本機のSSIDとパスワードを表示する。 (アクセスポイントモードのみ)
[Regenerate Password]	—	—	アクセスポイントモードのパスワードを再生成する。 (アクセスポイントモードのみ)
[Camera Remote Control]	—	—	ステーションモードで本機と無線LAN接続されているモバイル機器からのリモートコントロールを許可するかどうかの設定が表示される。 (ステーションモードのみ)
[Connected Network]	—	—	接続中の無線LANネットワークのアクセスポイントを表示する。 (ステーションモードのみ)
[Scan Networks]	—	—	無線LANネットワークのアクセスポイントを検出し、リスト表示する。 (ステーションモードのみ)
[WPS]	[Execute] / [Cancel]	—	WPS (Wi-Fi Protected Setup) による接続設定を開始する。 [Execute] : 実行する。 (ステーションモードのみ)

メニュー項目	細目と設定値	工場出荷時の初期設定値	内容
[Manual Register]	-	-	接続する無線LANネットワークのアクセスポイントを設定する。 (ステーションモードのみ)
	[SSID]	-	接続先アクセスポイントのSSIDを設定する。
	[Security]	-	接続先アクセスポイントのセキュリティ種別を設定する。
	[Password]	-	接続先アクセスポイントのパスワードを設定する。 ヒント ● セキュリティが [WPA/WPA2] の場合は「*****」、セキュリティが [None] の場合は空欄となります。
	[DHCP]	-	DHCPのオン/オフを設定する。
	[IP Address]	-	[DHCP] を [Off] に設定している場合に、本機のIPアドレスを設定する。
	[Subnet Mask]	-	[DHCP] を [Off] に設定している場合に、本機のサブネットマスクを設定する。
	[Gateway]	-	[DHCP] を [Off] に設定している場合に、本機のデフォルトゲートウェイを設定する。
	[DNS Auto]	-	[DHCP] を [On] に設定している場合に、DNS自動取得のオン/オフを設定する。
	[Primary DNS Server]	-	[DNS Auto] を [Off] に設定している場合に、本機のプライマリー DNSサーバーを設定する。
[Secondary DNS Server]	-	[DNS Auto] を [Off] に設定している場合に、本機のセカンダリー DNSサーバーを設定する。	
[IP Address]	-	-	本機のIPアドレスを表示する。
[Subnet Mask]	-	-	本機のサブネットマスクを表示する。
[MAC Address]	-	-	本機の無線LANインターフェースのMACアドレスを表示する。

【Network】 – 【Wired LAN】

有線LANに関する設定を行います。

メニュー項目	細目と設定値	工場出荷時の初期設定値	内容
[Setting]	[On] / [Off]	[Off]	有線LANをオン/オフする。 ご注意 ● 本機は、無線LANと有線LANを同時に使用できません。

メニュー項目	細目と設定値	工場出荷時の初期設定値	内容
[Camera Remote Control]	[Enable] / [Disable]	[Disable]	本機と有線LANで接続されているデバイスからのリモートコントロールを許可するかどうかを設定する。
[Detail Settings]	–	–	有線LANの詳細設定を行う。
	[DHCP]	–	DHCPのオン/オフを設定する。
	[IP Address]	–	[DHCP] を [Off] に設定している場合に、本機のIPアドレスを設定する。
	[Subnet Mask]	–	[DHCP] を [Off] に設定している場合に、本機のサブネットマスクを設定する。
	[Gateway]	–	[DHCP] を [Off] に設定している場合に、本機のデフォルトゲートウェイを設定する。
	[DNS Auto]	–	[DHCP] を [On] に設定している場合に、DNS自動取得のオン/オフを設定する。
	[Primary DNS Server]	–	[DNS Auto] を [Off] に設定している場合に、本機のプライマリDNSサーバーを設定する。
[Secondary DNS Server]	–	[DNS Auto] を [Off] に設定している場合に、本機のセカンダリDNSサーバーを設定する。	
[IP Address]	–	–	本機のIPアドレスを表示する。
[Subnet Mask]	–	–	本機のサブネットマスクを表示する。
[MAC Address]	–	–	本機のMACアドレスを表示する。

【Network】 – 【USB Tethering】

USBテザリングの使用に関する設定を行います。

メニュー項目	細目と設定値	工場出荷時の初期設定値	内容
[Setting]	[On] / [Off]	[Off]	本機のUSBテザリング機能を有効/無効にする。
[Camera Remote Control]	[Enable] / [Disable]	[Disable]	モバイル機器のアプリケーション「Monitor&Control」や「Creators' App for enterprise」など、USBテザリング経由でのリモートコントロールの有効/無効を設定する。
[IP Address]	–	–	本機のIPアドレスを表示する。
[Subnet Mask]	–	–	本機のサブネットマスクを表示する。

【Network】 – 【Bluetooth】

Bluetoothの使用に関する設定を行います。

メニュー項目	細目と設定値	工場出荷時の初期設定値	内容
[Setting]	[On] / [Off]	[Off]	Bluetooth機能をオン/オフする。
[Pairing]	[Execute] / [Cancel]	–	本機とBluetooth機器をペアリングする。 [Execute] : 実行する。

メニュー項目	細目と設定値	工場出荷時の初期設定値	内容
[Manage Paired Device]	-	-	ペアリングしたBluetooth機器を表示/削除する。
[Device Address]	-	-	本機のBluetoothアドレスを表示する。

【Network】 – 【File Transfer】

ファイルの転送に関する設定を行います。

メニュー項目	細目と設定値	工場出荷時の初期設定値	内容
[Auto Upload]	[On] / [Off]	[Off]	<p>オリジナルクリップの自動転送をオン/オフする。</p> <p>ご注意</p> <ul style="list-style-type: none"> ● [Project] – [Simul Rec] – [Setting] を [On] に設定している場合は、カードスロットBのメモリーカードに記録されるクリップは、自動転送の対象にはなりません。
[Auto Upload (Proxy)]	[On] / [Off] / [Chunk]	[Off]	<p>[On] : プロキシクリップの自動転送を有効にする。 [Off] : プロキシクリップの自動転送を無効にする。 [Chunk] : プロキシクリップを分割記録して記録終了まで待たずに自動で転送する。</p> <p>ご注意</p> <ul style="list-style-type: none"> ● [Project] – [Simul Rec] – [Setting] を [On] に設定している場合は、カードスロットBのメモリーカードに記録されるクリップは、自動転送の対象にはなりません。また、[Chunk] はグレーアウトされ選択できません。
[Default Upload Server]	-	-	<p>ファイルの転送先サーバーを選択する。ここで選択したサーバーは、オリジナルクリップやプロキシクリップの自動転送先、およびサムネイル画面からのクリップ転送先のサーバーになる。</p> <p>[Server Settings1] ~ [Server Settings3] で設定した [Display Name] の設定を表示する。</p>
[Clear Completed Jobs]	[Execute] / [Cancel]	-	<p>転送完了済みのジョブをジョブリストから消去する。 [Execute] : 実行する。</p>
[Clear All Jobs]	[Execute] / [Cancel]	-	<p>すべての転送ジョブをジョブリストから消去する。 [Execute] : 実行する。</p>
[View Job List]	-	-	<p>転送ジョブの一覧を表示する。</p>

メニュー項目	細目と設定値	工場出荷時の初期設定値	内容
[Server Settings1]	[Display Name]	–	転送先設定の表示名を設定する。
	[Service] – [FTP]	[FTP]	サーバーの種類を表示する。
	[Host Name]	–	転送先サーバーのホスト名を設定する。
	[Port] (1 ~ 65535)	21	転送先サーバーのポート番号を設定する。
	[User Name]	–	転送先サーバー接続の認証用ユーザー名を設定する。
	[Password]	–	転送先サーバー接続の認証パスワードを設定する。
	[Passive Mode] – [On] / [Off (Active Mode)]	[Off (Active Mode)]	パッシブモードをオン/オフする。
	[Destination Directory]	–	転送先のディレクトリー名を設定する。
	[Using Secure Protocol] – [On] / [Off]	[Off]	セキュアなFTP転送 (FTPES) を行う [On] または行わない [Off] を設定する。
	[Root Certificate] – [Load] / [Clear] / [None]	[None]	セキュアなFTP転送のためのルート証明書の読み込み、削除を設定する。
	[Root Certificate Status] – [Loaded] / [No Certificate]	[No Certificate]	セキュアなFTP転送のためのルート証明書の読み込み状態を表示する。
[Reset] – [Execute] / [Cancel]	–	[Server Settings1] の設定を初期値に戻す。 [Execute] : 実行する。	
[Server Settings2]	[Server Settings1] と同じ	–	–
[Server Settings3]	[Server Settings1] と同じ	–	–

【Network】 – 【Stream】

ストリーミングに関する設定を行います。

メニュー項目	細目と設定値	工場出荷時の初期設定値	内容
[Setting]	[On] / [Off]	[Off]	ストリーミングをオン/オフする。
[Destination Select]	–	–	ストリーミングの接続先を選択する。 [RTMP/RTMPS 1] ~ [RTMP/RTMPS 3]、 [SRT-Caller 1] ~ [SRT-Caller 3] で設定した [Display Name] を表示する。

メニュー項目	細目と設定値	工場出荷時の初期設定値	内容
[RTMP/RTMPS 1]	—	—	RTMP/RTMPSストリーミングの接続設定をする。
	[Display Name]	—	[Destination Select] の表示名を入力する。
	[Codec]	[H.264/AVC]	ストリーミングする映像のコーデックを表示する。
	[Resolution] — [3840×2160P] / [1920×1080P] / [1280×720P]	[1920×1080P]	ストリーミングする映像の解像度を設定する。
	[Bit Rate]	[9Mbps]	ストリーミングする映像のビットレートを設定する。
	[Destination URL]	—	接続するサーバーのURLを設定する。
	[Stream Key]	—	ストリーミングで使用するストリームキーを設定する。
	[RTMPS Certificate] — [Load] / [Clear] / [None]	[None]	既定証明書の読み込みや消去を行う。
	[RTMPS Certificate Status] — [Loaded] / [Default]	[Default]	RTMPS接続用の証明書の読み込み状態を表示する。
	[Reset] — [Execute] / [Cancel]	—	設定を初期値に戻す。 [Execute] : 実行する。
[RTMP/RTMPS 2]	[RTMP/RTMPS 1] と同じ	—	—
[RTMP/RTMPS 3]	[RTMP/RTMPS 1] と同じ	—	—
[RTMPS Default Certificates]	[Replace] — [Execute] / [Cancel]	—	既定証明書をカードスロットBのメモリーカードから読み込む。 [Execute] : 実行する。
	[Reset] — [Execute] / [Cancel]	—	既定証明書群の設定を初期化する。 [Execute] : 実行する。
	[Status]	[Preinstall]	既定証明書群の状態を表示する。

メニュー項目	細目と設定値	工場出荷時の初期設定値	内容
[SRT-Caller 1]	–	–	SRTストリーミングの接続設定をする。
	[Display Name]	–	[Destination Select] の表示名を入力する。
	[Codec]	[H.264/AVC]	ストリーミングする映像のコーデックを表示する。
	[Resolution] – [1920×1080P] / [1280×720P]	[1920×1080P]	ストリーミングする映像の解像度を設定する。
	[Bit Rate]	[9Mbps]	ストリーミングのビットレートを設定する。
	[Destination URL]	–	接続するサーバーのURLを設定する。
	[Port] (1 ~ 65535)	7001	ストリーミングの送信先のポートを設定する。
	[Latency] (20ms ~ 8000ms)	[120 ms]	ストリーミングの配信遅延時間を設定する。
	[TTL] (1 ~ 255)	[64 times]	ストリーミングのTTL値を設定する。
	[Encryption] – [None] / [AES-128] / [AES-256]	[None]	ストリーミングの暗号化方式を設定する。
	[Passphrase]	–	ストリーミングの暗号化に使用するパスワードを設定する。
	[ARC] – [On] / [Off]	[On]	ストリーミング時のARCを有効にするか無効にするか設定する。
[Reset] – [Execute] / [Cancel]	–	設定を初期値に戻す。 [Execute] : 実行する。	
[SRT-Caller 2]	[SRT-Caller 1] と同じ	–	–
[SRT-Caller 3]	[SRT-Caller 1] と同じ	–	–

【Network】 – 【Network Reset】

ネットワークの設定をリセットします。

メニュー項目	細目と設定値	内容
[Reset]	[Execute] / [Cancel]	ネットワークの設定をリセットする。 [Execute] : 実行する。

TP1001670069

ソリッドステートメモリーカムコーダー
PXW-Z200/HXR-NX800

【Maintenance】メニュー

各メニュー項目の機能および設定値は以下のとおりです。

【Maintenance】 – 【Language】

表示する言語を設定します。

メニュー項目	内容
[Select]	表示する言語を設定する。 [Set] : 確定する。

【Maintenance】 – [🗨️ Accessibility]

音声読み上げ機能、画面拡大機能に関する設定を行います。

メニュー項目	細目と設定値	工場出荷時の初期設定値	内容
[Screen Reader]	–	–	音声読み上げの設定を行う。
	[Setting] – [On] / [Off]	[Off]	音声読み上げをオン/オフする。
	[Speed] – [Fast 4] / [Fast 3] / [Fast 2] / [Fast 1] / [Standard] / [Slow 1] / [Slow 2]	[Standard]	音声読み上げの速度を設定する。
	[Volume] – 1 ~ 15	7	音声読み上げの音量を設定する。
	[Read Out when Power On] – [Enable] / [Disable]	[Enable]	MENUボタンを押しながら本機の電源をオンにしたときに、音声読み上げをオンにするかを設定する。
[Enlarge Screen]	–	–	画面拡大表示の設定を行う。
	[Setting] – [Enable] / [Disable]	[Disable]	拡大表示をオン/オフする。
	[Magnification] – x1.5 / x2.0 / x2.5 / x3.0	–	拡大表示の拡大倍率を設定する。
	[Enlarge Screen Button] – [Assignable Button <1>] ~ [Assignable Button <11>] / [<PUSH AUTO>]	[Assignable Button <11>]	拡大表示に使うボタンを設定する。

【Maintenance】 – 【Clock Set】

内蔵時計に関する設定を行います。

メニュー項目	細目と設定値	工場出荷時の初期設定値	内容
[Time Zone]	[UTC -12:00] ~ [UTC +14:00]	–	UTCからの時差を30分単位で設定する。

メニュー項目	細目と設定値	工場出荷時の初期設定値	内容
[Date Mode]	[YYMMDD] / [MMDDYY] / [DDMMYY]	[YYMMDD]	年月日の表示方式を選択する。 [YYMMDD] : 年月日の順 [MMDDYY] : 月日年の順 [DDMMYY] : 日月年の順
[12h/24h]	[12h] / [24h]	[24h]	時刻の表示形式を選択する。 [12h] : 12時間表示 [24h] : 24時間表示
[Date]	–	–	現在の日付を設定する。 [Set] : 確定する。
[Time]	–	–	現在の時刻を設定する。 [Set] : 確定する。

【Maintenance】 – 【All Reset】

工場出荷時の状態にリセットします。

メニュー項目	細目と設定値	内容
[Reset]	[Execute] / [Cancel]	工場出荷時の状態にリセットする。 [Execute] : 実行する。 ご注意 <ul style="list-style-type: none"> [Paint/Look] – [Base Look] – [Import from Media(B)] / [Import from Cloud(Private)] / [Import from Cloud(Share)] でインポートした3D LUTファイルは削除されません。インポートした3D LUTファイルをすべて削除する場合は、[Paint/Look] – [Base Look] – [Delete All] を実行してください。
[Reset without Network]	[Execute] / [Cancel]	[Network] メニュー以下の設定を除いたメニュー設定値を工場出荷状態にリセットする。
[Reset to Factory Defaults]	[Execute] / [Cancel]	すべての設定やシーンファイル、ユーザーの基本ルックの値を削除し、工場出荷状態に戻す。

【Maintenance】 – 【Hours Meter】

積算時間を表示します。

メニュー項目	細目と設定値	工場出荷時の初期設定値	内容
[Hours(System)]	–	–	積算使用時間（リセット不可）を表示する。
[Hours(Reset)]	–	–	積算使用時間（リセット可）を表示する。
[Reset]	[Execute] / [Cancel]	–	[Hours(Reset)] を0にリセットする。 [Execute] : 実行する。

【Maintenance】 – 【Device Information】

認証マークを表示します。

メニュー項目	内容
[Certification Logo]	認証マークを表示する。

【Maintenance】 – 【Version】

バージョンを表示します。

メニュー項目	細目と設定値	工場出荷時の初期設定値	内容
[Version Number]	Vx.xx	–	本機のソフトウェアバージョンを表示する。
[Version Up]	[Execute] / [Cancel]	–	本機のソフトウェアをバージョンアップする。

TP1001670070

ソリッドステートメモリーカムコーダー
PXW-Z200/HXR-NX800

【ISO/Gain】メニューの設定値と初期設定値

【Mode】 / 【Target Display】 / 【Base Look】 - 【Select】 の設定によって、【ISO/Gain】メニューの設定範囲と初期設定値が異なります。

【Mode】を【ISO】に設定している場合

カスタム撮影

✓：設定可能

×：設定不可

【Target Display】	【SDR(BT.709)】	【HDR(HLG)】	【SDR(BT.709)】 および 【HDR(HLG)】
【Base Look】 - 【Select】	Preset Base Look	Preset Base Look	User Base Look
ISO 250	✓ (【ISO/Gain<L>】初期設定値)	×	×
ISO 320	✓	×	×
ISO 400	✓	×	×
ISO 500	✓ (【ISO/Gain<M>】初期設定値)	×	×
ISO 640	✓	×	×
ISO 800	✓	×	×
ISO 1000	✓ (【ISO/Gain<H>】初期設定値)	×	×
ISO 1250	✓	×	×
ISO 1600	✓	✓ (【ISO/Gain<L>】初期設定値)	✓ (【ISO/Gain<L>】初期設定値)
ISO 2000	✓	✓	✓
ISO 2500	✓	✓	✓
ISO 3200	✓	✓ (【ISO/Gain<M>】初期設定値)	✓ (【ISO/Gain<M>】初期設定値)
ISO 4000	✓	✓	✓
ISO 5000	✓	✓	✓
ISO 6400	✓	✓ (【ISO/Gain<H>】初期設定値)	✓ (【ISO/Gain<H>】初期設定値)
ISO 8000	✓	✓	✓
ISO 10000	✓	✓	✓
ISO 12800	✓	✓	✓

[Target Display]	[SDR(BT.709)]	[HDR(HLG)]	[SDR(BT.709)] および [HDR(HLG)]
[Base Look] – [Select]	Preset Base Look	Preset Base Look	User Base Look
ISO 16000	✓	×	×

ログ撮影

✓：設定可能

×：設定不可

設定範囲	
ISO 1600	✓（[ISO/Gain<L>] 初期設定値）
ISO 2000	✓
ISO 2500	✓
ISO 3200	✓（[ISO/Gain<M>] 初期設定値）
ISO 4000	✓
ISO 5000	✓
ISO 6400	✓（[ISO/Gain<H>] 初期設定値）
ISO 8000	✓
ISO 10000	✓
ISO 12800	✓

[Mode] を [dB] に設定している場合

✓：設定可能

×：設定不可

[Target Display]	[SDR(BT.709)]	[HDR(HLG)]	[SDR(BT.709)] および [HDR(HLG)]
[Base Look] – [Select]	Preset Base Look	Preset Base Look	User Base Look
-3dB	✓	✓	✓
-2dB	✓	✓	✓
-1dB	✓	✓	✓
0dB	✓（[ISO/Gain<L>] 初期設定値）	✓（[ISO/Gain<L>] 初期設定値）	✓（[ISO/Gain<L>] 初期設定値）
1dB	✓	✓	✓
2dB	✓	✓	✓
3dB	✓	✓	✓
4dB	✓	✓	✓
5dB	✓	✓	✓

[Target Display]	[SDR(BT.709)]	[HDR(HLG)]	[SDR(BT.709)] および [HDR(HLG)]
[Base Look] – [Select]	Preset Base Look	Preset Base Look	User Base Look
6dB	✓ ([ISO/Gain<M>] 初期設定値)	✓ ([ISO/Gain<M>] 初期設定値)	✓ ([ISO/Gain<M>] 初期設定値)
7dB	✓	✓	✓
8dB	✓	✓	✓
9dB	✓	✓	✓
10dB	✓	✓	✓
11dB	✓	✓	✓
12dB	✓ ([ISO/Gain<H>] 初期設定値)	✓ ([ISO/Gain<H>] 初期設定値)	✓ ([ISO/Gain<H>] 初期設定値)
13dB	✓	✓	✓
14dB	✓	✓	✓
15dB	✓	✓	✓
16dB	✓	✓	✓
17dB	✓	✓	✓
18dB	✓	✓	✓
19dB	✓	×	×
20dB	✓	×	×
21dB	✓	×	×
22dB	✓	×	×
23dB	✓	×	×
24dB	✓	×	×
25dB	✓	×	×
26dB	✓	×	×
27dB	✓	×	×
28dB	✓	×	×
29dB	✓	×	×
30dB	✓	×	×
31dB	✓	×	×
32dB	✓	×	×
33dB	✓	×	×
34dB	✓	×	×
35dB	✓	×	×

[Target Display]	[SDR(BT.709)]	[HDR(HLG)]	[SDR(BT.709)] および [HDR(HLG)]
[Base Look] – [Select]	Preset Base Look	Preset Base Look	User Base Look
36dB	✓	×	×

ご注意

- スロー&クイックモーションのHFR（ハイフレームレート）撮影時やシステム周波数が119.88P/100P時の最低値は0dBとなります。

TP1001670071

5-060-574-01(2) Copyright 2024 Sony Corporation

ソリッドステートメモリーカムコーダー
PXW-Z200/HXR-NX800

【AGC Limit】 の設定値と初期設定値

【Mode】 / 【Target Display】 / 【Base Look】 – 【Select】 の設定によって、【AGC Limit】メニューの設定範囲と初期設定値が異なります。

【Mode】 を 【ISO】 に設定している場合

カスタム撮影

✓：設定可能

×：設定不可

【Target Display】	【SDR(BT.709)】	【HDR(HLG)】	【SDR(BT.709)】 および 【HDR(HLG)】
【Base Look】 – 【Select】	Preset Base Look	Preset Base Look	User Base Look
ISO 320	✓	×	×
ISO 400	✓	×	×
ISO 500	✓	×	×
ISO 640	✓	×	×
ISO 800	✓	×	×
ISO 1000	✓	×	×
ISO 1250	✓	×	×
ISO 1600	✓	×	×
ISO 2000	✓	✓	✓
ISO 2500	✓	✓	✓
ISO 3200	✓	✓	✓
ISO 4000	✓	✓	✓
ISO 5000	✓	✓	✓
ISO 6400	✓	✓ (初期設定値)	✓ (初期設定値)
ISO 8000	✓ (初期設定値)	✓	✓
ISO 12800	✓	✓	✓
ISO 16000	✓	×	×

ログ撮影

✓：設定可能

×：設定不可

設定範囲	
ISO 2000	✓
ISO 2500	✓

設定範囲	
ISO 3200	✓
ISO 4000	✓
ISO 5000	✓
ISO 6400	✓ (初期設定値)
ISO 8000	✓
ISO 10000	✓
ISO 12800	✓

【Mode】を【dB】に設定している場合

✓ : 設定可能

× : 設定不可

【Target Display】	【SDR(BT.709)】	【HDR(HLG)】	【SDR(BT.709)】 および 【HDR(HLG)】
【Base Look】 – 【Select】	Preset Base Look	Preset Base Look	User Base Look
3dB	✓	✓	✓
6dB	✓	✓	✓
9dB	✓	✓	✓
12dB	✓	✓	✓
15dB	✓	✓	✓
18dB	✓	✓ (初期設定値)	✓ (初期設定値)
21dB	✓	×	×
24dB	✓	×	×
27dB	✓	×	×
30dB	✓ (初期設定値)	×	×
33dB	✓	×	×
36dB	✓	×	×

TP1001670072

ソリッドステートメモリーカムコーダー
PXW-Z200/HXR-NX800

【Video Format】 / 【Quality】 / 【Bit Rate】 の設定値

【Frequency】 / 【Codec】 の設定によって、【Video Format】 / 【Quality】 / 【Bit Rate】 メニューの設定範囲が異なります。

【Frequency】	【Codec】	【Video Format】	【Quality】		
			【High】	【Mid】	【Low】
119.88	XAVC HS-L 422	3840×2160P	280	280	280
	XAVC HS-L 420	3840×2160P	200	200	200
	XAVC S-L 422	3840×2160P	280	280	280
	XAVC S-L 420	3840×2160P	200	200	200
		1920×1080P	100	60	60
100	XAVC HS-L 422	3840×2160P	280	280	280
	XAVC HS-L 420	3840×2160P	200	200	200
	XAVC S-L 422	3840×2160P	280	280	280
	XAVC S-L 420	3840×2160P	200	200	200
		1920×1080P	100	60	60
59.94	XAVC HS-L 422	3840×2160P	200	100	100
	XAVC HS-L 420	3840×2160P	150	75	45
	XAVC S-L 422	3840×2160P	200	200	200
		1920×1080P	50	50	50
	XAVC S-L 420	3840×2160P	150	150	150
		1920×1080P	50	25	25
	XAVC S-I	3840×2160P	600	600	600
1920×1080P		222	222	222	
50	XAVC HS-L 422	3840×2160P	200	100	100
	XAVC HS-L 420	3840×2160P	150	75	45
	XAVC S-L 422	3840×2160P	200	200	200
		1920×1080P	50	50	50
	XAVC S-L 420	3840×2160P	150	150	150
		1920×1080P	50	25	25
	XAVC S-I	3840×2160P	500	500	500
1920×1080P		185	185	185	

[Frequency]	[Codec]	[Video Format]	[Quality]		
			[High]	[Mid]	[Low]
29.97	XAVC S-L 422	3840×2160P	140	140	140
		1920×1080P	50	50	50
	XAVC S-L 420	3840×2160P	100	60	60
		1920×1080P	50	16	16
	XAVC S-I	3840×2160P	300	300	300
		1920×1080P	111	111	111
25	XAVC S-L 422	3840×2160P	140	140	140
		1920×1080P	50	50	50
	XAVC S-L 420	3840×2160P	100	60	60
		1920×1080P	50	16	16
	XAVC S-I	3840×2160P	250	250	250
		1920×1080P	93	93	93
23.98	XAVC HS-L 422	3840×2160P	100	50	50
	XAVC HS-L 420	3840×2160P	100	50	30
	XAVC S-L 422	3840×2160P	100	100	100
		1920×1080P	50	50	50
	XAVC S-L 420	3840×2160P	100	60	60
		1920×1080P	50	50	50
	XAVC S-I	3840×2160P	240	240	240
		1920×1080P	89	89	89

TP1001670073

ソリッドステートメモリーカムコーダー
PXW-Z200/HXR-NX800

撮影モードごとの画質に関する設定状態の保存について

画質に関する設定項目は、以下の撮影モードごとに現在の設定状態が保持されます。撮影モードを切り替えると、切り替え後の撮影モードが保持する設定状態が適用されます。

- [Custom] – [SDR(BT.709)]
- [Custom] – [HDR(HLG)]
- [Flexible ISO]

画質に関する各設定状態は撮影モードごとに以下のように保存されます。

✓：保存されます

x：保存されません

設定項目		撮影モード			
		[Custom]		[Flexible ISO]	
		[SDR(BT.709)]	[HDR(HLG)]		
[Shooting] メニュー	[ISO/Gain]	✓ ¹⁾		✓	
	[White]	[Preset White]	✓		
		上記以外	✓		
	[White Setting]	✓			
	[Offset White]	✓		x	
	[LUT On/Off]	x		✓	
	[Noise Suppression]	[Setting(Custom)] / [Level(Custom)]	✓	✓	x
[Setting(Flexible ISO)] / [Level(Flexible ISO)]		x		✓	
[Paint] メニュー	[Base Look]	[Select]	✓	✓	
		[Input] ²⁾	✓		
		[Output] ²⁾	✓		
		[AE Level Offset] ²⁾	✓		
	[Black]	✓	✓	x	
	[Knee]	[Auto Knee]	✓	x	x
		上記以外	✓	✓	x
	[Detail]	✓	✓	x	
[Matrix]	✓	✓	x		
[Multi Matrix]	✓	✓	x		

1) ISO感度については、[Custom] – [SDR(BT.709)] / [HDR(HLG)] で設定値が個別に保存される場合があります。

2) 設定値は [Base Look] ごとに保持されており、各撮影モードには依存しません。

TP1001670074

5-060-574-01(2) Copyright 2024 Sony Corporation

ソリッドステートメモリーカムコーダー
PXW-Z200/HXR-NX800

設定内容をファイルに保存する

フルメニューの設定内容を、本機のカードスロットBに挿入したメモリーカードに保存することができます。また、Allファイルをクラウドサービスに保存することができます。このデータを使って適切なセットアップ状態をすばやく再現できます。設定データは、次のように分類されて保存されます。

ユーザーファイル

カスタマイズした [User] メニューの設定項目と設定データを保存します。

メモリーカードに64個まで保存することができます。

このファイルの本機のメモリーに読み込むことにより、[User] メニューをカスタマイズした状態にセットアップすることができます。

Allファイル

全メニューの設定データを保存します。メモリーカードに64個まで保存することができます。「C3 Portal」(クラウドサービス)には、個人60個までと共通60個までの計120個まで保存することができます。

ご注意

- Allファイルに保存される内容について、詳細は下記をご覧ください。
[ファイルに保存される項目](#)

メモリーカードに保存する

ユーザーファイル/Allファイルをメモリーカードに保存します。

- メモリーカードをカードスロットBに差し込む。
- ユーザーファイルの場合は、フルメニューの [Project] - [User File] - [Save to Media(B)] で [Execute] を選択する。Allファイルの場合は、フルメニューの [Project] - [All File] - [Save to Media(B)] で [Execute] を選択する。
ファイルの保存先画面が表示されます。
- 保存先画面の [No File] の行を選択する。
[File ID] が記載されている行を選択すると、そのファイルに上書きされます。
保存する際に付けられる [File ID] はメニューで変更できます。

- 確認画面の [Execute] を選択する。

Allファイルをクラウドサービスに保存する

Allファイルをクラウドサービスに保存します。

- 本機とスマートフォンアプリ「Creators' App for enterprise」を接続する。
詳細は下記をご覧ください。
[「C3 Portal」へファイルを転送する](#)
- フルメニューの [Project] - [All File] - [Save to Cloud(Private)] / [Save to Cloud(Share)] で [Execute] を選択する。
ファイルの保存先画面が表示されます。
- 保存先画面の [No File] の行を選択する。
[File ID] が記載されている行を選択すると、そのファイルに上書きされます。
保存する際に付けられる [File ID] はメニューで変更できます。
- 確認画面の [Execute] を選択する。

メモリーカードから読み込む

ユーザーファイル/Allファイルをメモリーカードから読み込みます。

1. ファイルを保存したメモリーカードをカードスロットBに差し込む。
2. ユーザーファイルの場合は、フルメニューの [Project] - [User File] - [Load from Media(B)] で [Execute] を選択する。Allファイルの場合は、フルメニューの [Project] - [All File] - [Load from Media(B)] で [Execute] を選択する。
ファイルの一覧画面が表示されます。

3. 読み込むファイルを選択する。
確認画面が表示されます。

4. [Execute] を選択する。

ご注意

- 設定データを読み込むと、本機は自動的に再起動されます。
- フルメニューの [Project] - [All File] - [Load Network Data] を [Off] に設定している場合は、[Network] メニューの設定項目を除いたAllファイルを読み込みます。

Allファイルをクラウドサービスから読み込む

Allファイルをクラウドサービスから読み込みます。

1. 本機とスマートフォンアプリ「Creators' App for enterprise」を接続する。
詳細は下記をご覧ください。
[「C3 Portal」へファイルを転送する](#)
2. フルメニューの [Project] - [All File] - [Load from Cloud(Private)] / [Load from Cloud(Share)] で [Execute] を選択する。
ファイルの一覧画面が表示されます。
3. 読み込むファイルを選択する。
確認画面が表示されます。
4. 確認画面の [Execute] を選択する。

ご注意

- 設定データを読み込むと、本機は自動的に再起動されます。
- フルメニューの [Project] - [All File] - [Load Network Data] を [Off] に設定している場合は、[Network] メニューの設定項目を除いたAllファイルを読み込みます。

ファイルIDを変更するには

ユーザーファイル/AllファイルのファイルIDを変更します。

1. ユーザーファイルの場合は、フルメニューの [Project] - [User File] - [File ID] を選択する。Allファイルの場合は、フルメニューの [Project] - [All File] - [File ID] を選択する。
ファイルIDの編集画面が表示されます。
2. マルチセレクターまたはマルチファンクションダイヤルで文字を選択し、マルチセレクターまたはマルチファンクションダイヤルを押す。
3. 手順2を繰り返す。
4. 文字の入力が終了したら、[Done] を選択する。

TP1001670284

ソリッドステートメモリーカムコーダー
PXW-Z200/HXR-NX800

外部モニター/レコーダーを接続するための準備をする

撮影/再生映像を外部モニターに表示させることができます。また、外部レコーダーを接続して、本機の出力信号を記録することもできます。

撮影/再生映像を外部モニターに表示させるときは、本機の出力信号を選択し、接続するモニターに応じた接続ケーブルを使用してください。

外部モニターにLCDモニター/ビューファインダーと同様の各種ステータス情報やメニューなどを表示させることができます。モニターと接続する端子に応じて、[Monitoring] ステータス - [Info. Disp.] - [On] またはフルメニューの [Monitoring] - [Output Display] を [On] に設定してください。

ご注意

- 本機に外部モニターや記録装置などを接続する際には次のことにご注意ください。これらを守らないと、本機の内部回路に大電流が流れ、電気部品が破壊することがあります。

1. DCケーブルについて

外部モニターや記録装置などに接続するDCケーブルは、GND線のインピーダンスが低いものを使用してください。

2. 電位差の確認について

事前にすべての接続機器と本機に電位差がないことを確認してください。

(1) 外部モニターや記録装置などすべての接続機器と本機の接続がない状態にする。

75Ω同軸ケーブルやHDMIケーブルなどは接続しない状態で確認してください。

(2) すべての接続機器と本機のDCケーブルを接続し、各接続機器および本機の電源をオンにする。

(3) 本機と各接続機器との間に電位差がないことをテスターなどで確認する。

もし電位差があった場合はいずれかのDCケーブルのGND線のインピーダンスが高いことが考えられます。GND線のインピーダンスが低いケーブルに交換するなどして電位差がなくなるようにしてください。

3. 接続と電源オンの順番について

各ケーブル接続と電源オンは次の順番で行ってください。

(1) 本機と外部モニターや記録装置などの電源をすべてオフにする。

(2) 初めにすべての機器のDCケーブルを接続する。

(3) 75Ω同軸ケーブル、HDMIケーブルなどを接続する。

(4) すべての接続機器と本機の電源をオンにする。

詳しくはソニーサービス窓口にご相談ください。

TP1001670076

ソリッドステートメモリーカムコーダー
PXW-Z200/HXR-NX800

SDI出力の外部機器と接続する（PXW-Z200のみ）

[Monitoring] ステータスで、出力のオン/オフや出力フォーマットを設定します。
接続には市販の75Ω同軸ケーブルを使用してください。

本機と同時に外部機器で記録を開始するには

SDI信号出力時は、フルメニューの [Project] - [SDI/HDMI Rec Control] - [Setting] を [SDI/HDMI Remote I/F] / [Parallel Rec] に設定すると、SDI OUT端子に接続した外部機器にRECトリガー信号を出力することによって、本機と同期した記録が可能になります。

ご注意

- 接続した外部機器がRECトリガー信号に対応していない場合は動作しません。
- [SDI/HDMI Remote I/F] に設定した場合、メモリーカードが挿入されていないときは、RECトリガー信号のみ出力されます。

TP1001670077

ソリッドステートメモリーカムコーダー
PXW-Z200/HXR-NX800

HDMI出力の外部機器と接続する

[Monitoring] ステータスで、出力のオン/オフや出力フォーマットを設定します。

本機と同時に外部機器で記録を開始するには

HDMI信号出力時は、フルメニューの [TC/Media] - [HDMI TC Out] - [Setting] を [On] に設定して、以下のように設定すると、HDMI出力端子に接続した外部機器にRECトリガー信号を出力することによって、本機と同期した記録が可能になります。

PXW-Z200の場合： [Project] - [SDI/HDMI Rec Control] - [Setting] - [SDI/HDMI Remote I/F] / [Parallel Rec]

HXR-NX800の場合： [Project] - [HDMI Rec Control] - [Setting] - [On]

ご注意

- 接続した外部機器がRECトリガー信号に対応していない場合は動作しません。
- [SDI/HDMI Remote I/F] に設定した場合、メモリーカードが挿入されていないときは、RECトリガー信号のみ出力されます。

TP1001670078

ソリッドステートメモリーカムコーダー
PXW-Z200/HXR-NX800

タイムコードを外部機器と合わせる (PXW-Z200のみ)

本機のタイムコードを外部機器に合わせることができます。

他機のタイムコードにロックさせる

1. タイムコード供給源となる外部機器をタイムコード出力が更新されるモードに設定する。
2. フルメニューの [TC/Media] - [Timecode] を次のように設定する。
[Mode] - [Preset]
[Run] - [Free Run]
3. [DURATION/TC/U-BIT] が割り当てられたアサインボタンを押して、画面にタイムコードを表示させる。
4. TC IN/OUTスイッチがINになっていることを確認し、TC IN/OUT端子に、本機のシステム周波数に同期した基準タイムコードを供給する。
本機のタイムコードジェネレーターが基準タイムコードにロックされ、画面に「EXT-LK」と表示されます。
ロックしてから約10秒経過した後は、外部からの基準タイムコードの接続を外しても、外部ロック状態は保たれます。

ご注意

- タイムコードをロックすると、本機のタイムコードは瞬時に外部機器のタイムコードにロックし、外部機器のタイムコードの値と同じ値がタイムコード表示部に出ますが、タイムコードジェネレーターが安定するまでの数秒間は、撮影を開始しないでください。
- 基準タイムコードの周波数と本機のフレーム周波数が同じでないと、正しくロックできず、本機が正常に動作できません。この場合、タイムコードも外部のタイムコードに正しくロックできません。
- 基準タイムコードに対し1時間で1フレームずれる場合があります。

タイムコードのロックを解除するには

フルメニューの [TC/Media] - [Timecode] の設定を変更してください。

システム周波数を変更した場合や、スロー&クイックモーションモードでの撮影を開始した場合も、タイムコードのロックは解除されます。

本機のタイムコードに他機のタイムコードを合わせる

タイムコード供給源となる機器は、タイムコード出力が更新されるモード（ [Free Run] や [Clock] ）に設定してください。

1. フルメニューの [TC/Media] - [Timecode] で本機のタイムコードを設定する。
2. TC IN/OUTスイッチがOUT側になっていることを確認し、TC IN/OUT端子を、同期させたい機器のタイムコード入力端子に接続する。

TP1001670079

ソリッドステートメモリーカムコーダー
PXW-Z200/HXR-NX800

モバイル機器やLANCリモコンを使う

モバイル機器のアプリケーション/LANCリモコンを使って本機をリモート操作できます。

「Monitor & Control」アプリケーション

本機とモバイル機器との接続方法や「Monitor & Control」アプリケーションの操作については、「Monitor & Control」アプリケーションのヘルプガイドをご覧ください。

LANCリモコン

LANCリモコン（RM-30BPなど）は、LANC規格に準拠したリモートコントローラーです。

LANC通信により、フォーカス/アイリス/NDフィルター/ズーム/ホワイトバランス/シャッタースピード/ゲインなどの本機の機能をリモート操作できます。

LANCリモコンを本機のREMOTE端子に接続して使用します。

1台のLANCリモコンを複数のカメラに接続してリモート操作できます。また、デジチェーン接続が可能で、1台のカメラを2台のLANCリモコンから操作することもできます。

TP1001670080

ソリッドステートメモリーカムコーダー
PXW-Z200/HXR-NX800

Bluetoothリモコンを使う

Bluetoothリモコン（別売）を使って本機をリモート操作できます。本機対応のBluetoothリモコンについては専用サポートサイトでご確認ください。

<https://www.sony.jp/support/digitalcamera/connect/>

本機をBluetoothリモコンとペアリングする

1. フルメニューの [Network] - [Bluetooth] - [Setting] を [On] に設定する。
2. フルメニューの [Network] - [Pairing] で [Execute] を選択する。

ペアリング待機画面が表示されます。

3. Bluetoothリモコンでペアリング操作を行う。

詳しい操作方法は、Bluetoothリモコンの取扱説明書をご覧ください。

ペアリングが正常に完了すると、本機にペアリング完了画面が表示されます。

4. [OK] を選択する。

Bluetoothリモコンで本機を操作できます。2回目以降は [Bluetooth] - [Setting] を [On] に設定するだけで、本機とBluetoothリモコンを接続できるようになります。

ヒント

- Bluetoothリモコンは、Bluetoothリモコンから本機を操作している間のみBluetooth接続されます。
- 正しく動作しないときは以下に従い、再度ペアリング操作を行ってください。
 - 本機が他の機器とBluetooth接続中でないことを確認する。
 - フルメニューの [Network] - [Network Reset] - [Reset] を実行する。

ご注意

- 本機を初期化するとペアリング情報も削除されます。Bluetoothリモコンを使用する場合は、もう一度ペアリングしてください。
- Bluetooth通信が不安定な場合は、本機とBluetoothリモコンの間に人体や金属などの障害物がない状態で使用してください。
- 無線LANの2.4GHz帯を使用してストリーミングなど大量の通信を行っている場合、Bluetoothリモコンの動作が不安定になることがあります。この場合は、有線LANの使用をご検討ください。

ペアリング済みのBluetoothリモコンを確認する

フルメニューの [Network] - [Bluetooth] - [Manage Paired Device] を選択すると、ペアリング済みのBluetoothリモコンが表示されます。

ペアリング済みのBluetoothリモコンを削除する

1. フルメニューの [Network] - [Bluetooth] - [Manage Paired Device] を選択する。
2. 削除するBluetoothリモコンを選択する。
3. [Execute] を選択する。

TP1001670081

ソリッドステートメモリーカムコーダー
PXW-Z200/HXR-NX800

コンピューターでクリップを管理/編集する

カードリーダー（別売）や本機のマスストレージモードを使うと、コンピューターにクリップを取り込んで、コンピューター上でクリップを管理したり、ノンリニア編集システムを使ってクリップを編集したりすることができます。

カードリーダー（別売）を使う

コンピューターにCFexpress Type AカードリーダーまたはSDカードリーダーをUSBケーブルで接続すると、カードリーダーのスロットに装着されたメモリーカードがコンピューターの拡張ドライブとして認識されます。なお、対応したコンピューターの場合、本機のマスストレージモードを使用するよりも高速に、クリップを取り込むことができます。

マスストレージモードを使う

本機とコンピューターを接続してマスストレージモードを使うと、本機のカードスロットA/Bに装着されたメモリーカードがコンピューターの拡張ドライブとして認識されます。

1. USB-C端子とコンピューターをUSBケーブルで接続する。

2. 本機の電源をオンにする。

LCDモニター/ビューファインダーにUSBの接続を有効にするかどうかを確認するメッセージが表示されます。

ご注意

- [Network] ステータス - [USB Tethering] - [Setting] を [On] に設定している場合は、マスストレージモードを使うことができません。[Setting] を [Off] に設定してください。
- メモリーカードの初期化や修復などのメッセージが表示されている間は、USB接続の確認メッセージは表示されません。初期化や修復などの実行が終了後に表示されます。またクリップの詳細情報表示中もUSB接続の確認メッセージは表示されません。処理が終了するか、サムネイル画面に戻ると表示されます。

3. マルチファンクションダイヤルを回して [Execute] を選ぶ。

4. Windowsの場合、「マイコンピュータ」にリムーバブルディスクとして追加されていることを確認する。

Macの場合、デスクトップに「NO NAME」または「Untitled」フォルダー（フォルダー名は任意に変更可）が作成されていることを確認する。

ご注意

- アクセスランプが赤く点灯しているときは、次の操作をしないでください。
 - 電源をオフにする
 - 電源コードを抜く
 - メモリーカードを抜く
 - USBケーブルを抜く
- すべてのコンピューターについて、動作を保証するものではありません。

ノンリニア編集システムを使う

ノンリニア編集システムには、本機で記録したフォーマットに対応した編集ソフトウェア（別売）が必要です。専用アプリケーションソフトウェアを使って、あらかじめコンピューターのHDDに編集したいクリップを保存しておきます。

ソリッドステートメモリーカムコーダー
PXW-Z200/HXR-NX800

SDI/HDMI出力端子の出力フォーマット (PXW-Z200のみ)

出力フォーマットの解像度は、[Project] ステータスの [Frequency/Scan] / [Video Format]、またはフルメニューの [Project] - [Rec Format] - [Frequency] / [Video Format] の設定によって制限されます。再生映像の解像度より大きな解像度が設定されている場合、映像は出力されません。

PXW-Z200のSDI/HDMI出力端子の出力フォーマットは以下のとおりです。

[Project] - [Rec Format]		[Monitoring] - [Output Format]	
[Frequency]	[Video Format]	[SDI]	[HDMI]
100/119.88Hz	3840×2160	3840×2160P	1920×1080P
		3840×2160P	1920×1080i
		(出力停止)	3840×2160P
		1920×1080P Level A (初期設定値)	1920×1080P (初期設定値)
		1920×1080P Level A	1920×1080i
		1920×1080P Level B	1920×1080P
		1920×1080P Level B	1920×1080i
		1920×1080i	1920×1080i
	1920×1080	1920×1080P Level A (初期設定値)	1920×1080P (初期設定値)
		1920×1080P Level A	1920×1080i
		1920×1080P Level B	1920×1080P
		1920×1080P Level B	1920×1080i
		1920×1080i	1920×1080i
		1920×1080i	1920×1080i

[Project] – [Rec Format]		[Monitoring] – [Output Format]	
[Frequency]	[Video Format]	[SDI]	[HDMI]
50/59.94Hz	3840×2160	3840×2160P	3840×2160P
		3840×2160P	1920×1080P
		3840×2160P	1920×1080i
		1920×1080P Level A (初期設定値)	1920×1080P (初期設定値)
		1920×1080P Level A	1920×1080i
		1920×1080P Level B	1920×1080P
		1920×1080P Level B	1920×1080i
		1920×1080i	1920×1080i
	1920×1080	1920×1080P Level A (初期設定値)	1920×1080P (初期設定値)
		1920×1080P Level A	1920×1080i
		1920×1080P Level B	1920×1080P
		1920×1080P Level B	1920×1080i
		1920×1080i	1920×1080i
		(出力停止)	720×480P ¹⁾ 3)
	720×576P ²⁾ 3)		
25/29.97Hz	3840×2160	3840×2160P	3840×2160P
		3840×2160P	1920×1080P
		1920×1080P	1920×1080P
		1920×1080PsF (初期設定値)	1920×1080i (初期設定値)
	1920×1080	1920×1080P	1920×1080P
		1920×1080PsF (初期設定値)	1920×1080i (初期設定値)
23.98Hz	3840×2160	3840×2160P	3840×2160P
		3840×2160P	1920×1080P
		1920×1080P (初期設定値)	1920×1080P (初期設定値)
		1920×1080PsF	1920×1080P
	1920×1080	1920×1080P (初期設定値)	1920×1080P (初期設定値)
		1920×1080PsF	1920×1080P

- 1) システム周波数が59.94の場合
2) システム周波数が50の場合
3) 画面表示の重畳はできません。

ソリッドステートメモリーカムコーダー
PXW-Z200/HXR-NX800

HDMI出力端子の出力フォーマット

出力フォーマットの解像度は、[Project] ステータスの [Frequency/Scan] / [Video Format]、またはフルメニューの [Project] - [Rec Format] - [Frequency] / [Video Format] の設定によって制限されます。再生映像の解像度より大きな解像度が設定されている場合、映像は出力されません。

HXR-NX800のHDMI出力端子の出力フォーマットは以下のとおりです。

[Project] - [Rec Format]		[Monitoring] - [Output Format]
[Frequency]	[Video Format]	[HDMI]
100/119.88Hz	3840×2160	3840×2160P
		1920×1080P (初期設定値)
		1920×1080i
	1920×1080	1920×1080P (初期設定値)
		1920×1080i
50/59.94Hz	3840×2160	3840×2160P
		1920×1080P (初期設定値)
		1920×1080i
	1920×1080	1920×1080P (初期設定値)
		1920×1080i
		720×480P ¹⁾ 3)
		720×576P ²⁾ 3)
25/29.97Hz	3840×2160	3840×2160P
		1920×1080P
		1920×1080i (初期設定値)
	1920×1080	1920×1080P
		1920×1080i (初期設定値)
23.98Hz	3840×2160	3840×2160P
		1920×1080P (初期設定値)
	1920×1080	1920×1080P (初期設定値)

1) システム周波数が59.94の場合

2) システム周波数が50の場合

3) 画面表示の重畳はできません。

ソリッドステートメモリーカムコーダー
PXW-Z200/HXR-NX800

トラブル時の対処

トラブルが発生したときは、以下の内容を確認して対処してください。

電源

症状	原因	対策
電源が入らない。	バッテリーパックからの電源、DC IN 電源のどちらも供給されていない。	バッテリーパックを取り付けるか、ACアダプターを使用してAC電源に接続する。
	バッテリーパックが完全に消耗している。	充電済みのバッテリーパックと交換する。
電源が途中で切れる。	バッテリーパックが消耗している。	充電済みのバッテリーパックと交換する。
バッテリーパックがすぐ消耗する。	温度が極端に低いところで使用している。	バッテリーパックの特性によるもので、故障ではありません。
	充電が不十分。	バッテリーパックをもう一度充電し直す。フル充電してもすぐに消耗する場合は、バッテリーパックの寿命です。新しいバッテリーパックに交換してください。

記録/再生

症状	原因	対策
録画START/STOPボタンを押しても記録が始まらない。	メモリーカードの容量がいっぱいになっている。	十分な空き容量のあるメモリーカードに交換する。
音声が記録できない。	AUDIO LEVELダイヤル (CH1/CH2) が最小の位置になっている。	AUDIO LEVELダイヤル (CH1/CH2) を調節する。
記録した音声がひずんでいる。	音声レベルが高すぎる。	AUDIO LEVELダイヤル (CH1/CH2) を調節する。
雑音が多い。	音声レベルが低すぎる。	AUDIO LEVELダイヤル (CH1/CH2) を調節する。 外部マイク選択時は、フルメニューの [Audio] - [Audio Input] - [INPUT1 MIC Reference] / [INPUT2 MIC Reference] の設定値も調節する。
クリップを再生できない。	クリップが編集されている。	コンピューターでフォルダーやファイル名を変更したり、クリップを加工したりすると、再生できない場合があります。故障ではありません。
	クリップが他機で記録されている。	他機で記録したクリップは、再生できなかつたり、正しいサイズで表示されなかつたりすることがあります。故障ではありません。

外部機器

症状	対策
本機がコンピューターに認識されない。	USBデザリングをオフにしてから本機とコンピューターをつなぎなおす。
	コンピューターからUSBケーブルを抜き、もう一度しっかりと差し込む。
	コンピューターからUSBケーブルを抜き、コンピューターを再起動してから正しい手順でもう一度コンピューターと本機をつなぐ。
	本機からUSBケーブルを抜き、もう一度しっかりと差し込む。
クリップがコンピューターに取り込めない。	コンピューターからUSBケーブルを抜き、本機の電源を入れてから、もう一度つなぐ。
	クリップをコンピューターに取り込むにはアプリケーションソフトウェアのダウンロードが必要です。

無線LAN使用時

ご注意

- 本機と無線LANルーターまたはモバイル機器との間の障害物や電波状況、壁の材質など、周囲の環境によって通信可能距離が短くなり、接続できなくなったりすることがあります。本機の場所を移動するなど、本機と無線ルーターまたはモバイル機器の距離を近づけて、接続/通信状態を確認してください。

症状	対策
モバイル機器から本機にアクセスできない	<ul style="list-style-type: none"> ● 無線LANルーターの接続（IPアドレスなど）を確認してください。 ● アクセスポイントのクライアント間の通信設定が無効になっている可能性があります。詳しくは、無線LANルーターの取扱説明書をご覧ください。
ログインできない	登録したユーザー名、パスワードが正しいか確認してください。

インターネット接続

症状	対策
ファイル転送が失敗する	サーバーのユーザー名/パスワードが間違っている可能性があります。正しい値を入力してください。
ファイル転送ができない	電波状態が悪い可能性があります。移動して再度試してください。

TP1001670085

ソリッドステートメモリーカムコーダー
PXW-Z200/HXR-NX800

エラー/警告表示

本機では警告/注意/動作確認などが必要な状況では、LCDモニター/ビューファインダー画面のメッセージ表示や記録/タリールンプの点滅、および警告音で対応します。

警告音は、ヘッドホン端子に接続したヘッドホンに出力します。

エラー表示

次のような表示が出た場合は、本機は動作を停止します。

エラー表示	警告音	記録/タリールンプ	原因と対策
E+エラーコード	連続音	高速点滅	<p>本体の異常の可能性があります。画面に [● Rec] と表示されていても記録は止まっています。</p> <p>電源を切り、接続している機器やケーブル類、メモリーカードに異常がないか確認してください。これらに異常がないときは、再度電源を入れ、エラーが継続する場合はソニーのサービス窓口にご連絡ください。</p> <p>(電源スイッチを\odot(スタンバイ)にしても電源が切れない場合は、バッテリーパックやACアダプターも外してください。)</p> <p>本機の状況によっては、エラー表示や警告音が出ない可能性があります。</p>

警告表示

次のような表示が出た場合は、メッセージに従って対策してください。

警告表示	警告音	記録/タリールンプ	原因と対策
[Battery Near End]	断続音	点滅	バッテリーパックの残量が少なくなっています。早い機会に充電してください。
[Battery End]	連続音	高速点滅	バッテリーパックが消耗しました。記録はできません。一旦操作を中止し、バッテリーパックを交換してください。
[Temperature High]	断続音	点滅	内部温度が上昇しました。一旦電源を切り、温度が下がるまで使用を中止してください。
[Media Temperature High]	断続音	点滅	CFexpressカードの温度が上昇しました。カードを交換するか、温度が下がるまでカードの使用を中止してください。
[Voltage Low]	断続音	点滅	DC IN電圧が低くなっています(段階1)。供給電源を確認してください。
[Insufficient Voltage]	連続音	高速点滅	DC IN電圧が低すぎます(段階2)。記録はできません。他の電源に接続し直してください。
[Media Near Full]	断続音	点滅	メモリーカードの残量が少なくなっています。早い機会に交換してください。
[Media Full]	連続音	高速点滅	メモリーカードの残量がないため、記録、コピーはできません。交換してください。

警告表示	警告音	記録/タイムラップ	原因と対策
[Clips Near Full]	断続音	点滅	メモリーカードに記録できる残りのクリップ数が少なくなっています。早い機会に交換してください。
[Clips Full]	連続音	高速点滅	メモリーカードに記録できるクリップ数の上限に達しました。これ以上記録やコピーはできません。交換してください。
[Last Clip Recording]	断続音	点滅	記録中のクリップの記録を完了すると、記録可能なクリップ数の上限に達します。新しいメモリーカードをご用意ください。
[Media(A) Life Near End] ¹⁾	断続音	点滅	メモリーカードの寿命が僅かです。早めに交換してください。
[Media(A) Life End] ¹⁾	連続音	高速点滅	メモリーカードの寿命がきました。交換してください。
[Media(A) Near Full] ¹⁾	断続音	点滅	同時記録機能使用時
[Media(A) Full] ¹⁾	連続音	高速点滅	同時記録機能使用時
[Media(A) Clips Near Full] ¹⁾	断続音	点滅	同時記録機能使用時
[Media(A) Clips Full] ¹⁾	連続音	高速点滅	同時記録機能使用時
[Media(A) Last Clip Rec] ¹⁾	断続音	点滅	同時記録機能使用時
[Transfer Jobs Near Full]	—	—	FTPファイル転送ジョブ登録可能数が少なくなっています。
[Transfer Jobs Full]	—	—	FTPファイル転送ジョブ登録可能数が上限に達しました。ジョブを追加したい場合は、不要なジョブを削除してください。 ²⁾

1) カードスロットBに入れたメモリーカードの場合は (B)

2) フルメニューの [Network] - [File Transfer] - [View Job List] からジョブを選んで削除することができます。または、Monitor & Controlのジョブリストからジョブを削除することができます。

注意/動作確認表示

画面中央部分に次のような注意/動作確認表示が現れることがあります。この場合は次表に従って対処してください。

表示内容	原因と対策
[Battery Error] [Please Change Battery]	バッテリーパックに異常が検出されました。 正常なバッテリーパックに交換してください。
[Backup Battery End] [Please Change]	バックアップ電池の残量が不足しています。 バックアップ電池を充電してください。
[Unknown Media(A)] [Please Change] ¹⁾	パーティションが切られているメモリーカードや、本機で扱えるクリップ数を超えて記録されたメモリーカードが挿入されました。 本機では使用できませんので、交換してください。

表示内容	原因と対策
[Cannot Use Media(A)] [Unsupported File System] ¹⁾	ファイルシステムの異なるカードまたはフォーマットされていないカードが挿入されました。 本機では使用できませんので、交換または本機でフォーマットしてください。
[Media Error] [Media(A) Needs to be Restored] ¹⁾	メモリーカードに異常が発生し、修復が必要な状態になりました。 メモリーカードの修復を行ってください。
[Media Error] [Media(A) Error] [Media(B) Error]	メモリーカードが故障して、記録ができなくなりました。 再生は可能ですので、コピーをとるなどして、新しいメモリーカードに交換することをお勧めします。
[Media Error] [Cannot Use Media(A)] ¹⁾	メモリーカードが故障して記録も再生もできなくなりました。 本機では扱えませんので、他のカードに交換してください。
[Media(A) Error] [Recording Halted] [Playback Halted] ¹⁾	メモリーカードに異常が発生したため、記録または再生が停止しました。 頻繁に起きる場合には、メモリーカードを交換してください。
[Media(A) Life End] ¹⁾ [Change Media(A)] ¹⁾	メモリーカードの寿命がきました。 バックアップをとり、速やかに交換してください。継続して使用すると、正常に記録/再生できない可能性があります。 詳しくは、メモリーカードの取扱説明書を参照してください。
[The specified address is invalid.]	指定したアドレスが間違っています。 正しく設定しているか確認してください。
[Cannot Use Specified Port Number]	指定したポート番号が間違っています。 正しく設定しているか確認してください。
[Fan Stopped]	本体内のファンが停止しています。 高温下での使用を避け、電源を切ってソニーのサービス担当者に連絡してください。
[Failed]	[DHCP] を [On] に設定していてアドレスが割り当てられない場合、本エラーが出る可能性があります。 DHCPサーバーの設定を確認してください。
[Addition of auto upload job failed.]	転送ジョブの数が上限に達しています。 不要なジョブをクリアしてください。また、オリジナルファイルまたはプロキシファイルの自動転送先設定が間違っている可能性があります。正しく設定しているか確認してください。
[Not found.]	指定したSSIDのネットワーク（アクセスポイント）が見つかりません。 正しく設定しているか確認してください。
[Authentication Failed]	指定したSSIDのネットワーク（アクセスポイント）の接続認証に失敗しました。 パスワードなどを正しく設定しているか確認してください。
[An IP address conflict has occurred. Please check the network settings.]	無線LANまたは有線LANと、USBテザリングのネットワークアドレスが衝突しています。 アドレスを手動で変更するか、お使いのネットワークルーターの設定を変更してください。
[The IP address of the Wireless LAN Access Point Mode has been changed due to an IP address conflict.]	無線LANアクセスポイントモードまたは有線LANと、USBテザリングのネットワークアドレスが衝突したため、無線LANアクセスポイントモードのIPアドレスを変更しました。 新たなIPアドレスを確認してください。

1) カードスロットBに入れたメモリーカードの場合は (B)

ソリッドステートメモリーカムコーダー
PXW-Z200/HXR-NX800

ファイルに保存される項目

Allファイル/Sceneファイルに保存されるフルメニューの項目は以下のとおりです。

✓ : ファイルに保存されます

× : ファイルに保存されません

— : ファイルに保存されません (一時的動作メニュー)

レベル1	レベル2	レベル3	[All File]	[Scene File]
[Shooting]	[ISO/Gain]	[Mode]	✓	×
		[ISO/Gain<H>]	✓	×
		[ISO/Gain<M>]	✓	×
		[ISO/Gain<L>]	✓	×
		[Shockless Gain]	✓	×
	[ND Filter]	[Preset1]	✓	×
		[Preset2]	✓	×
		[Preset3]	✓	×
	[Shutter]	[Mode]	✓	×
		[Shutter Speed On/Off]	✓	×
		[Shutter Speed]	✓	×
		[Shutter Angle]	✓	×
		[ECS On/Off]	✓	×
		[ECS Frequency]	✓	×
	[Auto Exposure]	[Level]	✓	×
		[Mode]	✓	×
		[Speed]	✓	×
		[AGC]	✓	×
		[AGC Limit]	✓	×
		[AGC Point]	✓	×
		[Auto Shutter]	✓	×
		[A.SHT Limit]	✓	×
		[A.SHT Point]	✓	×
		[Clip High light]	✓	×
		[Detect Window]	✓	×
		[Detect Window Indication]	✓	×
		[Custom Width]	✓	×
[Custom Height]		✓	×	
[Custom H Position]		✓	×	
[Custom V Position]	✓	×		

レベル1	レベル2	レベル3	[All File]	[Scene File]
	[White]	[Preset White]	✓	×
		[Color Temp <A>]	✓	×
		[Tint<A>]	✓	×
		[R Gain <A>]	✓	×
		[B Gain <A>]	✓	×
		[Color Temp]	✓	×
		[Tint]	✓	×
		[R Gain]	✓	×
		[B Gain]	✓	×
	[White Setting]	[Shockless White]	✓	×
		[ATW Speed]	✓	×
		[White Switch]	✓	×
		[Filter White Memory]	✓	×
	[Offset White]	[Offset White <A>]	✓	×
		[Offset Color Temp<A>]	✓	×
		[Offset Tint<A>]	✓	×
		[Offset White]	✓	×
		[Offset Color Temp]	✓	×
		[Offset Tint]	✓	×
		[Offset White<ATW>]	✓	×
		[Offset Color Temp<ATW>]	✓	×
		[Offset Tint<ATW>]	✓	×
	[Focus]	[AF Transition Speed]	✓	×
		[AF Subj. Shift Sens.]	✓	×
		[Focus Area]	✓	×
		[Subject Recognition AF]	✓	×
		[Touch Function in MF]	✓	×
		[Multi Selector Function]	✓	×
		[Pointer Color]	✓	×
		[Pointer Border]	✓	×
		[AF Assist]	✓	×
	[S&Q Motion]	[Setting]	✓	×
[Frame Rate]		✓	×	

レベル1	レベル2	レベル3	[All File]	[Scene File]
	[LUT On/Off]	[1 SDI/HDMI]	✓	×
		[1 HDMI]	✓	×
		[2 LCD/VF/Proxy/Stream]	✓	×
	[NIGHTSHOT]	[Setting]	✓	×
		[IR Light]	✓	×
		[Image Color]	✓	×
	[Noise Suppression]	[Setting(Custom)]	✓	×
		[Level(Custom)]	✓	×
		[Setting(Flexible ISO)]	✓	×
		[Level(Flexible ISO)]	✓	×
	[Flicker Reduce]	[Mode]	✓	×
		[Frequency]	✓	×
	[SteadyShot]	[Setting]	✓	×

レベル1	レベル2	レベル3	[All File]	[Scene File]
[Project]	[Base Setting]	[Shooting Mode]	✓	—
		[Target Display]	✓	—
	[Rec Format]	[Frequency]	✓	×
		[Codec]	✓	×
		[Video Format]	✓	×
		[Quality]	✓	×
		[Bit Rate]	—	—
	[Flexible ISO Setting]	[Color Gamut]	✓	—
		[Embed LUT File]	✓	×
	[HDR Setting]	[LCD/VF SDR Preview]	✓	×
		[SDR Gain]	✓	×
	[Simul Rec]	[Setting]	✓	×
		[Rec Button Set]	✓	×
	[Proxy Rec]	[Setting]	✓	×
		[Proxy Format]	✓	×
		[Audio Channel]	✓	×
		[Chunk]	✓	×
	[SDI/HDMI Rec Control]	[Setting]	✓	×
	[HDMI Rec Control]	[Setting]	✓	×
	[Auto Framing]	[Setting]	×	×
		[Framing Operation Mode]	✓	×
[Crop Level]		✓	×	
[Framing Tracking Speed]		✓	×	
[Rec/Stream]		✓	×	
[HDMI]		✓	×	

レベル1	レベル2	レベル3	[All File]	[Scene File]
	[Assignable Button]	<1>	✓	×
		<2>	✓	×
		<3>	✓	×
		<4>	✓	×
		<5>	✓	×
		<6>	✓	×
		<7>	✓	×
		<8>	✓	×
		<9>	✓	×
		<10>	✓	×
		<11>	✓	×
		[<PUSH AUTO>]	✓	×
		[Multi Function Dial]	[Default Function]	✓
	[User File]	[Load from Media(B)]	—	—
		[Save to Media(B)]	—	—
		[File ID]	×	×
		[Load Customize Data]	✓	×
		[Load White Data]	✓	×
	[All File]	[Load from Media(B)]	—	—
		[Load from Cloud(Private)]	—	—
		[Load from Cloud(Share)]	—	—
		[Save to Media(B)]	—	—
		[Save to Cloud(Private)]	—	—
		[Save to Cloud(Share)]	—	—
		[File ID]	✓	×
		[Load Network Data]	×	×

レベル1	レベル2	レベル3	[All File]	[Scene File]
[Paint/Look]	[Scene File]	[Recall]	—	—
		[Store]	—	—
		[Delete]	—	—
		[Preset Recall]	—	—
	[Base Look]	[Select]	✓	✓
		[Delete]	—	—
		[Delete All]	—	—
		[Import from Media(B)]	—	—
		[Import from Cloud(Private)]	—	—
		[Import from Cloud(Share)]	—	—
		[Input]	✓	×
		[Output]	✓	×
		[AE Level Offset]	✓	×
	[Reset Paint Settings]	[Reset without Base Look]	—	—
	[Black]	[Master Black]	✓	✓
		[R Black]	✓	✓
		[B Black]	✓	✓
	[Knee]	[Setting]	✓	✓
		[Auto Knee]	✓	✓
		[Point]	✓	✓
		[Slope]	✓	✓
	[Detail]	[Setting]	✓	✓
		[Level]	✓	✓
		[Manual Setting]	✓	✓
		[H/V Ratio]	✓	✓
		[B/W Balance]	✓	✓
		[Limit]	✓	✓
		[Crispening]	✓	✓
		[High Light Detail]	✓	✓

レベル1	レベル2	レベル3	[All File]	[Scene File]
	[Matrix]	[User Matrix]	✓	✓
		[User Matrix Level]	✓	✓
		[User Matrix Phase]	✓	✓
		[User Matrix R-G]	✓	✓
		[User Matrix R-B]	✓	✓
		[User Matrix G-R]	✓	✓
		[User Matrix G-B]	✓	✓
		[User Matrix B-R]	✓	✓
		[User Matrix B-G]	✓	✓
	[Multi Matrix]	[Setting]	✓	✓
		[Area Indication]	x	x
		[Reset]	—	—
		[Axis]	x	x
		[Hue]	✓	✓
[Saturation]		✓	✓	
[TC/Media]	[Timecode]	[Mode]	✓	x
		[Run]	✓	x
		[Setting]	x	x
		[Reset]	—	—
		[TC Format]	✓	x
	[TC Display]	[Display Select]	✓	x
	[Users Bit]	[Mode]	✓	x
		[Setting]	x	x
	[HDMI TC Out]	[Setting]	✓	x
	[Clip Name Format]	[Clip Number]	✓	x
		[Series Counter Reset]	—	—
		[Title Name Settings]	✓	x
	[Update Media]	[Media(A)]	—	—
		[Media(B)]	—	—
	[Format Media]	[Media(A)]	—	—
		[Media(B)]	—	—

レベル1	レベル2	レベル3	[All File]	[Scene File]
[Monitoring]	[Output On/Off]	[SDI]	✓	×
		[HDMI]	✓	×
	[Output Format]	[SDI]	✓	×
		[HDMI]	✓	×
	[Output Display]	[SDI]	✓	×
		[HDMI]	✓	×

レベル1	レベル2	レベル3	[All File]	[Scene File]
	[Display On/Off]	[Network Status]	✓	×
		[File Transfer Status]	✓	×
		[Stream Status]	✓	×
		[Rec/Play Status]	✓	×
		[Tally]	✓	×
		[Battery Remain]	✓	×
		[Focus Mode]	✓	×
		[Focus Position]	✓	×
		[Focus Area Indicator]	✓	×
		[Subject Recognition Frame]	✓	×
		[Tracking AF Pointer]	✓	×
		[Lens Info]	✓	×
		[Rec Format]	✓	×
		[Frame Rate]	✓	×
		[Zoom Position]	✓	×
		[UWP RF Level]	✓	×
		[SteadyShot]	✓	×
		[Base Look/Rec Look]	✓	×
		[SDI/HDMI Rec Control]	✓	×
		[HDMI Rec Control]	✓	×
		[Monitoring Look]	✓	×
		[Proxy Status]	✓	×
		[Media Status]	✓	×
		[Video Signal Monitor]	✓	×
		[Clip Name]	✓	×
		[White Balance]	✓	×
		[Scene File]	✓	×
		[Auto Exposure Mode]	✓	×
		[Auto Exposure Level]	✓	×
		[Timecode]	✓	×
		[ND Filter]	✓	×
		[Iris]	✓	×
		[ISO/Gain]	✓	×

レベル1	レベル2	レベル3	[All File]	[Scene File]
		[Shutter]	✓	×
		[Level Gauge]	✓	×
		[Audio Level Meter]	✓	×
		[Video Level Warning]	✓	×
		[NIGHTSHOT]	✓	×
		[Clip Number]	✓	×
		[Notice Message]	✓	×
	[Marker]	[Setting]	✓	×
		[Color]	✓	×
		[Center Marker]	✓	×
		[Safety Zone]	✓	×
		[Safety Area]	✓	×
		[Aspect Marker]	✓	×
		[Aspect Mask]	✓	×
		[Aspect Safety Zone]	✓	×
		[Aspect Safety Area]	✓	×
		[Aspect Select]	✓	×
		[Custom Aspect Ratio]	✓	×
		[Guide Frame]	✓	×
		[100% Marker]	✓	×
		[User Box]	✓	×
		[User Box Width]	✓	×
		[User Box Height]	✓	×
	[User Box H Position]	✓	×	
	[User Box V Position]	✓	×	
	[LCD Monitor/VF]	[LCD Monitor Brightness]	✓	×
		[LCD Monitor Color Mode]	✓	×
		[VF Brightness]	✓	×
		[VF Color Mode]	✓	×
	[Gamma Display Assist]	[Setting]	✓	×
	[Peaking]	[Setting]	✓	×
		[Peaking Level]	✓	×
		[Color]	✓	×

レベル1	レベル2	レベル3	[All File]	[Scene File]
	[Zebra]	[Setting]	✓	×
		[Zebra1 Level]	✓	×
		[Zebra1 Aperture Level]	✓	×
		[Zebra2 Level]	✓	×

レベル1	レベル2	レベル3	[All File]	[Scene File]
[Audio]	[Audio Input]	[CH1 Input Select]	✓	×
		[CH2 Input Select]	✓	×
		[CH3 Input Select]	✓	×
		[CH4 Input Select]	✓	×
		[INPUT1 MIC Reference]	✓	×
		[INPUT2 MIC Reference]	✓	×
		[Line Input Reference]	✓	×
		[Reference Level]	✓	×
		[CH1 Wind Filter]	✓	×
		[CH2 Wind Filter]	✓	×
		[CH3 Wind Filter]	✓	×
		[CH4 Wind Filter]	✓	×
		[CH3 Level Control]	✓	×
		[CH4 Level Control]	✓	×
		[CH3 Input Level]	✓	×
		[CH4 Input Level]	✓	×
		[Audio Input Level]	✓	×
		[Limiter Mode]	✓	×
		[CH1&2 AGC Mode]	✓	×
		[CH3&4 AGC Mode]	✓	×
		[AGC Spec]	✓	×
		[1kHz Tone on Color Bars]	✓	×
		[CH1 Level]	✓	×
		[CH2 Level]	✓	×
	[CH3 Level]	✓	×	
	[CH4 Level]	✓	×	
	[Audio Output]	[Monitor CH]	✓	×
		[Headphone Out]	✓	×
[Alarm Level]		✓	×	
[HDMI Output CH]		✓	×	

レベル1	レベル2	レベル3	[All File]	[Scene File]
[Thumbnail]	[Display Clip Properties]		—	—
	[Set Clip Flag]	[Add OK]	—	—
		[Add NG]	—	—
		[Add KEEP]	—	—
		[Delete Clip Flag]	—	—
	[Lock/Unlock Clip]	[Select Clip]	—	—
		[Lock All Clips]	—	—
		[Unlock All Clips]	—	—
	[Delete Clip]	[Select Clip]	—	—
		[All Clips]	—	—
	[Copy Clip]	[Select Clip]	—	—
		[All Clips]	—	—
	[Transfer Clip]	[Select Clip]	—	—
		[All Clips]	—	—
	[Transfer Clip (Proxy)]	[Select Clip]	—	—
		[All Clips]	—	—
	[Filter Clips]	[OK]	—	—
		[NG]	—	—
		[KEEP]	—	—
		[None]	—	—
		[All]	—	—
	[Customize View]	[Thumbnail Caption]	✓	—

レベル1	レベル2	レベル3	[All File]	[Scene File]
[Technical]	[Color Bars]	[Setting]	x	x
		[Type]	✓	x
	[ND Dial]	[CLEAR with Dial]	✓	x
	[Tally]	[Front Tally Lamp]	✓	x
		[Rear Tally Lamp]	✓	x
	[Touch Operation]	[Setting]	✓	x
	[Rec Review]	[Setting]	✓	x
	[Zoom]	[Zoom Type]	✓	x
	[Handle Zoom]	[Setting]	✓	x
		[High]	✓	x
		[Low]	✓	x
	[Speed Zoom]	[Setting]	✓	x
	[Menu Settings]	[User Menu Only]	✓	x
		[Menu Page On/Off]	✓	x
		[User Menu with Lock]	x	x
	[Fan Control]	[Setting]	✓	x
	[Lens]	[Distance Display]	✓	x
		[Zoom Position Display]	✓	x
	[Video Light Set]	[Video Light Set]	✓	x
	[Camera Battery Alarm]	[Low Battery]	✓	x
[Battery Empty]		✓	x	
[Camera DC IN Alarm]	[DC Low Voltage1]	✓	x	
	[DC Low Voltage2]	✓	x	

レベル1	レベル2	レベル3	[All File]	[Scene File]	
[Network]	[Network Setup]	[Setup for Mobile App]	—	—	
		[LAN Type Select]	✓	×	
		[Show Authentication]	—	—	
		[Edit Authentication]			
		[User Name]	×	×	
		[Input Password]	×	×	
		[Generate Password]	×	×	
	[Wireless LAN]	[Setting]	✓	×	
		[Channel]	—	—	
		[Camera SSID & Password]	—	—	
		[Regenerate Password]	—	—	
		[Camera Remote Control]	—	—	
		[Connected Network]	—	—	
		[Scan Networks]	—	—	
		[WPS]	—	—	
		[Manual Register]			
		[SSID]	—	—	
		[Security]	—	—	
		[Password]	—	—	
		[DHCP]	—	—	
		[IP Address]	—	—	
		[Subnet Mask]	—	—	
		[Gateway]	—	—	
		[DNS Auto]	—	—	
		[Primary DNS Server]	—	—	
		[Secondary DNS Server]	—	—	
		[IP Address]	—	—	
[Subnet Mask]	—	—			
[MAC Address]	—	—			

レベル1	レベル2	レベル3	[All File]	[Scene File]		
	[Wired LAN]	[Setting]	✓	×		
		[Camera Remote Control]	✓	×		
		[Detail Settings]				
		[DHCP]	✓	×		
		[IP Address]	✓	×		
		[Subnet Mask]	✓	×		
		[Gateway]	✓	×		
		[DNS Auto]	✓	×		
		[Primary DNS Server]	✓	×		
		[Secondary DNS Server]	✓	×		
		[IP Address]	—	—		
		[Subnet Mask]	—	—		
		[MAC Address]	—	—		
		[USB Tethering]	[Setting]	✓	×	
	[Camera Remote Control]		✓	×		
	[IP Address]		—	—		
	[Subnet Mask]		—	—		
	[Bluetooth]	[Setting]	✓	×		
		[Pairing]	—	—		
		[Manage Paired Device]	×	×		
[Device Address]		—	—			

レベル1	レベル2	レベル3	[All File]	[Scene File]
		[Auto Upload]	✓	×
		[Auto Upload (Proxy)]	✓	×
		[Default Upload Server]	✓	×
		[Clear Completed Jobs]	—	—
		[Clear All Jobs]	—	—
		[View Job List]	—	—
		[Server Settings1] / [Server Settings2] / [Server Settings3]		
		[Display Name]	✓	×
		[Service]	✓	×
	[File Transfer]	[Host Name]	✓	×
		[Port]	✓	×
		[User Name]	×	×
		[Password]	×	×
		[Passive Mode]	✓	×
		[Destination Directory]	✓	×
		[Using Secure Protocol]	✓	×
		[Root Certificate]	—	—
		[Root Certificate Status]	—	—
		[Reset]	—	—

レベル1	レベル2	レベル3	[All File]	[Scene File]
		[Setting]	×	×
		[Destination Select]	✓	×
		[RTMP/RTMPS 1] / [RTMP/RTMPS 2] / [RTMP/RTMPS 3]		
		[Display Name]	✓	×
		[Codec]	—	—
		[Resolution]	✓	×
		[Bit Rate]	✓	×
		[Destination URL]	×	×
		[Stream Key]	×	×
		[RTMPS Certificate]	—	—
		[RTMPS Certificate Status]	—	—
		[Reset]	—	—
		[RTMPS Default Certificates]		
		[Replace]	—	—
		[Reset]	—	—
		[Status]	—	—
		[SRT-Caller 1] / [SRT-Caller 2] / [SRT-Caller 3]		
		[Display Name]	✓	×
		[Codec]	✓	×
		[Resolution]	✓	×
		[Bit Rate]	✓	×
		[Destination URL]	×	×
		[Port]	✓	×
		[Latency]	✓	×
		[TTL]	✓	×
		[Encryption]	×	×
		[Passphrase]	×	×
		[ARC]	✓	×
		[Reset]	—	—
	[Network Reset]	[Reset]	—	—

レベル1	レベル2	レベル3	[All File]	[Scene File]	
[Maintenance]	[Language]	[Select]	✓	×	
	[Accessibility]	[Screen Reader]			
		[Setting]		✓	×
		[Speed]		✓	×
		[Volume]		✓	×
		[Read Out when Power On]		✓	×
		[Enlarge Screen]			
		[Setting]		✓	×
		[Magnification]		✓	×
		[Enlarge Screen Button]		✓	×
	[Clock Set]	[Time Zone]		✓	×
		[Date Mode]		✓	×
		[12h/24h]		✓	×
		[Date]		×	×
		[Time]		×	×
	[All Reset]	[Reset]		—	—
		[Reset without Network]		—	—
		[Reset to Factory Defaults]		—	—
	[Hours Meter]	[Hours(System)]		—	—
		[Hours(Reset)]		—	—
		[Reset]		—	—
	[Device Information]	[Certification Logo]		—	—
	[Version]	[Version Number]		—	—
		[Version Up]		—	—

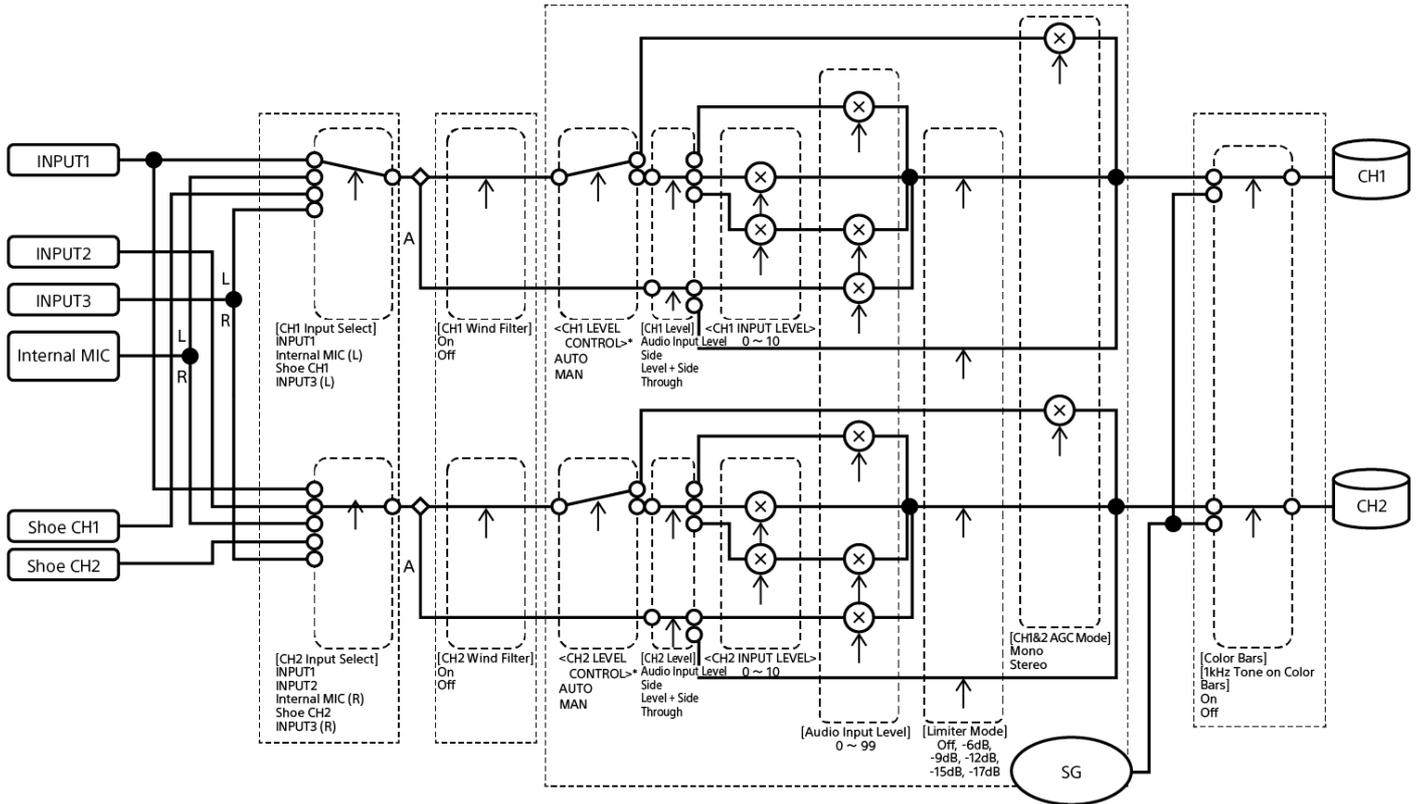
TP1001670087

ソリッドステートメモリーカムコーダー
PXW-Z200/HXR-NX800

ブロックダイアグラム

音声や [Audio] メニューに関連するブロックダイアグラムです。

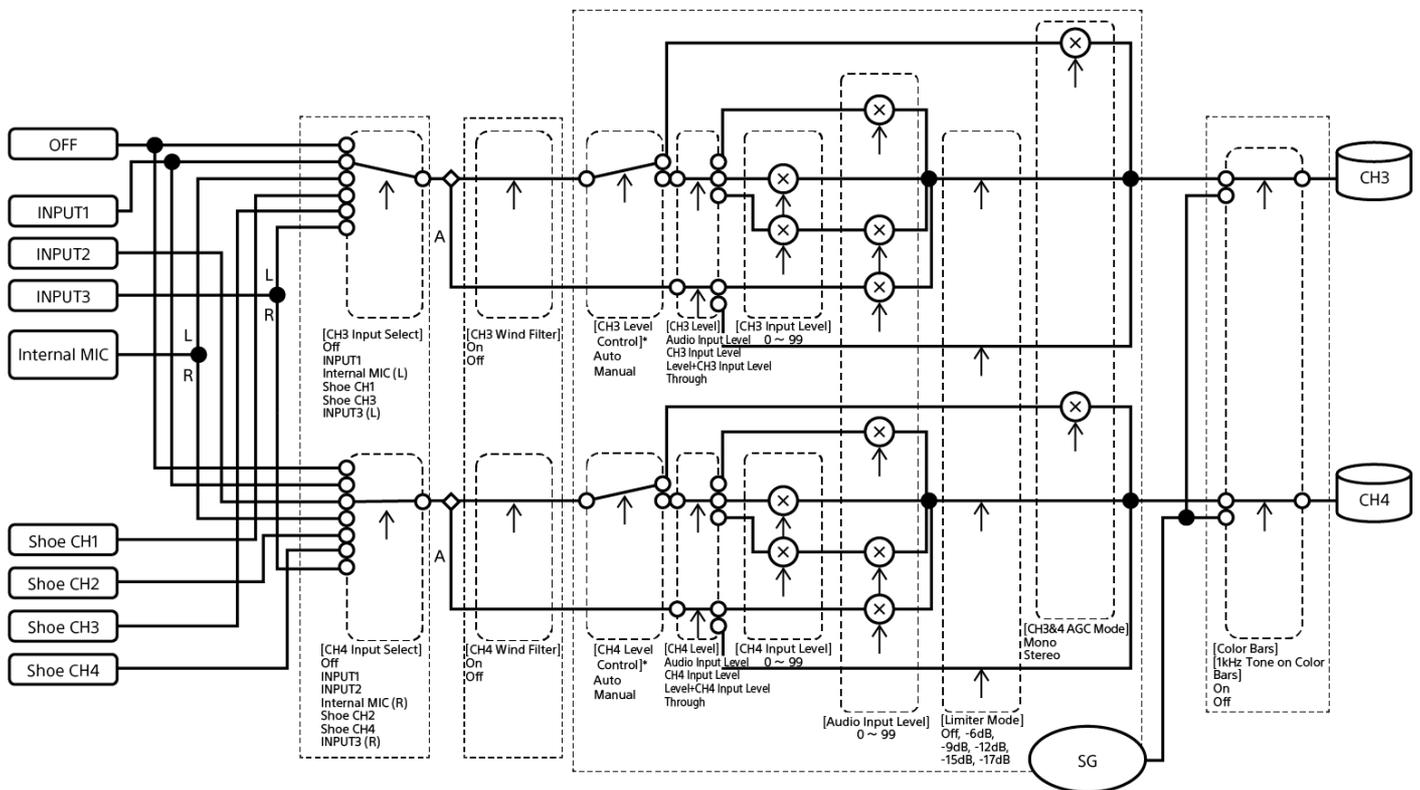
[Audio Input] (CH1&CH2)



A : XLRアダプターの場合

* XLRアダプターからの音声入力があるときは [Audio] ステータス - [Audio Input] - [CH1 Level Control] ~ [CH4 Level Control] の設定項目となります。

[Audio Input] (CH3&CH4)



A : XLRアダプターの場合

* XLRアダプターからの音声入力があるときは [Audio] ステータス – [Audio Input] – [CH1 Level Control] ~ [CH4 Level Control] の設定項目となります。

TP1001670088

ソリッドステートメモリーカムコーダー
PXW-Z200/HXR-NX800

ライセンスについて

MPEG-4 AVC Patent Portfolio Licenseについて

本製品は、MPEG LA, LLCがライセンス活動を行っているAVC PATENT PORTFOLIO LICENSEの下、次の用途に限りライセンスされています：

(i) 消費者が個人的または他の報酬を受けていない使用目的で、MPEG-4 AVC規格に合致したビデオ信号（以下、AVC VIDEOといたします）にエンコードすること。

(ii) AVC VIDEO（消費者が個人的または他の報酬を受けていない目的でエンコードしたもの、若しくはMPEG LAよりライセンスを取得したプロバイダーがエンコードしたものに限られます）をデコードすること。

なお、その他の用途に関してはライセンスされていません。プロモーション、商業的に利用することに関する詳細な情報につきましては、MPEG LA, LLC.のホームページをご参照ください。

GPL/LGPL適用ソフトウェアの入手について

本製品はGPL/LGPL適用のソフトウェアを使用しており、お客様には、これらのソフトウェアのソースコードの入手、改変、再配布の権利があることをお知らせします。

これらのソースコードはインターネットのサーバーからダウンロードすることが可能です。以下のURLにアクセスすれば、具体的なダウンロードの方法がわかるようになっています。

<https://oss.sony.net/Products/Linux/>

なお、ソースコードの中身についてのお問い合わせはご遠慮ください。

ライセンス内容（英文）に関しては、本機の内蔵メモリー内に記録されています。

本機とパソコンをマストレージ接続し、「PMHOME」 - 「LICENSE」内にあるファイルをご一読ください。

END USER LICENSE AGREEMENT

For end users in countries/regions other than the United States

Last Updated: 2024-08

IMPORTANT:

BEFORE USING THE SOFTWARE, PLEASE READ THIS END USER LICENSE AGREEMENT (“EULA”) CAREFULLY. BY USING THE SOFTWARE YOU ARE AGREEING TO BE BOUND BY THE TERMS OF THIS EULA. IF YOU DO NOT AGREE TO THE TERMS OF THIS EULA, YOU MAY NOT USE THE SOFTWARE.

This EULA is a legal agreement between (i) you and any entity you represent (collectively “you”) and (ii) Sony Corporation (“SONY”). This EULA governs your rights and obligations regarding the software of the product of SONY and/or its third party licensors (including SONY’s affiliates) and their respective affiliates (collectively, the “THIRD-PARTY SUPPLIERS”), together with any updates/upgrades, any printed, on-line or other electronic documentation for such software and any data files, each provided by SONY or the THIRD-PARTY SUPPLIERS, or created by operation of such software (collectively, the “SOFTWARE”).

Notwithstanding the foregoing, any software in the SOFTWARE having a separate end user license agreement (including, but not limited to, GNU General Public license and Lesser/Library General Public License) shall be covered by such applicable separate end user license agreement in lieu of the terms of this EULA to the extent required by such separate end user license agreement (“EXCLUDED SOFTWARE”).

SOFTWARE LICENSE

The SOFTWARE is licensed, not sold. The SOFTWARE is protected by copyright and other intellectual property laws and international treaties.

COPYRIGHT

All right and title in and to the SOFTWARE (including, but not limited to, any images, photographs, animation, video, audio, music, text and “applets” and other content incorporated into the SOFTWARE) is owned by SONY or one or more of the THIRD-PARTY SUPPLIERS.

GRANT OF LICENSE

SONY grants you a limited, non-exclusive, personal, non-transferable license to use the SOFTWARE solely in connection with your compatible device (including, but not limited to, SONY's products which the SOFTWARE is embedded in or bundled with) ("DEVICE") solely in accordance with this EULA and the usage instructions as may be made available to you by SONY or the THIRD-PARTY SUPPLIERS. SONY and the THIRD-PARTY SUPPLIERS expressly reserve all rights, title and interest (including, but not limited to, all intellectual property rights) in and to the SOFTWARE that this EULA does not specifically grant to you.

REQUIREMENTS AND LIMITATIONS

You may not copy, publish, adapt, redistribute, attempt to derive source code, modify, reverse engineer, decompile, or disassemble any of the SOFTWARE, whether in whole or in part, or create any derivative works from or of the SOFTWARE unless such derivative works are intentionally facilitated by the SOFTWARE. You may not modify or tamper with any digital rights management functionality of the SOFTWARE. You may not bypass, modify, defeat or circumvent any of the functions or protections of the SOFTWARE or any mechanisms operatively linked to the SOFTWARE. You may not separate any individual component of the SOFTWARE for use on more than one DEVICE unless expressly authorized to do so by SONY. You may not remove, alter, cover or deface any trademarks or notices on the SOFTWARE. You may not share, distribute, rent, lease, sublicense, assign, transfer or sell the SOFTWARE. You may not use the SOFTWARE in connection with violation of laws, regulations, court decisions or other legally binding dispositions by a public authority or public policy, or infringement of the rights or legally protected interests (including, but not limited to, intellectual and other property rights, rights to trade secrets, honors, privacy and publicity) of SONY, each of the THIRD-PARTY SUPPLIERS or any third parties. The software, network services or other products other than the SOFTWARE upon which the SOFTWARE'S performance depends might be modified, interrupted or discontinued at the discretion of the suppliers (software suppliers, service suppliers, or SONY). SONY and such suppliers do not warrant that the SOFTWARE, network services, contents or other products will continue to be available, or will operate without interruption or modification. You shall not, nor shall you instruct or permit, procure, enable or request any third party (including your users, third party personnel or other personnel, staff or contractors) to, take any action designed or intended to: (i) use the SOFTWARE (or any part thereof) in any manner or for any purpose that is inconsistent with this EULA; (ii) introduce to the SOFTWARE any "back door," "drop dead device," "time bomb," "Trojan horse," "virus," or "worm" (as such terms are commonly understood in the software industry) or any other equivalent code, files, scripts, agents, programs, software routine or instructions designed or intended to disrupt, disable, harm or otherwise impede in any manner the operation of the SOFTWARE or any device or system owned or controlled by you or any third party, or which otherwise may damage or destroy any data or file ("Malicious Code"); (iii) interfere with the proper working of the SOFTWARE; (iv) circumvent, disable, or interfere with security-related features of the SOFTWARE or features that prevent or restrict use, access to, or copying the SOFTWARE, or that enforce limitations on use of the SOFTWARE; or (v) impose (or which may impose, in your sole discretion) an unreasonable or disproportionately large load on the SOFTWARE.

EXCLUDED SOFTWARE AND OPEN SOURCE COMPONENTS

Notwithstanding the foregoing limited license grant, you acknowledge that the SOFTWARE may include EXCLUDED SOFTWARE. Certain EXCLUDED SOFTWARE may be covered by open source software licenses ("Open Source Components"), which means any software licenses approved as open source licenses by the Open Source Initiative or any substantially similar licenses, including but not limited to any license that, as a condition of distribution of the software licensed under such license, requires that the distributor make the software available in source code format. If and to the extent disclosure is required, please visit oss.sony.net/Products/Linux or other SONY-designated web site for a list of applicable OPEN SOURCE COMPONENTS included in the SOFTWARE from time to time, and the applicable terms and conditions governing its use. Such terms and conditions may be changed by the applicable third party at any time without liability to you. To the extent required by the licenses covering EXCLUDED SOFTWARE, the terms of such licenses will apply in lieu of the terms of this EULA. To the extent the terms of the licenses applicable to EXCLUDED SOFTWARE prohibit any of the restrictions in this EULA with respect to such EXCLUDED SOFTWARE, such restrictions will not apply to such EXCLUDED SOFTWARE. To the extent the terms of the licenses applicable to Open Source Components require SONY to make an offer to provide source code in connection with the SOFTWARE, such offer is hereby made.

USE OF SOFTWARE WITH COPYRIGHTED MATERIALS

The SOFTWARE may be capable of being used by you to view, store, process and/or use content created by you and/or third parties. Such content may be protected by copyright, other intellectual property laws, and/or agreements. You agree to use the SOFTWARE only in compliance with all such laws and agreements that apply to such content. You acknowledge and agree that SONY may take appropriate measures to protect content stored, processed or used by the SOFTWARE. Such measures include, but are not limited to, refusal to accept your request to enable backup and restoration of content through certain SOFTWARE features, and termination of this EULA in the event of your illegitimate use of the SOFTWARE.

CONTENT SERVICE

PLEASE ALSO NOTE THAT THE SOFTWARE MAY BE DESIGNED TO BE USED WITH CONTENT AVAILABLE THROUGH ONE OR MORE CONTENT SERVICES ("CONTENT SERVICE"). USE OF THE SERVICE AND THAT CONTENT IS SUBJECT TO THE TERMS OF SERVICE OF THAT CONTENT SERVICE. IF YOU DECLINE TO ACCEPT THOSE TERMS, YOUR USE OF THE SOFTWARE WILL BE LIMITED. You acknowledge and agree that certain content and services available through the SOFTWARE may be provided by third parties over which SONY has no control. WHERE CONTENT SERVICE IS NOT UNDER SONY'S CONTROL, SONY SHALL NOT BE LIABLE IN RESPECT OF ANY DAMAGES (OR OTHER LIABILITY) RELATED TO SUCH CONTENT SERVICE. USE OF THE CONTENT SERVICE REQUIRES AN INTERNET CONNECTION. THE CONTENT SERVICE MAY BE MODIFIED OR DISCONTINUED AT ANY TIME.

INTERNET CONNECTIVITY AND THIRD PARTY SERVICES

You acknowledge and agree that access to certain SOFTWARE features may require an Internet connection for which you are solely responsible. Further, you are solely responsible for payment of any fees associated with your Internet connection, including but not limited to Internet service provider or airtime charges. Operation of the SOFTWARE may be limited or restricted depending on the capabilities, bandwidth or technical limitations of your Internet connection and service. The provision, quality and security of such Internet connectivity are your responsibility or that of the third party providing such service. You are solely responsible in the event any Malicious Code introduced in the SOFTWARE because of or through, your internet connections.

EXPORT AND OTHER REGULATIONS

You agree to comply with all applicable export and re-export restrictions and regulations of the area or country in which you reside or use the SOFTWARE, and not to transfer, or authorize the transfer, of the SOFTWARE to a prohibited country or otherwise in violation of any such restrictions or regulations.

HIGH RISK ACTIVITIES

The SOFTWARE is not fault-tolerant and is not designed, manufactured or intended for use or resale as on-line control equipment in hazardous environments requiring fail-safe performance, such as in the operation of nuclear facilities, aircraft navigation or communication systems, air traffic control, direct life support machines, or weapons systems, in which the failure of the SOFTWARE could lead to death, personal injury, or severe physical or environmental damage ("HIGH RISK ACTIVITIES"). SONY, each of the THIRD-PARTY SUPPLIERS, and each of their respective affiliates specifically disclaim any express or implied warranty, duty or condition of fitness for HIGH RISK ACTIVITIES.

EXCLUSION OF WARRANTY ON SOFTWARE

You acknowledge and agree that use of the SOFTWARE is at your sole risk and that you are responsible for use of the SOFTWARE. The SOFTWARE is provided "AS IS," without warranty, duty or condition of any kind.

SONY AND EACH OF THE THIRD-PARTY SUPPLIERS (for purposes of this Section, SONY and each of the THIRD-PARTY SUPPLIERS shall be collectively referred to as "SONY") EXPRESSLY DISCLAIM ALL WARRANTIES, DUTIES OR CONDITIONS, EXPRESS OR IMPLIED, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY, QUALITY, FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE, ACCURACY, TITLE AND NONINFRINGEMENT. WITHOUT LIMITING THE GENERALITY OF THE FOREGOING, SONY DOES NOT WARRANT OR MAKE ANY CONDITIONS OR REPRESENTATIONS (A) THAT THE FUNCTIONS CONTAINED IN ANY OF THE SOFTWARE WILL MEET YOUR REQUIREMENTS OR THAT THEY WILL BE UPDATED, (B) THAT THE OPERATION OF ANY OF THE SOFTWARE WILL BE CORRECT OR ERROR-FREE OR THAT ANY DEFECTS WILL BE CORRECTED, (C) THAT THE SOFTWARE WILL NOT DAMAGE ANY OTHER SOFTWARE, HARDWARE OR DATA, (D) THAT ANY SOFTWARE, NETWORK SERVICES (INCLUDING THE INTERNET) OR PRODUCTS (OTHER THAN THE SOFTWARE) UPON WHICH THE SOFTWARE'S PERFORMANCE DEPENDS WILL CONTINUE TO BE AVAILABLE, UNINTERRUPTED, TIMELY, SECURE OR UNMODIFIED, (E) THAT THE SOFTWARE OR ANY EQUIPMENT, SYSTEM OR NETWORK ON WHICH THE SOFTWARE IS USED (INCLUDING THE DEVICE) WILL BE FREE OF VULNERABILITY TO INTRUSION OR ATTACK AND (F) REGARDING THE USE OR THE RESULTS OF THE USE OF THE SOFTWARE IN TERMS OF ITS CORRECTNESS, ACCURACY, RELIABILITY, OR OTHERWISE.

NO ORAL OR WRITTEN INFORMATION OR ADVICE GIVEN BY SONY OR AN AUTHORIZED REPRESENTATIVE OF SONY SHALL CREATE A WARRANTY, DUTY OR CONDITION OR IN ANY WAY INCREASE THE SCOPE OF THIS WARRANTY. SHOULD THE SOFTWARE PROVE DEFECTIVE YOU ASSUME THE ENTIRE COST OF ALL NECESSARY SERVICING, REPAIR OR CORRECTION. SOME JURISDICTIONS DO NOT ALLOW THE EXCLUSION OF IMPLIED WARRANTIES, SO THESE EXCLUSIONS MAY NOT APPLY TO YOU TO THE EXTENT THEY ARE CONTRARY TO APPLICABLE LAW OF YOUR JURISDICTION.

LIMITATION OF LIABILITY

SONY AND EACH OF THE THIRD-PARTY SUPPLIERS (for purposes of this Section, SONY and each of the THIRD-PARTY SUPPLIERS shall be collectively referred to as "SONY") SHALL NOT BE LIABLE FOR ANY INCIDENTAL, INDIRECT, SPECIAL, EXEMPLARY OR CONSEQUENTIAL LOSS OR DAMAGES FOR BREACH OF ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTY, BREACH OF CONTRACT, NEGLIGENCE, STRICT LIABILITY OR UNDER ANY OTHER LEGAL THEORY RELATED TO THE SOFTWARE, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, ANY DAMAGES ARISING OUT OF LOSS OF PROFITS, LOSS OF REVENUE, LOSS OF DATA, LOSS OF USE OF THE SOFTWARE OR ANY ASSOCIATED HARDWARE, DOWN TIME AND USER'S TIME, EVEN IF ANY OF THEM HAVE BEEN ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH LOSSES OR DAMAGES. IN ANY CASE, EACH AND ALL OF THEIR AGGREGATE LIABILITY UNDER ANY PROVISION OF THIS EULA SHALL BE LIMITED TO THE GREATER OF (i) THE AMOUNT ACTUALLY PAID FOR THE SOFTWARE, SONY'S PRODUCT WHICH THE SOFTWARE IS EMBEDDED IN OR BUNDLED WITH AND/OR SONY'S SERVICE TO WHICH THE SOFTWARE IS DEDICATED OR (ii) THE FIXED AMOUNT AGREED IN WRITING BETWEEN SONY AND YOU. SOME JURISDICTIONS DO NOT ALLOW SUCH EXCLUSIONS OR LIMITATIONS OF LIABILITY, SO THE ABOVE EXCLUSIONS OR LIMITATIONS MAY NOT APPLY TO YOU TO THE EXTENT THEY ARE CONTRARY TO APPLICABLE LAW OF YOUR JURISDICTION.

INDEMNITY

Except as prohibited by applicable law, you agree to indemnify and hold harmless SONY and the THIRD-PARTY SUPPLIERS and their respective affiliates, officers and employees, from any loss, claim or demand, including reasonable attorneys' fees, made by any third party due to or arising out of your use of the SOFTWARE and/or the DEVICE (including, without limitation, any software vulnerability caused by such use), your violation of this EULA or your failure to fulfill your responsibility under this EULA.

AUTOMATIC UPDATE FEATURE

From time to time, SONY or the THIRD-PARTY SUPPLIERS may automatically update or otherwise modify the SOFTWARE, including, but not limited to, for purposes of enhancement of security functions, error correction and improvement of functions, at such time as you interact with SONY's or third parties' servers, or otherwise. Such updates or modifications may delete or change the nature of features or other aspects of the SOFTWARE, including, but not limited to, functions you may rely upon. You acknowledge and agree that such activities may occur at SONY's sole discretion and that SONY may condition continued use of the SOFTWARE upon your complete installation or acceptance of such update or modifications. Any updates/modifications shall be deemed to be, and shall constitute part of, the SOFTWARE for purposes of this EULA. By acceptance of this EULA, you consent to such update/modification.

FORCE MAJEURE

SONY shall not be liable for any delay or failure to perform resulting from causes outside its reasonable control, including, but not limited to, fire, floods, storms, earthquakes, epidemics, acts of God, war, terrorism, riots, insurrection, embargos, acts of civil, military or governmental authorities, nuclear or other accidents, explosions, strikes or shortages of transportation facilities, fuel, energy, labor or materials.

ENTIRE AGREEMENT, WAIVER, SEVERABILITY

This EULA (and SONY's applicable privacy policy separately presented to you, if any), as amended and modified from time to time, constitute the entire agreement(s) between you and SONY with respect to the SOFTWARE. The failure of SONY to exercise or enforce any right or provision of this EULA shall not constitute a waiver of such right or provision. If any part of this EULA is held invalid, illegal, or unenforceable, that provision shall be enforced to the maximum extent permissible so as to maintain the intent of this EULA, and the other parts will remain in full force and effect.

GOVERNING LAW AND JURISDICTION

The United Nations Convention on Contracts for the International Sale of Goods shall not apply to this EULA. This EULA shall be governed by the laws of Japan, without regards to conflict of laws provisions. Any dispute arising out of this EULA shall be subject to the exclusive venue of the Tokyo District Court in Japan, and the parties hereby consent to the venue and jurisdiction of such courts. The foregoing does not apply to you to the extent applicable law of your jurisdiction restricts or prohibits such agreements.

EQUITABLE REMEDIES

Notwithstanding anything contained in this EULA to the contrary, you acknowledge and agree that any violation of or non-compliance with this EULA by you will cause irreparable harm to SONY, for which monetary damages would be inadequate, and you consent to SONY obtaining any injunctive or equitable relief that SONY deems necessary or appropriate in such circumstances. SONY may also take any legal and technical remedies to prevent violation of and/or to enforce this EULA, including, but not limited to, immediate termination of your use of the SOFTWARE, if SONY believes in its sole discretion that you are violating or intend to violate this EULA. These remedies are in addition to any other remedies SONY may have at law, in equity or under contract.

TERMINATION

Without prejudice to any of its other rights, SONY may suspend your access or use of the SOFTWARE and/or terminate this EULA if you fail to comply with any of its terms. In case of such termination, you must: (i) cease all use, and destroy any copies, of the SOFTWARE; (ii) comply with the requirements in the section below entitled "Your Account Responsibilities".

AMENDMENT

SONY RESERVES THE RIGHT TO AMEND ANY OF THE TERMS OF THIS EULA AT ITS SOLE DISCRETION BY POSTING NOTICE ON A SONY DESIGNATED WEB SITE, BY EMAIL NOTIFICATION TO AN EMAIL ADDRESS PROVIDED BY YOU, BY PROVIDING NOTICE AS PART OF THE PROCESS IN WHICH YOU OBTAIN UPGRADES/UPDATES OR BY ANY OTHER LEGALLY RECOGNIZABLE FORM OF NOTICE. If you do not agree to the amendment, you should promptly contact SONY for instructions. Your continued use of the SOFTWARE after the effective date of any such notice shall be deemed your agreement to be bound by such amendment.

THIRD-PARTY BENEFICIARIES

Each THIRD-PARTY SUPPLIER is an express intended third-party beneficiary of, and shall have the right to enforce, each provision of this EULA with respect to the software of such party.

YOUR ACCOUNT RESPONSIBILITIES

Should you return your DEVICE to its place of purchase, sell or otherwise transfer your DEVICE, or if this EULA is terminated, you are responsible for and must, if reasonably possible, uninstall the SOFTWARE from the DEVICE and delete any and all accounts you may have established on DEVICE or are accessible through the SOFTWARE. You are solely responsible for maintaining the confidentiality of any accounts you have with SONY or third parties and any usernames and passwords associated with your use of the DEVICE.

Should you have any questions concerning this EULA, you may contact SONY by writing to SONY at the applicable contact address for each area or country.

For end users in the United States

Last Updated: 2024-08

IMPORTANT:

BEFORE USING THE SOFTWARE, PLEASE READ THIS END USER LICENSE AGREEMENT ("EULA") CAREFULLY. BY USING THE SOFTWARE YOU ARE AGREEING TO BE BOUND BY THE TERMS OF THIS EULA. IF YOU DO NOT AGREE TO THE TERMS OF THIS EULA, YOU MAY NOT USE THE SOFTWARE.

This EULA is a legal agreement between (i) you and any entity you represent (collectively "you") and (ii) Sony Electronics Inc. ("SONY"). This EULA governs your rights and obligations regarding the software of the product of SONY and/or its third party licensors (including SONY's affiliates) and their respective affiliates (collectively, the "THIRD-PARTY SUPPLIERS"), together with any updates/upgrades, any printed, on-line or other electronic documentation for such software and any data files, each provided by SONY or the THIRD-PARTY SUPPLIERS, or created by operation of such software (collectively, the "SOFTWARE").

Notwithstanding the foregoing, any software in the SOFTWARE having a separate end user license agreement (including, but not limited to, GNU General Public license and Lesser/Library General Public License) shall be covered by such applicable separate end user license agreement in lieu of the terms of this EULA to the extent required by such separate end user license agreement ("EXCLUDED SOFTWARE").

SOFTWARE LICENSE

The SOFTWARE is licensed, not sold. The SOFTWARE is protected by copyright and other intellectual property laws and international treaties.

COPYRIGHT

All right and title in and to the SOFTWARE (including, but not limited to, any images, photographs, animation, video, audio, music, text and "applets" and other content incorporated into the SOFTWARE) is owned by SONY or one or more of the THIRD-PARTY SUPPLIERS.

GRANT OF LICENSE

SONY grants you a limited, non-exclusive, personal, non-transferable license to use the SOFTWARE solely in connection with your compatible device (including, but not limited to, SONY's products which the SOFTWARE is embedded in or bundled with) ("DEVICE") solely in accordance with this EULA and the usage instructions as may be made available to you by SONY or the THIRD-PARTY SUPPLIERS. SONY and the THIRD-PARTY SUPPLIERS expressly reserve all rights, title and interest (including, but not limited to, all intellectual property rights) in and to the SOFTWARE that this EULA does not specifically grant to you.

REQUIREMENTS AND LIMITATIONS

You may not copy, publish, adapt, redistribute, attempt to derive source code, modify, reverse engineer, decompile, or disassemble any of the SOFTWARE, whether in whole or in part, or create any derivative works from or of the SOFTWARE unless such derivative works are intentionally facilitated by the SOFTWARE. You may not modify or tamper with any digital rights management functionality of the SOFTWARE. You may not bypass, modify, defeat or circumvent any of the functions or protections of the SOFTWARE or any mechanisms operatively linked to the SOFTWARE. You may not separate any individual component of the SOFTWARE for use on more than one DEVICE unless expressly authorized to do so by SONY. You may not remove, alter, cover or deface any trademarks or notices on the SOFTWARE. You may not share, distribute, rent, lease, sublicense, assign, transfer or sell the SOFTWARE. You may not use the SOFTWARE in connection with violation of laws, regulations, court decisions or other legally binding dispositions by a public authority or public policy, or infringement of the rights or legally protected interests (including, but not limited to, intellectual and other property rights, rights to trade secrets, honors, privacy and publicity) of SONY, each of the THIRD-PARTY SUPPLIERS or any third parties. The software, network services or other products other than the SOFTWARE upon which the SOFTWARE'S performance depends might be modified, interrupted or discontinued at the discretion of the suppliers (software suppliers, service suppliers, or SONY). SONY and such suppliers do not warrant that the SOFTWARE, network services, contents or other products will continue to be available, or will operate without interruption or modification. You shall not, nor shall you instruct or permit, procure, enable or request any third party (including your users, third party personnel or other personnel, staff or contractors) to, take any action designed or intended to: (i) use the SOFTWARE (or any part thereof) in any manner or for any purpose that is inconsistent with this EULA; (ii) introduce to the SOFTWARE any "back door," "drop dead device," "time bomb," "Trojan horse," "virus," or "worm" (as such terms are commonly understood in the software industry) or any other equivalent code, files, scripts, agents, programs, software routine or instructions designed or intended to disrupt, disable, harm or otherwise impede in any manner the operation of the SOFTWARE or any device or system owned or controlled by you or any third party, or which otherwise may damage or destroy any data or file ("Malicious Code"); (iii) interfere with the proper working of the SOFTWARE; (iv) circumvent, disable, or interfere with security-related features of the SOFTWARE or features that prevent or restrict use, access to, or copying the SOFTWARE, or that enforce limitations on use of the SOFTWARE; or (v) impose (or which may impose, in your sole discretion) an unreasonable or disproportionately large load on the SOFTWARE.

EXCLUDED SOFTWARE AND OPEN SOURCE COMPONENTS

Notwithstanding the foregoing limited license grant, you acknowledge that the SOFTWARE may include EXCLUDED SOFTWARE. Certain EXCLUDED SOFTWARE may be covered by open source software licenses ("Open Source Components"), which means any software licenses approved as open source licenses by the Open Source Initiative or any substantially similar licenses, including but not limited to any license that, as a condition of distribution of the software licensed under such license, requires that the distributor make the software available in source code format. If and to the extent disclosure is required, please visit oss.sony.net/Products/Linux or other SONY-designated web site for a list of applicable OPEN SOURCE COMPONENTS included in the SOFTWARE from time to time, and the applicable terms and conditions governing its use. Such terms and conditions may be changed by the applicable third party at any time without liability to you. To the extent required by the licenses covering EXCLUDED SOFTWARE, the terms of such licenses will apply in lieu of the terms of this EULA. To the extent the terms of the licenses applicable to EXCLUDED SOFTWARE prohibit any of the restrictions in this EULA with respect to such EXCLUDED SOFTWARE, such restrictions will not apply to such EXCLUDED SOFTWARE. To the extent the terms of the licenses applicable to Open Source Components require SONY to make an offer to provide source code in connection with the SOFTWARE, such offer is hereby made.

USE OF SOFTWARE WITH COPYRIGHTED MATERIALS

The SOFTWARE may be capable of being used by you to view, store, process and/or use content created by you and/or third parties. Such content may be protected by copyright, other intellectual property laws, and/or agreements. You agree to use the SOFTWARE only in compliance with all such laws and agreements that apply to such content. You acknowledge and agree that SONY may take appropriate measures to protect content stored, processed or used by the SOFTWARE. Such measures include, but are not limited to, refusal to accept your request

to enable backup and restoration of content through certain SOFTWARE features, and termination of this EULA in the event of your illegitimate use of the SOFTWARE.

CONTENT SERVICE

PLEASE ALSO NOTE THAT THE SOFTWARE MAY BE DESIGNED TO BE USED WITH CONTENT AVAILABLE THROUGH ONE OR MORE CONTENT SERVICES ("CONTENT SERVICE"). USE OF THE SERVICE AND THAT CONTENT IS SUBJECT TO THE TERMS OF SERVICE OF THAT CONTENT SERVICE. IF YOU DECLINE TO ACCEPT THOSE TERMS, YOUR USE OF THE SOFTWARE WILL BE LIMITED. You acknowledge and agree that certain content and services available through the SOFTWARE may be provided by third parties over which SONY has no control. WHERE CONTENT SERVICE IS NOT UNDER SONY'S CONTROL, SONY SHALL NOT BE LIABLE IN RESPECT OF ANY DAMAGES (OR OTHER LIABILITY) RELATED TO SUCH CONTENT SERVICE. USE OF THE CONTENT SERVICE REQUIRES AN INTERNET CONNECTION. THE CONTENT SERVICE MAY BE MODIFIED OR DISCONTINUED AT ANY TIME.

INTERNET CONNECTIVITY AND THIRD PARTY SERVICES

You acknowledge and agree that access to certain SOFTWARE features may require an Internet connection for which you are solely responsible. Further, you are solely responsible for payment of any fees associated with your Internet connection, including but not limited to Internet service provider or airtime charges. Operation of the SOFTWARE may be limited or restricted depending on the capabilities, bandwidth or technical limitations of your Internet connection and service. The provision, quality and security of such Internet connectivity are your responsibility or that of the third party providing such service. You are solely responsible in the event any Malicious Code introduced in the SOFTWARE because of or through, your internet connections.

EXPORT AND OTHER REGULATIONS

You agree to comply with all applicable export and re-export restrictions and regulations of the Department of Commerce and other United States agencies and authorities, and not to transfer, or authorize the transfer, of the SOFTWARE to a prohibited country or otherwise in violation of any such restrictions or regulations.

U.S. GOVERNMENT RESTRICTED RIGHTS

Use, duplication, or disclosure by the United States Government is subject to restriction as set forth in subparagraph (c) (1) and (2) of the Commercial Computer Software-Restricted Rights at 48 C.F.R. § 52.227-19, as applicable. The manufacturer solely for purposes of this section is Sony Electronics Inc., 16535 Via Esprillo, San Diego, CA 92127.

HIGH RISK ACTIVITIES

The SOFTWARE is not fault-tolerant and is not designed, manufactured or intended for use or resale as on-line control equipment in hazardous environments requiring fail-safe performance, such as in the operation of nuclear facilities, aircraft navigation or communication systems, air traffic control, direct life support machines, or weapons systems, in which the failure of the SOFTWARE could lead to death, personal injury, or severe physical or environmental damage ("HIGH RISK ACTIVITIES"). SONY, each of the THIRD-PARTY SUPPLIERS, and each of their respective affiliates specifically disclaim any express or implied warranty, duty or condition of fitness for HIGH RISK ACTIVITIES.

EXCLUSION OF WARRANTY ON SOFTWARE

You acknowledge and agree that use of the SOFTWARE is at your sole risk and that you are responsible for use of the SOFTWARE. The SOFTWARE is provided "AS IS," without warranty, duty or condition of any kind.

SONY AND EACH OF THE THIRD-PARTY SUPPLIERS (for purposes of this Section, SONY and each of the THIRD-PARTY SUPPLIERS shall be collectively referred to as "SONY") EXPRESSLY DISCLAIM ALL WARRANTIES, DUTIES OR CONDITIONS, EXPRESS OR IMPLIED, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY, QUALITY, FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE, ACCURACY, TITLE AND NONINFRINGEMENT. WITHOUT LIMITING THE GENERALITY OF THE FOREGOING, SONY DOES NOT WARRANT OR MAKE ANY CONDITIONS OR REPRESENTATIONS (A) THAT THE FUNCTIONS CONTAINED IN ANY OF THE SOFTWARE WILL MEET YOUR REQUIREMENTS OR THAT THEY WILL BE UPDATED, (B) THAT THE OPERATION OF ANY OF THE SOFTWARE WILL BE CORRECT OR ERROR-FREE OR THAT ANY DEFECTS WILL BE CORRECTED, (C) THAT THE SOFTWARE WILL NOT DAMAGE ANY OTHER SOFTWARE, HARDWARE OR DATA, (D) THAT ANY SOFTWARE, NETWORK SERVICES (INCLUDING THE INTERNET) OR PRODUCTS (OTHER THAN THE SOFTWARE) UPON WHICH THE SOFTWARE'S PERFORMANCE DEPENDS WILL CONTINUE TO BE AVAILABLE, UNINTERRUPTED, TIMELY,

SECURE OR UNMODIFIED, (E) THAT THE SOFTWARE OR ANY EQUIPMENT, SYSTEM OR NETWORK ON WHICH THE SOFTWARE IS USED (INCLUDING THE DEVICE) WILL BE FREE OF VULNERABILITY TO INTRUSION OR ATTACK AND (F) REGARDING THE USE OR THE RESULTS OF THE USE OF THE SOFTWARE IN TERMS OF ITS CORRECTNESS, ACCURACY, RELIABILITY, OR OTHERWISE.

NO ORAL OR WRITTEN INFORMATION OR ADVICE GIVEN BY SONY OR AN AUTHORIZED REPRESENTATIVE OF SONY SHALL CREATE A WARRANTY, DUTY OR CONDITION OR IN ANY WAY INCREASE THE SCOPE OF ANY PROVISION OF THIS EULA. SHOULD THE SOFTWARE PROVE DEFECTIVE YOU ASSUME THE ENTIRE COST OF ALL NECESSARY SERVICING, REPAIR OR CORRECTION. SOME JURISDICTIONS DO NOT ALLOW THE EXCLUSION OF IMPLIED WARRANTIES, SO THESE EXCLUSIONS MAY NOT APPLY TO YOU TO THE EXTENT THEY ARE CONTRARY TO APPLICABLE LAW OF YOUR JURISDICTION.

LIMITATION OF LIABILITY

SONY AND EACH OF THE THIRD-PARTY SUPPLIERS (for purposes of this Section, SONY and each of the THIRD-PARTY SUPPLIERS shall be collectively referred to as "SONY") SHALL NOT BE LIABLE FOR ANY INCIDENTAL, INDIRECT, SPECIAL, EXEMPLARY OR CONSEQUENTIAL LOSS OR DAMAGES FOR BREACH OF ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTY, BREACH OF CONTRACT, NEGLIGENCE, STRICT LIABILITY OR UNDER ANY OTHER LEGAL THEORY RELATED TO THE SOFTWARE, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, ANY DAMAGES ARISING OUT OF LOSS OF PROFITS, LOSS OF REVENUE, LOSS OF DATA, LOSS OF USE OF THE SOFTWARE OR ANY ASSOCIATED HARDWARE, DOWN TIME AND USER'S TIME, EVEN IF ANY OF THEM HAVE BEEN ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH LOSSES OR DAMAGES. IN ANY CASE, EACH AND ALL OF THEIR AGGREGATE LIABILITY UNDER ANY PROVISION OF THIS EULA SHALL BE LIMITED TO THE GREATER OF (i) THE AMOUNT ACTUALLY PAID FOR THE SOFTWARE, SONY'S PRODUCT WHICH THE SOFTWARE IS EMBEDDED IN OR BUNDLED WITH AND/OR SONY'S SERVICE TO WHICH THE SOFTWARE IS DEDICATED OR (ii) THE FIXED AMOUNT AGREED IN WRITING BETWEEN SONY AND YOU. SOME JURISDICTIONS DO NOT ALLOW SUCH EXCLUSIONS OR LIMITATIONS OF LIABILITY, SO THE ABOVE EXCLUSIONS OR LIMITATIONS MAY NOT APPLY TO YOU TO THE EXTENT THEY ARE CONTRARY TO APPLICABLE LAW OF YOUR JURISDICTION.

INDEMNITY

Except as prohibited by applicable law, you agree to indemnify and hold harmless SONY and the THIRD-PARTY SUPPLIERS and their respective affiliates, officers and employees, from any loss, claim or demand, including reasonable attorneys' fees, made by any third party due to or arising out of your use of the SOFTWARE and/or the DEVICE (including, without limitation, any software vulnerability caused by such use), your violation of this EULA or your failure to fulfill your responsibility under this EULA.

AUTOMATIC UPDATE FEATURE

From time to time, SONY or the THIRD-PARTY SUPPLIERS may automatically update or otherwise modify the SOFTWARE, including, but not limited to, for purposes of enhancement of security functions, error correction and improvement of functions, at such time as you interact with SONY's or third parties' servers, or otherwise. Such updates or modifications may delete or change the nature of features or other aspects of the SOFTWARE, including, but not limited to, functions you may rely upon. You acknowledge and agree that such activities may occur at SONY's sole discretion and that SONY may condition continued use of the SOFTWARE upon your complete installation or acceptance of such update or modifications. Any updates/modifications shall be deemed to be, and shall constitute part of, the SOFTWARE for purposes of this EULA. By acceptance of this EULA, you consent to such update/modification.

FORCE MAJEURE

SONY shall not be liable for any delay or failure to perform resulting from causes outside its reasonable control, including, but not limited to, fire, floods, storms, earthquakes, epidemics, acts of God, war, terrorism, riots, insurrection, embargos, acts of civil, military or governmental authorities, nuclear or other accidents, explosions, strikes or shortages of transportation facilities, fuel, energy, labor or materials.

ENTIRE AGREEMENT, WAIVER, SEVERABILITY

This EULA (and SONY's applicable privacy policy separately presented to you, if any), as amended and modified from time to time, constitute the entire agreement(s) between you and SONY with respect to the SOFTWARE. The failure of SONY to exercise or enforce any right or provision of this EULA shall not constitute a waiver of such right or provision. If any part of this EULA is held invalid, illegal, or unenforceable, that provision shall be enforced to the

maximum extent permissible so as to maintain the intent of this EULA, and the other parts will remain in full force and effect.

GOVERNING LAW AND JURISDICTION

The United Nations Convention on Contracts for the International Sale of Goods shall not apply to the SOFTWARE or this EULA. This EULA will not be governed or interpreted in any way by referring to any law based on the Uniform Computer Information Transactions Act (UCITA) or any other act derived from or related to UCITA. This EULA shall be governed by the laws of the State of Delaware (USA), without regard to conflict of laws provisions.

BINDING ARBITRATION

ANY "DISPUTE" THAT IS NOT RESOLVED THROUGH THE INFORMAL NEGOTIATION PROCESS DESCRIBED ABOVE SHALL BE RESOLVED EXCLUSIVELY THROUGH BINDING ARBITRATION. "DISPUTE" is defined as any disagreement, cause of action, claim, controversy, or proceeding between you and any Sony entity related to or arising out of the SOFTWARE or this EULA. DISPUTE is to be given the broadest possible meaning that will be enforced. If a DISPUTE arises, you agree to first give notice to SONY by contacting Sony Electronics Inc. at 16535 Via Esprillo, MZ 1105, San Diego, CA 92127, Attn: Legal Department, and engaging in good faith negotiations to attempt to resolve any DISPUTE for at least 14 days, except that you or Sony (or any of its affiliates) may skip this informal negotiation procedure for DISPUTE enforcing, protecting, or concerning the validity of intellectual property rights.

ARBITRATION INSTRUCTIONS

To begin arbitration, either you or SONY must make a written demand to the other for arbitration. The arbitration will take place before a single arbitrator. It will be administered in keeping with the Expedited Procedures of the Commercial Arbitration Rules, and the Supplementary Proceedings for Consumer-Related disputes when applicable ("Rules") of the American Arbitration Association ("AAA") in effect when the claim is filed. You may get a copy of AAA's Rules by contacting AAA at (800) 778-7879 or visiting www.adr.org. The filing fees to begin and carry out arbitration will be shared between you and SONY, but in no event shall your fees ever exceed the amount allowable by the special rules for Consumers Disputes provided for by AAA, at which point SONY will cover all additional administrative fees and expenses. This does not prohibit the arbitrator from giving the winning party their fees and expenses of the arbitration when appropriate pursuant to the Rules. Unless you and SONY agree differently, the arbitration will take place in the county and state where you live, and applicable federal or state law shall govern the substance of any DISPUTE. The Federal Arbitration Act, 9 U.S.C. § 1, et seq., will govern the arbitration itself and not any state law on arbitration. The arbitrator's decision will be binding and final, except for a limited right of appeal under the Federal Arbitration Act. The arbitrator may award declaratory or injunctive relief only in favor of the party seeking relief, and only to the extent necessary to provide relief warranted by that party's individual claim. Any court with jurisdiction over the parties may enforce the arbitrator's decision.

SMALL CLAIMS EXCEPTION

Despite the provisions set forth above, you have the right to litigate any DISPUTE in small claims court or other similar court of limited jurisdiction, to the extent the amount at issue does not exceed \$15,000, and as long as such court has proper jurisdiction and all other requirements (including amount in controversy) are satisfied.

CLASS ACTION WAIVER

YOU UNDERSTAND AND ACKNOWLEDGE THAT BY AGREEING TO BINDING ARBITRATION, YOU ARE GIVING UP THE RIGHT TO LITIGATE (OR PARTICIPATE IN AS A PARTY OR CLASS MEMBER) ANY DISPUTES IN COURT BEFORE A JUDGE OR JURY. ANY DISPUTE RESOLUTION PROCEEDING WILL BE CONDUCTED ONLY ON AN INDIVIDUAL BASIS, AND BOTH PARTIES AGREE NOT TO HAVE ANY DISPUTE HEARD AS A CLASS ACTION, REPRESENTATIVE ACTION, CONSOLIDATED ACTION, OR PRIVATE ATTORNEY GENERAL ACTION, UNLESS ALL PARTIES INVOLVED IN THE DISPUTE SPECIFICALLY AGREE TO DO SO IN WRITING FOLLOWING INITIATION OF THE ARBITRATION.

OPT-OUT INSTRUCTIONS

IF YOU DO NOT WISH TO BE BOUND BY THE BINDING ARBITRATION PROVISION AND/OR THE CLASS ACTION WAIVER ABOVE, THEN: (1) YOU MUST NOTIFY SONY IN WRITING WITHIN 30 DAYS OF THE DATE THAT YOU FIRST USE THE SOFTWARE OR AGREE TO THIS EULA, WHICHEVER OCCURS FIRST; (2) YOUR WRITTEN NOTIFICATION MUST BE MAILED TO SONY ELECTRONICS INC., 16535 VIA ESPRILLO, MZ 1105, SAN DIEGO CA 92127, ATTN: LEGAL DEPARTMENT; AND (3) YOUR WRITTEN NOTIFICATION MUST INCLUDE: (A) YOUR NAME; (B) YOUR ADDRESS; (C) THE DATE YOU FIRST USED THE SOFTWARE OR AGREED TO THIS EULA; AND (D) A CLEAR

STATEMENT THAT YOU DO NOT WISH TO RESOLVE DISPUTES WITH ANY SONY ENTITY THROUGH ARBITRATION AND/OR TO BE BOUND BY THE CLASS ACTION WAIVER.

REJECTING CHANGES MADE TO THE DISPUTE PROCEDURES

Despite anything to the contrary in this EULA, you may reject changes made to the binding arbitration provision and class action waiver if: (1) you've already begun authorized use of the SOFTWARE at the time the change was/is made; and (2) you mail written notice to the address in the immediately preceding paragraph within 30 days after the particular change was/is made. Should such a situation arise, you will still be bound by the DISPUTE procedures you previously agreed to and existing before the change you rejected was made.

MISCELLANEOUS

Any DISPUTE determined not subject to arbitration and not initiated in small claims court will be litigated by either party in a court of competent jurisdiction in either the superior court for the County of San Diego or in the United States District Court for the Southern District of California.

EQUITABLE REMEDIES

Notwithstanding anything contained in this EULA to the contrary, you acknowledge and agree that any violation of or non-compliance with this EULA by you will cause irreparable harm to SONY, for which monetary damages would be inadequate, and you consent to SONY obtaining any injunctive or equitable relief that SONY deems necessary or appropriate in such circumstances. SONY may also take any legal and technical remedies to prevent violation of and/or to enforce this EULA, including, but not limited to, immediate termination of your use of the SOFTWARE, if SONY believes in its sole discretion that you are violating or intend to violate this EULA. These remedies are in addition to any other remedies SONY may have at law, in equity or under contract.

TERMINATION

Without prejudice to any of its other rights, SONY may suspend your access or use of the SOFTWARE and/or terminate this EULA if you fail to comply with any of its terms. In case of such termination, you must: (i) cease all use, and destroy any copies, of the SOFTWARE; (ii) comply with the requirements in the section below entitled "Your Account Responsibilities".

AMENDMENT

SONY RESERVES THE RIGHT TO AMEND ANY OF THE TERMS OF THIS EULA AT ITS SOLE DISCRETION BY POSTING NOTICE ON A SONY DESIGNATED WEB SITE, BY EMAIL NOTIFICATION TO AN EMAIL ADDRESS PROVIDED BY YOU, BY PROVIDING NOTICE AS PART OF THE PROCESS IN WHICH YOU OBTAIN UPGRADES/UPDATES OR BY ANY OTHER REASONABLE OR LEGALLY RECOGNIZABLE FORM OF NOTICE. If you do not agree to the amendment, you should promptly contact SONY for instructions. Your continued use of the SOFTWARE after the effective date of any such notice shall be deemed your agreement to be bound by such amendment.

THIRD-PARTY BENEFICIARIES

Each THIRD-PARTY SUPPLIER is an express intended third-party beneficiary of, and shall have the right to enforce, each provision of this EULA with respect to the software of such party.

YOUR ACCOUNT RESPONSIBILITIES

Should you return your DEVICE to its place of purchase, sell or otherwise transfer your DEVICE, or if this EULA is terminated, you are responsible for and must, if reasonably possible, uninstall the SOFTWARE from the DEVICE and delete any and all accounts you may have established on DEVICE or are accessible through the SOFTWARE. You are solely responsible for maintaining the confidentiality of any accounts you have with SONY or third parties and any usernames and passwords associated with your use of the DEVICE.

Should you have any questions concerning this EULA, you may contact SONY by writing to SONY at: Sony Electronics Inc., 16535 Via Esprillo, San Diego, CA 92127.

オープンソースソフトウェアのライセンスについて

本製品には、弊社がその著作権者とのライセンス契約に基づき使用しているソフトウェアが搭載されています。当該ソフトウェアの著作権者の要求に基づき、弊社はこれらの内容をお客様に通知する義務があります。

ライセンス内容（英文）に関しては、本機の内蔵メモリー内に記録されています。
本機とパソコンをマストレージ接続し、「PMHOME」 - 「LICENSE」内にあるファイルをご一読ください。

TP1001670089

5-060-574-01(2) Copyright 2024 Sony Corporation

ソリッドステートメモリーカムコーダー
PXW-Z200/HXR-NX800

保証書とアフターサービス

保証書

- この製品には保証書が添付されていますので、お買い上げの際お受け取りください。
- 所定の事項の記入および記載内容をお確かめのうえ、大切に保存してください。

アフターサービス

調子が悪いときはまずチェックを

この説明書をもう一度ご覧になってお調べください。

それでも具合が悪いときは

お買い上げの店、またはソニーの相談窓口にご相談ください。

保証期間中の修理は

保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。

保証期間経過後の修理は

修理によって機能が維持できる場合、ご要望により有料修理させていただきます。

TP1001670090

ソリッドステートメモリーカムコーダー
PXW-Z200/HXR-NX800

仕様

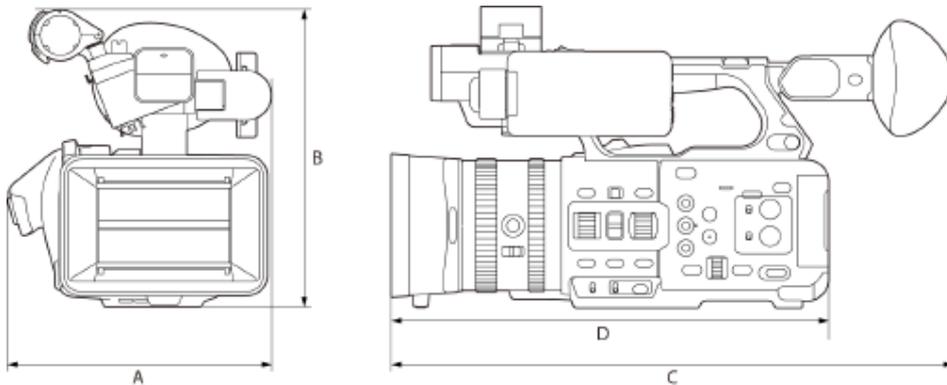
一般

質量

- PXW-Z200
約1.96 kg (本体のみ)
約2.4 kg (レンズフード、バッテリー (BP-U35)、LCDフード、マイクホルダー、アイカップを含む)
- HXR-NX800
約1.93 kg (本体のみ)
約2.38 kg (レンズフード、バッテリー (BP-U35)、LCDフード、マイクホルダー、アイカップを含む)

外形寸法 (幅×高さ×奥行き)

約175.6 mm(A)×201.3 mm(B)×371.1 mm(C)
D: 約289.2 mm



電源電圧

DC 19.5 V (18.0 V~20.5 V)

消費電力

- PXW-Z200
標準消費電力: 約20 W (本体、XAVC S-L 420、QFHD 59.94P、CFexpress Type Aメモリーカード記録時、LCDモニター/ビューファインダー点灯 (デフォルト)、周辺接続機器なし)
最大消費電力: 約37 W (本体 XAVC S-I、QFHD 59.94P (S&Q 120fps)、CFexpress Type Aメモリーカード記録時 (2枚同時記録)、LCDモニター/ビューファインダー点灯 (最大)、周辺接続機器 (SDI、HDMI、USB、無線機器) あり)
- HXR-NX800
標準消費電力: 約16 W (本体、XAVC S-L 420、QFHD 59.94P、CFexpress Type Aメモリーカード記録時、LCDモニター/ビューファインダー点灯 (デフォルト)、周辺接続機器なし)
最大消費電力: 約32 W (本体 XAVC S-I、QFHD 59.94P (S&Q 120fps)、CFexpress Type Aメモリーカード記録時 (2枚同時記録)、LCDモニター/ビューファインダー点灯 (最大)、周辺接続機器 (HDMI、USB、無線機器) あり)

動作温度

0 °C~40 °C

保存温度

-20 °C~+60 °C

連続動作時間

- PXW-Z200
約90分 (BP-U35使用時、標準消費電力時)
- HXR-NX800
約120分 (BP-U35使用時、標準消費電力時)

記録フォーマット (ビデオ)

- XAVC HS Long 422/420
- XAVC S Long 422/420
- XAVC S-I Intra

記録フォーマット (オーディオ)

LPCM 24ビット、48 kHz、4チャンネル

記録フレームレート

- XAVC HS Long 422/420
3840×2160/119.88P*、100P*、59.94P、50P、23.98P
- XAVC S Long 422
3840×2160/119.88P*、100P*、59.94P、50P、29.97P、25P、23.98P
1920×1080/59.94P、50P、29.97P、25P、23.98P
- XAVC S Long 420
3840×2160/119.88P*、100P*、59.94P、50P、29.97P、25P、23.98P
1920×1080/119.88P*、100P*、59.94P、50P、29.97P、25P、23.98P
- XAVC S Intra
3840×2160/59.94P、50P、29.97P、25P、23.98P
1920×1080/59.94P、50P、29.97P、25P、23.98P
*スロー&クイックモーションがオンのとき、119.88P、100Pは使用できません。

記録/再生時間

- XAVC HS Long 420
3840×2160/59.94P
約80分 (CEA-G160T使用時)
- XAVC S Long 420
3840×2160/59.94P
約80分 (CEA-G160T使用時)
1920×1080/59.94P
約270分 (CEA-G160T使用時)
- XAVC S Intra
3840×2160/59.94P
約25分 (CEA-G160T使用時)
1920×1080/59.94P
約75分 (CEA-G160T使用時)

ご注意

- 記録再生時間は、使用条件やメモリーの特性などにより、多少の誤差が生じる場合があります。また、記録/再生時間は、1クリップとして連続記録したときの時間です。記録するクリップ数によっては記載の時間より短くなる場合があります。

カメラ部

撮像素子

1.0型積層型CMOSイメージセンサー

画素数

20.9M (Total)

14.0M (effective)

撮影モード、設定によって有効画素数が変化します。

オートフォーカス

検出方式：位相差検出方式/コントラスト検出方式

内蔵NDフィルター

[Clear] : NDなし

1 : 1/4ND

2 : 1/16ND

3 : 1/64ND

リニア可変ND : 1/4ND ~ 1/128ND

シャッタースピード

64F ~ 1/8000秒 (23.98P時)

シャッターアングル

5.6° ~ 360°、2~64frame

スロー&クイックモーション

XAVC S QFHD : 1 ~ 120 fps

XAVC S HD : 1 ~ 240 fps

ホワイトバランス

2000 K ~ 15000 K

ゲイン

-3 dB ~ +36 dB (1 dB単位、SDR ITU709時)

基本ルック

[S-Cinetone] / [ITU709] / [709tone] / [s709] / [709(800%)] / [S-Log3] / [HLG Live] / [HLG Mild] / [HLG Natural]

レンズ部

光学ズーム比 : 20、電動

焦点距離 : f=7.71~154.21 mm、24~480 mm (35mm 換算)

絞り : 開放絞り (F値) F2.8~F4.5、最小絞り (F値) F11、クローズ (オート/マニュアル切り替え)

フォーカス : AF/MF切替え

フォーカス範囲 : 10 mm~∞ (ワイド端)、1000 mm~∞ (テレ端)

手ブレ補正形式 : 光学式

フィルター径 : 72 mm

オーディオ部

サンプリング周波数

48 kHz

量子化特性

24ビット

周波数特性

本体XLR入力MICモード時 : 20 Hz~20 kHz (±3 dB以内)

本体XLR入力LINEモード時 : 20 Hz~20 kHz (±3 dB以内)

ダイナミックレンジ

本体XLR入力MICモード時 : 80 dB (Typical)

本体XLR入力LINEモード時 : 90 dB (Typical)

ひずみ率

本体XLR入力MICモード時 : 0.08%以下 (入力レベル-40 dBu時)

本体XLR入力LINEモード時 : 0.08%以下 (入力レベル+14 dBu時)

内蔵スピーカー

モノラル

内蔵マイク

無指向性ステレオエレクトレットコンデンサマイク

入出力部

入力

INPUT 1/2 : XLR型、3ピン、凹

LINE / MIC / MIC+48V切り替え可能

MIC : Reference -30 dBu~-80 dBu

INPUT3端子:ステレオミニジャック、プラグインパワー対応

Reference -66 dBu

TC IN (PXW-Z200のみ) : BNC型

出力

SDI OUT (PXW-Z200のみ) : BNC型、12G-SDI、6G-SDI、3G-SDI (Level A/B)、HD-SDI

ヘッドホン (ステレオミニジャック) : -16 dBu (基準レベル出力、モニターボリューム最大、16 Ω負荷時)

HDMI : TypeA、19ピン

TC OUT (PXW-Z200のみ) : BNC型

その他

DC IN : EIAJ標準、DC 18 V~20.5 V

マルチインターフェースシュー : 専用21ピン

REMOTE : 2.5φ3極ミニミニタイプ

USB-C : USB3.2 Gen1

表示部

LCDモニター

画面サイズ：対角8.8 cm（3.5型）

アスペクト比：16:9

画素数：1280（H）× 720（V）

ビューファインダー

- 総表示エリア
画面サイズ：対角1.0 cm（0.39型）
アスペクト比：4:3
画素数：1024（H）× 768（V）
- 有効表示エリア
画面サイズ：対角0.92 cm（0.36型）
アスペクト比：16:9
画素数：1024（H）× 576（V）

メディアスロット部

Cfexpress Type A/SDカードスロット（2）

有線LAN

RJ45型

1000BASE-T、100BASE-TX、10BASE-T

無線LAN

WW634937*/WW447862*モデル

対応規格

IEEE 802.11a/b/g/n/ac

使用周波数帯

2.4 GHz帯/5 GHz帯

セキュリティ

WEP/WPA-PSK/WPA2-PSK

接続方式

Wi-Fi Protected Setup™（WPS）/マニュアル

アクセス方式

インフラストラクチャーモード

WW593605*/WW208017*モデル

対応規格

IEEE 802.11b/g/n

使用周波数帯

2.4 GHz帯

セキュリティ

WEP/WPA-PSK/WPA2-PSK

接続方式

Wi-Fi Protected Setup™（WPS）/マニュアル

アクセス方式

インフラストラクチャーモード

*WWxxxxはモデル名です。モデル名は本機底面にある機銘版で確認してください。

対応iPhone

iPhone 15 Pro Max / iPhone 15 Pro / iPhone 15 Plus / iPhone 15 / iPhone 14 Pro Max / iPhone 14 Pro / iPhone 14 Plus / iPhone 14 / iPhone 13 Pro Max / iPhone 13 Pro / iPhone 13 / iPhone 13 mini
（2024年6月現在）

付属品

- ACアダプター（1）

- 電源コード (1)
- LCDフード (1)
- レンズフード (1)
- アイカップ (1)
- マイクホルダー (1)
- コールドシューキット (1)
(コールドシュー (1)、シューバネ (1)、ビス (4))
- ご使用になる前に (1)
- 保証書 (1)

仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。

商標について

- “XAVC”および**XAVC**はソニー株式会社の登録商標です。
- Apple、iPhoneおよびiPadは、米国および他の国々で登録されたApple Inc.の商標です。「iPhone」の商標は、アイホン株式会社からライセンスを受け使用しています。
- HDMI、High-Definition Multimedia Interface、およびHDMIロゴは、米国およびその他の国におけるHDMI Licensing Administrator, Inc.の商標または、登録商標です。
- Microsoft、Windowsは、Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- Mac、macOSはApple Inc.の米国およびその他の国における登録商標です。
- “Catalyst Browse”はソニー株式会社の商標または登録商標です。
- IOSは、米国シスコの商標もしくは登録商標です。
- Android、Google PlayはGoogle Inc.の登録商標または商標です。
- Wi-Fi、Wi-Fiロゴ、Wi-Fi PROTECTED SETUPはWi-Fi Allianceの商標または登録商標です。
- SDXCロゴはSD-3C,LLCの商標です。
- CFexpress Type Aロゴ、CFexpressはCompactFlash Associationの商標です。
- QRコードは株式会社デンソーウェーブの登録商標です。
- Bluetooth®ワードマークおよびロゴは、Bluetooth SIG, Inc.が所有する登録商標であり、ソニーグループ株式会社及びその子会社はこれらのマークをライセンスに基づいて使用しています。
- USB Type-C™およびUSB-C™はUSB Implementers Forumの商標です。
- 「Made for Apple」バッジは、アクセサリが本バッジに記載されたアップル製品専用に接続するように設計され、アップルが定める性能基準を満たしていることを示します。アップルは、本製品の機能および安全および規格への適合について一切の責任を負いません。



- その他の各社名および各商品名は各社の登録商標または商標です。なお、本文中では™、®マークは明記していません。

TP1001670091